

県民のスポーツに関する意識調査

アンケート調査報告書

令和4年8月

愛媛県

目 次

I 調査概要	1
1 調査内容	1
2 調査結果概要	2
3 スポーツ実施率	9
II 成人調査結果	14
1 属性	14
2 運動やスポーツについての興味・関心について	
問 5 健康・体力に対する自身の有無	15
問 6 運動・スポーツに対する関心	16
問 7 運動・スポーツに対する関心のきっかけ	17
3 運動やスポーツの実施状況について	
問 8 実施した運動・スポーツの種目	18
問 9 運動・スポーツの実施頻度	19
問10 運動・スポーツ実施の同伴者	20
問11 運動・スポーツ1回の実施時間	21
問12 運動・スポーツ実施の理由	22
問13 運動・スポーツ実施の場所	22
問14 運動・スポーツ非実施の理由	23
問15 今後実施したい運動・スポーツ種目	24
問16 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動への影響と変化	25
問17 スポーツ観戦経験の有無	26
問18 観戦したスポーツの中で関心がある種目	27
問19 地域のスポーツ行事参加の有無	28
問20 地域のスポーツ行事の必要性	29
問21 スポーツボランティアの参加経験	30
問22 スポーツボランティア参加の課題	31
問23 参加したスポーツボランティアの内容	32
問24 スポーツボランティアの参加意向	33
問25 参加したいスポーツボランティアの内容	34
問26 本県における大型スポーツイベント開催に対する意識	35
問27 本県選手の活躍への関心	36
問28 地元選手育成の課題	37
4 東京オリンピック・パラリンピックについて	
問29 観戦の有無	38
問30 観戦後の関わり	39
問31 開催後の県のスポーツ振興策	40

5	愛媛の地域密着型プロスポーツ球団について	
問32	地域密着型プロスポーツ球団の認知	41
問33	地域密着型プロスポーツ球団の現地観戦意向	41
問34	観戦に関する重視項目	42
問35	地域密着型プロスポーツ球団に期待すること	43
問36	地域密着型プロスポーツ球団間の連携に対する意向	44
6	スポーツクラブ等への加入について	
問37	クラブ・同好会加入の有無	45
付問	クラブ・同好会未加入者の加入意向	46
問38	加入している・したいクラブ・同好会の種類	47
問39	加入している・したい目的	48
問40	クラブ・同好会の費用負担	49
問41	クラブ・同好会の会費負担額	50
7	施設の整備について	
問42	市町における公共スポーツ施設整備の状況	51
問43	公共スポーツ施設利用時における不満の有無	52
問44	公共スポーツ施設利用時における不満点	53
問45	公共スポーツ施設整備への要望	53
8	総合型地域スポーツクラブについて	
問46	総合型地域スポーツクラブの認知	54
問47	総合型地域スポーツクラブ認知のきっかけ	55
9	ねんりんピック愛媛（えがお）のえひめ2023について	
問48	ねんりんピック（全国健康福祉祭）の認知	56
問49	ねんりんピックが本県で開催されることの認知	57
10	eスポーツについて	
問50	eスポーツの認知	58
問51	eスポーツへの関心	59
11	行政に期待することについて	
問52	スポーツ振興策に関する県・市町への要望	60
III	児童・生徒調査	61
1	属性	61
2	運動やスポーツについての興味・関心について	
問3	運動・スポーツに対する関心	62
付問	運動・スポーツに対する関心のきっかけ	63
問4	運動・スポーツがきらいな理由	64
問5	運動・スポーツの実施頻度	65
問6	運動・スポーツ1回の実施時間	66
問7	運動・スポーツ実施の理由	67
問8	運動・スポーツ非実施の理由	69

問 9	クラブ・同好会の加入状況	71
問10	実施している運動・スポーツの種目	72
問11	今後やってみたい運動・スポーツ種目	73
問12	やっている種目とやりたい種目が異なる理由	74
問13	スポーツ観戦経験	77
問14	今後のスポーツ観戦意向	79
3	東京オリンピック・パラリンピックについて	
問15	観戦の有無	81
問16	本県選手活躍への関心	82
IV	幼児保護者調査	83
1	属性	83
2	あなたのお子様について	
問 3	運動（スポーツ）・外遊びに対する関心	84
問 4	運動（スポーツ）・外遊びの実施頻度	84
問 5	親子一緒での運動（スポーツ）・外遊びの実施頻度	85
問 6	1回の子どもの運動（スポーツ）・外遊びの実施時間	85
問 7	運動（スポーツ）・外遊びで得られる効果	86
問 8	運動（スポーツ）・外遊びの実施場所	87
問 9	運動（スポーツ）・外遊びの実施場所までの移動手段	88
問10	運動（スポーツ）・外遊びをするために工夫していること	89
問11	運動（スポーツ）・外遊びを実施する上での課題	90
問12	子どもの運動・スポーツ向上に関する行政への要望	91
V	障がい者調査結果	92
1	属性	92
2	調査結果	
問 8	スポーツ・レクリエーションの実施状況	94
問 9	スポーツ・レクリエーションの実施頻度	96
付問	スポーツ・レクリエーションの同伴者	97
問10	スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ	97
問11	スポーツ・レクリエーションを実施する目的	98
問12	スポーツ・レクリエーションをやってよかったこと	99
問13	スポーツ・レクリエーションの取組状況と満足度	100
問14	スポーツ・レクリエーションの実施場所	100
問15	スポーツ・レクリエーション実施場所への移動手段	101
問16	スポーツ施設でのスポーツ・レクリエーション実施頻度	101
問17	障がい者スポーツ用具の利用経験	102
問18	利用したことのある障がい者スポーツ用具の種類	102
問19	障がい者スポーツ用具を利用したことがない理由	102

問20	自治体・施設等からの障がい者スポーツ用具の借用状況	103
問21	障がい者スポーツ用具の購入状況	103
問22	購入した障がい者スポーツ用具の種類	103
問23	スポーツ・レクリエーション実施への障壁	104
付問	スポーツ指導者や障がい者スポーツ指導員に求めること	105
問24	スポーツ・レクリエーションを実施しない理由	105
問25	今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーション	106
問26	スポーツクラブ・同好会・サークルへの加入状況	108
問27	加入しているスポーツクラブ・同好会・サークルの人員構成	109
問28	加入しているスポーツクラブ・同好会・サークルへの参加状況	109
問29	新型コロナウイルス感染症による影響・変化	110
問30	スポーツ観戦の状況	111
問31	観戦したスポーツの種目	111
問32	スポーツ観戦をしなかった理由	112
問33	eスポーツの認知	113
問34	eスポーツへの関心	113
問35	体育授業への参加状況	114
問36	体育授業の満足度	114

I 調査概要

I 調査内容

■調査実施内容

調査先	成人	児童生徒	幼児保護者	障がい者
調査実施期間	令和4年 7月1日 ～7月25日	令和4年 6月22日 ～7月15日	令和4年 6月20日 ～7月15日	令和4年 6月24日 ～7月19日
配布数	2,000	3,110	1,000	1,000
配布方法	郵送	学校配布回収	幼稚園等配布回収	郵送
回収数	886	3,110	925	342
回収率	44.3%	100.0%	92.5%	34.2%

■報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- グラフ及び表中のn（number of case）は、集計対象者総数です。

2 調査結果概要

■成人

(1) 健康・体力に関する意識

県民全体をみると「自信がある」層と「ない」層が半分に大別され、前回調査と同様の傾向が見られた。性別で見ると、男性の方が「自信がある」割合が高い。また、働く世代の男性は40代から50代、女性は30代から40代の「自信がない」割合が高い。年代別で見ると、20代が1番高く、30代から40代と下降し、50代から上昇に転じている。この世代はスポーツ実施率が平均より低いことから、「スポーツ実施率」と「健康・体力に対する自信」には、相関関係があると言える。

(2) 運動・スポーツに対する関心

運動・スポーツに対する関心は、前回調査と同様の傾向を示し、若年代は「する」方が好きで、中高年代は「見る」方が好きである傾向が見出された。30代から50代の女性は「するのを見るのもきらい」の割合が高い。運動・スポーツに関心を持ったきっかけは、20代から40代では「子どもの頃からしている」、50代以上は「健康意識」である。

スポーツ観戦に関しては、前回調査と同様、実際に見に行く層は1割程度と多くないが、テレビやラジオでのスポーツの視聴は定着している。関心を集めるスポーツ観戦種目は、プロ野球、高校野球・大学野球、サッカー、マラソン・駅伝、大相撲、バレーボール、ゴルフ等、テレビ放送されているものが多い。

eスポーツの認知度は約4割あるものの、実施経験は約2%と低い。また、半数は興味がなく、実施意識は1%に満たない。

(3) 運動・スポーツの実施状況・意向

週に1日以上の実施率は、前回調査より17.2ポイント増加し、「週に3日以上」の実施も14.6ポイント増加している。これは新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、健康意識の高まりや一人での運動機会の増加、感染を避けるため、道路や遊歩道、自宅などで運動機会が増加したことなどにより、運動・スポーツの実施が増えたものと推測できる。しかし、40代以下の女性の運動・スポーツの実施は、全体平均より大幅に少なくなっている。

また、一人で運動・スポーツをする割合が6割を超え、前回より約20ポイント増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響と推測できる。1回あたりの運動時間は、15分～1時間以内が全体の約7割となり、性別で見ると女性が約8割、男性が約7割で運動時間は男性より女性のほうが短い傾向にある。運動・スポーツをする理由は、前回同様、主に「健康・体力づくり」「運動不足解消」「ストレス解消・気分転換」が挙げられている。

実施している又は今後したい運動・スポーツ種目では、上位が「ウォーキング（散歩等）」「体操（ラジオ体操等）」が続いている。運動・スポーツをする場所は、「道路や遊歩道」「自宅」が多く、これは前述の種目の実施人口が多いことと関係している。「民間や公共のスポーツ施設」の利用は前回調査より減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染リスクの回避や施設が利用停止されていたことと関係するものと推測できる。

I 調査概要

運動・スポーツをしない理由は、「疲れていて体力的余裕がない」「面倒くさい」「高齢である」「時間がない」等、前回とほぼ同様の傾向である。新型コロナウイルス感染症による運動・スポーツの影響・変化は「特に変化はない」の回答が約4割、「外出を控えたことによる機会が減った」が約2割となっている。

(4) スポーツ行事・ボランティア等の参加状況

地域のスポーツ行事に「参加した」人は、見物や応援も含めて、前回調査より10.1ポイント減少した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものと推測できるが、回答者の7割は地域のスポーツ行事の必要性を認めている。

スポーツボランティアの参加経験者は1割未満と少ない。また、ボランティアに関して「興味がない」が2割程度に留まっており、これは「どのように参加したらよいか分からない」「あらかじめ活動の量がどれくらいあるか分からない」「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」等の阻害要因が除かれることで、スポーツボランティアの参加率が上昇する可能性があることを示している。

スポーツボランティアの参加状況では前回同様、「スポーツイベントの運営や世話」が最も多く、男性では今後希望する活動で「スポーツの指導」や「スポーツの審判」など専門的な技能・知識を要するものが多い。

(5) 世界選手権大会等の開催

大規模スポーツイベントの開催やそれらの大会での本県選手の活躍については「まあまあ良いことだ」「やや関心がある」を含め約8割が肯定的な意見となっている。地元選手の育成に関しては、「小さい頃からの指導体制の確立」が必要と認識しており、「練習できる場所提供」も重要視されている。一方で「地元での大会の開催」は、地元選手の育成とはあまり関連づけて考えられていない。

東京オリンピック・パラリンピックの観戦は8割を超え、関心の高さがうかがえた。観戦したスポーツへの関わりは、「特に何もしていない」が約7割であるほか、「観戦したチームや選手」や「そのスポーツのルール」について調べるにとどまるなど、大規模大会等の開催とスポーツ実施との関わりは薄いことが推察される。また、開催後の振興策として求めているものは、「アスリートの発掘・育成」が約5割となっている。

ねんりんピック愛顔（えがお）のえひめ2023は、全体の認知度が約4割で、年齢別では若年者の認知度は低い。

参加経験は1%未満であった。地元開催の認知度は1割と低い状況である。

(6) 地域密着型プロスポーツに対する関心・期待

県内4つのプロスポーツ球団のうち、「愛媛FC」「愛媛マンダリンパイレーツ」「FC今治」は性別年代を問わず8~9割の認知度が示された。「愛媛オレンジバイキングス」は前回調査より2割増え、約5割まで上昇した。現地での観戦意欲は「愛媛FC」が約5割、「愛媛マンダリンパイレーツ」「FC今治」が約4割となっているが、「愛媛オレンジバイキングス」は前回調査より1割増え、約2割まで上昇した。観戦に関する重視項目は性別年代による差が目立つ。若年代は「チケットの金額」を、中高年代は「会場までの距離・移動時間」を重視している。「試合内容」および「対戦相手」というスポーツ観戦の中身（コンテンツ）も、性別年代を問わず重視されている。

各球団への期待は前回同様、「チームの成績」が他の項目を大きく引き離し、県民は良い戦績を求めていることがうかがえる。

球団間の連携に関して、否定的な意見（全く望まない・どちらかといえば望まない）は全体の1割以下で、肯定的な意見（強く望む・どちらかといえば望む）が約半数を占めた。ただし「どちらともいえない」が4割近い割合を示している。

(7) クラブ・同好会への加入状況・意向

前回調査に比べ、6.4ポイント減少している。今後の加入意向は、20代女性が3割弱と他の世代に比べ多い。加入している・今後加入したいクラブ・同好会は、20代から30代は「職場のクラブや同好会」が多く、40代以上になると「地域住民が中心となっているクラブや同好会」が多い。

加入する・加入したい理由は、前回調査と同様に「健康や体力増進」が約半数を占めた。この傾向は男性よりも女性、若年代より中高年代で顕著に見られる。加入しているクラブ等の費用負担は月額制から参加回数分へ移行している傾向があり、会費額では1,000円未満が約3割となっている。

(8) 総合型地域スポーツクラブの認知

総合型地域スポーツクラブの認知度は、「聞いたことがある」を含め、前回調査同様に2割程度に留まっている。認知経路は、「新聞・テレビ・ラジオ」のほか、20代は「指導者」「ホームページ」を通じて知る機会が比較的多く、中高年代は「友人を通じて」の割合が多い。

(9) スポーツ実施に向けた取組やスポーツ施設整備、スポーツ振興に関する行政への要望

スポーツ実施に向けた改善・配慮を求めるものとして、「子どもを預けられるか」又は「子どもと一緒に身体を動かすイベントの実施」や「思ったときにできる場所」等の要望があった。公共スポーツ施設に関して、前回調査より「施設の数も質も十分である」が4.9ポイント増加し、不満の割合も5.5ポイント減少している。施設に対する不満点としては、「施設・設備が整っていない」「利用料金が高い」ことをはじめ、「特定の団体が優先されている」「規則が細かすぎる」が依然多い。

整備を希望する施設は、「近所の広場や公園」「高齢者や障がい者が活動できる施設」への要望が多く寄せられた。「近所の広場や公園」が多いのは、「ウォーキング」の実施者が多いこと、今後実施してみたい種目でも上位を占めていることに関連していると推測できる。

行政に対しては、「施設の整備」と「情報の提供」への要望が多い。ほかに「地域のスポーツ指導者の養成」「スポーツ教室の開催」「競技力向上のための指導者の養成及び選手の育成」など人材育成に関する要望も目立つ。

■ 児童・生徒

(1) 運動・スポーツに対する関心

前回調査同様に、小中高生のスポーツに対する関心は高く、「するのも見るのもきらい」は1割未満で、大半の児童・生徒は「するのも見るのも好き」あるいはそのいずれかが好きという結果になった。嫌いな理由としては、「疲れるから」「全く興味がないから」が多く、「疲れるから」を理由としているのは中学生に目立つ。反対にスポーツをしたり見たりすることが好きになったきっかけは、「子どもの頃からしているから」「夢中になれる種目ができたから」が多い。

(2) 運動・スポーツの実施状況

週1日以上運動・スポーツの実施率は、全体で約8割となり、性別で見ると全ての学校で男性が女性を上回っている。

1回あたりの運動時間は、1時間以上が約7割、その中でも1時間30分以上が約半数を占め、成人(26.5%)に比べて時間の長さが特徴的である。男女とも学年が上がると実施時間が長くなっている。また、男性の方が女性より約2割多くなっている。

運動・スポーツをする理由は、「健康・体力づくり」が最も多く、「楽しみ」「友だち・仲間との交流」「記録や技能の向上」「ストレス解消・気分転換」が続いている。「友だち・仲間との交流」は小中高間の差は見られない一方、「楽しみ」は学年が上がると減少し、「ストレス解消・気分転換」は学年が上がるほど増加している。また、全くしない理由は前回調査同様、「疲れるから」「全く興味がないから」が上位となっている。

(3) 運動・スポーツの実施内容・意向

前回調査に比べ、「学校の運動部に加入している」が25.0ポイント減少した。少子化の影響で中学校の団体競技スポーツが複数校集まらないと練習できないこと等学校部活動の状況が変化しているものと思われる。

実施している運動・スポーツ種目では、小学生は水泳が最も多く、スイミングスクールへの加入が要因と考えられる。全体的に、サッカー、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、野球などの実施率が高いが、多種多様な種目を児童・生徒は行っている実態が浮き彫りになった。

今後実施したい種目ではバドミントン、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ライフル射撃、テニス、弓道、卓球等が挙げられている。実施している種目とやってみたい種目が異なる要因は「学校にその部活がない」「近くにやりたい種目のスポーツクラブがない」こととされる。

観戦しているスポーツは野球、サッカー、バスケットボール、バレーボールと続き、水泳、陸上競技、マラソン・駅伝も比較的高い割合を占めている。また、観戦したいスポーツはバレーボール、バスケットボール、サッカー、野球と続き、バドミントン、卓球、テニス、水泳も比較的高い割合を占めている。

(4) 東京オリンピック・パラリンピックの開催

東京オリンピックの観戦は約8割、東京パラリンピックは約4割であった。

地元の選手の活躍の関心は約6割であり、地元選手が活躍すると観戦率が高くなっていくと推測される。

■ 幼児

(1) 子どもの運動（スポーツ）・外遊びに対する関心

児童保護者は自身の子どもを「運動・スポーツ嫌い」と見なすケースは極めて少なく、「どちらか」として「嫌い」「嫌い」は合わせても数%未満の結果となった。この傾向は前回調査と同様であり、「好き」が約8割、「どちらか」として「好き」も約2割を占めた。

(2) 子どもの運動（スポーツ）・外遊びの実施頻度・時間

週1日以上運動（スポーツ）・外遊びの実施率は、9割を超えている。中でも約8割の子どもが毎日あるいは2日に1回程度は運動や外遊びをしているが、必ずしも親子一緒ではなく、幼稚園・保育所・認定子ども園などで、運動（スポーツ）・外遊びの機会が確保されている面も大きい。

1回あたりの運動や外遊びの時間は、「15分程度」「30分程度」で約4割、1時間30分程度が約4割を占めた。前回調査より短時間化の傾向にあり、熱中症の懸念など何らかの要因が生じている可能性がある。

(3) 子どもの運動（スポーツ）・外遊びの実施環境

子どもが運動や外遊びをする場所は、「幼稚園・保育所・認定子ども園」が最も多く、「公園」や「自宅及びその周辺」が続く。前回調査よりも「自宅及びその周辺」が減少し、「幼稚園・保育所・認定子ども園」と「公園」が増加している。

移動手段は、「自動二輪・自動車」が6割、「徒歩」が3割となっており、運動や外遊びの場所の「幼稚園・保育所・認定子ども園」「公園」「自宅及びその周辺」と移動手段が関係していると推察される。

(4) 子どもの運動（スポーツ）・外遊びの効果と課題

効果に関して、「基礎体力がつく」が7割と高く、「運動能力の向上」が続いている。

「公園に連れて行っている」が約6割を占め、とくに年少の子どもを持つ親にその傾向が目立つ。年中、年長になるとテレビやゲームと外遊びの兼ね合いをはかるようになるほか、スポーツクラブ教室への加入による運動（スポーツ）の機会創出が増えている。

課題では、前回同様、「保護者が忙しく、一緒について行く事ができない」「近くに遊ばせる場所がない」、今回新たに「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」も上位になっている。

I 調査概要

行政への要望では、「体育館や公園などの整備やそれらの機能の充実」が最も多く、「レクリエーション的なイベントの開催」「運動教室などの充実」が続き、「場所」と「参加体験の機会」に対する要望が多いことが明らかになった。

■ 障がい者

(1) スポーツ・レクリエーションの実施状況

実施しているスポーツ・レクリエーションは、「散歩」が最も多く、「ウォーキング」「体操」「階段昇降」が挙げられており、場所を選ばずにできる取組が多い。また、今後実施したいスポーツ・レクリエーションも、「散歩」が最も多く、「ウォーキング」「体操」「水泳」「身体活動を伴うリハビリテーション」が挙げられている。スポーツ・レクリエーションの週1日以上の実施率は約4割、この1年間で実施していない割合は約2割である。スポーツ・レクリエーションを誰とするかについては、「一人」が4割を超えているが、「家族」約3割となっている。高齢化が進むにつれ、スポーツ・レクリエーションの実施率が下がる懸念がある。スポーツ・レクリエーションのきっかけは、「特に理由がない・なんとなく」が3割を超えている。実施の目的は、「健康の維持・増進のため」が約6割、「気分転換・ストレス解消のため」が約5割と目的ははっきりとしている。また、実施の良い点は「ストレスの解消」「体を動かすことが楽しい」である。

現在のスポーツ・レクリエーションの取組について「満足している」が約3割、「もっと行いたい」「思うができない」が約2割となっている。

スポーツ・レクリエーションの実施の障壁は、「体力がない」が2割を超えているが、「どんなスポーツ・レクリエーションをできるのか情報を得られない」「スポーツ・レクリエーションがどこでできるのか情報が得られない」も一定数あり、情報提供を充実させると実施率が高くなると推測される。また、スポーツ・レクリエーションを実施するための障壁は特にはないが、実施しない理由として「特に理由はない」も5割を超えており、取組機会の提供によるきっかけづくりは重要である。

スポーツ・レクリエーションの実施の際に指導者に求めることは、「障がいの理解」が約7割とトップである。

新型コロナウイルス感染症による影響・変化では「特に変化がない」が約5割であり、感染の懸念から外出を控えたため機会が減ったが約3割となっている。

学校体育の参加状況は、時々参加も含め約9割は参加している。学校体育を楽しんだは約5割。しかし、体育の授業に参加していないが1割弱いることがわかった。

(2) スポーツ・レクリエーション実施場所の状況

実施場所は入所施設を含む自宅が約4割である。スポーツ施設への移動は、「(自力で)自家用車で移動」が約3割に留まり、自力で移動できる支援により、施設の利用は増えると推測される。また、週1日以上が約3割となっている。

(3) 障がい者スポーツ用具の利用状況

障がい者スポーツ用の用具の利用は約1割となっている。利用したことのない理由に、「障がい者スポーツ用具を利用する必要がないスポーツ・レクリエーションを行った」「スポーツをあまりしない」が約3割となっている。また、「障がい者スポーツ用具があることを知らない」が1割を超えている。利用した用具は「車いすバスケットボール車」が約5割、他には、「車いすテニス車」「陸上競技用車いす」が多くなっており、半数の回答者は用具を購入している。また、自治体等から「車いすバスケットボール車」を借りた実績が約3割となっている。

(4) クラブ・同好会への加入状況・意向

スポーツクラブや同好会・サークルの加入は、1割と少ないが、20代は加入が3割を超えている。加入しているスポーツクラブや同好会・サークルは、「友人・知人が中心のクラブ・同好会・サークル」「地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル」「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」が多い。「主に障がいのない人が参加している」スポーツクラブなどで活動している人が6割以上を占める。

(5) スポーツの観戦状況

スポーツ観戦に関して「テレビでスポーツの試合を観戦したことがある」が6割を超えている。スポーツ観戦種目は、プロ野球、高校野球、マラソン・駅伝、サッカー、大相撲、フィギアスケートが多い。観戦しなかった利用は、「スポーツに興味がない」「観戦したいと思うスポーツがない」「特になし」が約3割となっている。

(6) eスポーツの認知度

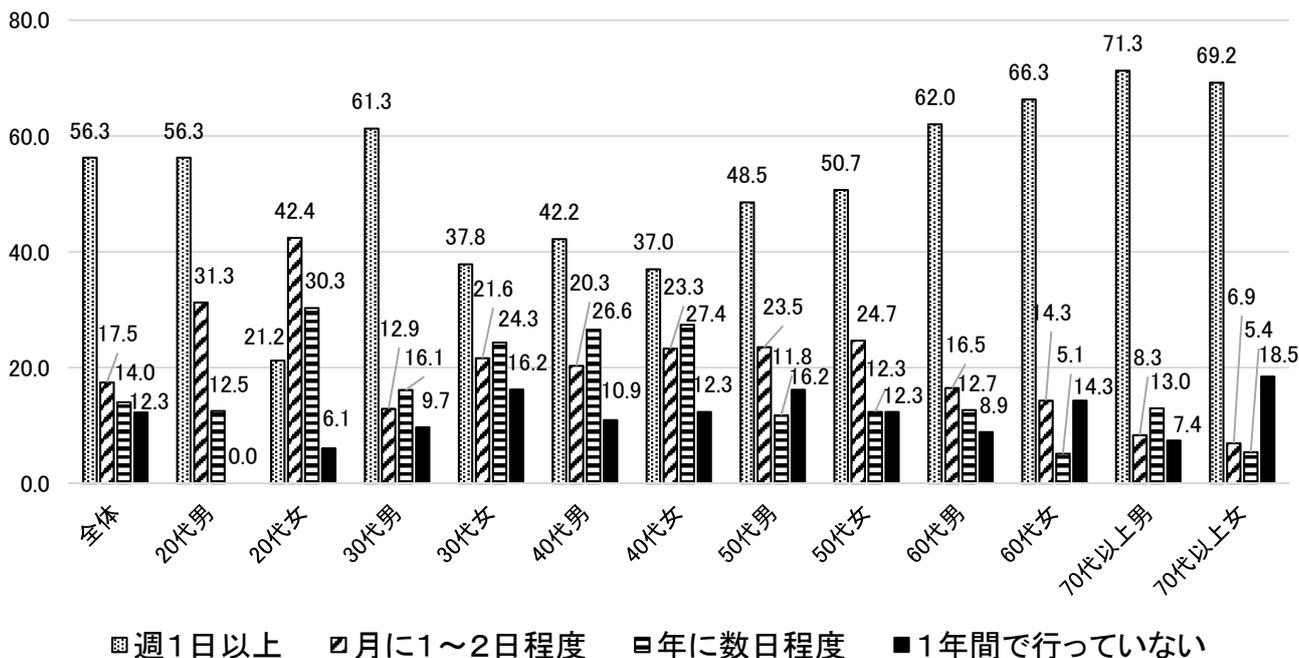
eスポーツの認知度は「聞いたことがある」を含め約6割あり、実施経験は約4%で成人（約2%）より高い。また、半数は興味がなく、取組意識は約2割となっている。

3 スポーツ実施率

スポーツ実施率は、週1日以上実施を対象としています。(無回答者は含んでいません)

■成人（問9の回答者数+問8の選択肢59の回答者数の合計）

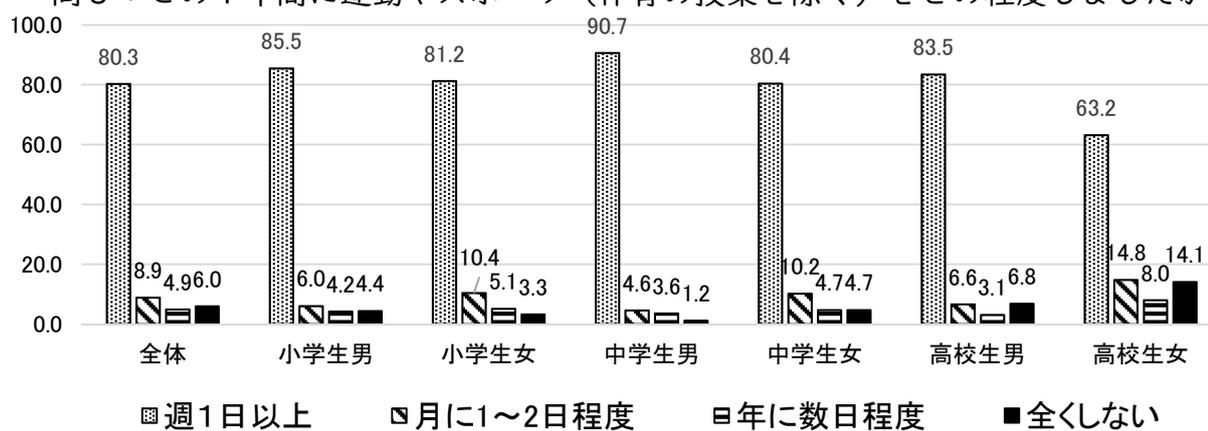
- ・問9：あなたは、この1年間に運動やスポーツをどの程度行いましたか。
- ・問8：この1年間に、どのような運動やスポーツを行いましたか。
 - 選択肢59：この1年間に運動・スポーツはしなかった



単位(%) 上段: 前回調査 下段: 今回調査	全体	20代男	20代女	30代男	30代女	40代男	40代女	50代男	50代女	60代男	60代女	70代以上男	70代以上女
週3日以上	15.4 30.0	10.3 31.3	18.5 6.1	15.8 22.6	1.9 13.5	7.3 23.4	10.3 17.8	13.3 23.5	19.1 27.4	16.9 31.7	19.6 31.6	25.7 42.6	16.0 43.9
週に1~2日程度	23.7 26.3	31.0 25.0	14.8 15.2	23.7 38.7	24.5 24.3	12.7 18.8	23.5 19.2	21.3 25.0	23.6 23.3	23.4 30.4	29.0 34.7	25.7 28.7	25.0 25.4
小計(週1日以上)	39.1 56.3	41.3 56.3	33.3 21.2	39.5 61.3	26.4 37.8	20.0 42.2	33.8 37.0	34.6 48.5	42.7 50.7	40.3 62.0	48.6 66.3	51.4 71.3	41.0 69.2
月に1~2日程度	15.3 17.5	20.7 31.3	18.5 42.4	23.7 12.9	17.0 21.6	25.5 20.3	11.8 23.3	14.7 23.5	15.7 24.7	19.5 16.5	8.4 14.3	14.9 8.3	10.0 6.9
年に数日程度	18.1 14.0	17.2 12.5	33.3 30.3	21.1 16.1	22.6 24.3	32.7 26.6	20.6 27.4	18.7 11.8	19.1 12.3	18.2 12.7	11.2 5.1	14.9 13.0	9.0 5.4
1年間で行っていない	27.5 12.3	20.7 0.0	14.8 6.1	15.8 9.7	34.0 16.2	21.8 10.9	33.8 12.3	32.0 16.2	22.5 12.3	22.1 8.9	31.8 14.3	18.9 7.4	40.0 18.5
合計	100.0 100.0												

■児童・生徒（問5の回答者数）

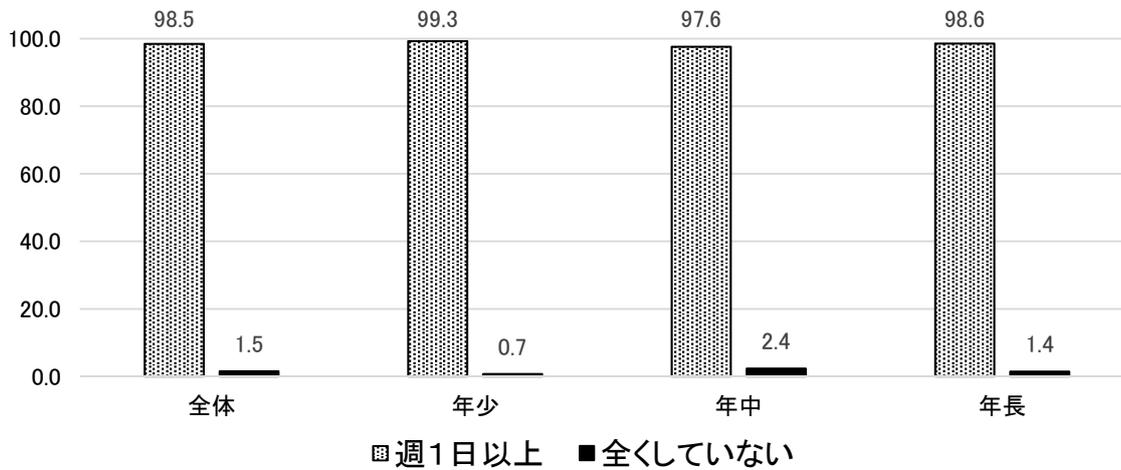
・問5：この1年間に運動やスポーツ（体育の授業を除く）をどの程度しましたか。



単位(%)	全体	小学生男	小学生女	中学生男	中学生女	高校生男	高校生女
上段: 前回調査							
下段: 今回調査							
週に3日以上	58.4	55.9	35.2	81.6	61.4	68.3	45.4
	56.5	54.4	38.8	77.7	57.3	72.2	42.0
週に1~2日程度	19.9	31.4	38.9	7.0	14.3	13.7	17.1
	23.8	31.1	42.5	12.9	23.1	11.3	21.2
小計(週1日以上)	78.3	87.4	74.1	88.6	75.6	82.0	62.4
	80.3	85.5	81.2	90.7	80.4	83.5	63.2
月に1~2日程度	10.5	6.7	15.5	5.3	12.2	9.6	14.1
	8.9	6.0	10.4	4.6	10.2	6.6	14.8
年に数日程度	5.4	3.0	5.3	3.2	6.1	3.0	11.8
	4.9	4.2	5.1	3.6	4.7	3.1	8.0
全くしない	5.8	3.0	5.1	2.9	6.1	5.5	11.8
	6.0	4.4	3.3	1.2	4.7	6.8	14.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

■ 幼児（問4の回答者数）

・問4：お子さんは運動（スポーツ）や外遊びをしていますか。

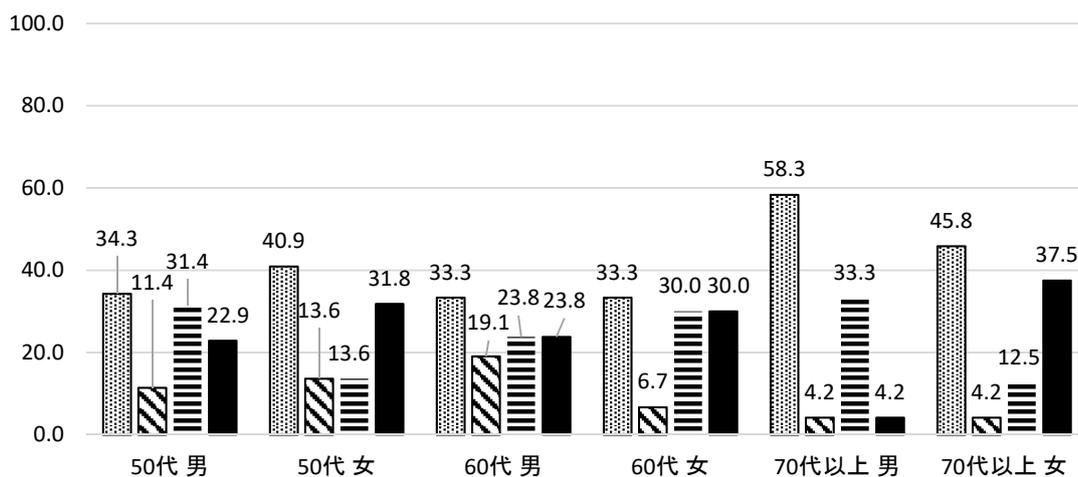
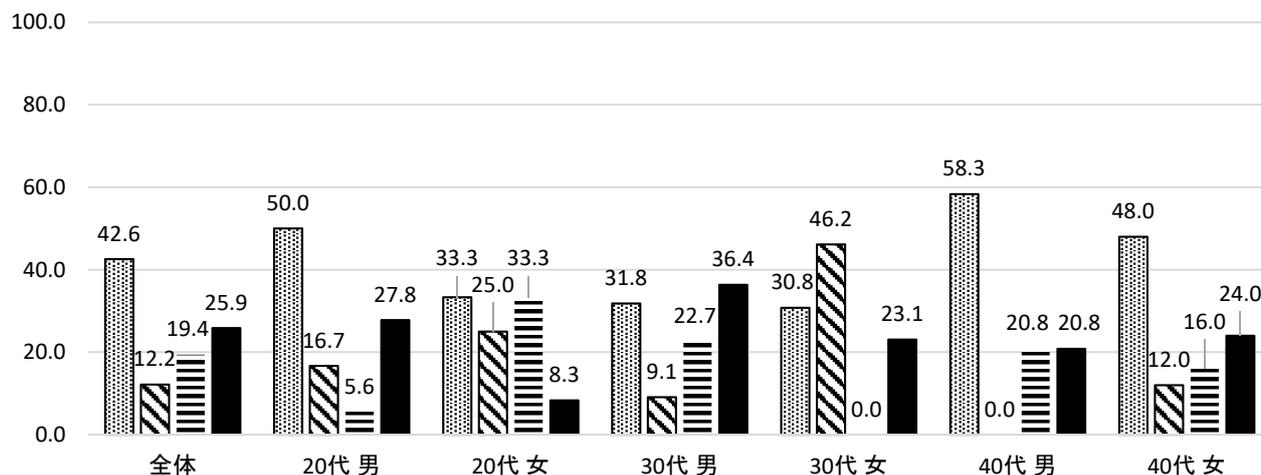


単位 (%)	全体	年少	年中	年長
上段: 前回調査				
下段: 今回調査				
毎日	41.3	41.3	43.7	39.1
	37.4	42.6	35.3	34.7
週に3日以上	41.3	41.3	41.0	41.6
	44.3	43.6	41.0	47.9
週に1~2日	16.9	16.7	14.7	19.0
	16.8	13.1	21.4	16.1
小計(週1日以上)	99.5	99.4	99.4	99.7
	98.5	99.3	97.6	98.6
全くしていない	0.5	0.6	0.6	0.3
	1.5	0.7	2.4	1.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0
	100.0	100.0	100.0	100.0

■障がい者（問9の回答者数+問8の選択肢90の回答者数の合計）

- ・問9：この1年間にスポーツ・レクリエーションをどの程度行いましたか。
 - ・問8：この1年間にどのようなスポーツ・レクリエーションを行いましたか。
- 選択肢90：この1年間にスポーツ・レクリエーションは行わなかった

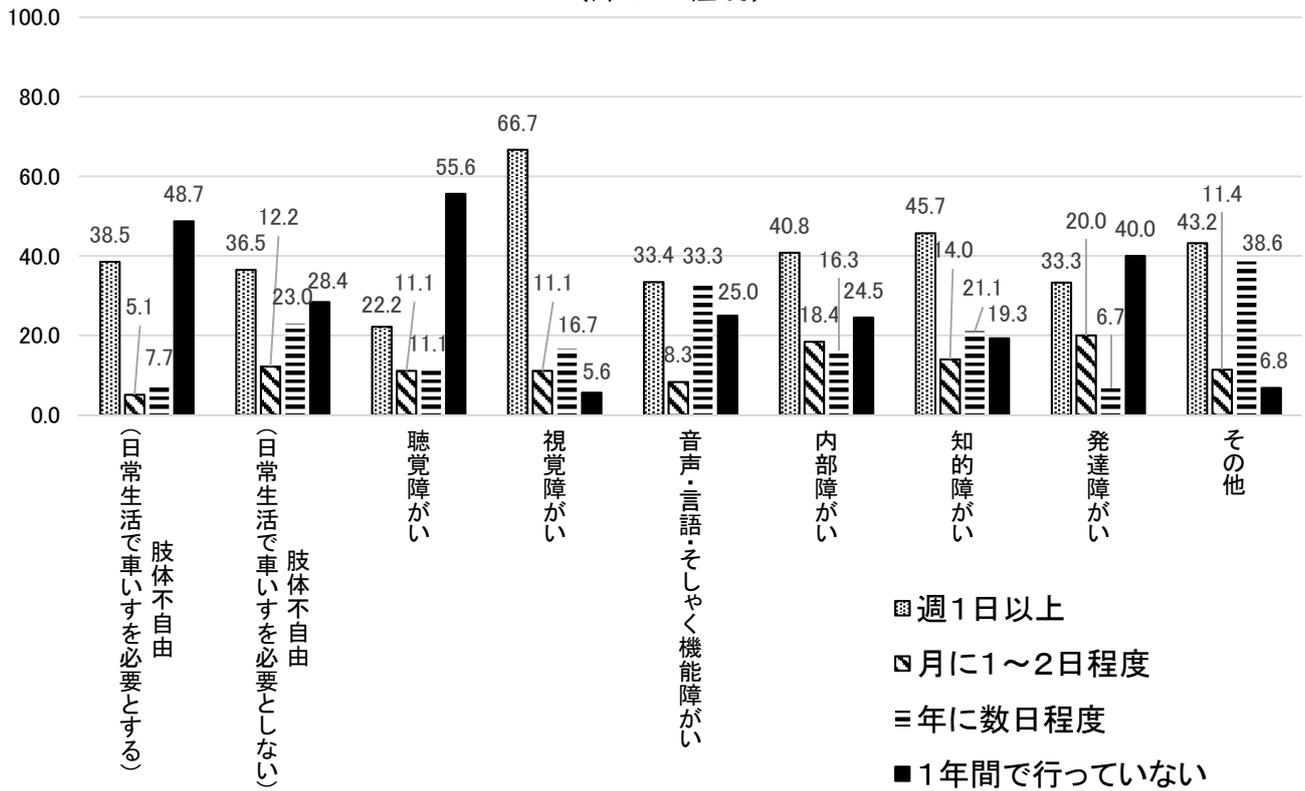
（年齢別）



■ 週1日以上 ■ 月に1～2日程度 ■ 年に数日程度 ■ 1年間で行っていない

単位(%)	全体	20代男	20代女	30代男	30代女	40代男	40代女	50代男	50代女	60代男	60代女	70代以上男	70代以上女
週3日以上	19.0	16.7	0.0	4.6	15.4	29.2	24.0	17.1	22.7	9.5	20.0	20.8	29.2
週に1～2日程度	23.6	33.3	33.3	27.3	15.4	29.2	24.0	17.1	18.2	23.8	13.3	37.5	16.7
小計(週1日以上)	42.6	50.0	33.3	31.8	30.8	58.3	48.0	34.3	40.9	33.3	33.3	58.3	45.9
月に1～2日程度	12.2	16.7	25.0	9.1	46.2	0.0	12.0	11.4	13.6	19.0	6.7	4.2	4.2
年に数日程度	19.4	5.6	33.3	22.7	0.0	20.8	16.0	31.4	13.6	23.8	30.0	33.3	12.5
1年間で行っていない	25.9	27.8	8.3	36.4	23.1	20.8	24.0	22.9	31.8	23.8	30.0	4.2	37.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(障がい種別)



単位(%)	肢体不自由 (日常生活で車いすを必要とする)	肢体不自由 (日常生活で車いすを必要としない)	聴覚障がい	視覚障がい	音声・言語・そしやく機能障がい	内部障がい	知的障がい	発達障がい	その他
週3日以上	23.1	10.8	11.1	27.8	16.7	16.3	24.6	13.3	20.5
週に1~2日程度	15.4	25.7	11.1	38.9	16.7	24.5	21.1	20.0	22.7
小計(週1日以上)	38.5	36.5	22.2	66.7	33.4	40.8	45.7	33.3	43.2
月に1~2日程度	5.1	12.2	11.1	11.1	8.3	18.4	14.0	20.0	11.4
年に数日程度	7.7	23.0	11.1	16.7	33.3	16.3	21.1	6.7	38.6
1年間で行っていない	48.7	28.4	55.6	5.6	25.0	24.5	19.3	40.0	6.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

II 成人調査結果

I 属性

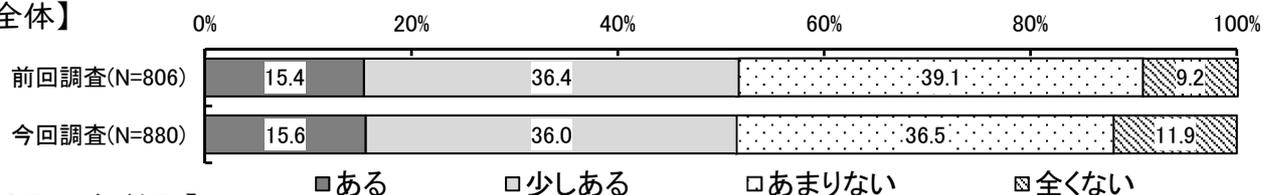
	特性	対象者数(人)	比率(%)
性別	男	390	44.0
	女	473	53.4
	無回答	23	2.6
年齢	18~29歳	66	7.5
	30~39歳	72	8.1
	40~49歳	144	16.3
	50~59歳	151	17.0
	60~69歳	183	20.7
	70歳以上	266	30.0
	無回答	4	0.5
職業	農林漁業	30	3.4
	自営業	73	8.2
	勤め人	371	41.9
	主婦・主夫	211	23.8
	その他	191	21.6
	無回答	10	1.1
住まい	宇摩圏域	48	5.4
	新居浜・西条圏域	149	16.8
	今治圏域	86	9.7
	松山圏域	425	48.0
	八幡浜・大洲圏域	90	10.2
	宇和島圏域	71	8.0
	無回答	17	1.9

2 運動やスポーツについての興味・関心について

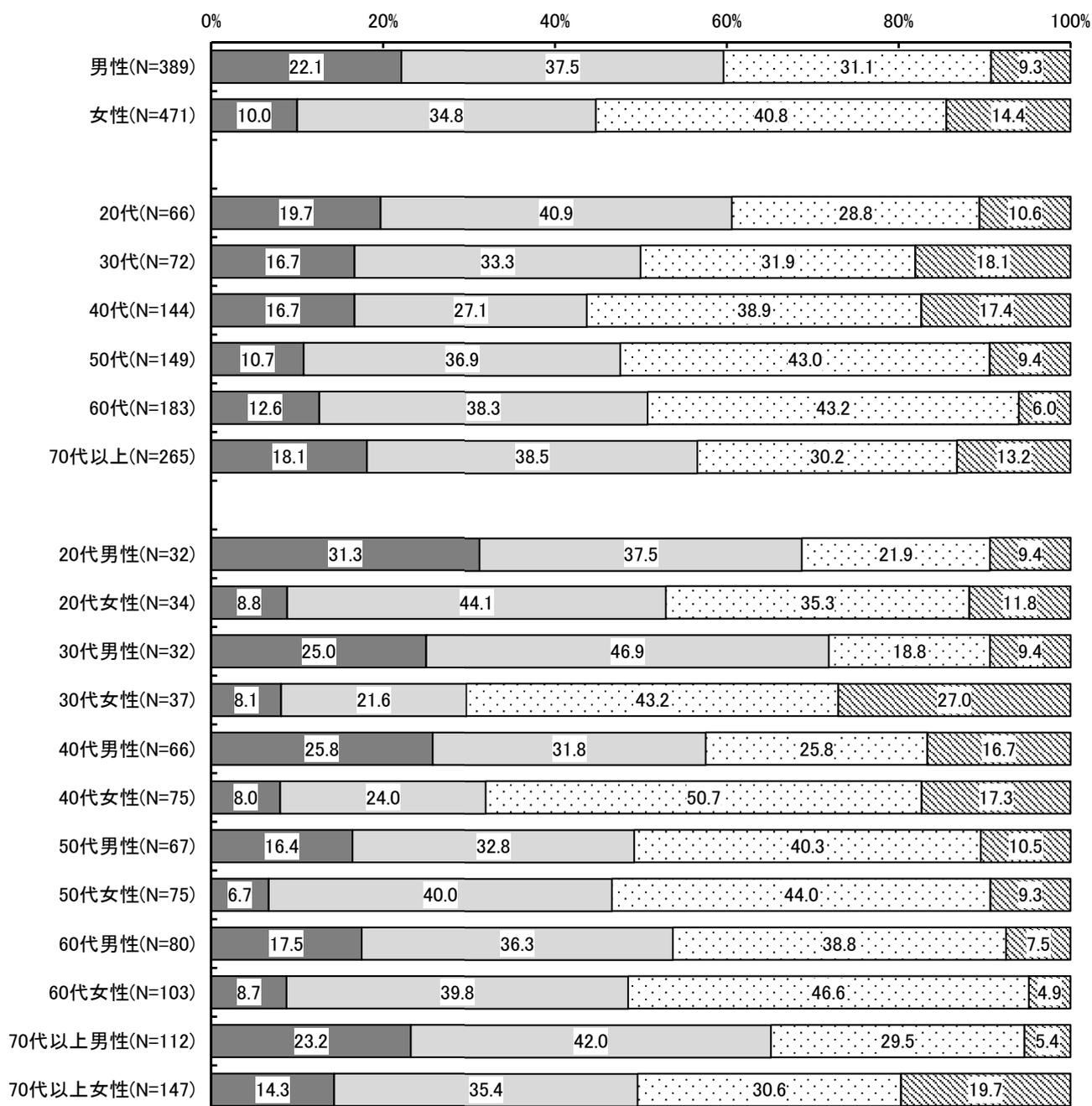
問5 あなたは、健康・体力に自信がありますか。(〇は1つ)

前回調査と比べ「全くない」が2.7ポイント増加。20代から60代女性は「ある」が1割未満。50代から60代男性は「ある」が1割台で他の年代より低い。

【全体】



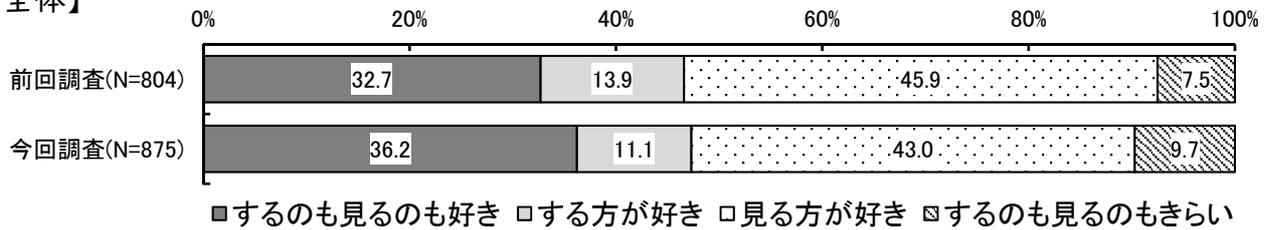
【性別・年齢別】



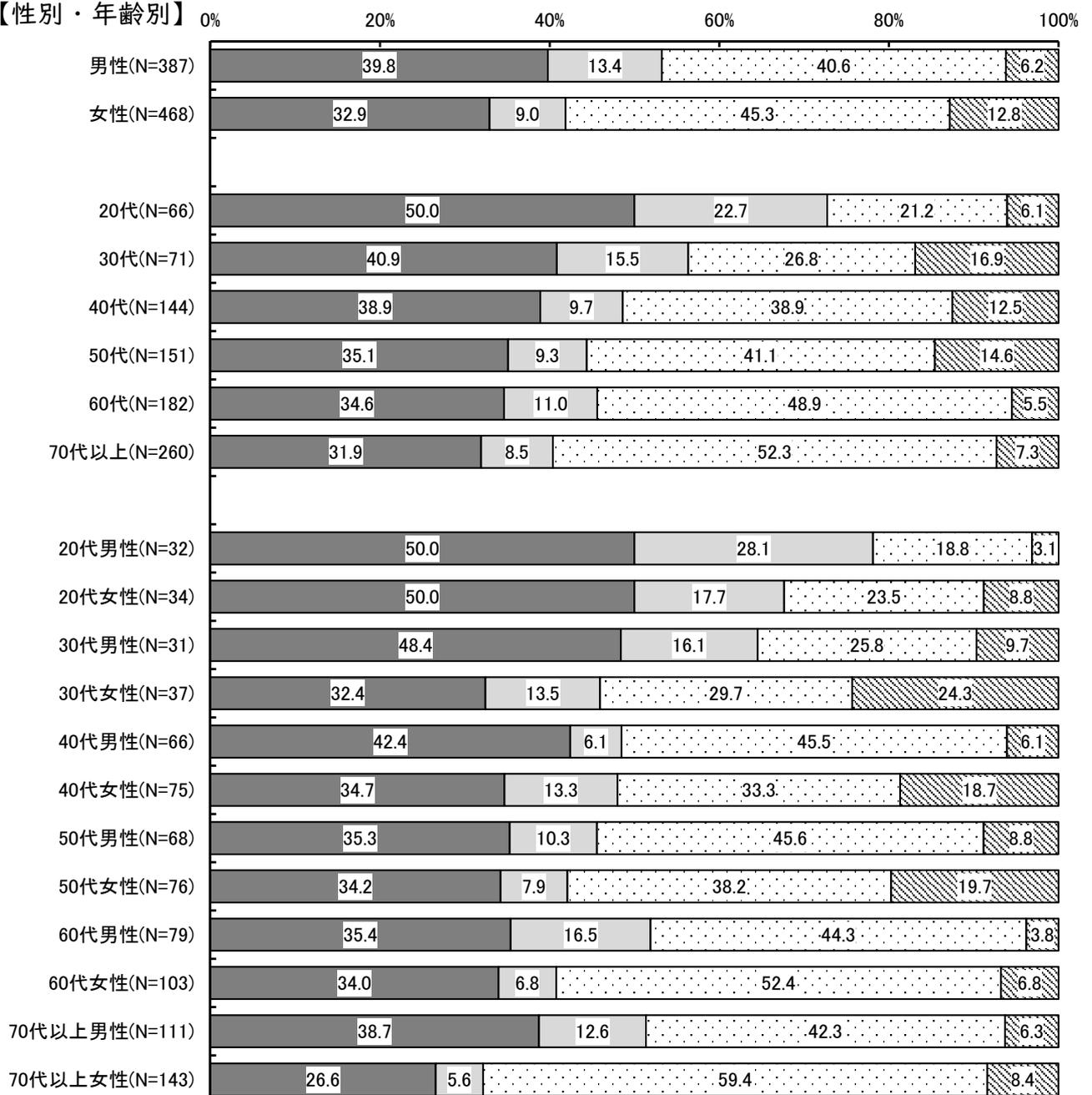
問6 あなたは、運動やスポーツをしたり見たりすることが好きですか。(○は1つ)

前回調査と比べ「するのを見るのも好き」が3.5ポイント増加。年代が上がると「するのを見るのも好き」が低くなり、「見る方が好き」が高くなる。

【全体】



【性別・年齢別】

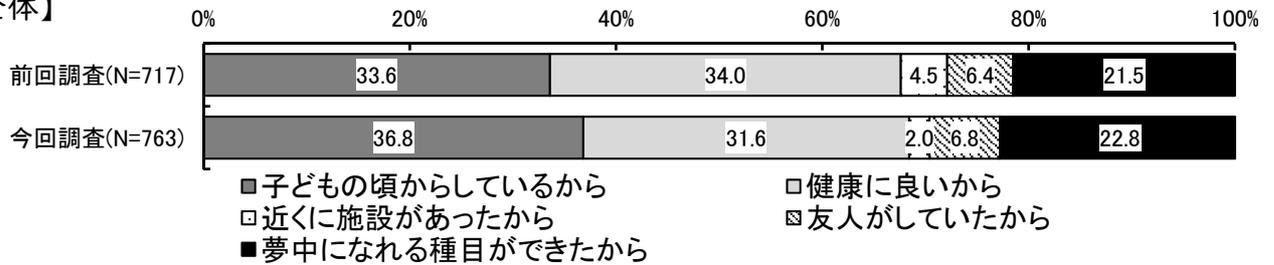


問7 <問6で「1：するのも見るのも好き」「2：する方が好き」「3：見る方が好き」を選択した方のみお答えください。>

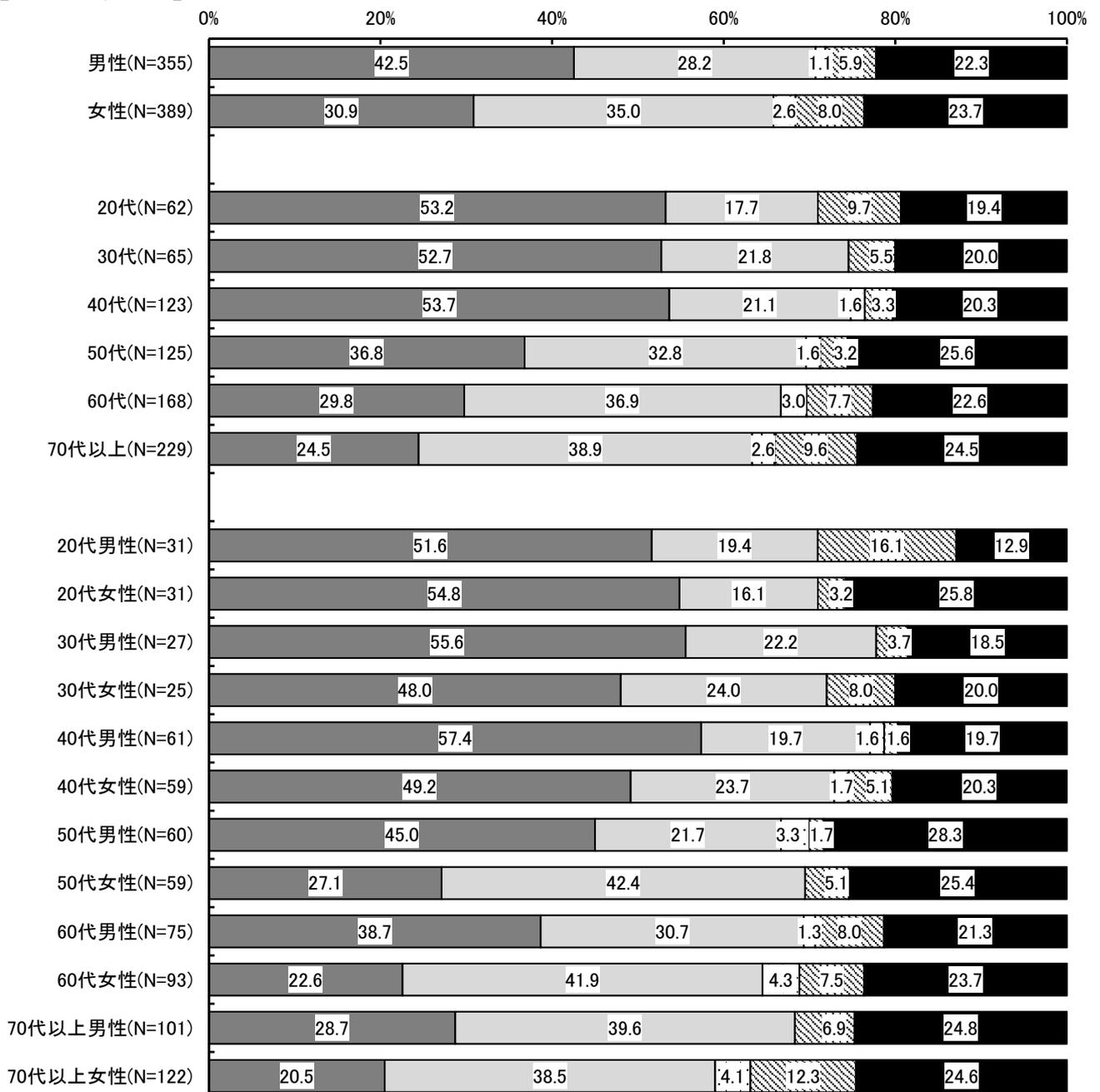
運動やスポーツをしたり見たりすることが好きになったきっかけは何ですか。(〇は1つ)

前回調査と比べ「子どもの頃からしているから」が3.2ポイント増加、「健康に良いから」が2.4ポイント減少。年代が上がると「健康に良いから」が高くなる。

【全体】



【性別・年齢別】

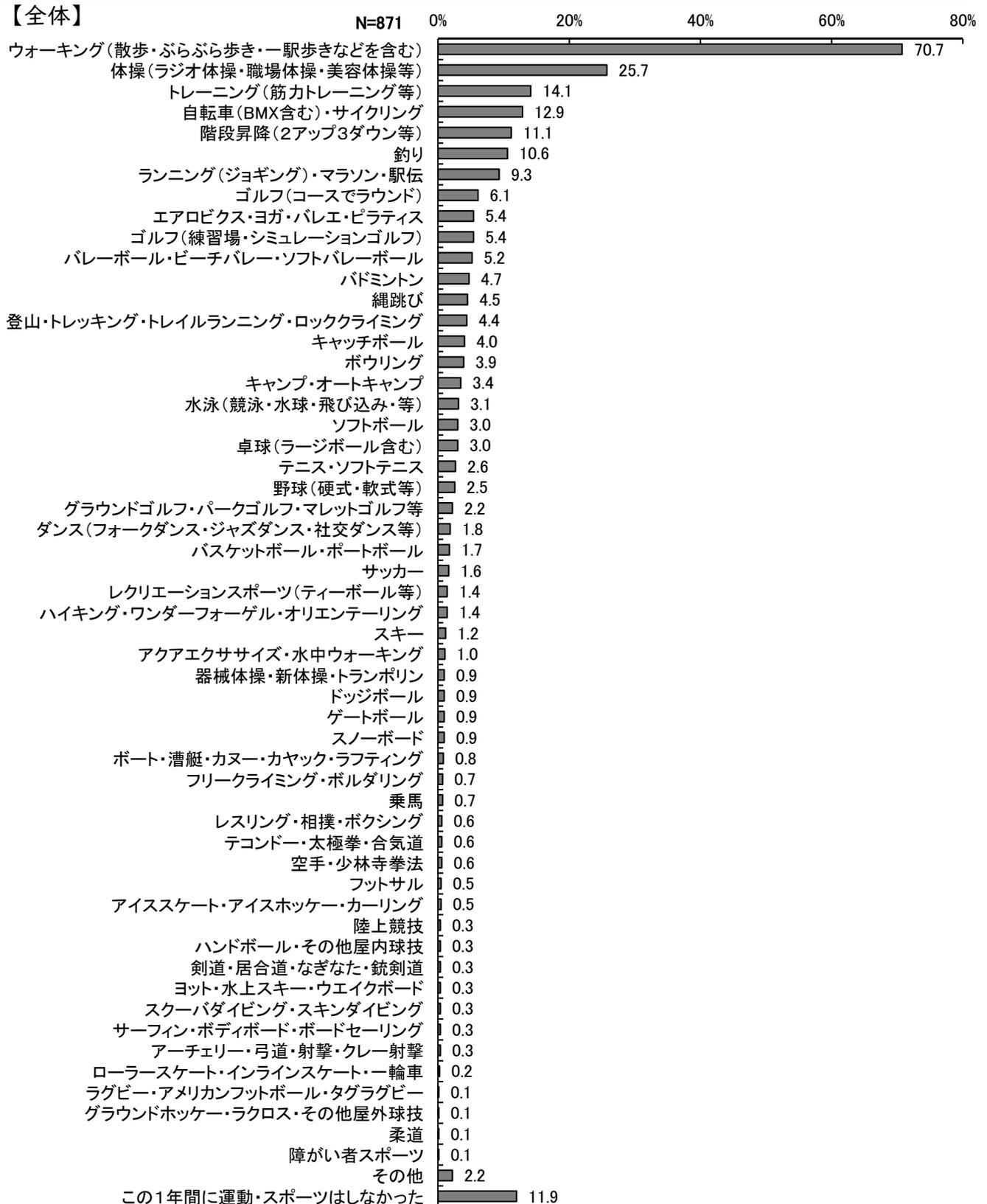


3 運動やスポーツの実施状況について

問8 この1年間に、どのような運動やスポーツを行いましたか。(〇はいくつでも)

※学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。

ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)は7割を超えている。「体操」が2割台、「トレーニング」、「自転車・サイクリング」、「階段昇降」、「釣り」は1割台となっている。

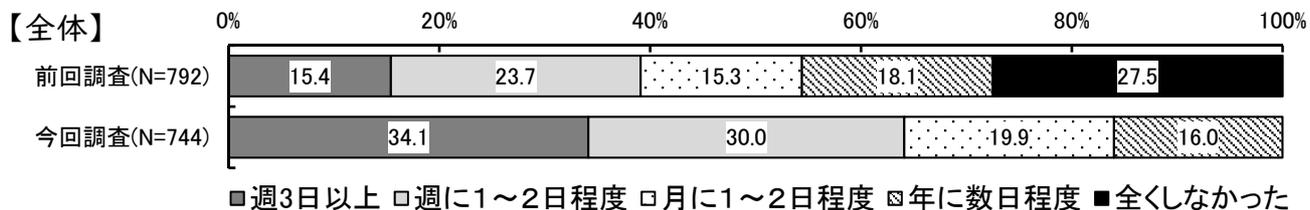


問9 <問8で「59：この1年間に運動・スポーツはしなかった」以外を選択した方のみお答えください。>

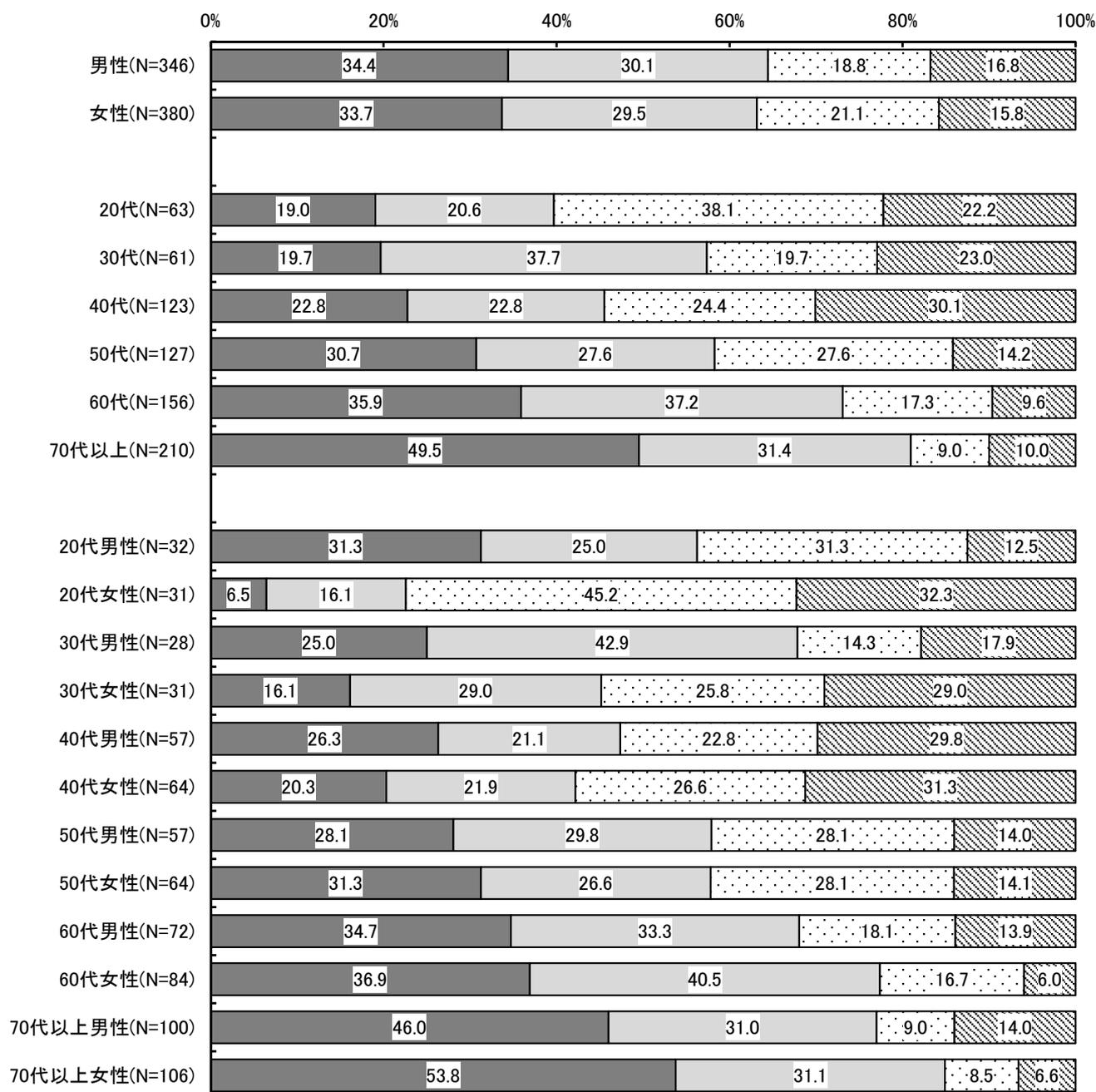
あなたは、この1年間に運動やスポーツをどの程度行いましたか。(〇は1つ)

運動やスポーツの実施は、年代が上がるほど「週3日以上」が高くなる。ただし20代女性は、6.5%にとどまっている。

※今回調査では「全くしなかった」の選択肢は無し。



【性別・年齢別】

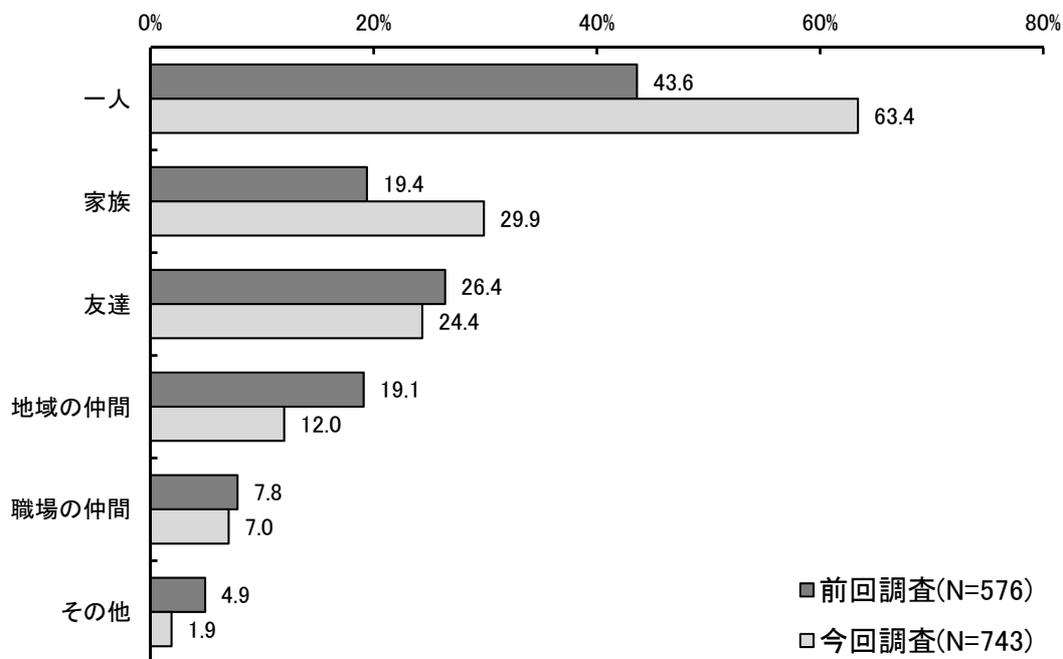


問10 <問8で「59：この1年間に運動・スポーツはしなかった」以外を選択した方のみお答えください。>

それは誰と行いましたか。(〇はいくつでも)

運動やスポーツの実施は、「1人」が6割を超え、前回調査より、19.8ポイント増加。「家族」も10.5ポイント増加。「友達」は減少。

【全体】

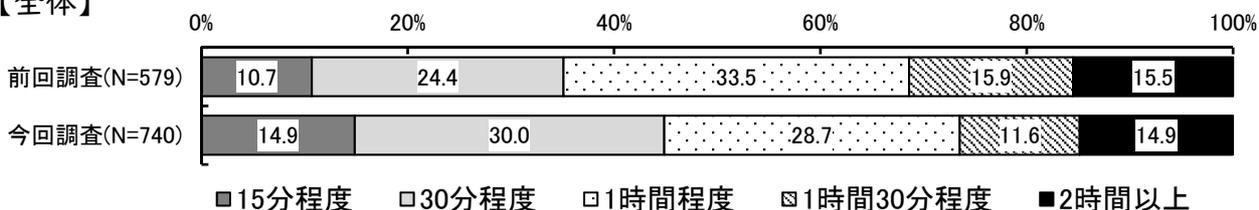


問11 <問8で「59：この1年間に運動・スポーツはしなかった」以外を選択した方のみお答えください。>

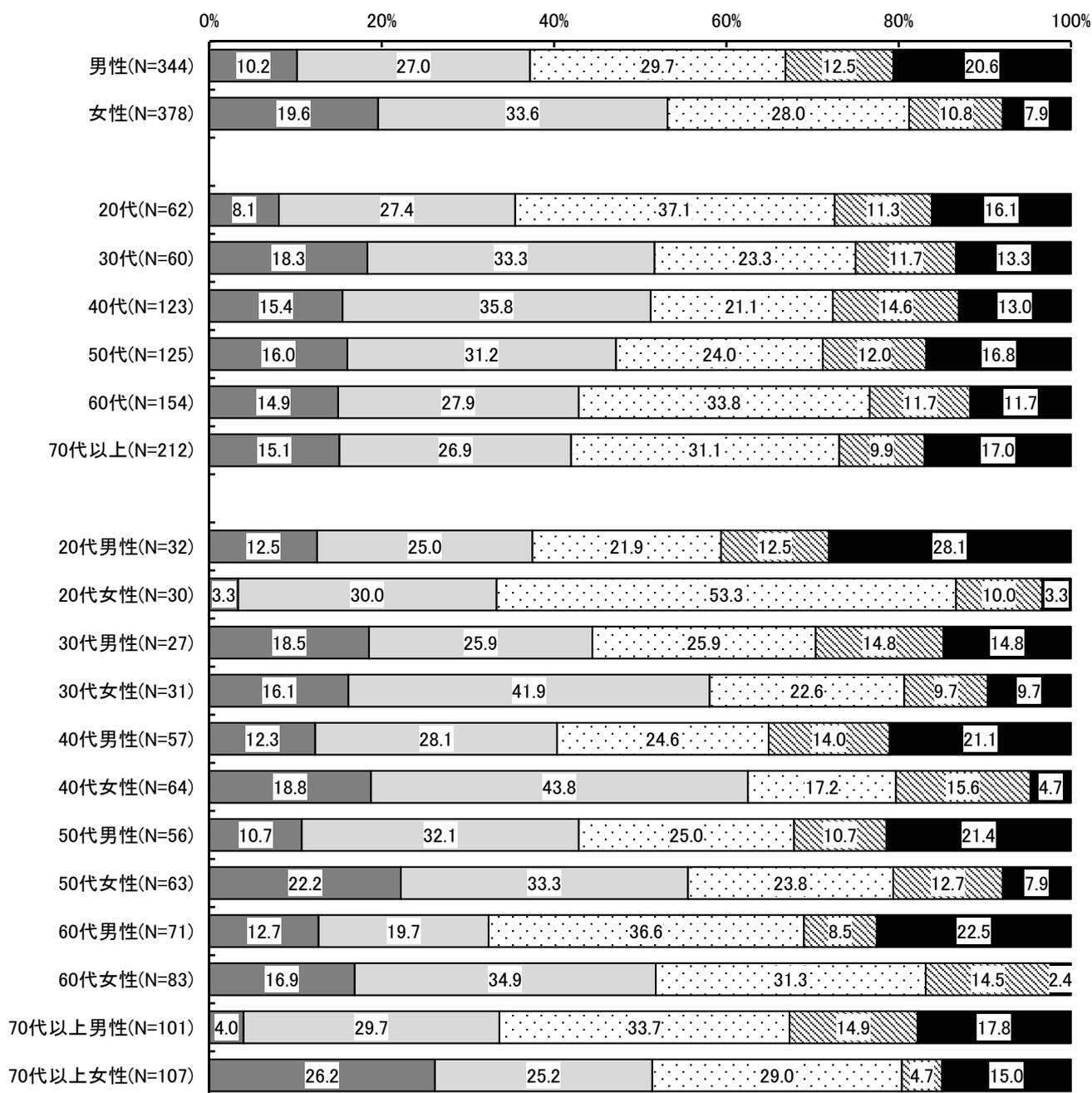
1回の運動時間はどの程度ですか。(〇は1つ)

前回調査と比べ、「30分程度」以下が増加。女性は、「1時間30分程度」以下で約8割、男性は、「1時間程度」以下で約6割となっている。

【全体】



【性別・年齢別】

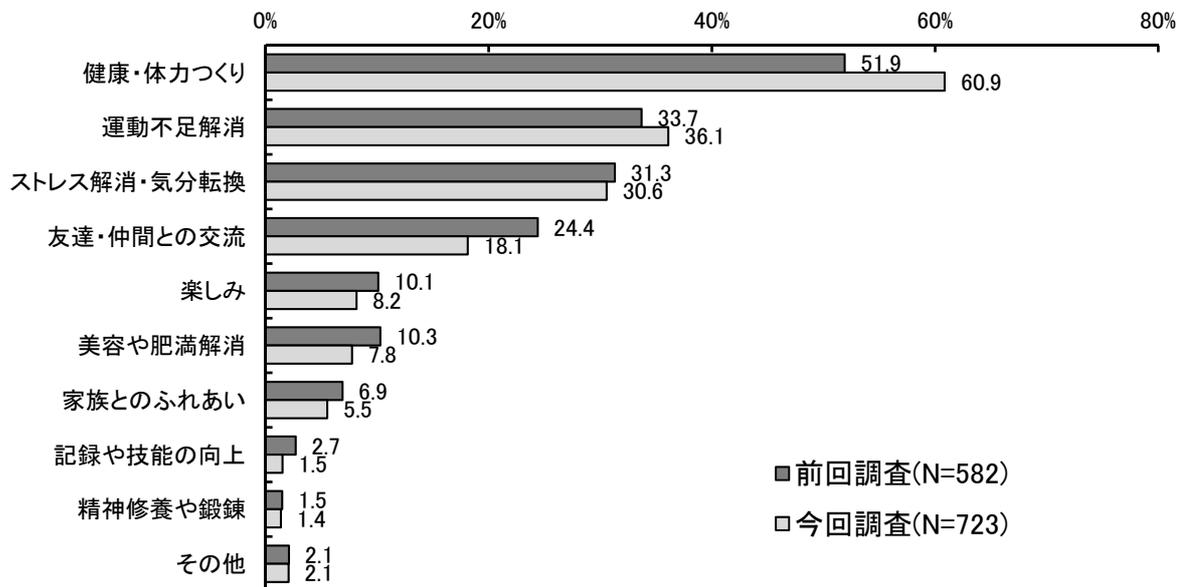


問12 <問8で「59：この1年間に運動・スポーツはしなかった」以外を選択した方のみお答えください。>

運動やスポーツを行う理由は何ですか。(〇は2つまで)

前回調査と比べ、「健康・体力づくり」が9.0ポイント増加。「運動不足解消」、「ストレス解消・気分転換」が3割台となっている。

【全体】

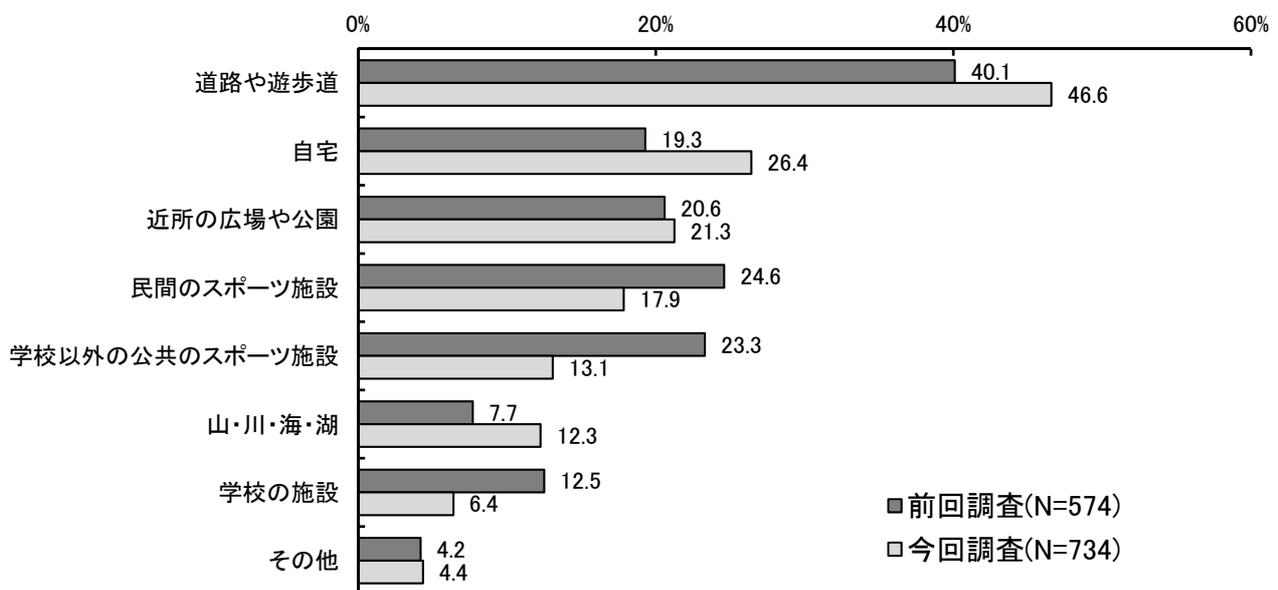


問13 <問8で「59：この1年間に運動・スポーツはしなかった」以外を選択した方のみお答えください。>

運動やスポーツを主にどのような場所で行いましたか。(〇は2つまで)

前回調査と比べ、「道路や遊歩道」が6.5ポイント増加。「自宅」も7.1ポイント増加。

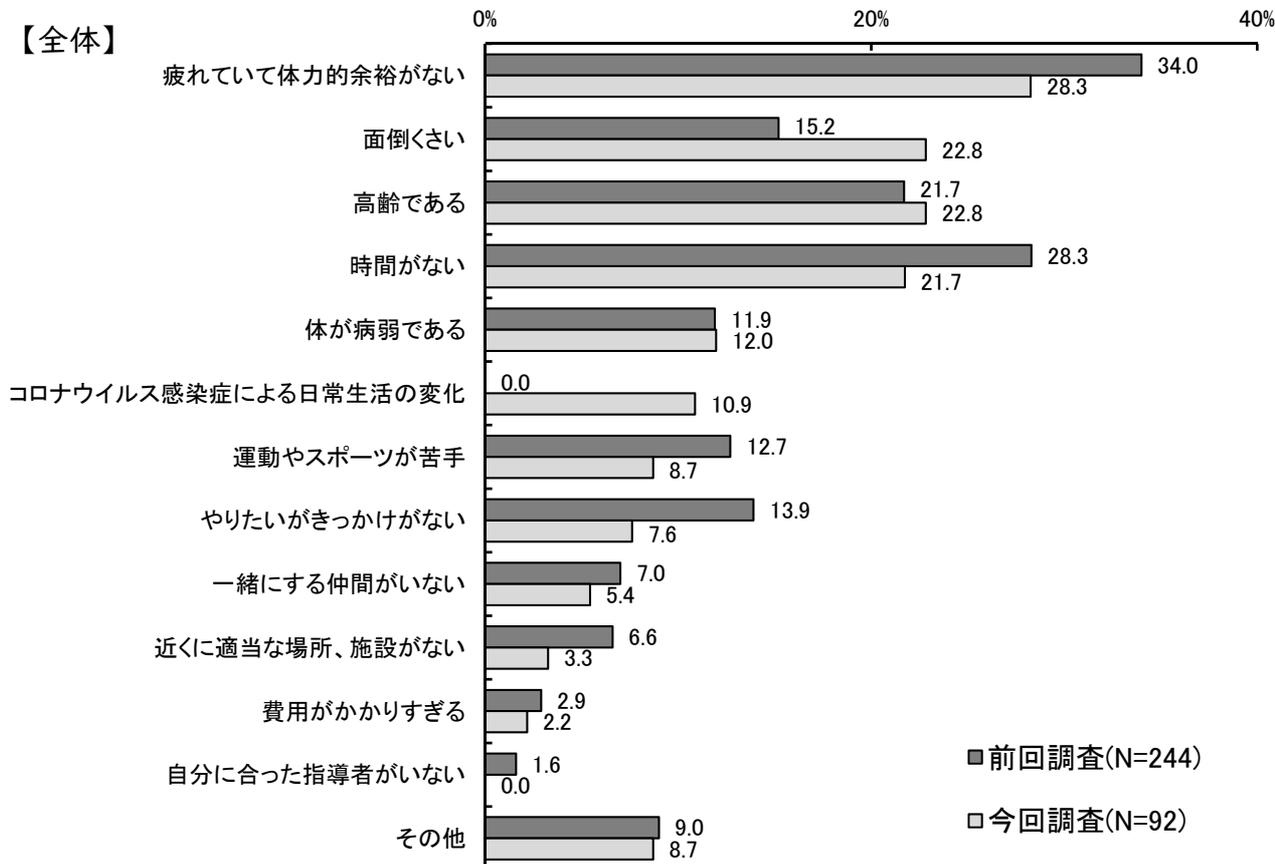
【全体】



問14 <問8で「59：この1年間に運動・スポーツはしなかった」を選択した方のみお答えください。>

運動やスポーツをしなかった理由は何ですか。（○は2つまで）

前回調査と比べ、「疲れていて体力的余裕がない」が5.7ポイント減少。「面倒くさい」は7.6ポイント増加。



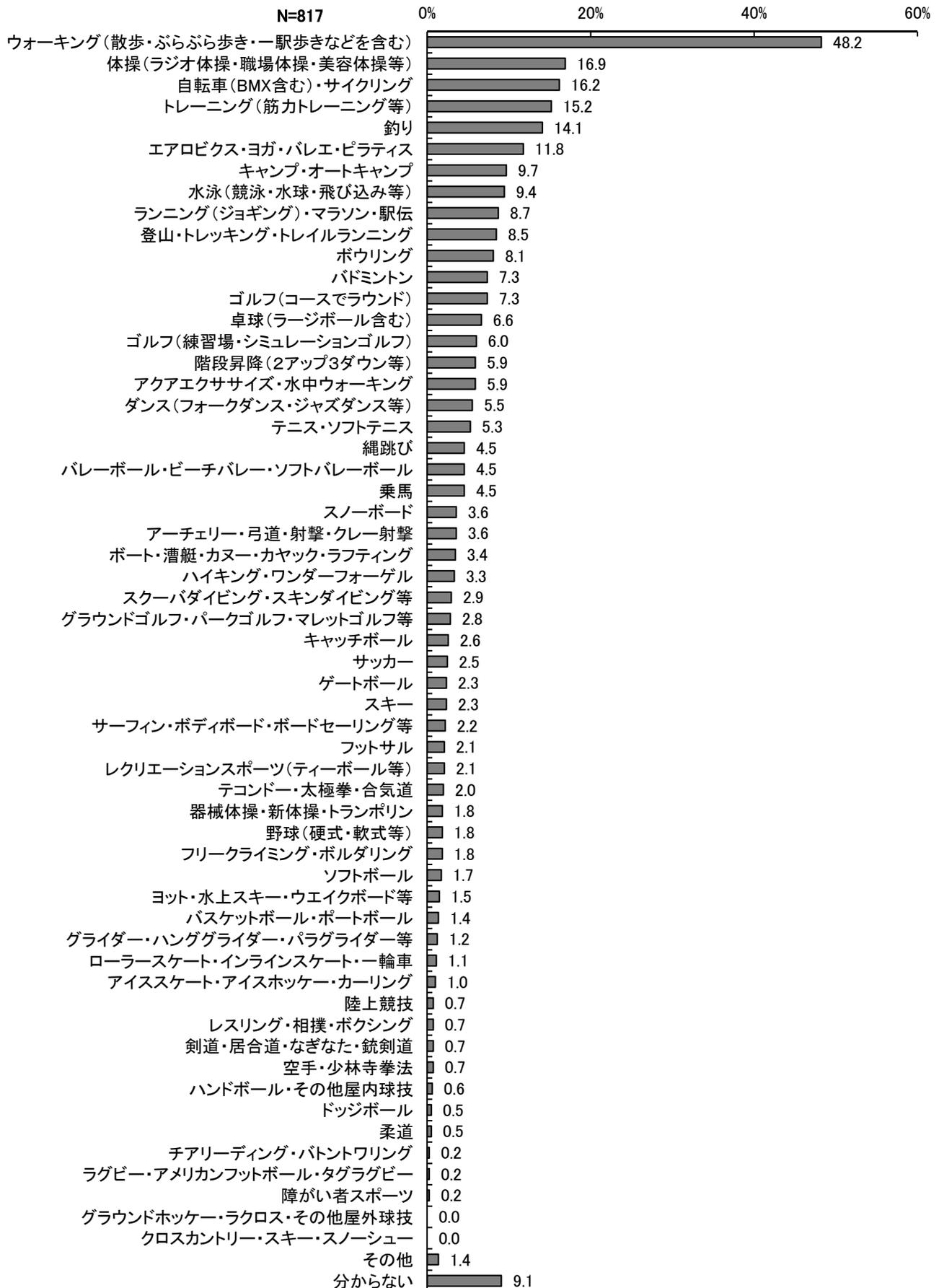
問14-1 <問8で「59：この1年間に運動・スポーツはしなかった」を選択した方のみお答えください。>

問14で選択した理由について、行政側でどのように改善・配慮したら運動やスポーツを行いますか。（自由記述）

- ・ 時間や運動量が選べて、安価に利用できる施設があればよい。（他1件）
- ・ 思ったときにすぐにできる場所があればよい。（他4件）
- ・ 近くに、少人数でも使える場所があればよい。
- ・ （コロナの）感染者数によります。
- ・ スポーツイベントの時に有名なプロ選手を呼ぶ。（他1件）
- ・ スポーツができる場所までの足がないので、市内循環バスの充実。
- ・ 高齢者に合う運動があればよい。（他1件）
- ・ リハビリを加えた講座開設。
- ・ 地域による施設利用可否のバラツキを無くして欲しい。
- ・ 利用可否情報が個人利用者に伝わり難い。
- ・ スキマ時間に気軽にできるスポーツを教えてもらえるとか。
- ・ 子どもを預けられたり、子どもと一緒に身体を動かすイベントがあればよい。（他21件）
- ・ 健康パスポート見せたらお店で使えるクーポンが出るとよい。（他3件）

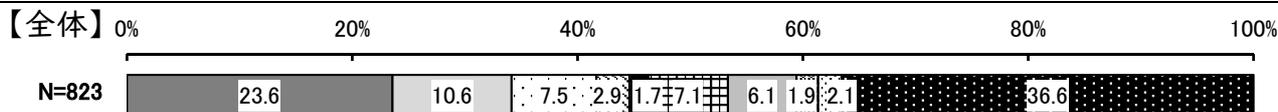
問15 今後してみたい運動やスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)

ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)は約5割、「体操」、「自転車・サイクリング」、「トレーニング」、「釣り」、「エアロビクス等」が1割台となっている。

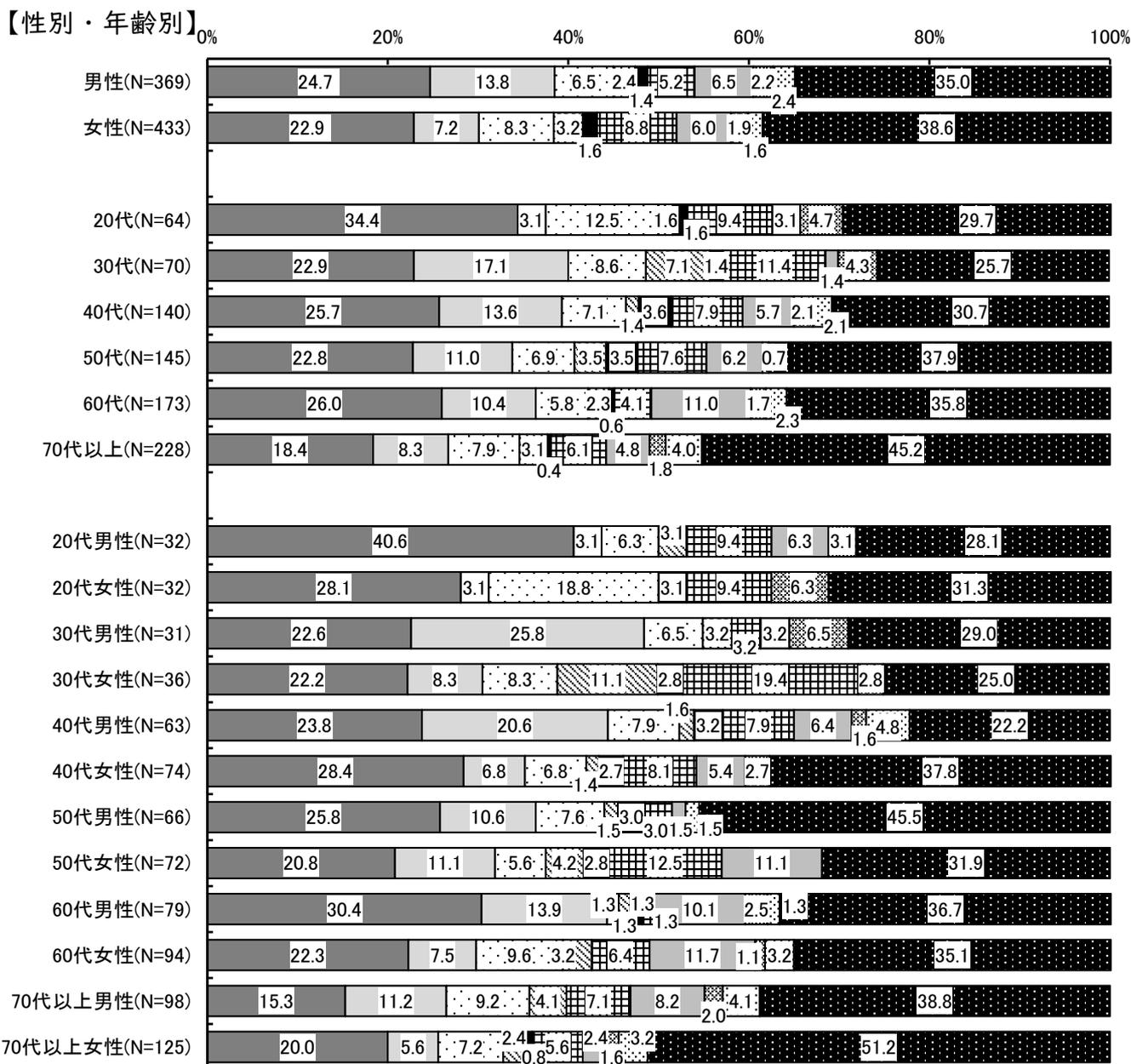


問16 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動活動への影響・変化についてお答えください。(〇は1つ)

「感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った」が約2割、「感染の懸念から、一緒にスポーツ・運動をしていた仲間との集まりを控え、スポーツ・運動の機会が減った」が約1割であるが、「特に変化はない」が3割を超えている。



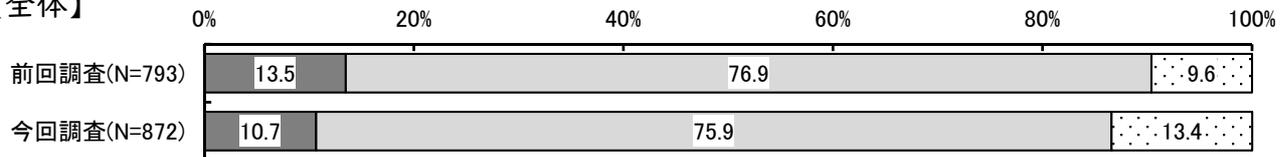
- 感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った
- 感染の懸念から、一緒にスポーツ・運動をしていた仲間との集まりを控え、スポーツ・運動の機会が減った
- スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った
- ▣ スポーツ・運動教室等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った
- 自宅以外の場所(職場等)での活動状況が変わることで、スポーツ・運動の機会が減った
- 田 自宅でスポーツ・運動する機会が増えた
- 道路や遊歩道でスポーツ・運動する機会が増えた
- ▣ 広場や公園でスポーツ・運動する機会が増えた
- その他
- 特に変化はない



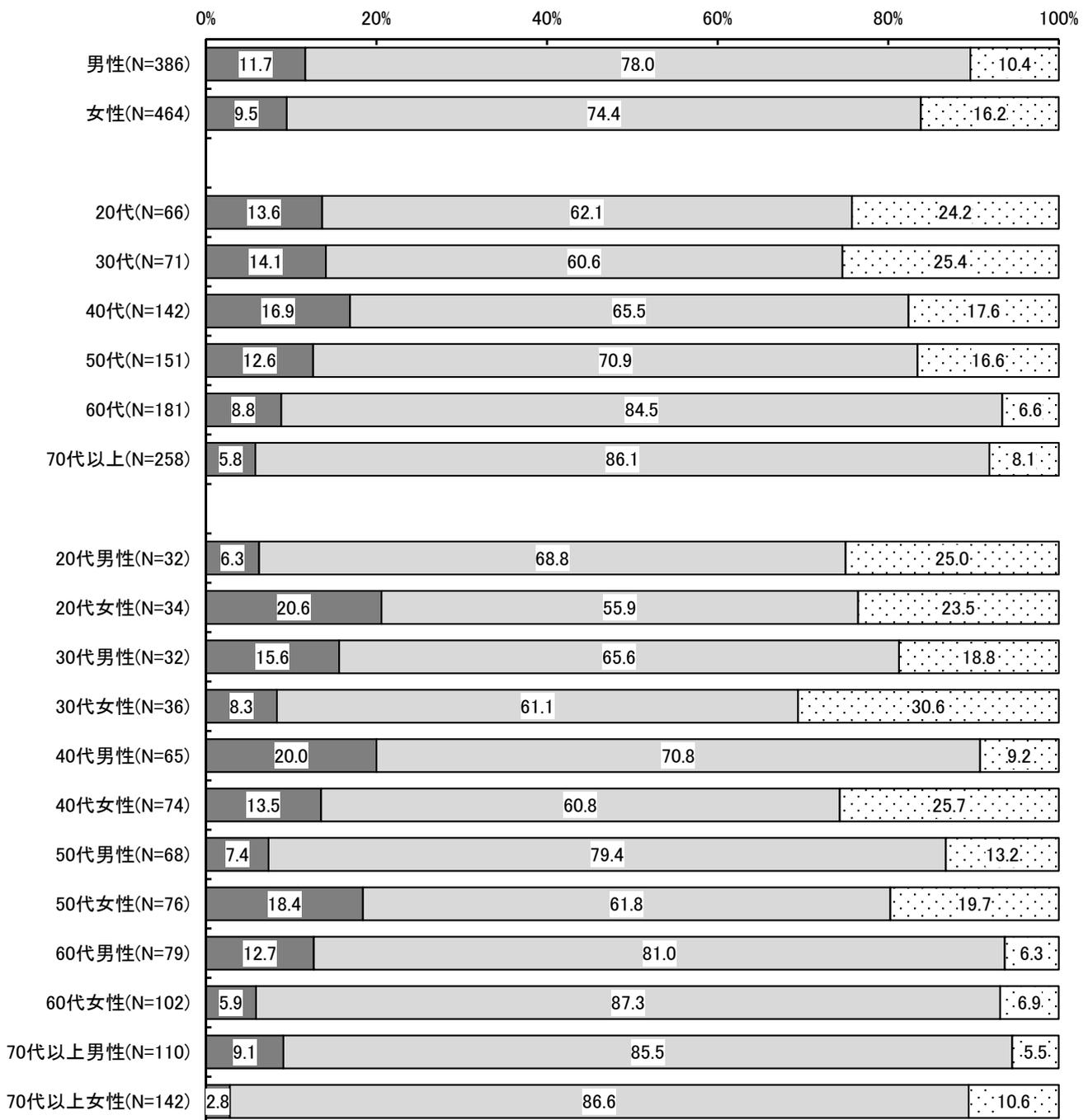
問17 あなたは、スポーツを観戦したり、テレビで見たり、ラジオで聴いたりすることがありますか。(○は1つ)

前回調査と比べ、「実際に見に行く」が2.8ポイント減少。

【全体】



【性別・年齢別】

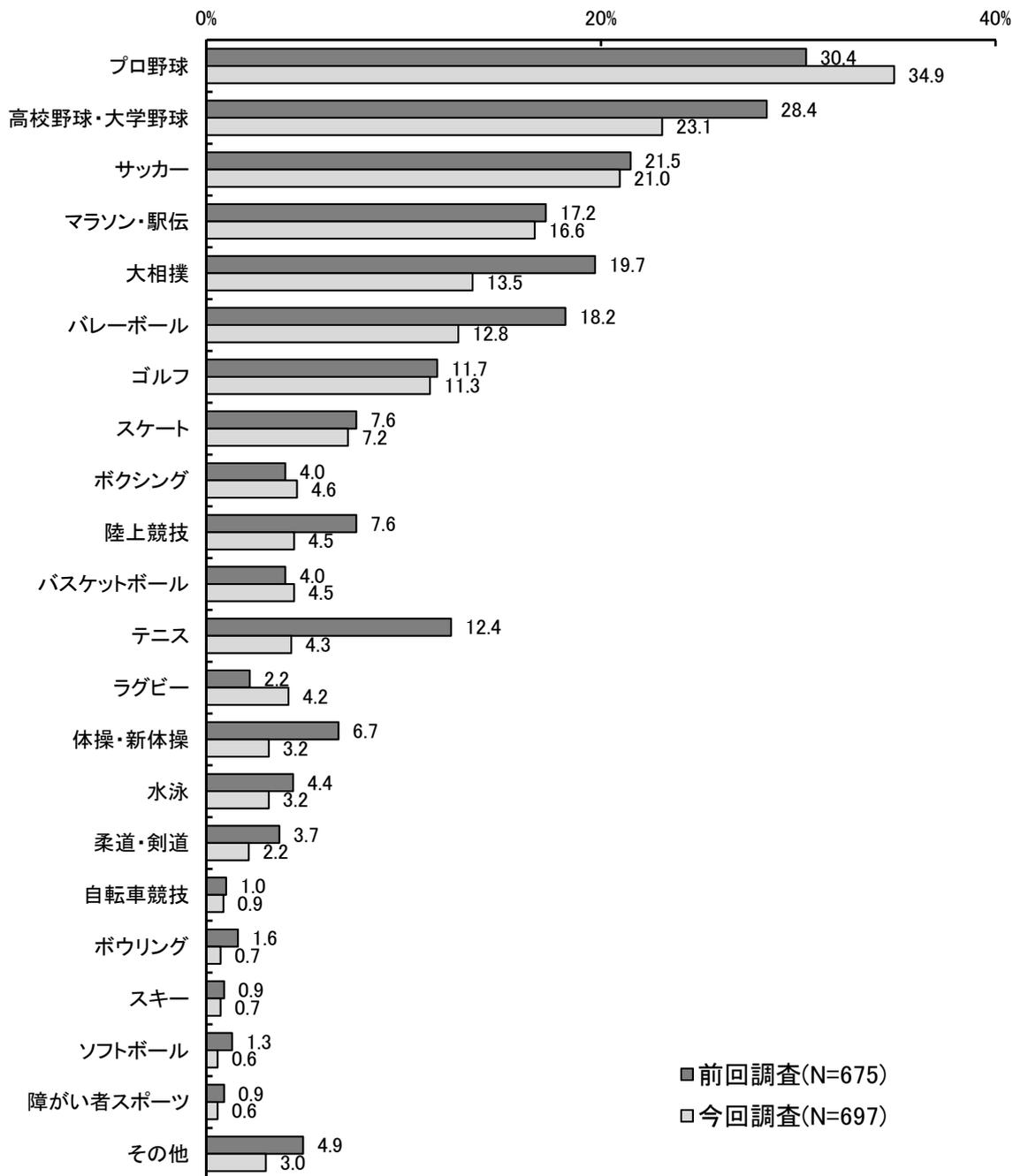


問18 <問17で「1：実際に見に行く」「2：実際に見に行かないが、テレビで見たり、ラジオで聴いたりする」を選択した方のみお答えください。>

観戦したスポーツの中で、特に、関心のある種目は何ですか。(〇は2つまで)

観戦したスポーツは、「野球」が前回調査より4.5ポイント増加し、「高校野球・大学野球」は5.3ポイント減少。「野球」と「サッカー」は2割を超えている。

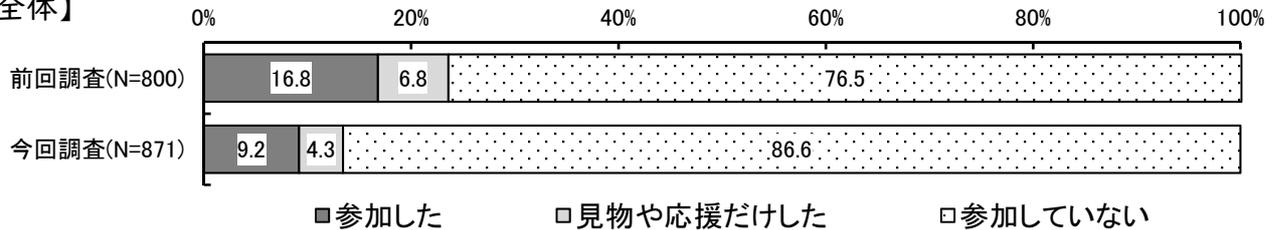
【全体】



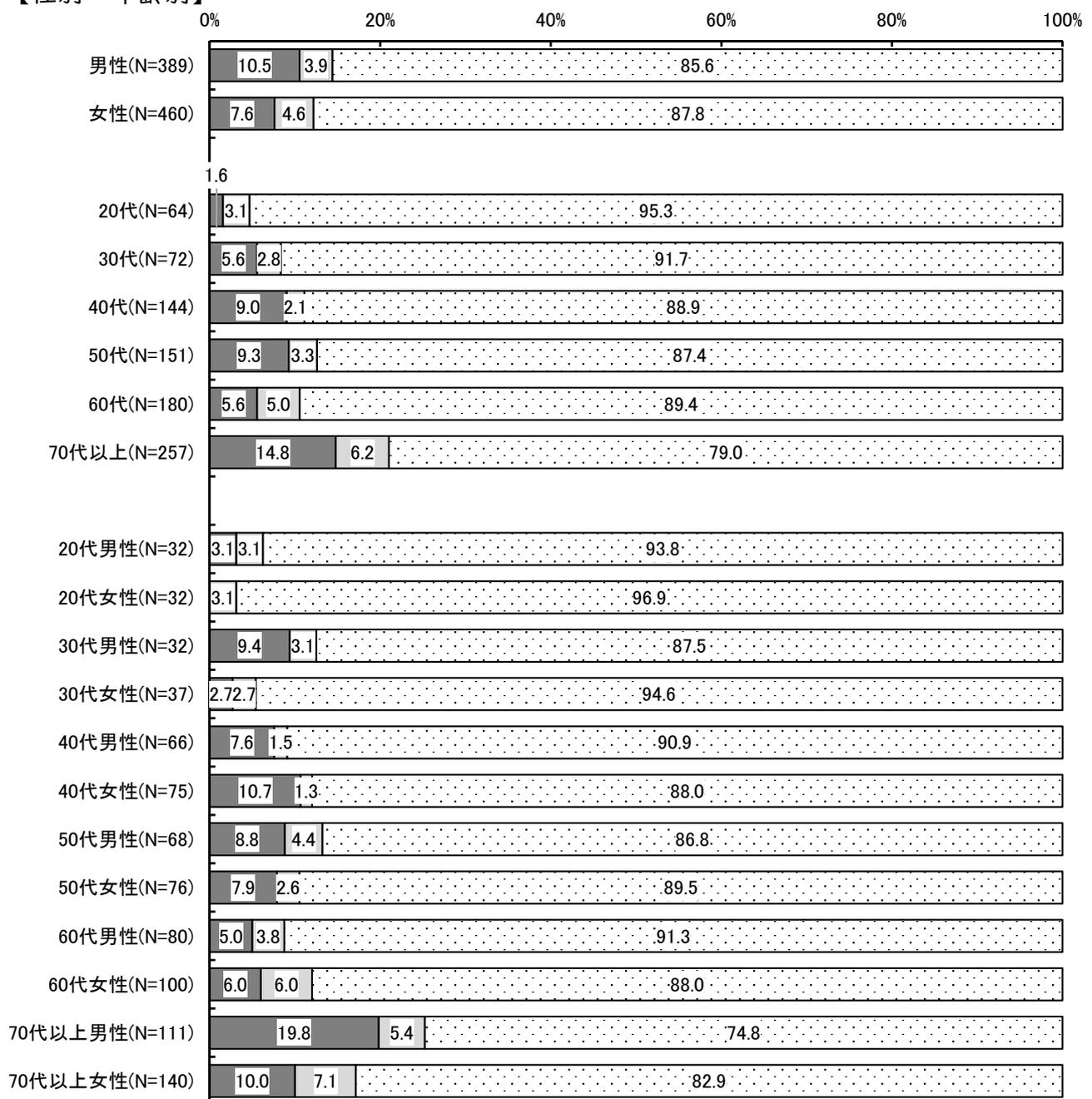
問19 あなたは、この1年間に地域団体（地域スポーツ協会・町内会・自治会・公民館等）が主催したスポーツ行事に参加したことはありますか。（〇は1つ）

前回調査に比べ、「参加した」が7.6ポイント減少。年齢が上がるほど、「参加した」が高くなる。「参加していない」が増加した要因は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていると思われる。

【全体】



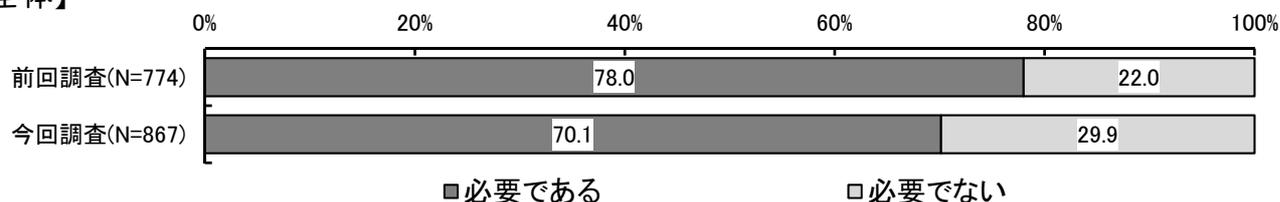
【性別・年齢別】



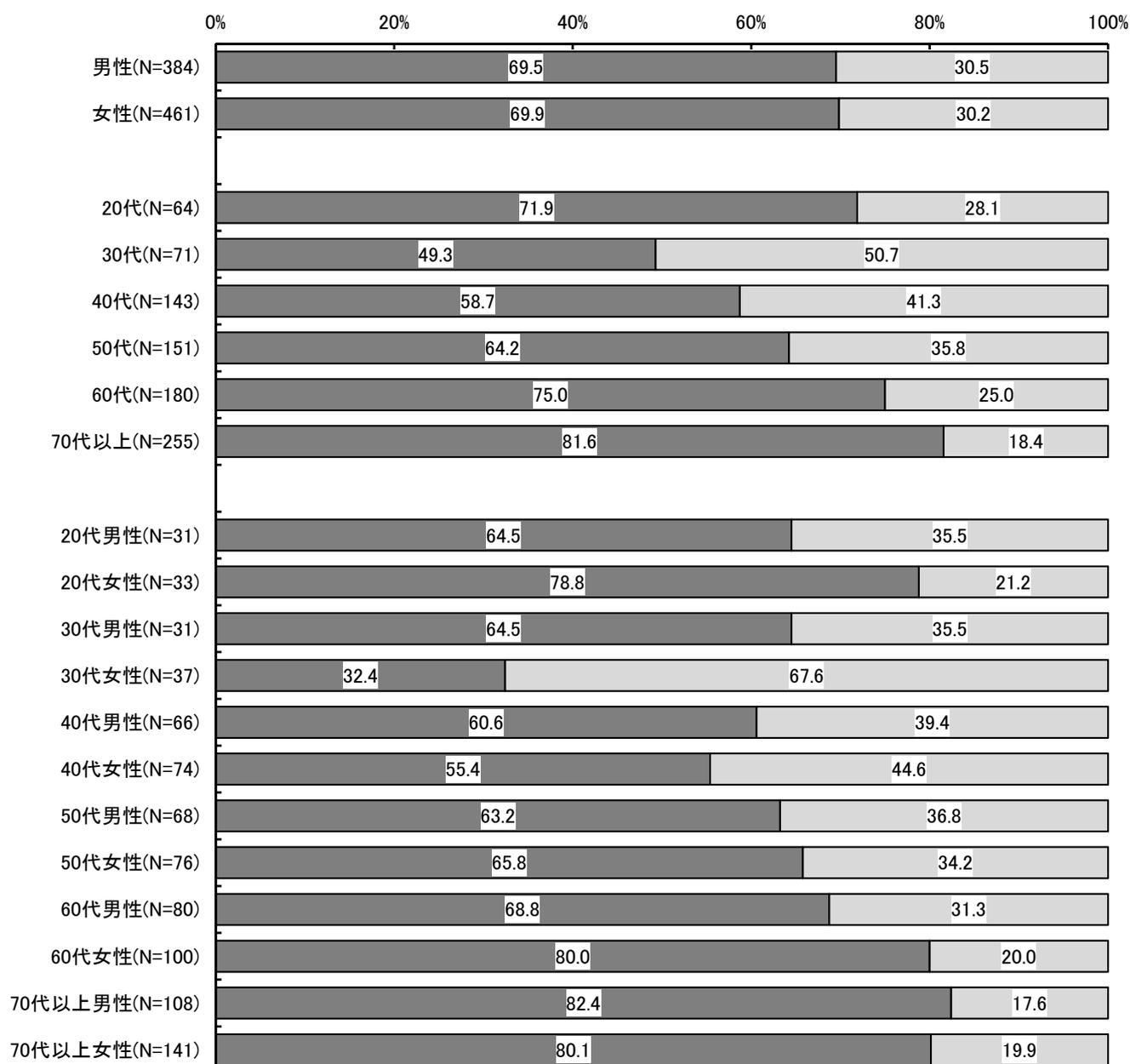
問20 地域団体（地域スポーツ協会・町内会・自治会・公民館等）が主催したスポーツ行事は必要だと思いますか。（〇は1つ）

前回調査に比べ、「必要である」が7.9ポイント減少。20代を除いて年齢が上がるほど高くなる。

【全体】



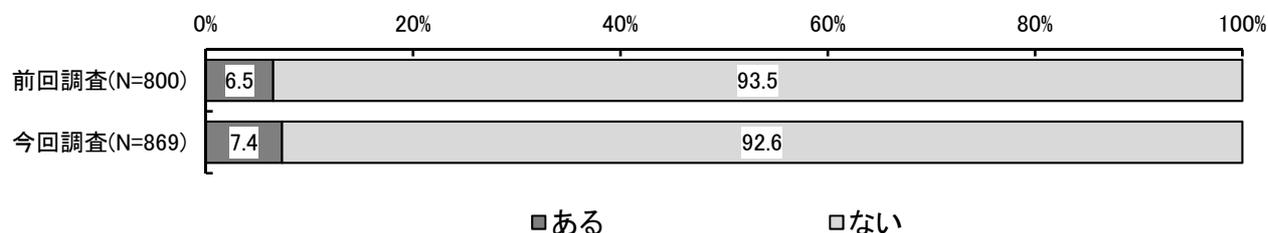
【性別・年齢別】



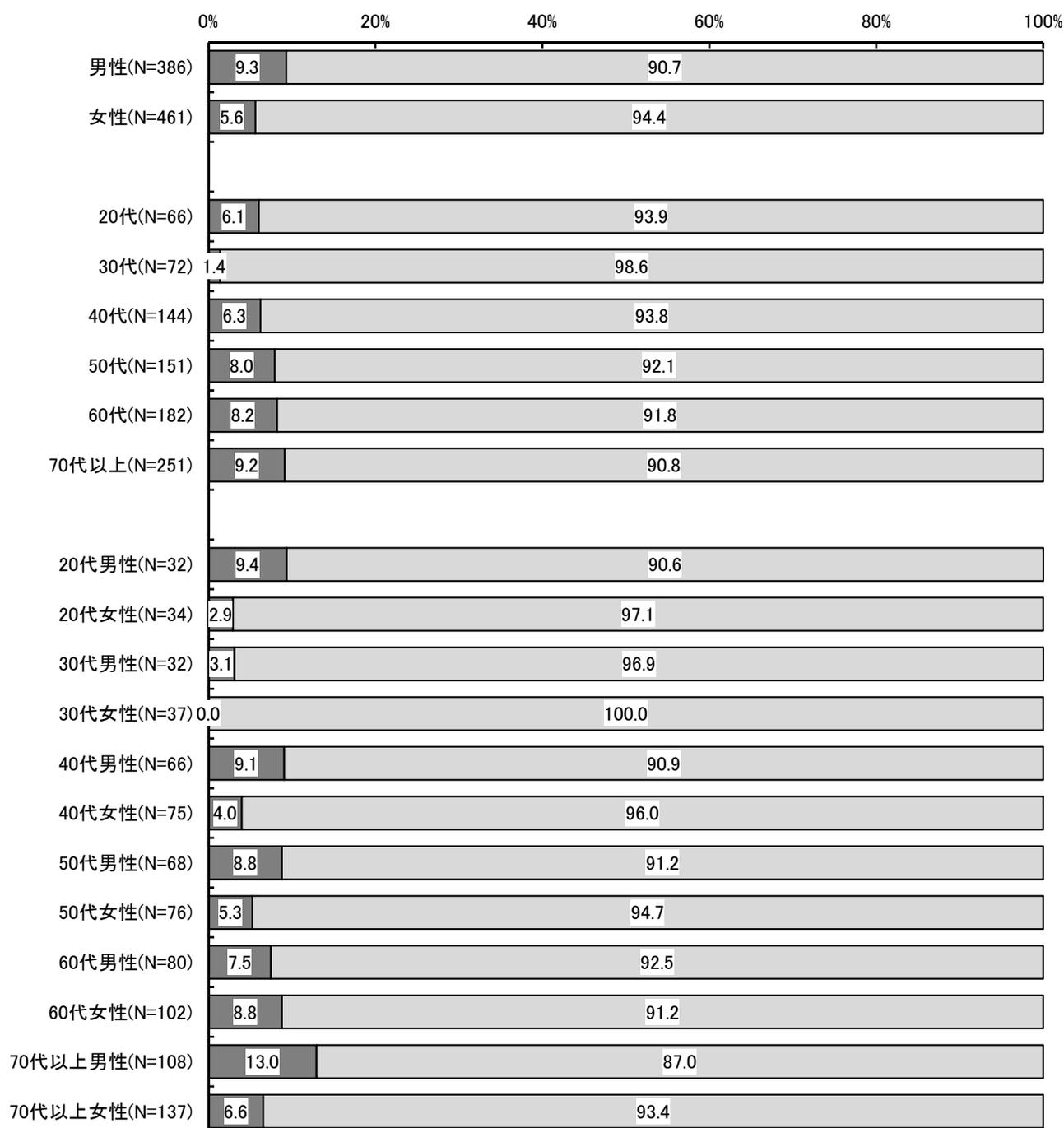
問21 あなたは、この1年間に何らかのスポーツに関わるボランティア活動に参加したことがありますか。(〇は1つ)

前回調査と比べて差はほとんどない。「ある」は、全年代で1割未満。

【全体】



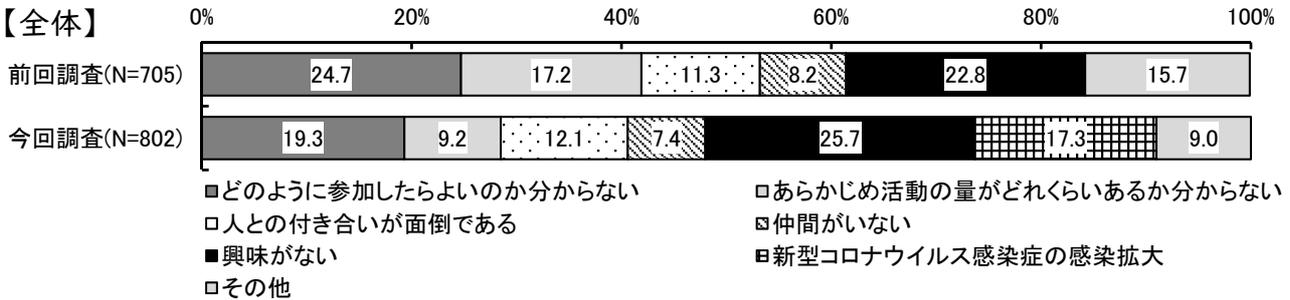
【性別・年齢別】



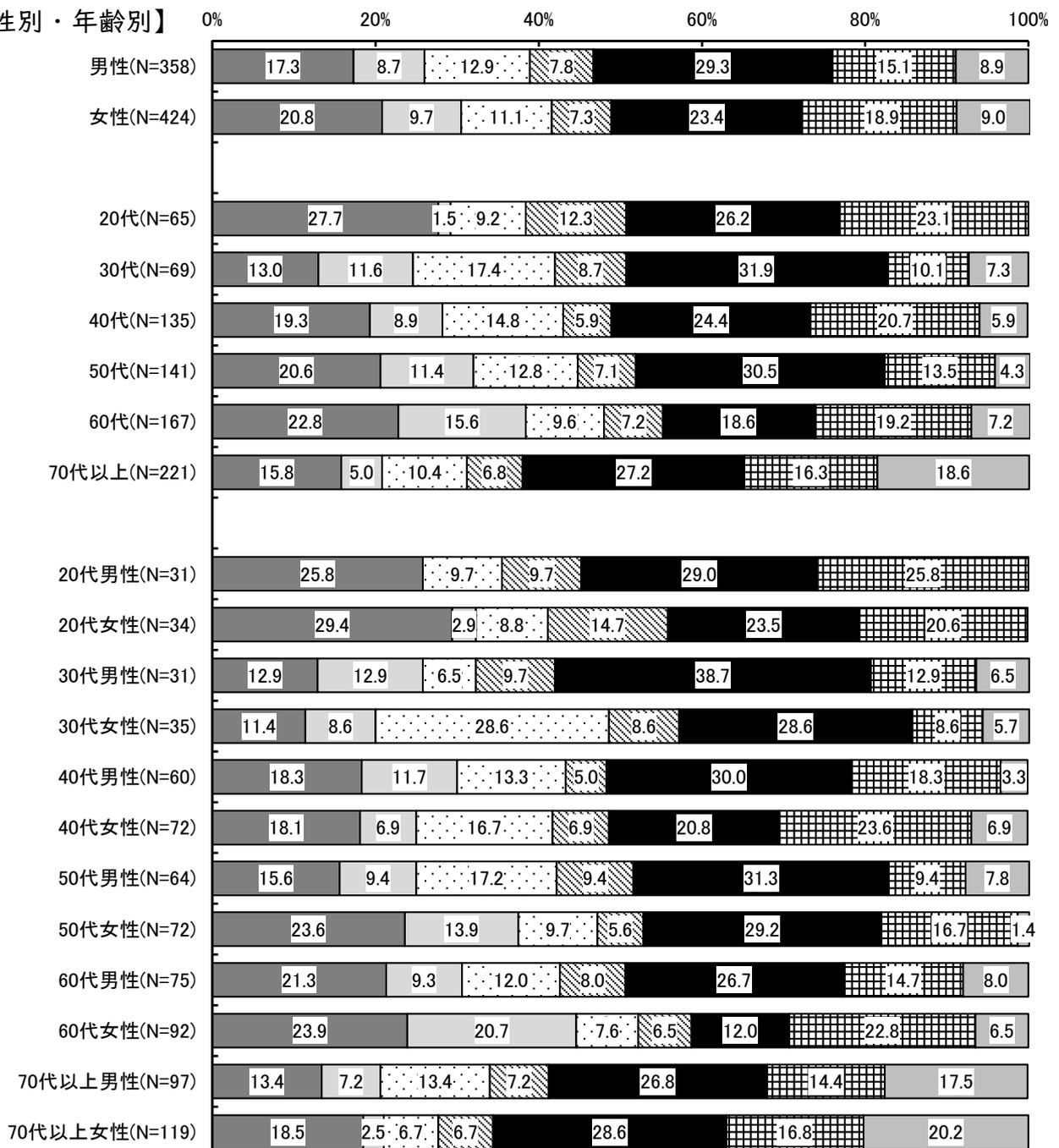
問22 あなたが、スポーツに関わるボランティア活動に参加するにあたって課題となっていることは何ですか。(〇は1つ)

前回調査と比べて、「興味がない」が2.9ポイント増加。「どのように参加したらよいのか分からない」が5.4ポイント減少。

【全体】



【性別・年齢別】

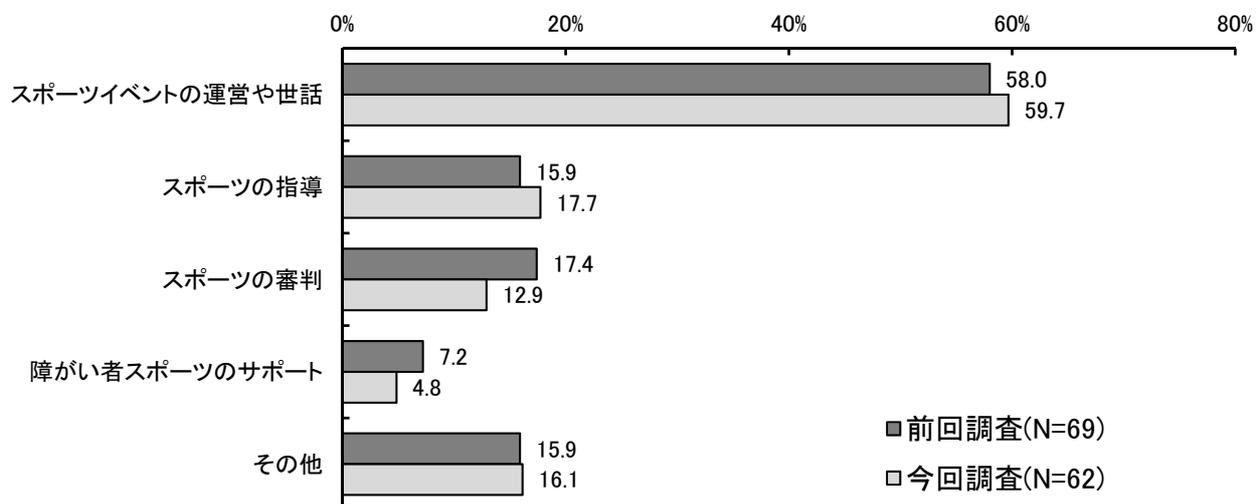


問23 <問21で「1：ある」を選択した方のみお答えください。>

参加したボランティアは何ですか。(〇はいくつでも)

前回調査と比べて、差がほとんどない。スポーツに関わるボランティア活動への参加は、「スポーツイベントの運営や世話」が5割を超えている。

【全体】

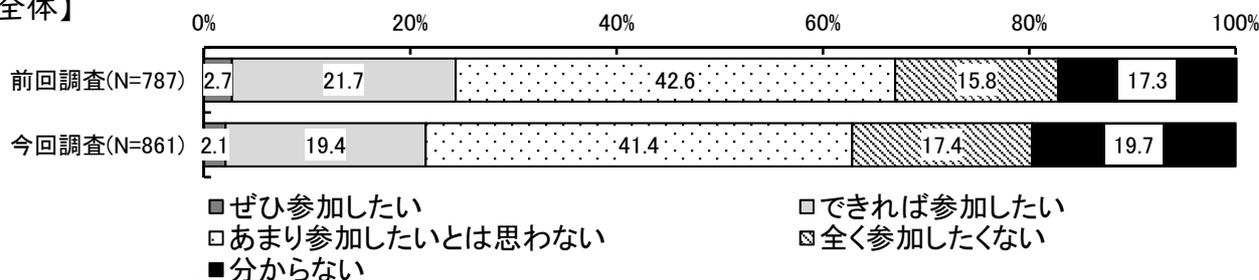


問24 今後、あなたはスポーツに関わるボランティア活動に参加したいと思いますか。

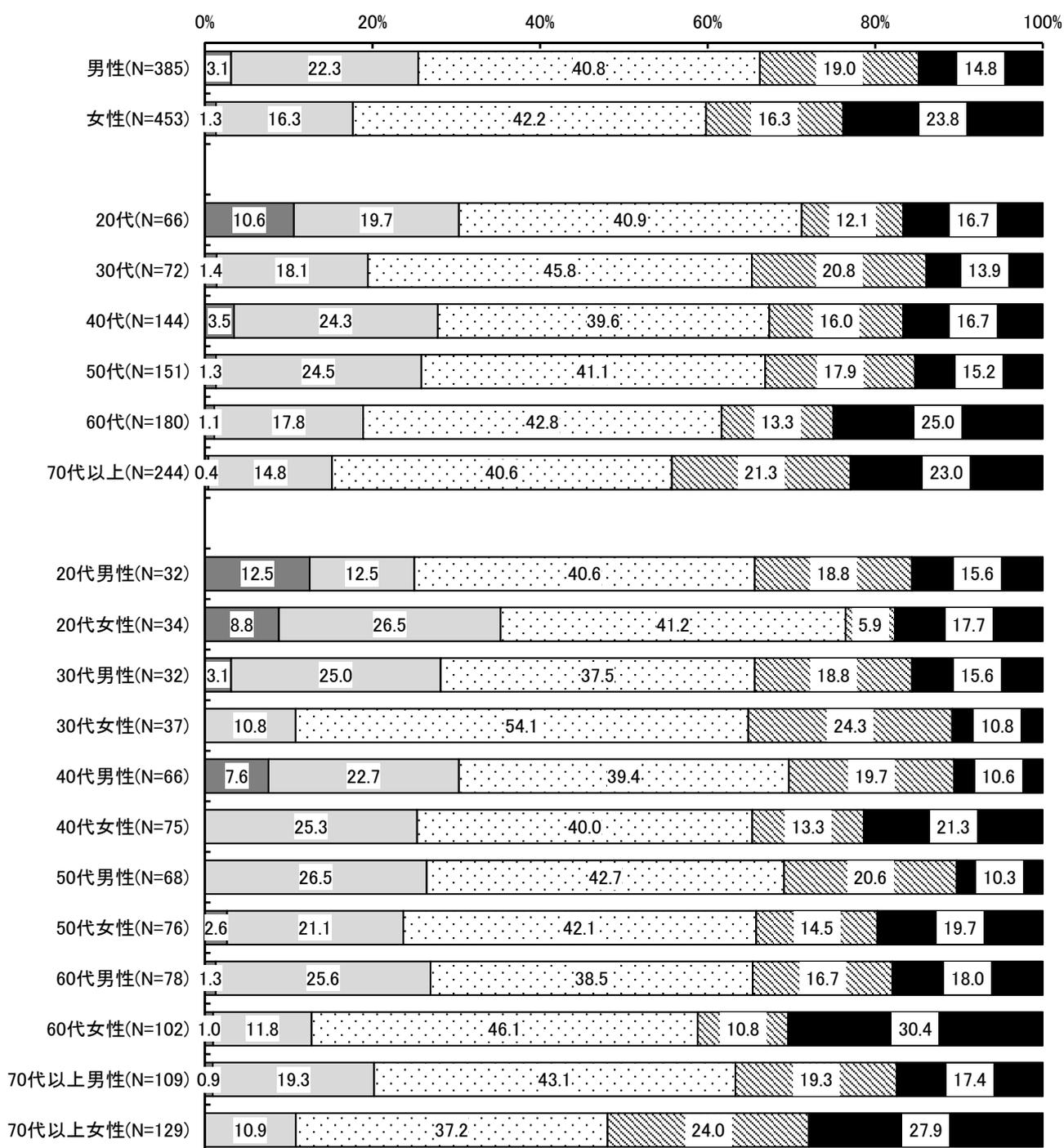
(○は1つ)

前回調査と比べて、「あまり参加したいとは思わない」が1.2ポイント減少。「ぜひ参加したい」2.1%、「できれば参加したい」19.4%、参加意向は2割程度。

【全体】



【性別・年齢別】

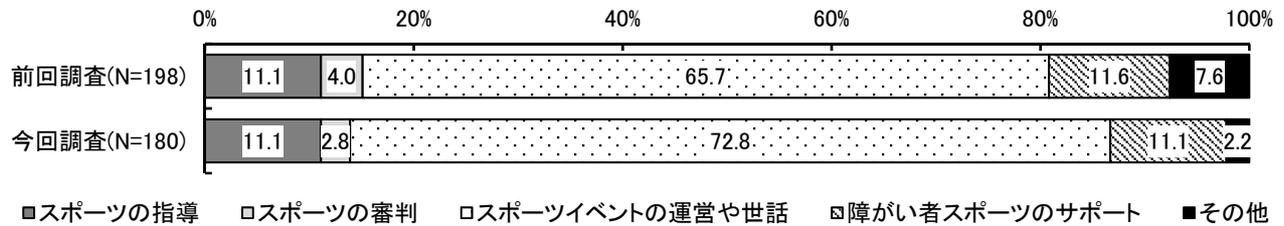


問25 <問24で「1：ぜひ参加したい」「2：できれば参加したい」を選択した方のみお答えください。>

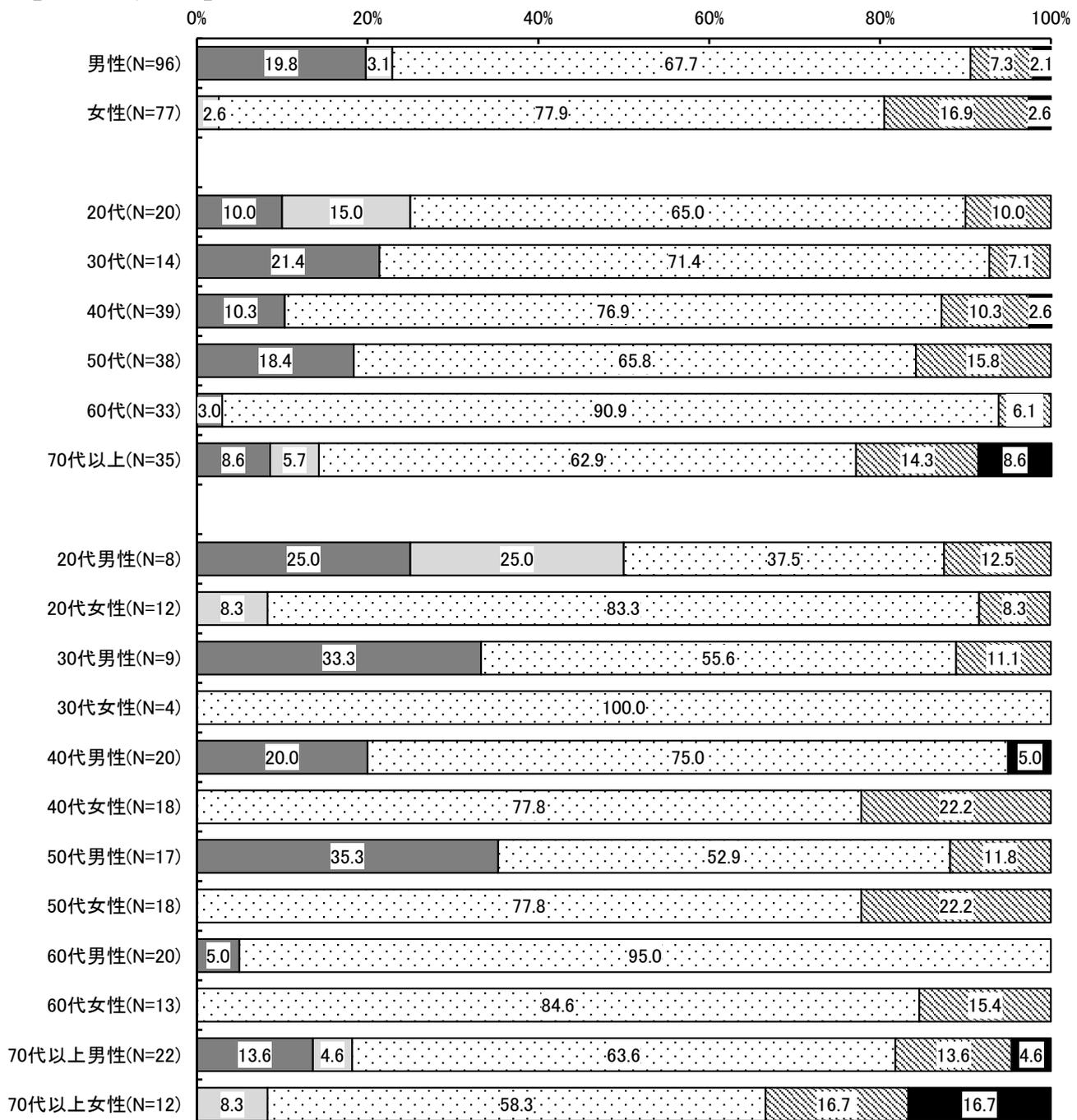
今後、どのようなボランティア活動に参加したいですか。（〇は1つ）

前回調査と比べて、「スポーツイベントの運営や世話」が7.1ポイント増加。女性は、「スポーツの指導」がなく、「スポーツイベントの運営や世話」が多い。

【全体】



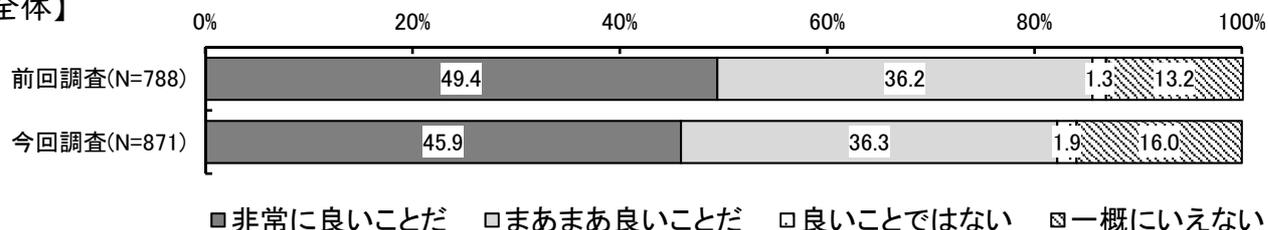
【性別・年齢別】



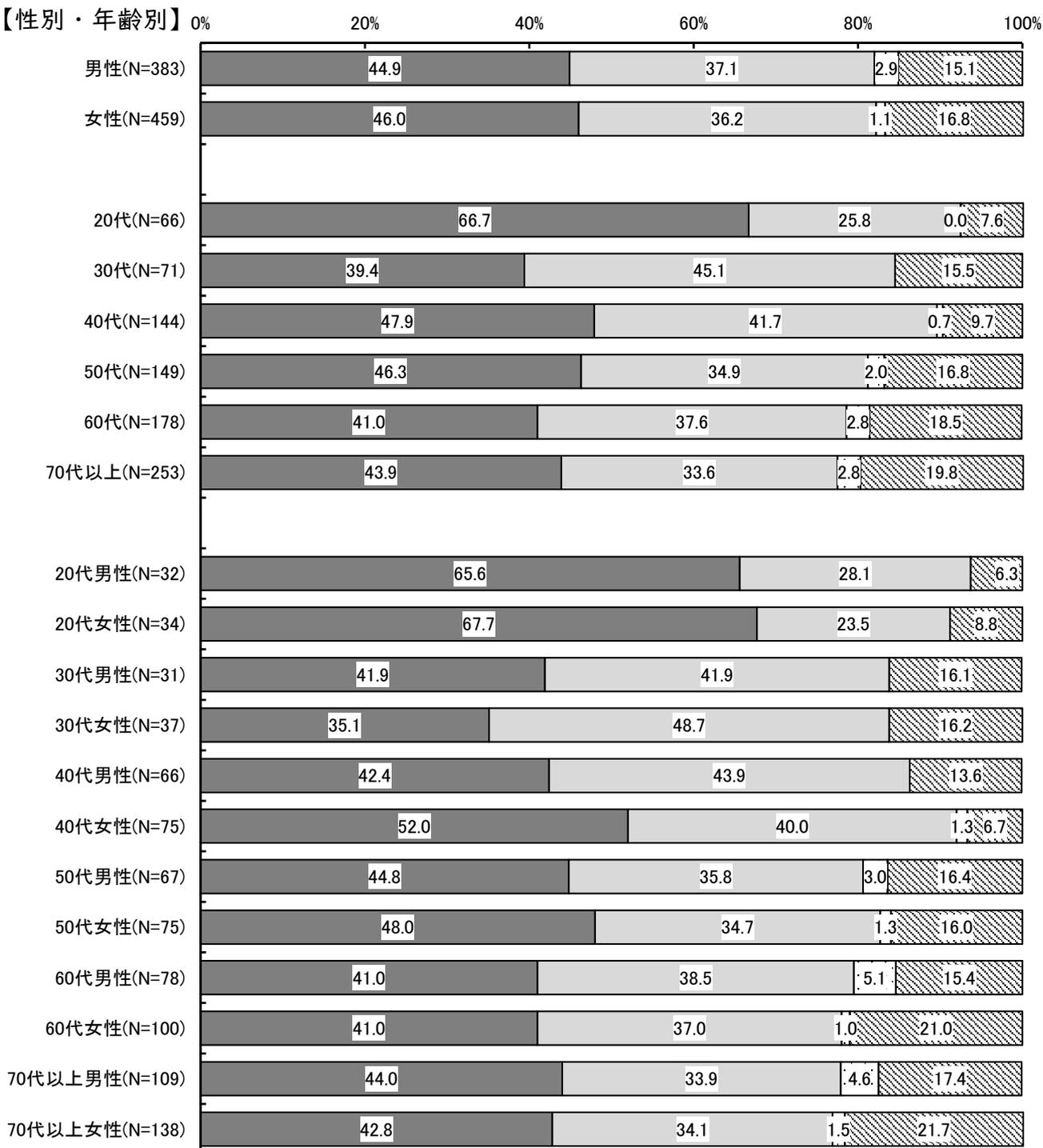
問26 あなたは、本県で世界選手権大会等のスポーツの大きなイベントを開催することについてどう思いますか。(〇は1つ)

前回調査と比べて、「非常に良いことだ」が21.8ポイント減少。20代は大きなスポーツイベント開催を望んでいる。

【全体】



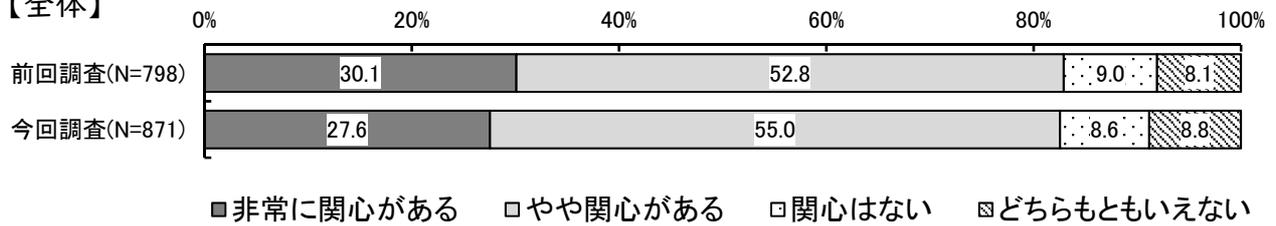
【性別・年齢別】



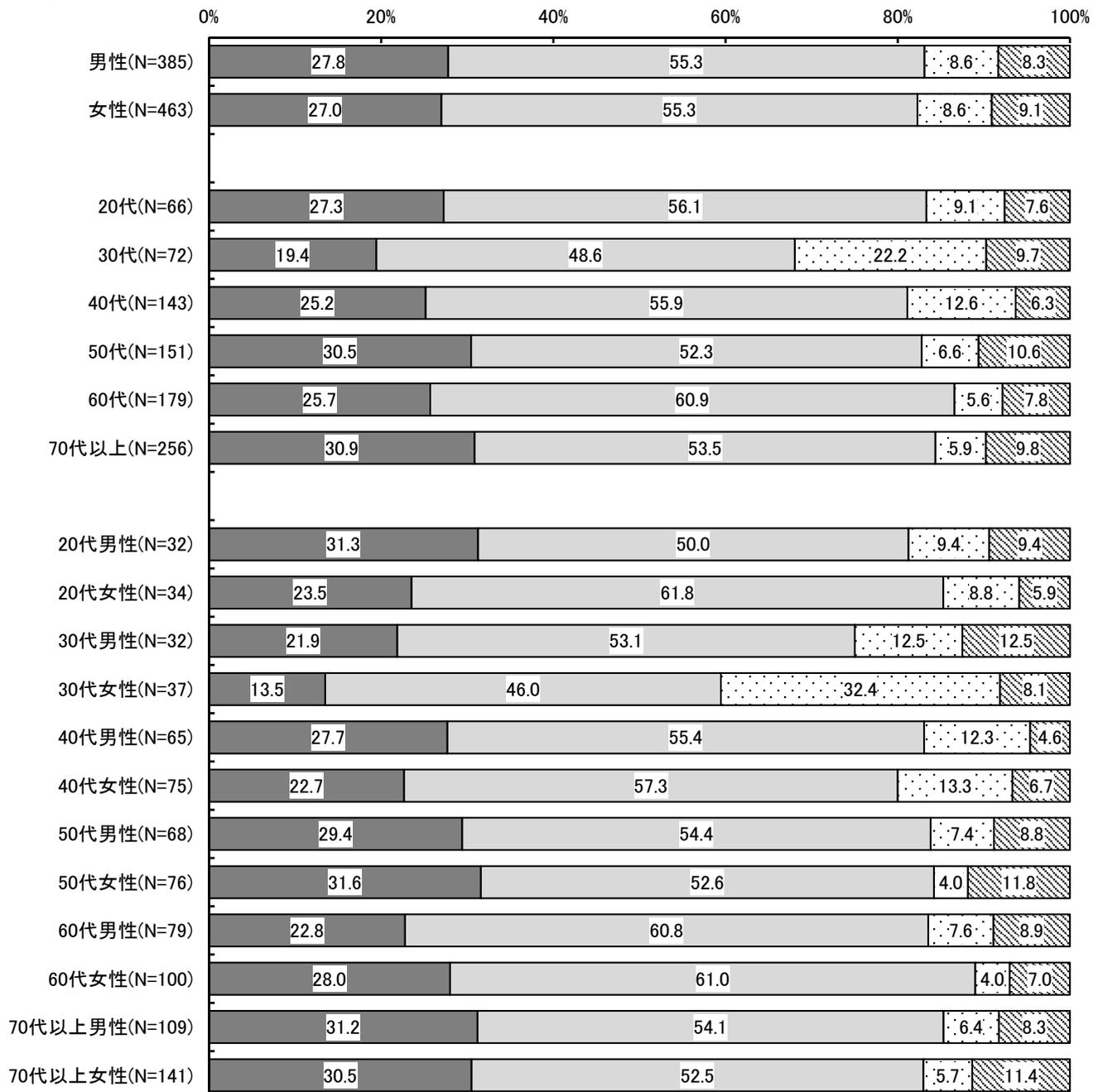
問27 あなたは、オリンピックや国民体育大会などの国内外の各種競技大会における本県選手の活躍に関心がありますか。(〇は1つ)

前回調査と比べて、「非常に関心がある」が2.5ポイント減少。

【全体】



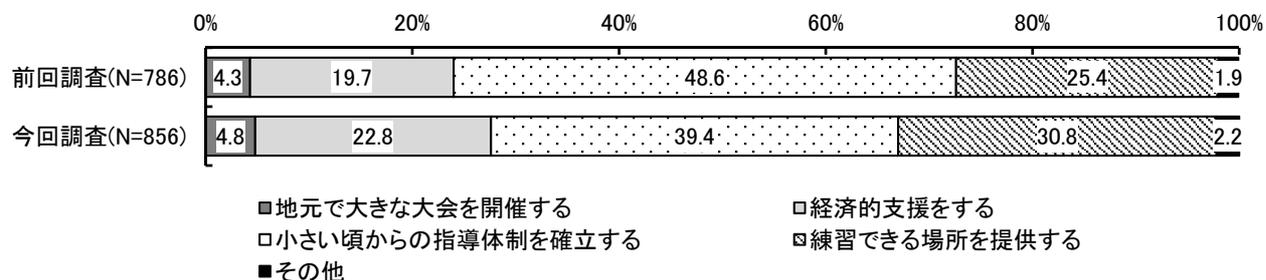
【性別・年齢別】



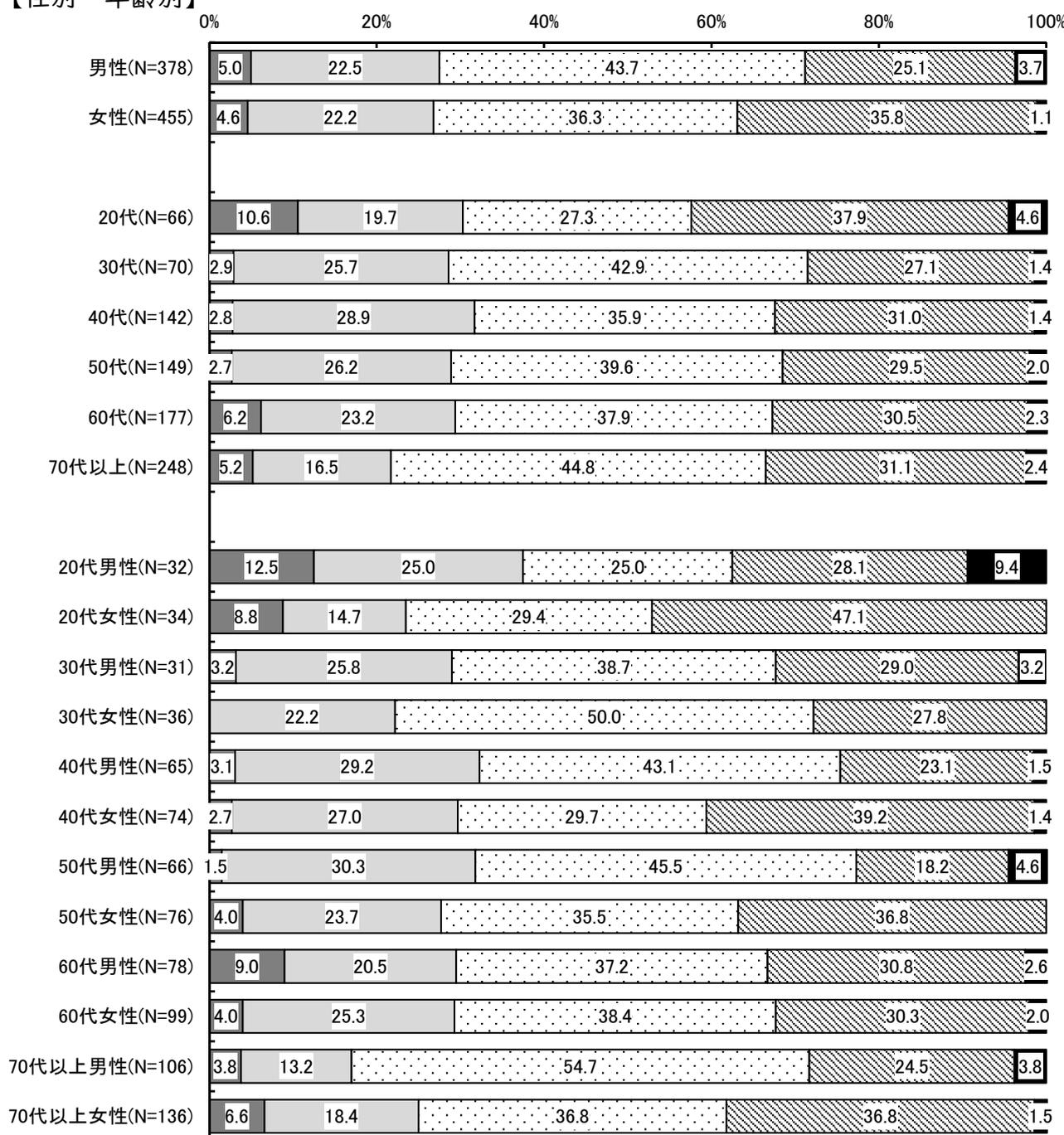
問28 地元選手を育成するためには、何が重要だと思いますか。(〇は1つ)

前回調査と比べて、「小さな頃からの指導体制を確立する」が9.2ポイント減少、「練習できる場所を提供する」が5.4ポイント増加。

【全体】



【性別・年齢別】

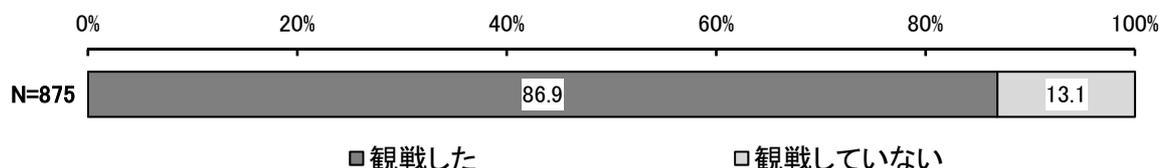


4 東京オリンピック・パラリンピックについて

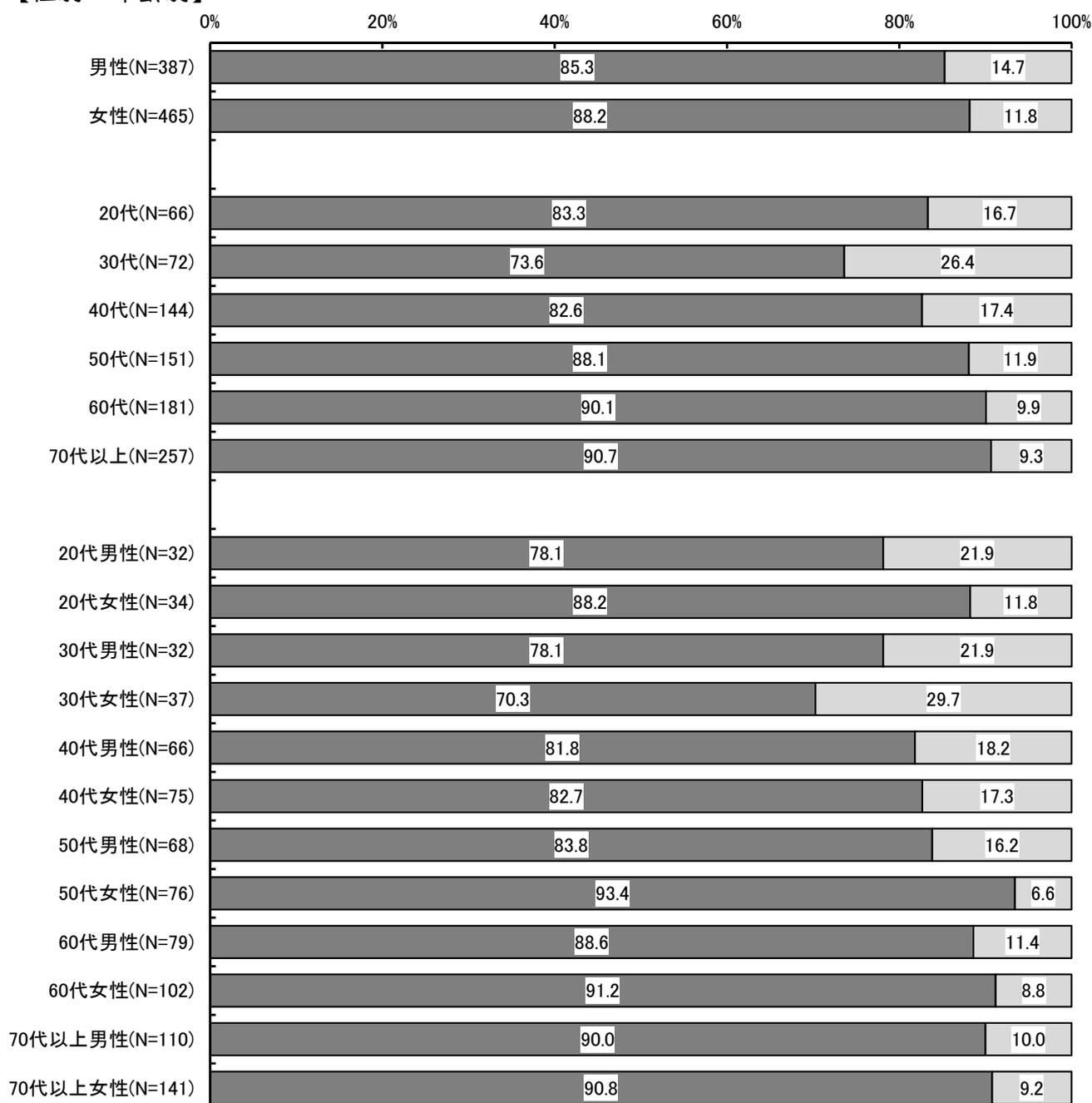
問29 あなたは「東京オリンピック・パラリンピック」を観戦しましたか。(テレビやインターネットでの観戦を含む。)

「観戦した」が8割を超えている。年代別では、30代が7割で他の年齢は8割以上。

【全体】



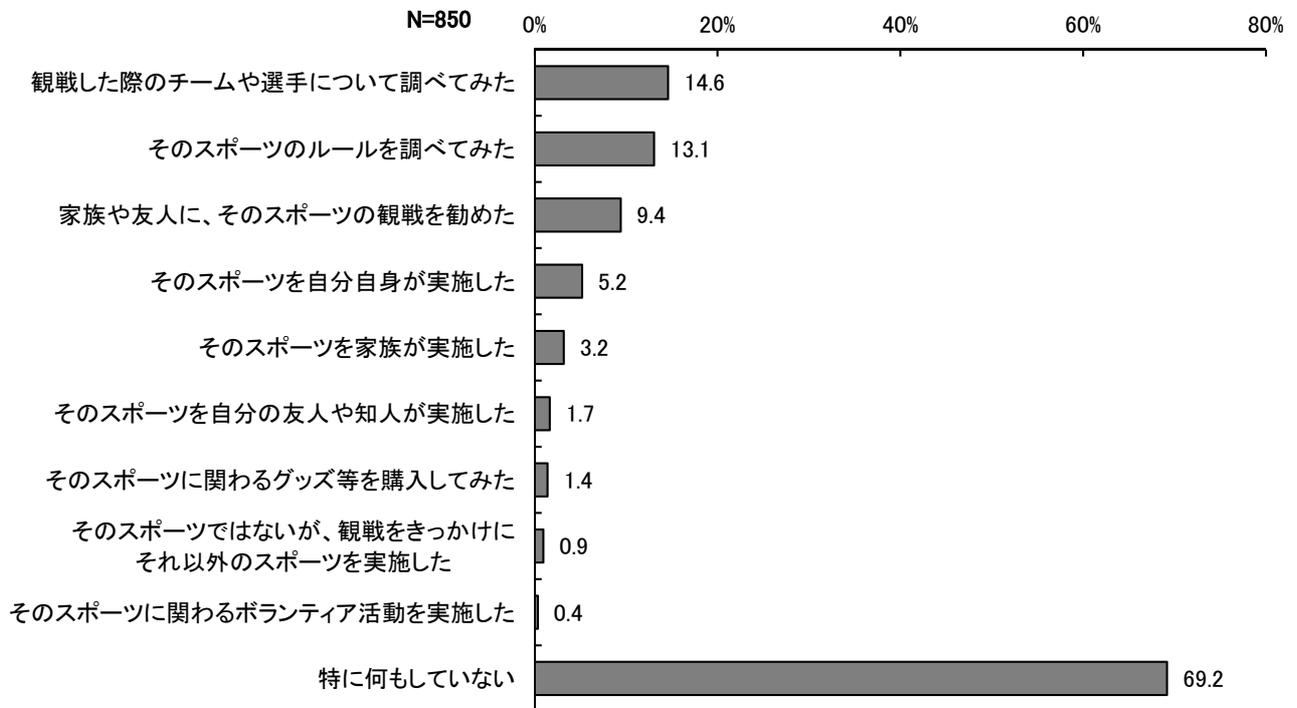
【性別・年齢別】



問30 あなたが「東京オリンピック・パラリンピック」で観戦したスポーツについて、その後どのような関わりを持ちましたか。(〇はいくつでも)

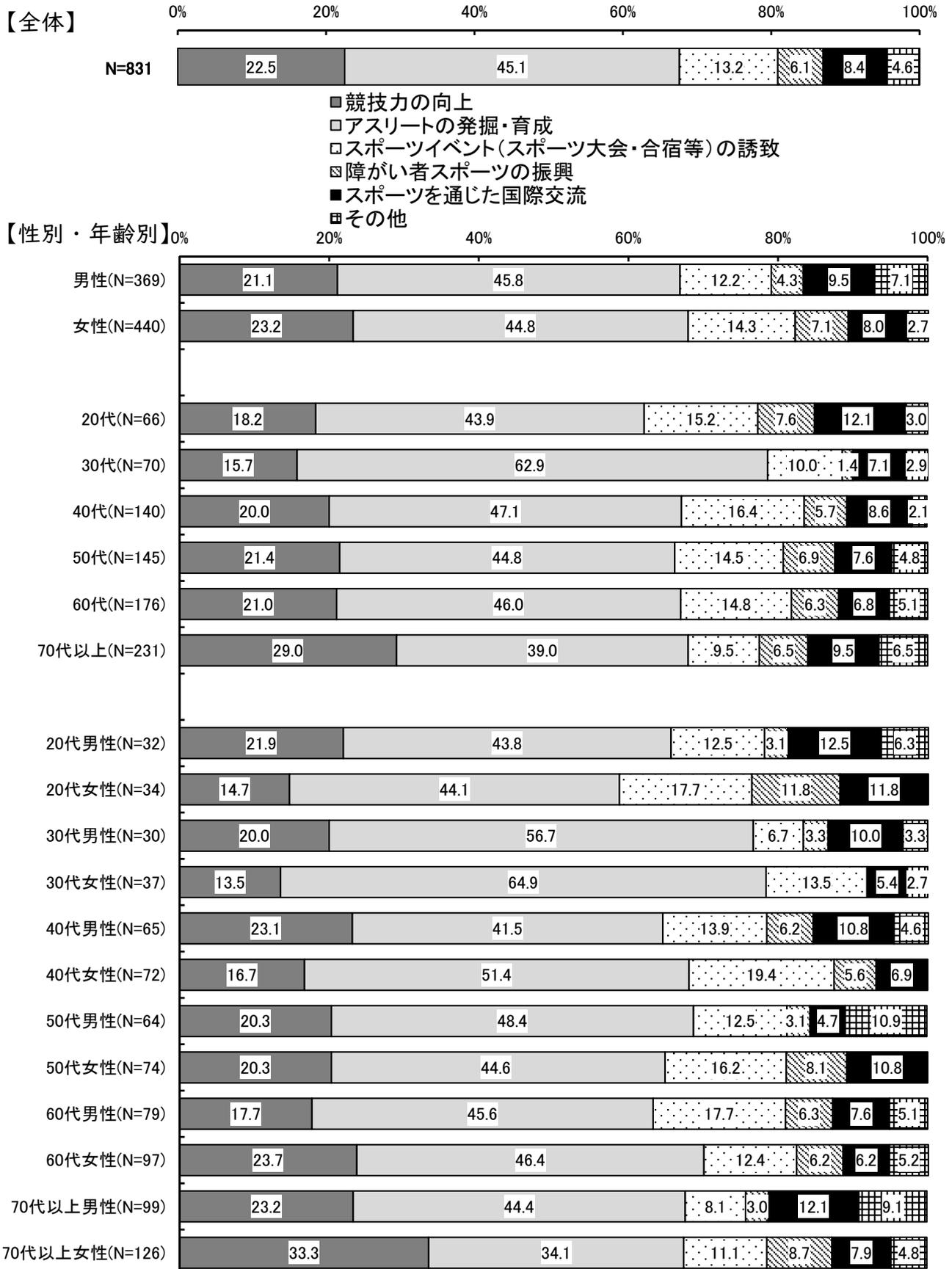
「特に何もしていない」が7割弱、東京オリンピック・パラリンピックへの関わりは、1割台以下と関心が薄い。

【全体】



問3 1 東京オリンピック・パラリンピック開催後の本県のスポーツ振興策として求めるものは何ですか。(〇は1つ)

「アスリートの発掘・育成」が4割を超え、「競技力の向上」が2割を超えているが、他は1割以下と少ない。



5 愛媛の地域密着型プロスポーツ球団について

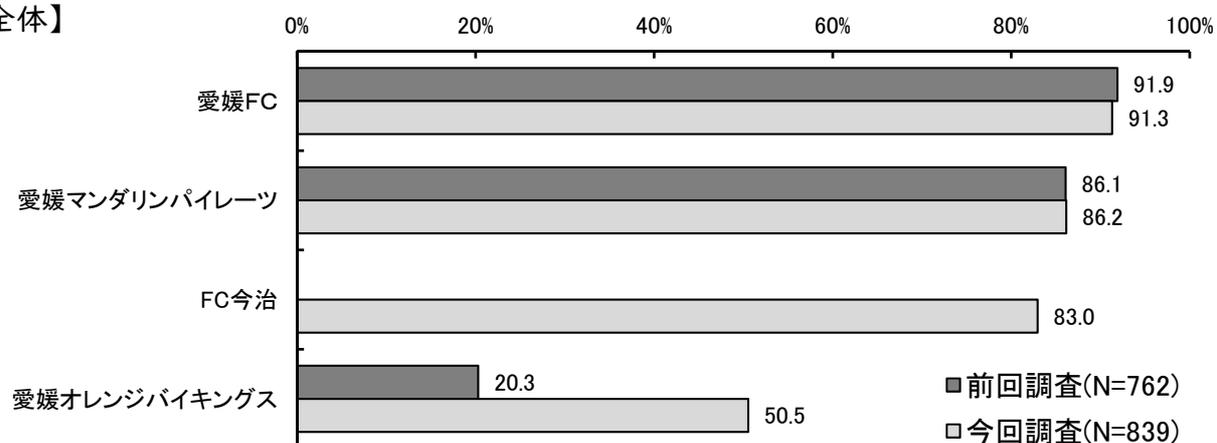
問32 あなたが知っている愛媛の地域密着型プロスポーツ球団をお選びください。

(○はいくつでも)

前回調査と比べて、「愛媛オレンジバイキングス」が30.2ポイント増加。

※前回調査では、「FC今治」はない。

【全体】



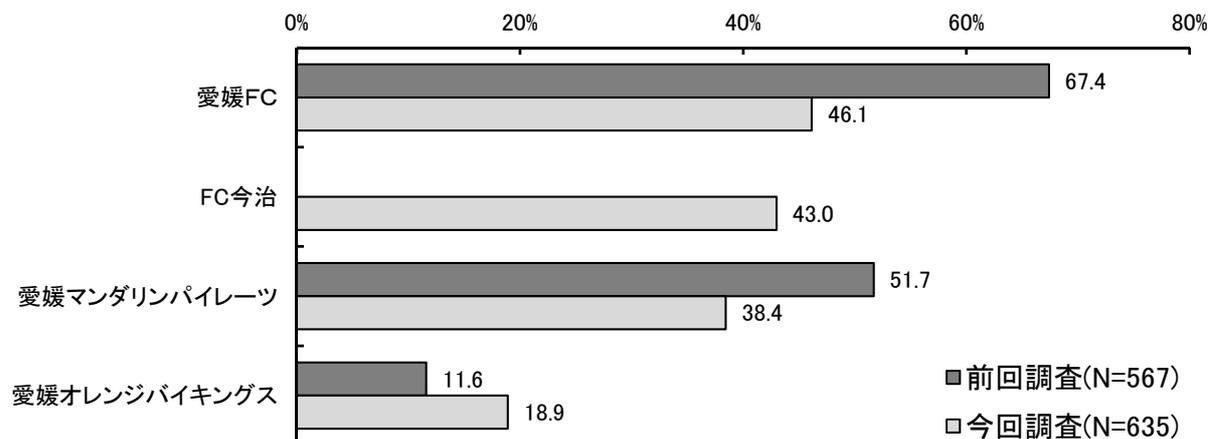
問33 今後、あなたがスタジアムやアリーナで観戦したいと思う球団は何ですか。

(○はいくつでも)

前回調査と比べて、「愛媛オレンジバイキングス」が7.3ポイント増加、「愛媛FC」が21.3ポイント減少、「愛媛マンダリンパイレーツ」13.3ポイント減少。

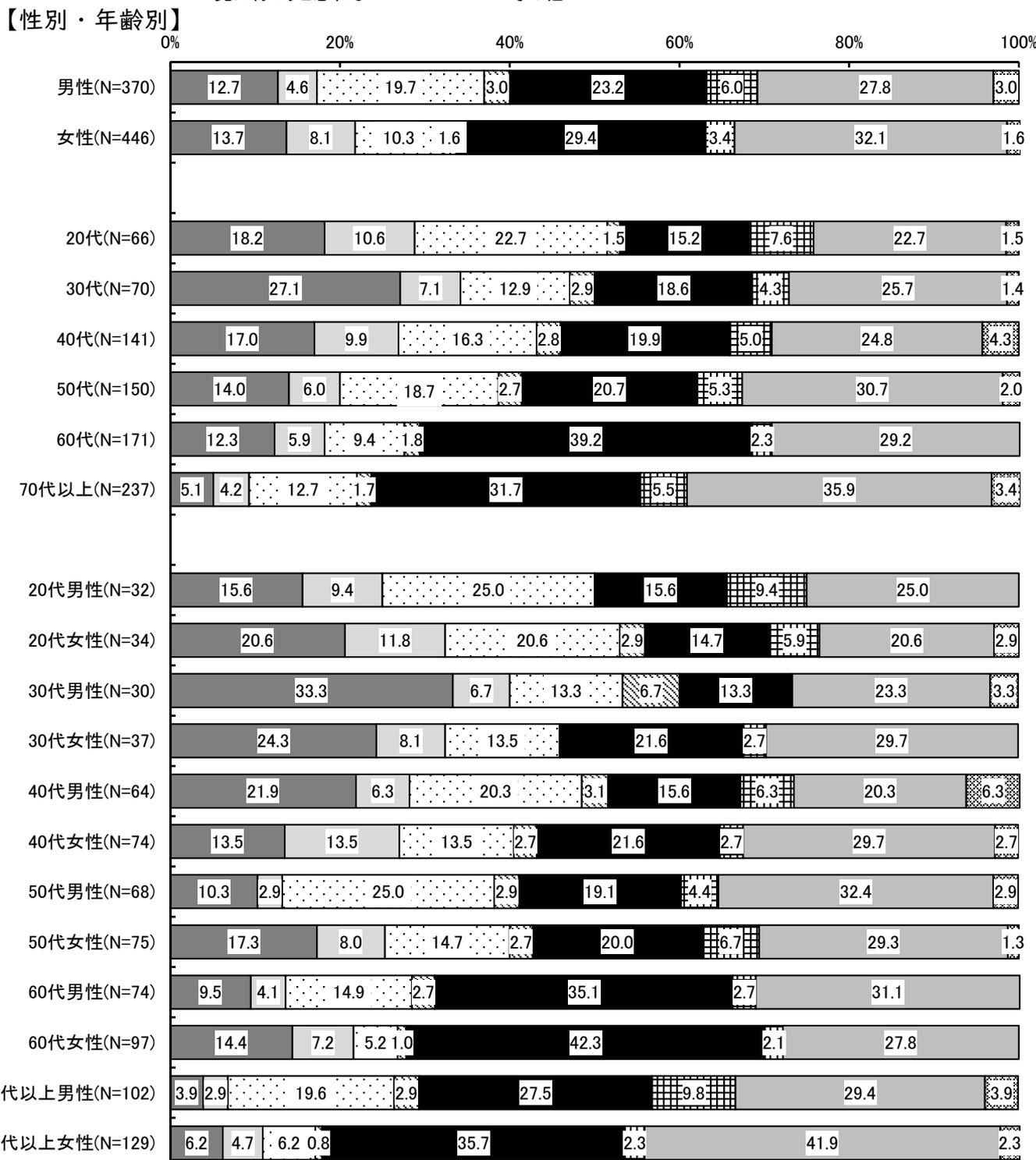
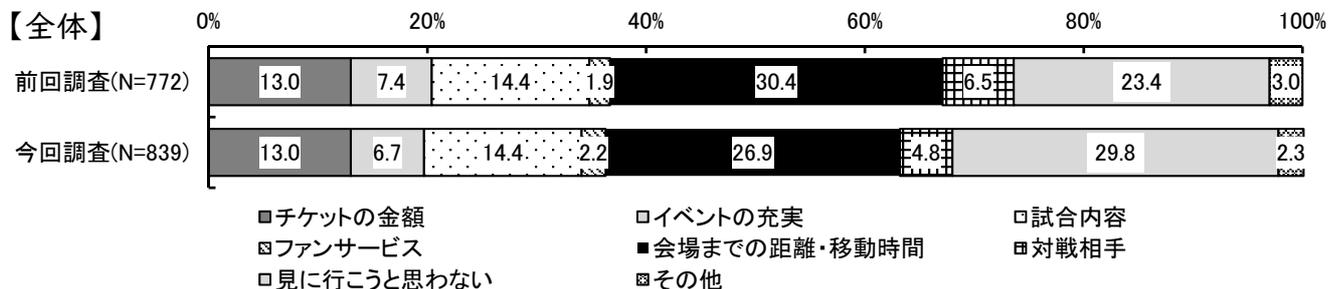
※前回調査では、「FC今治」はない。

【全体】



問34 試合観戦に行くときに一番大事なことは何ですか。(〇は1つ)

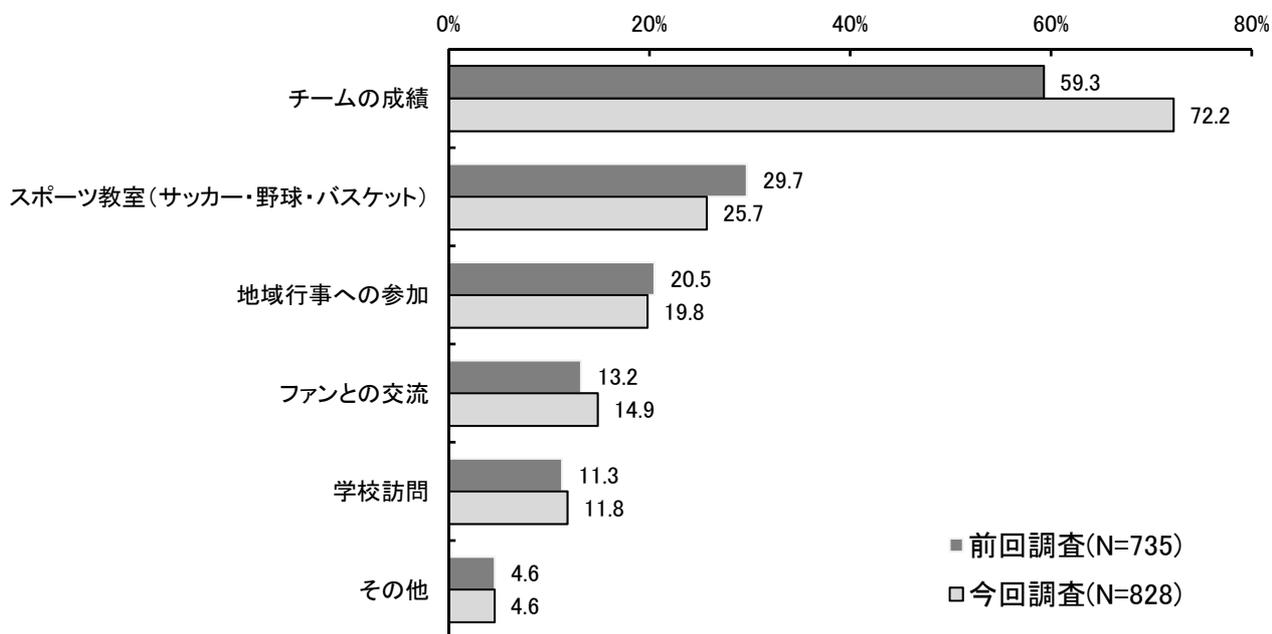
前回調査と比べて、「見に行こうと思わない」が6.4ポイント増加。40代以上になると「見に行こうと思わない」が多くなる。50代以上になると「会場までの距離・移動時間」を気にしている。



問35 愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、FC今治に今後期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

前回調査と比べて、傾向に変化はないが、「チームの成績」が12.9ポイント増加。

【全体】

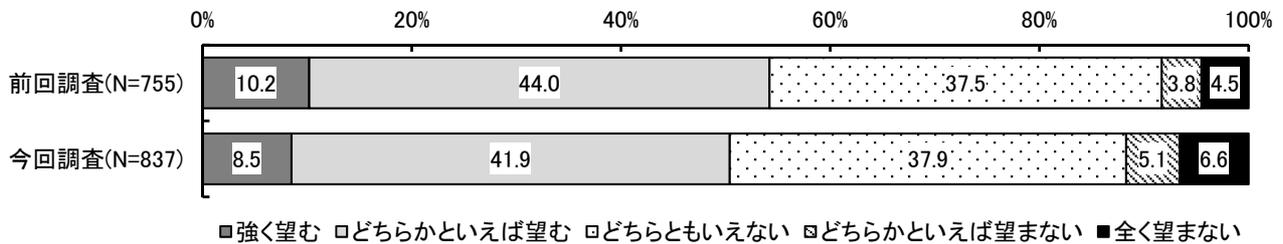


問36 愛媛の地域密着型プロスポーツ球団同士の連携を望みますか。(○は1つ)

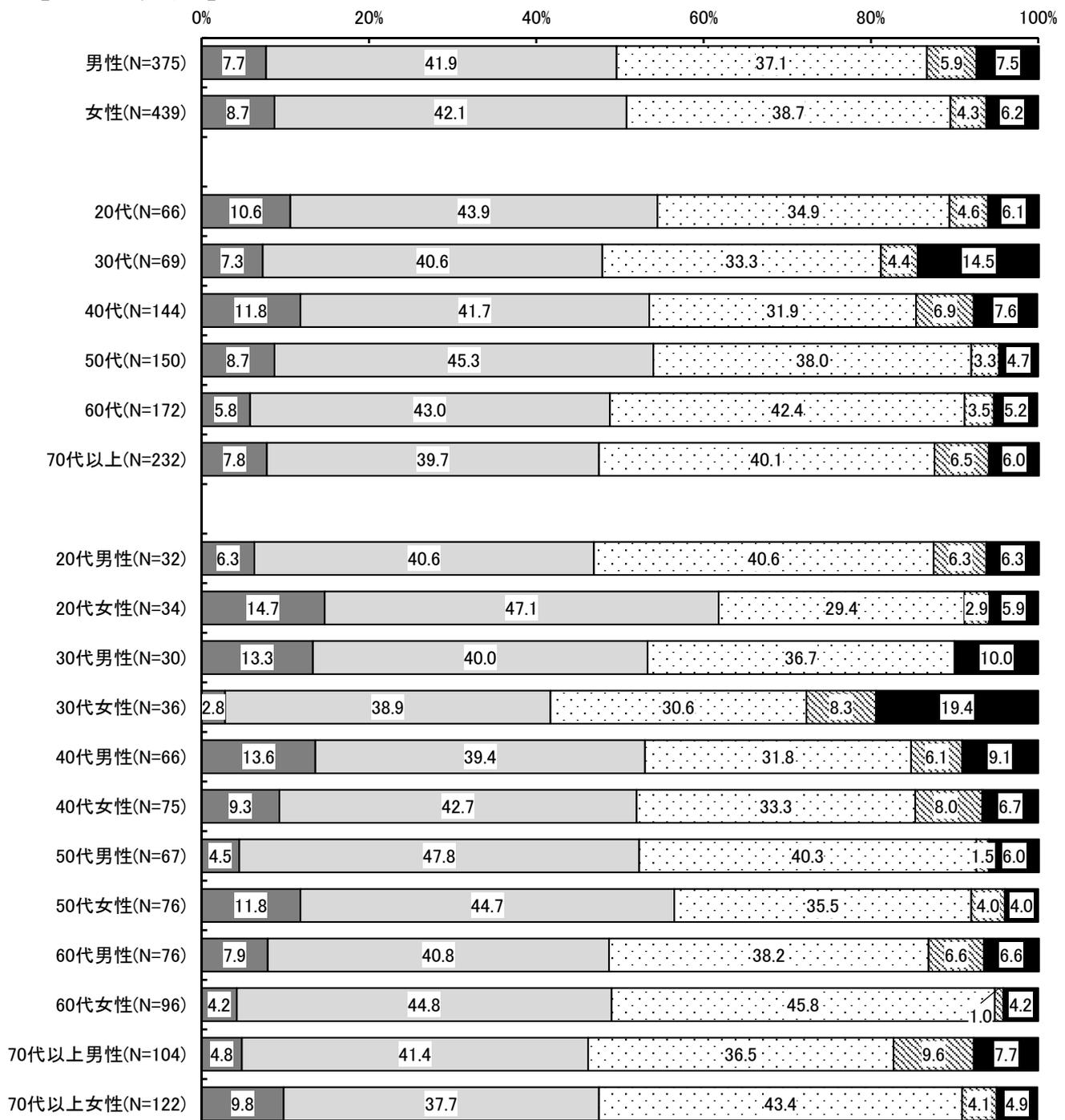
例：球団間の選手の交流、各球団共通セットチケットの販売、合同でのファン感謝祭やスポーツ教室等

前回調査と比べて、望む(「強く望む」「どちらかといえば望む」の計)が、3.8ポイント減少。

【全体】



【性別・年齢別】



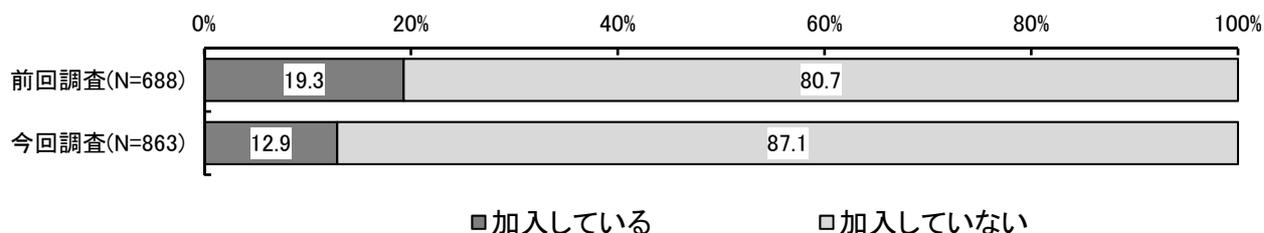
6 スポーツクラブ等への加入について

問37 現在、運動やスポーツのクラブや同好会に加入していますか。

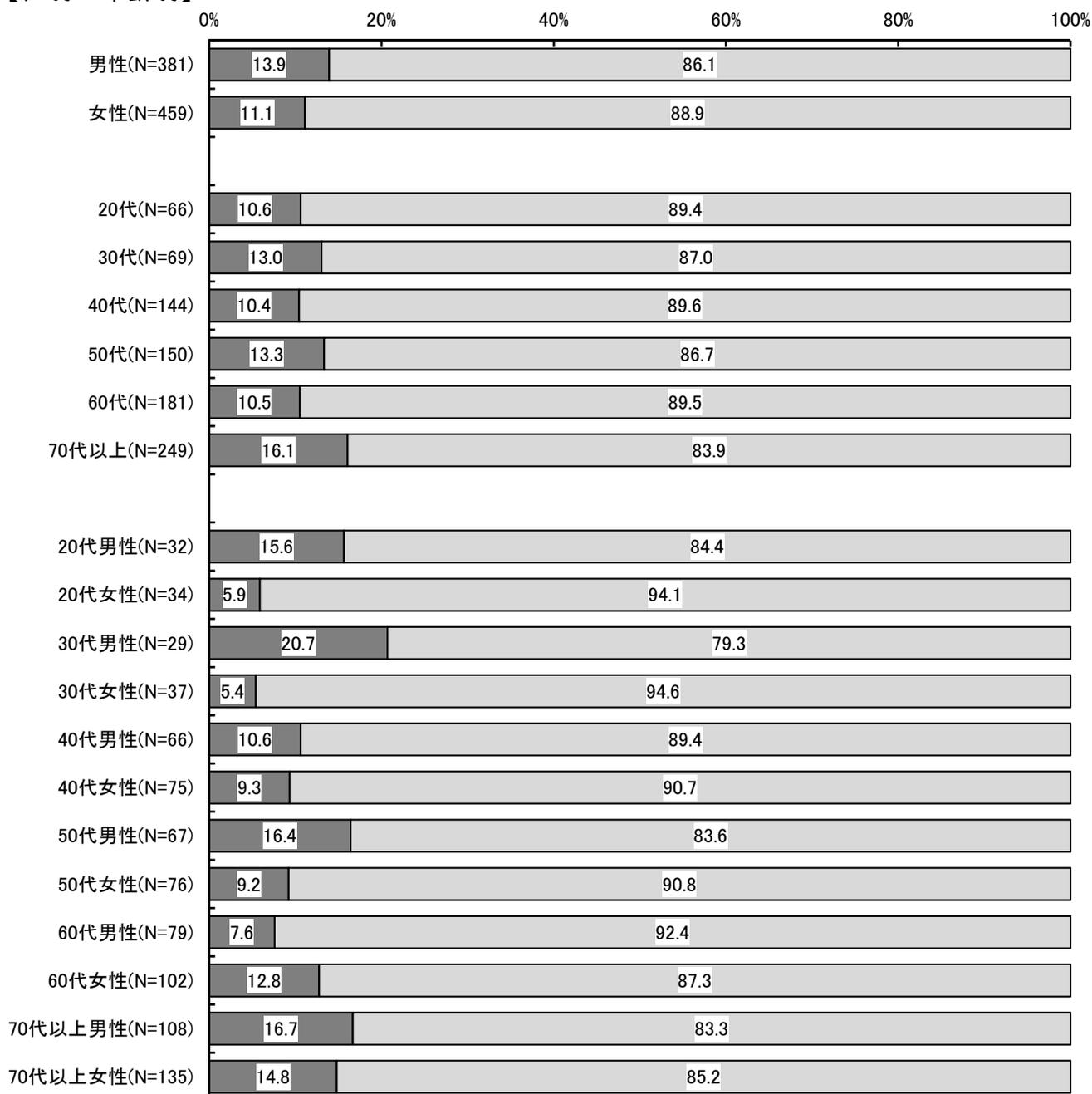
また、加入していない方は、今後加入したいと思いますか。(○は1つ)

前回調査と比べて、「加入している」が、6.4ポイント減少。50代以下の女性の加入は1割以下。

【全体】



【性別・年齢別】



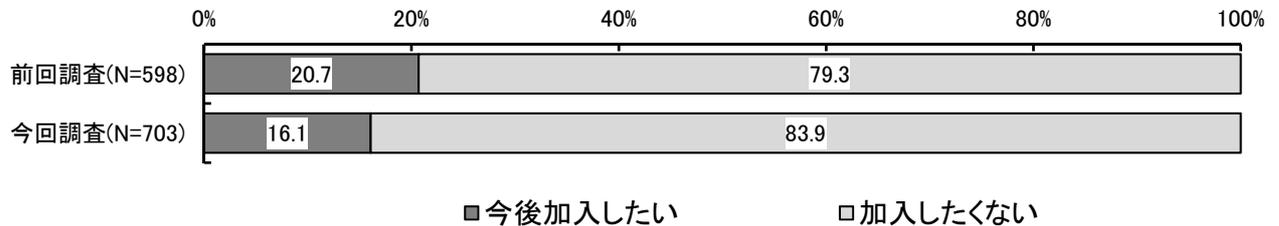
問37 付問

運動やスポーツのクラブや同好会に加入していない方は、今後加入したいと思いますか。

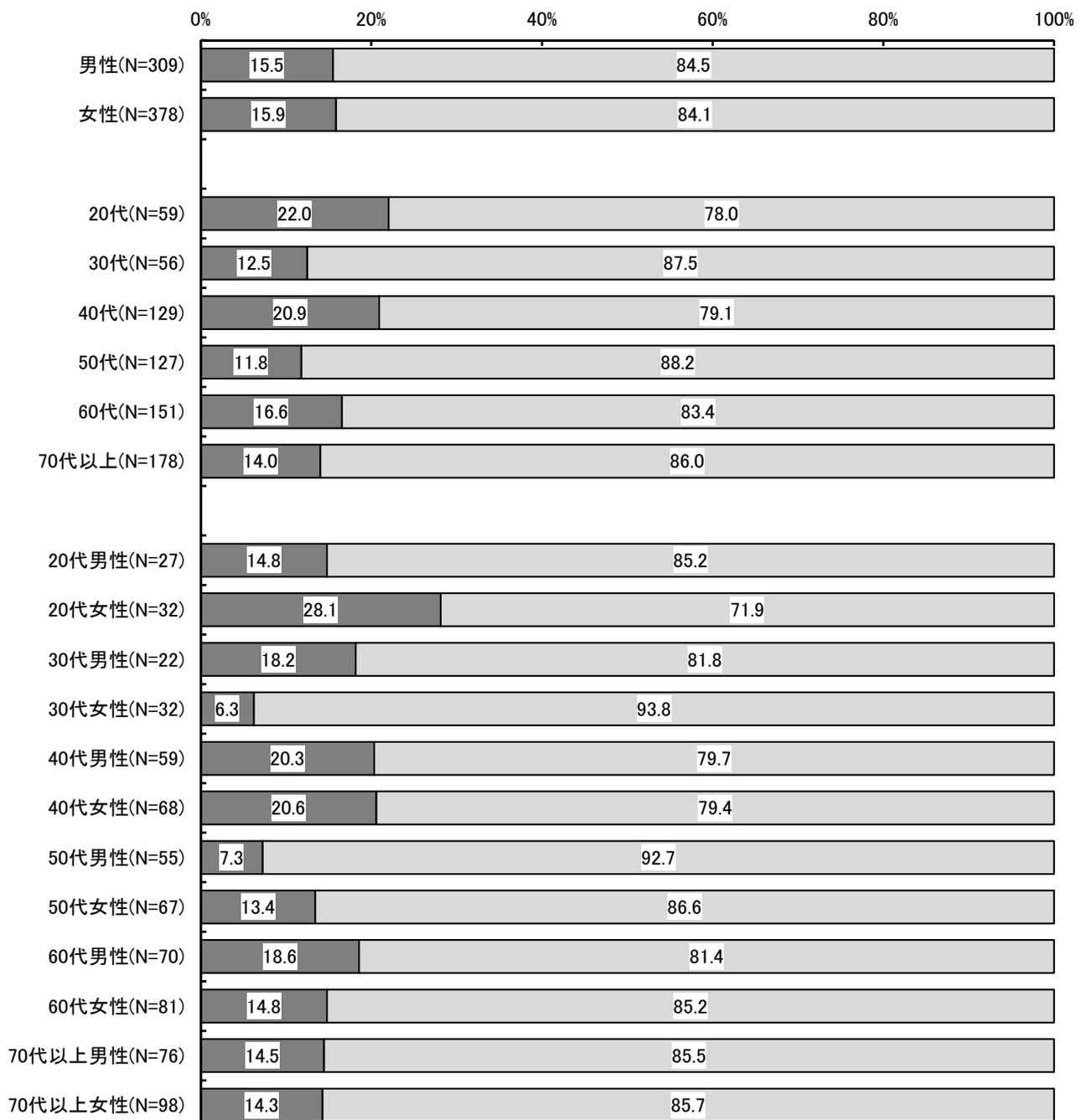
(○は1つ)

前回調査と比べて、「今後加入したい」が、4.6ポイント減少。

【全体】



【性別・年齢別】

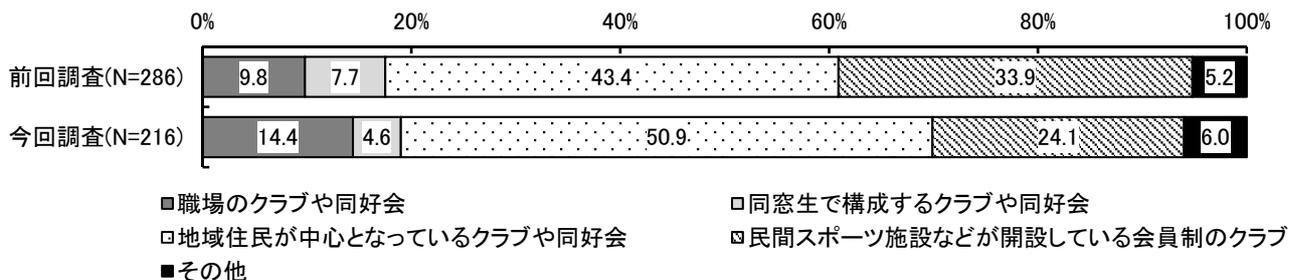


問38 <問37で「1：加入している」「2：加入していない」－「ア：今後参加したい」を選択した方のみお答えください。>

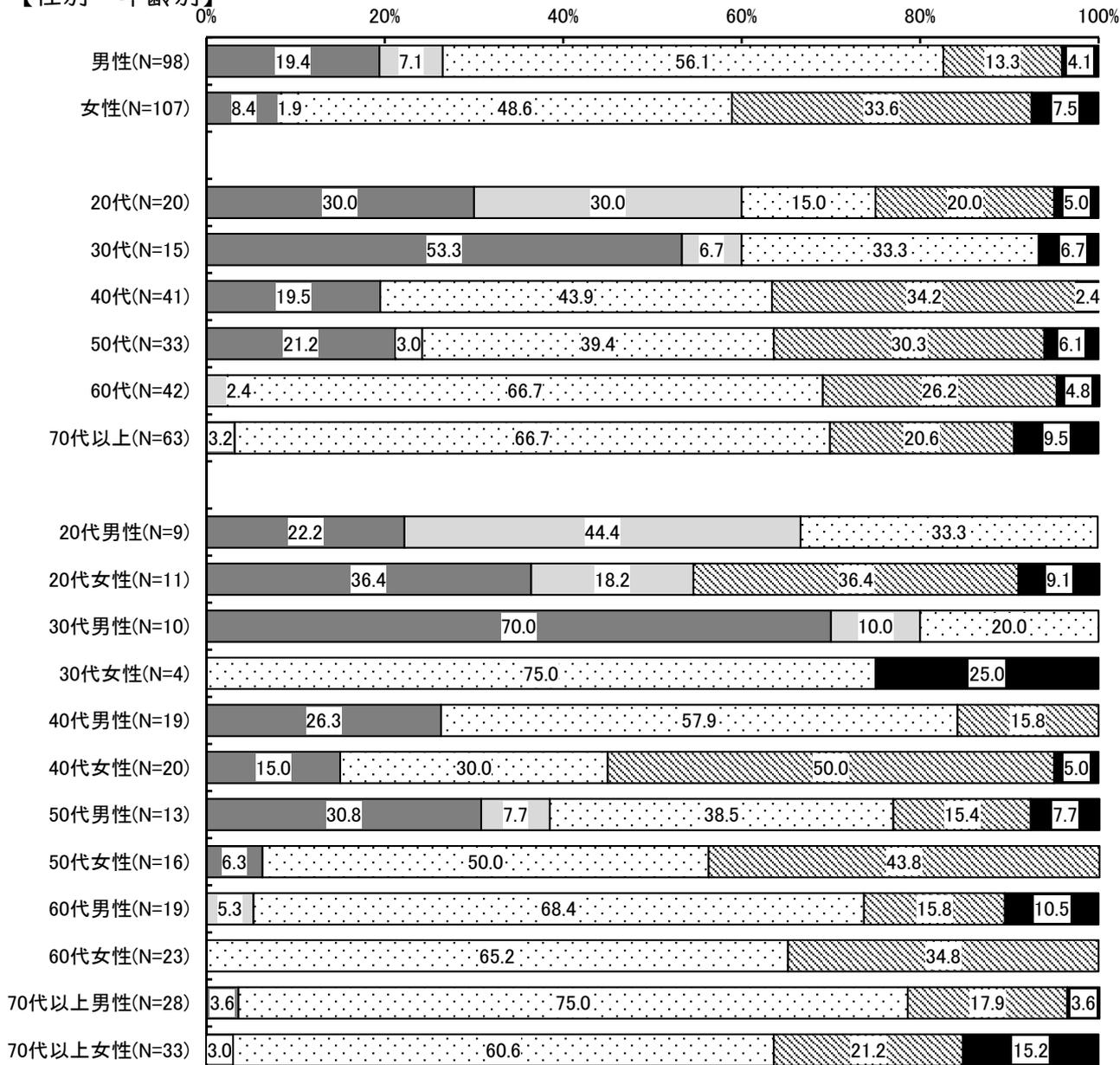
加入している（今後加入したい）運動やスポーツのクラブや同好会の種類はどれに当てはまりますか。（○は1つ）

前回調査と比べて、「職場のクラブや同好会」が、4.6ポイント増加、「地域住民が中心となっているクラブや同好会」が、7.5ポイント増加。30代以下は、「地域住民が中心となっているクラブや同好会」より、「職場のクラブや同好会」「同窓生で構成するクラブや同好会」の加入が多い。

【全体】



【性別・年齢別】

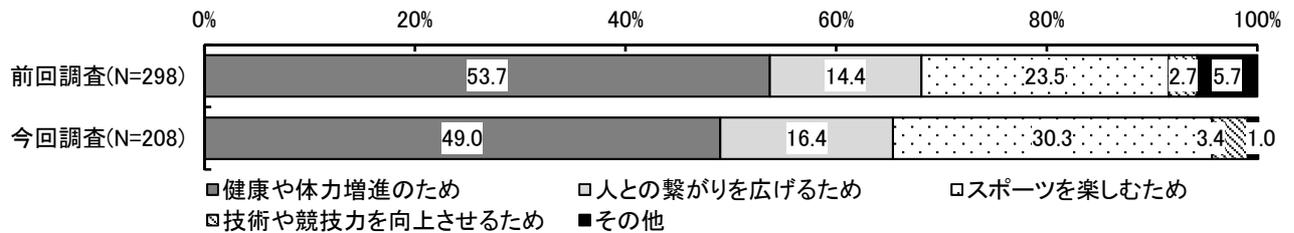


問39 <問37で「1：加入している」「2：加入していない」－「ア：今後参加したい」を選択した方のみお答えください。>

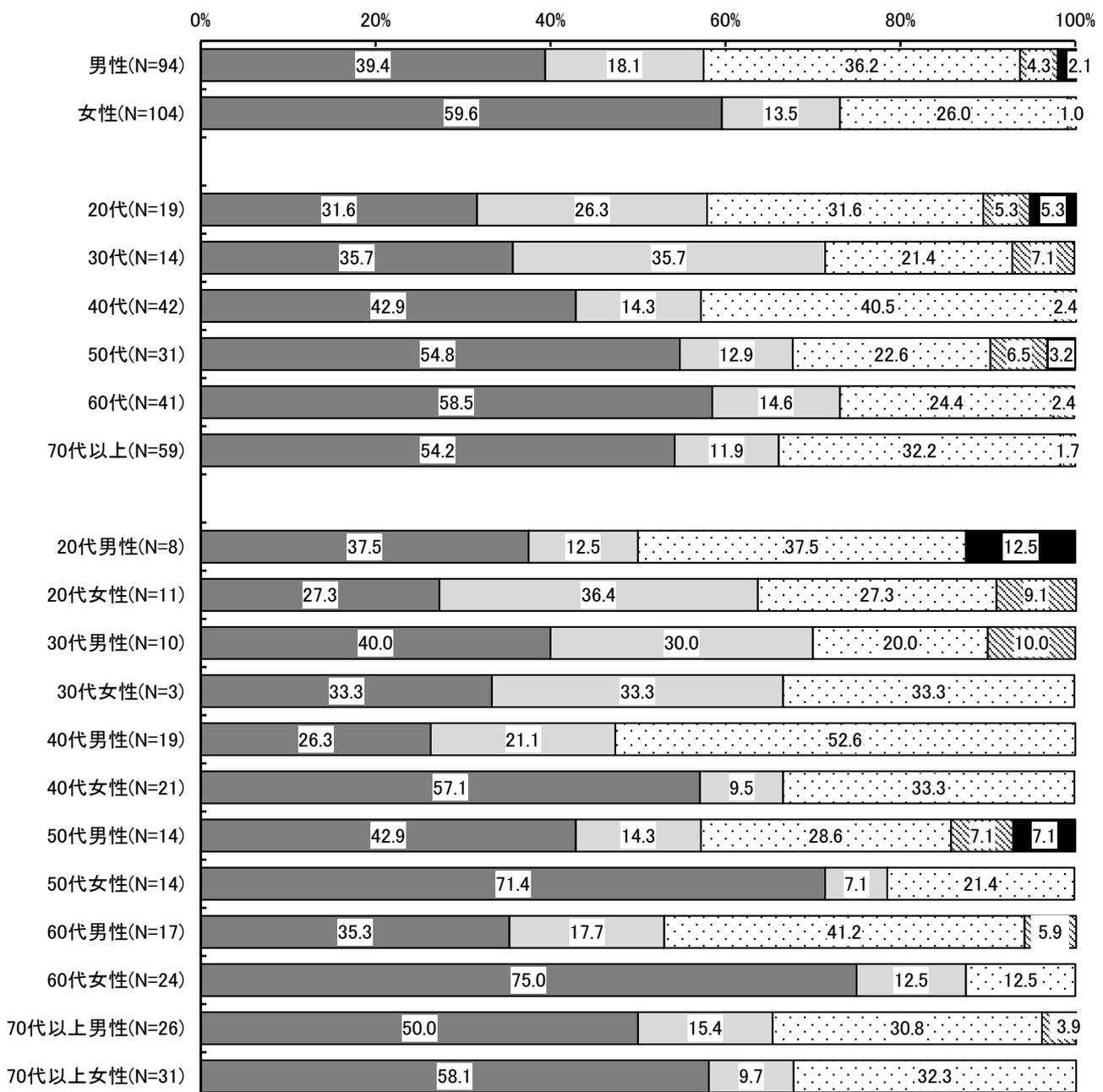
あなたはどのような目的でその運動やスポーツのクラブや同好会に加入していますか。
(今後加入したいですか) (〇は1つ)

前回調査と比べて、「スポーツを楽しむため」が、6.8ポイント増加、「人との繋がりを広げるため」が、2.0ポイント増加。

【全体】



【性別・年齢別】

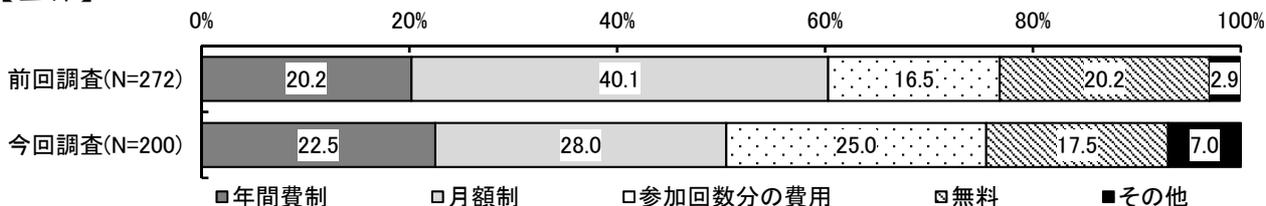


問40 <問37で「1：加入している」「2：加入していない」－「ア：今後参加したい」を選択した方のみお答えください。>

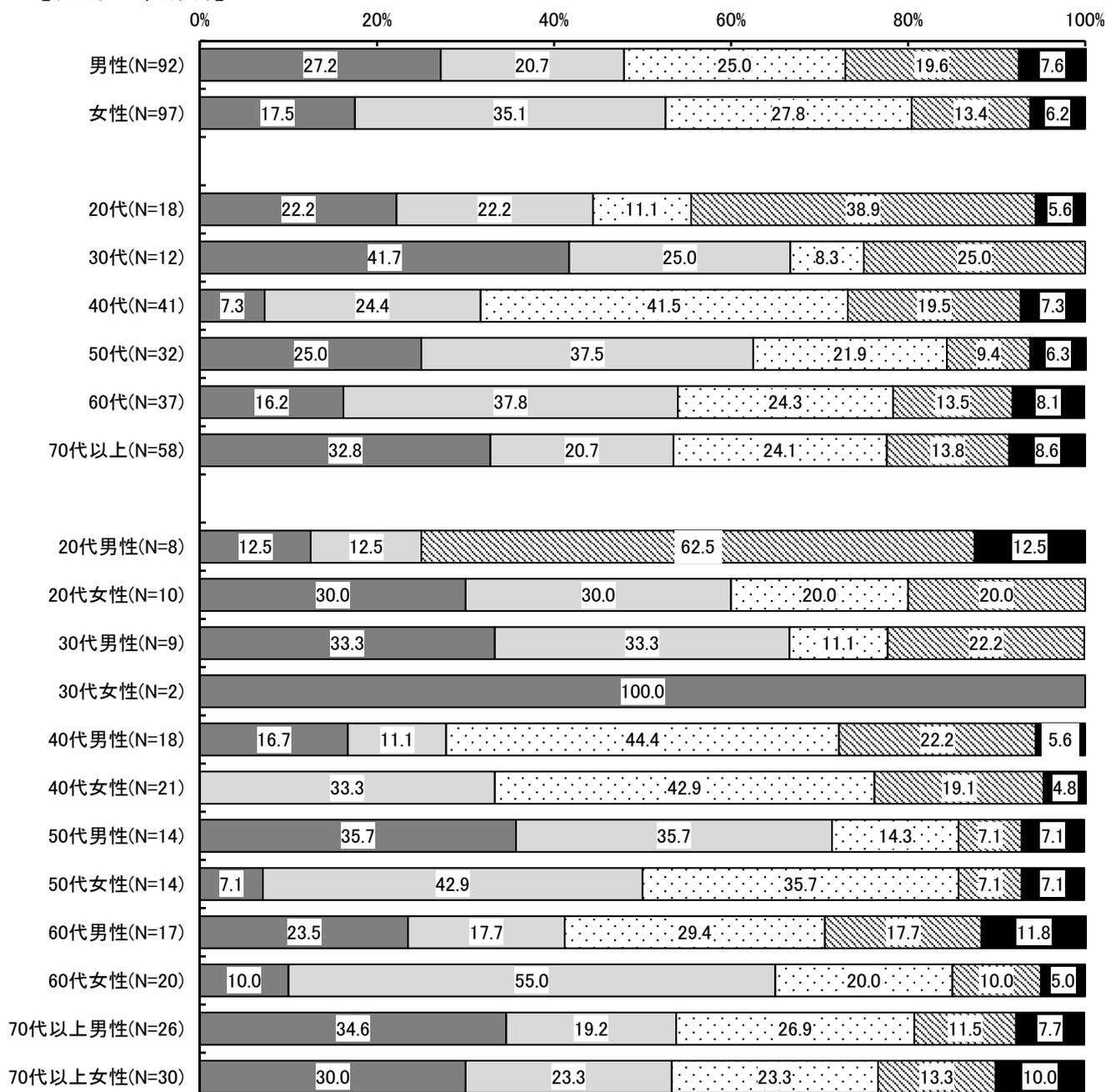
加入している運動やスポーツのクラブや同好会の費用負担はどのようになっていますか。
(今後の御予定も含めて) (○は1つ)

前回調査と比べて、「参加回数分の費用」が、8.5ポイント増加、「月額制」が、12.1ポイント減少。

【全体】



【性別・年齢別】

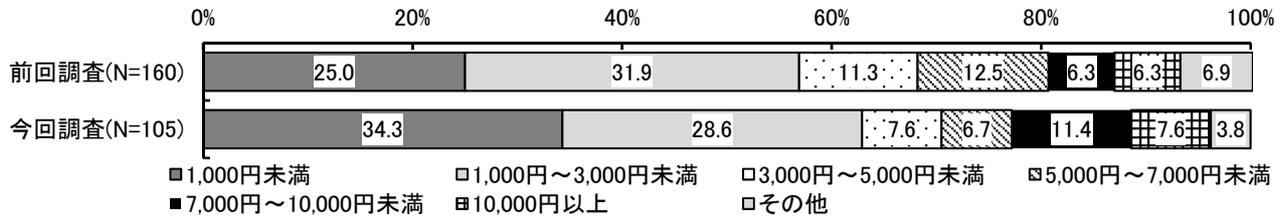


問4 | <問37で「1：加入している」を選択した方のみお答えください。>

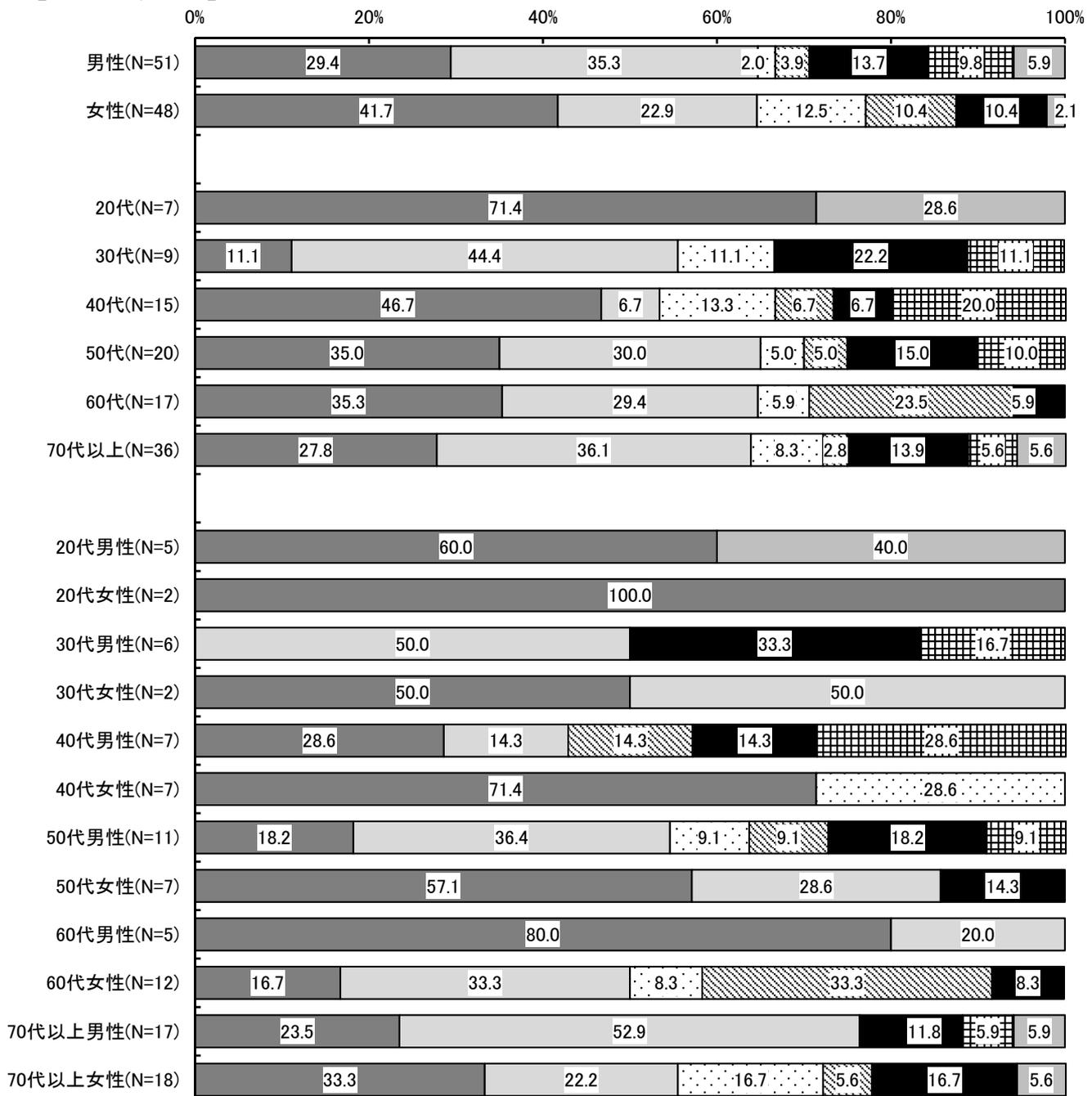
あなたは現在、運動やスポーツのクラブや同好会に、会費として月額いくら位負担していますか。(〇は1つ)

前回調査と比べて、「1,000円未満」が、9.3ポイント増加、「1,000円～3,000円未満」が、3.3ポイント減少。

【全体】



【性別・年齢別】

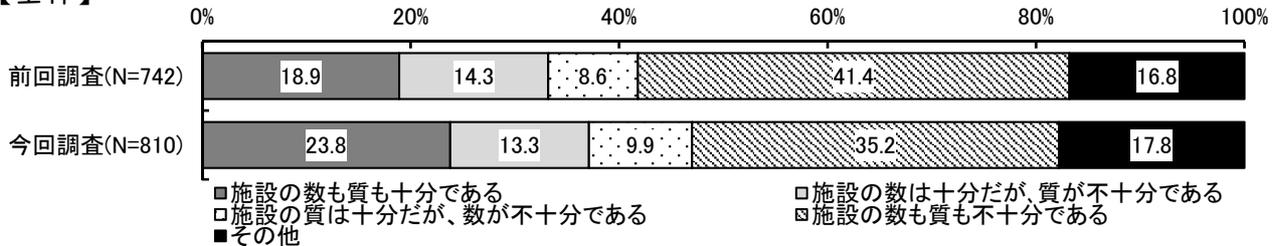


7 施設の整備について

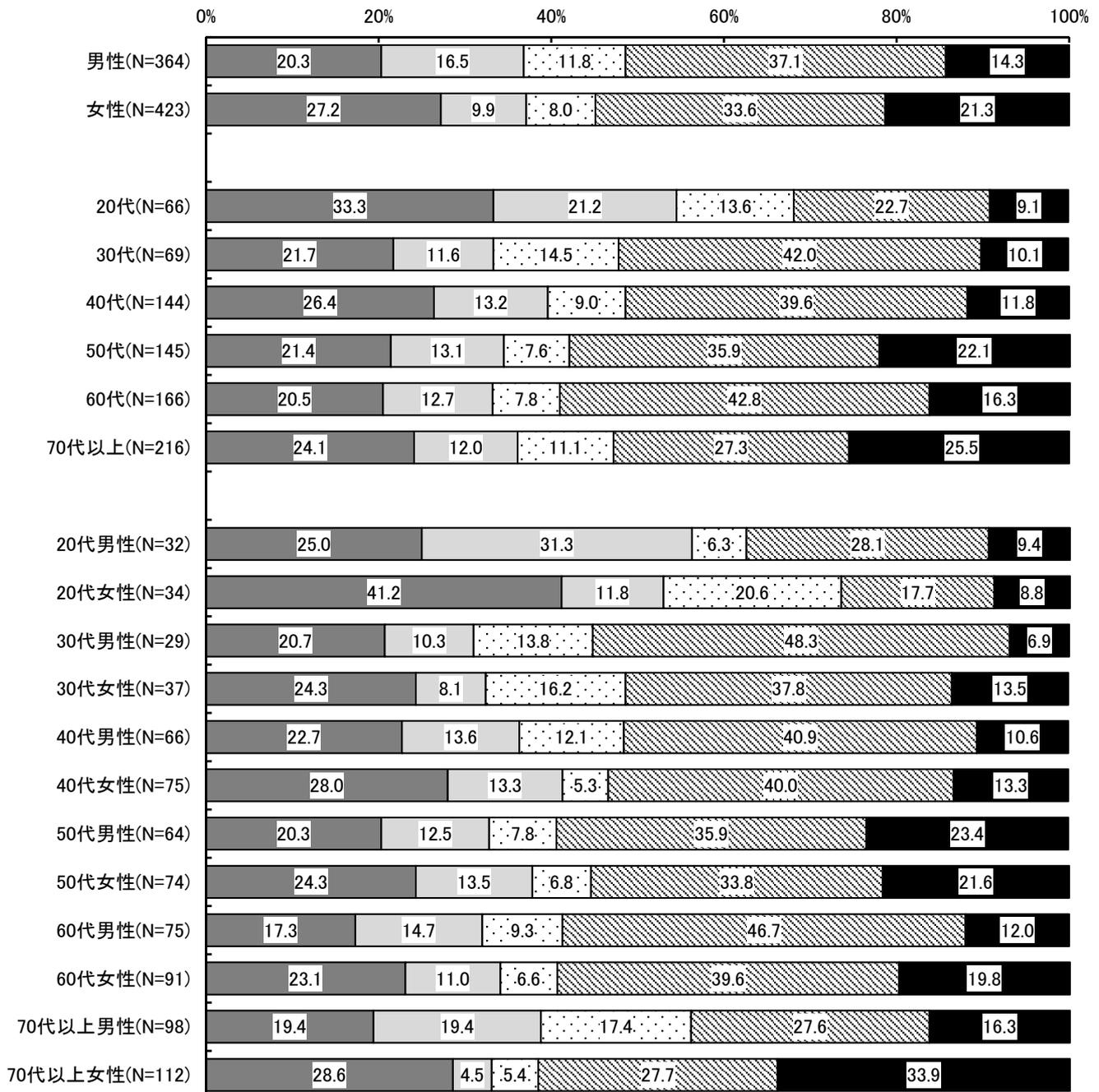
問42 あなたの市町に公共のスポーツ施設は、十分にありますか。(○は1つ)

前回調査と比べて、「施設の数も質も十分である」が、4.9ポイント増加、「施設の数も質も不十分である」が、6.2ポイント減少。

【全体】



【性別・年齢別】

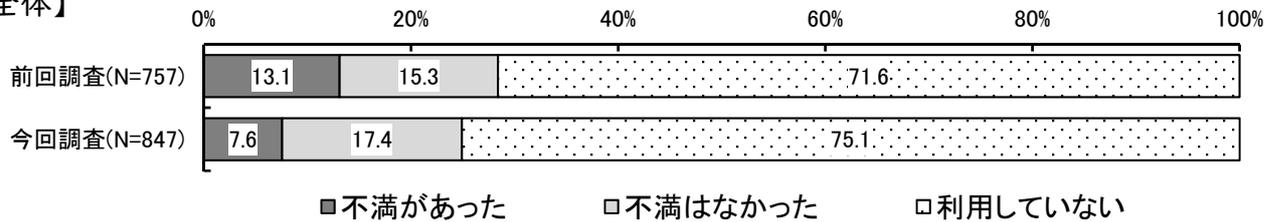


問43 この1年間で、公共のスポーツ施設を利用して、何か不満はありましたか。

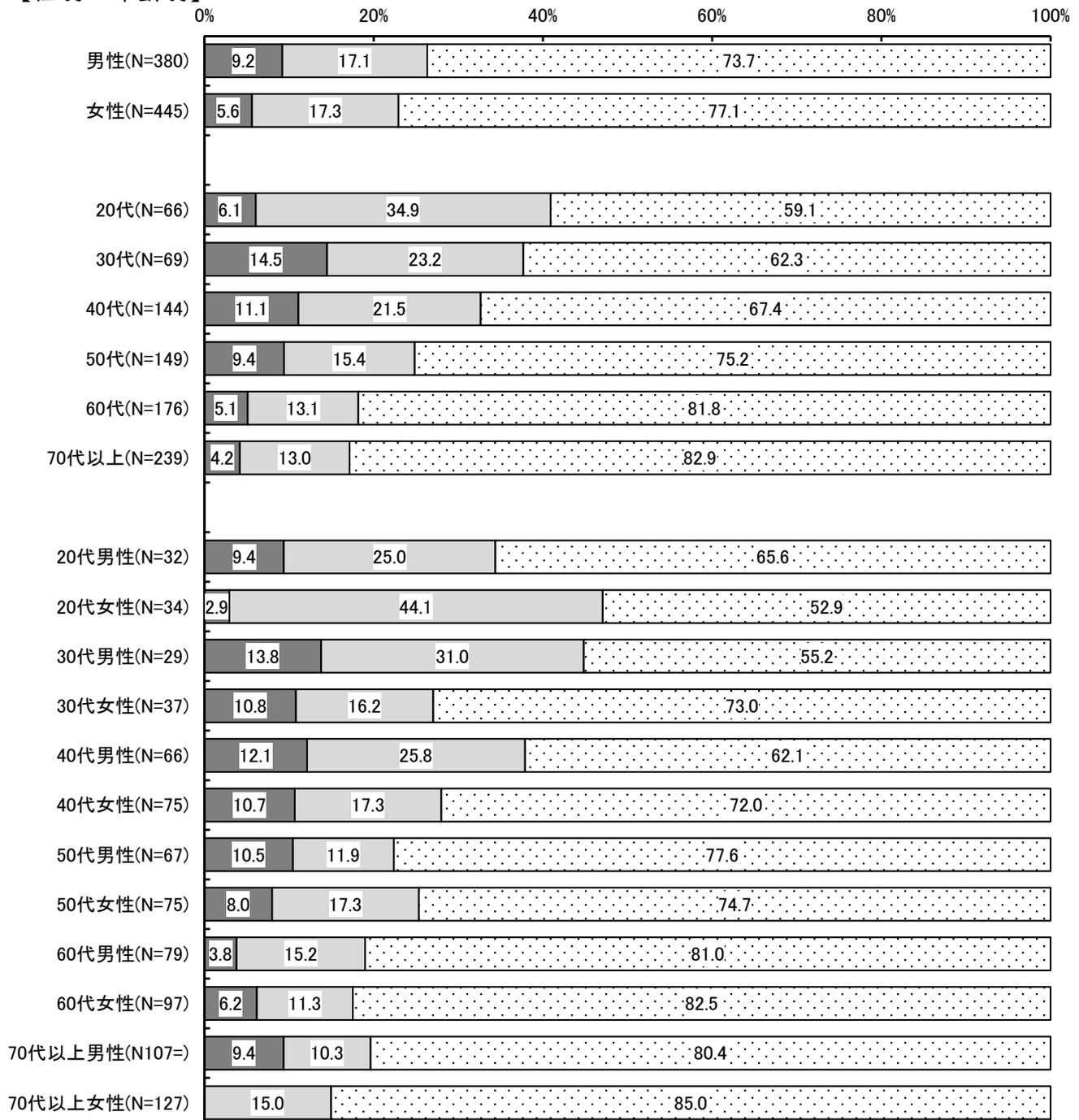
(○は1つ)

前回調査と比べて、「利用していない」が、3.5ポイント増加、「不満があった」が、5.5ポイント減少。

【全体】



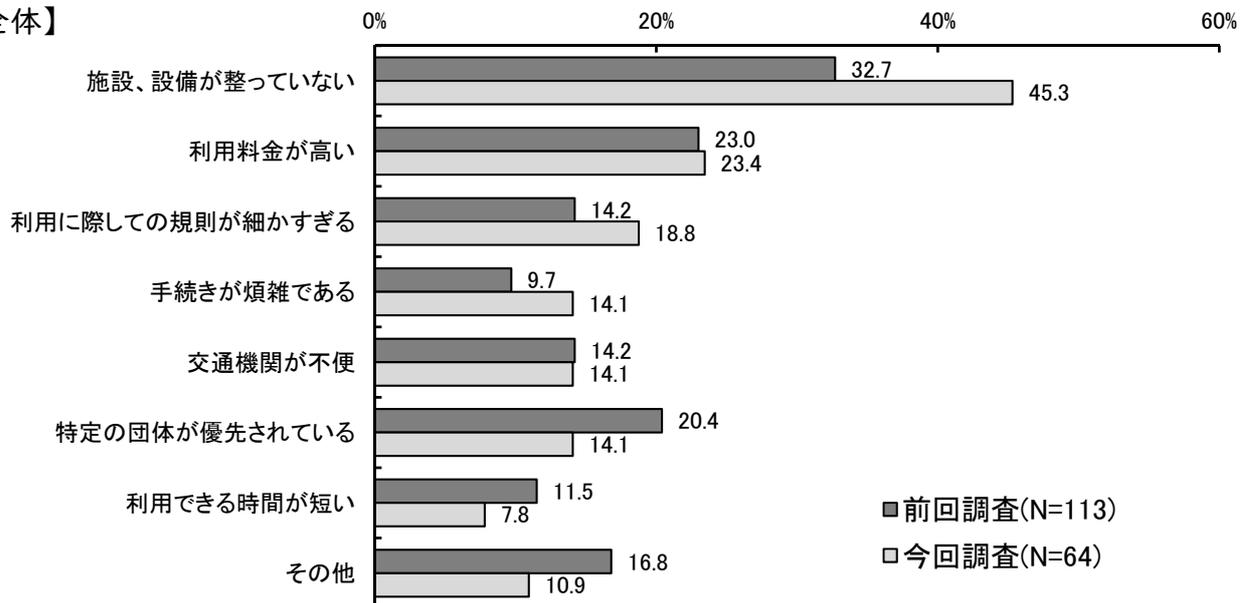
【性別・年齢別】



問44 <問43で「1：不満があった」を選択した方のみお答えください。>
 不満な点は何でしたか。(〇は2つまで)

前回調査と比べて、「施設、設備が整っていない」が、12.6ポイント増加、「特定の団体が優先されている」が、6.3ポイント減少。

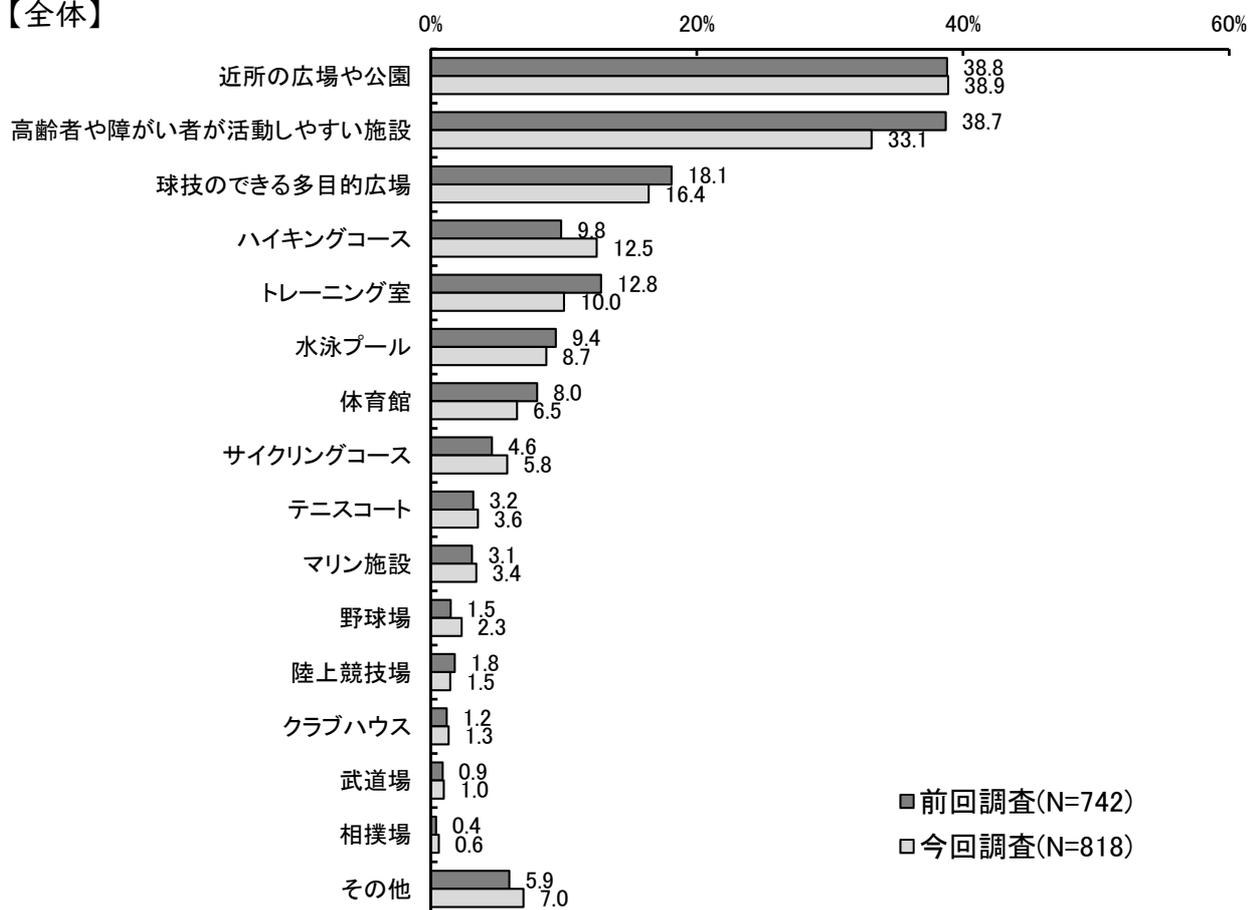
【全体】



問45 今後どのような施設を整備してほしいですか。(〇は2つまで)

前回調査と比べて、傾向に差がなく、「近所の広場や公園」と「高齢者や障がい者が活動しやすい施設」が、3割台。

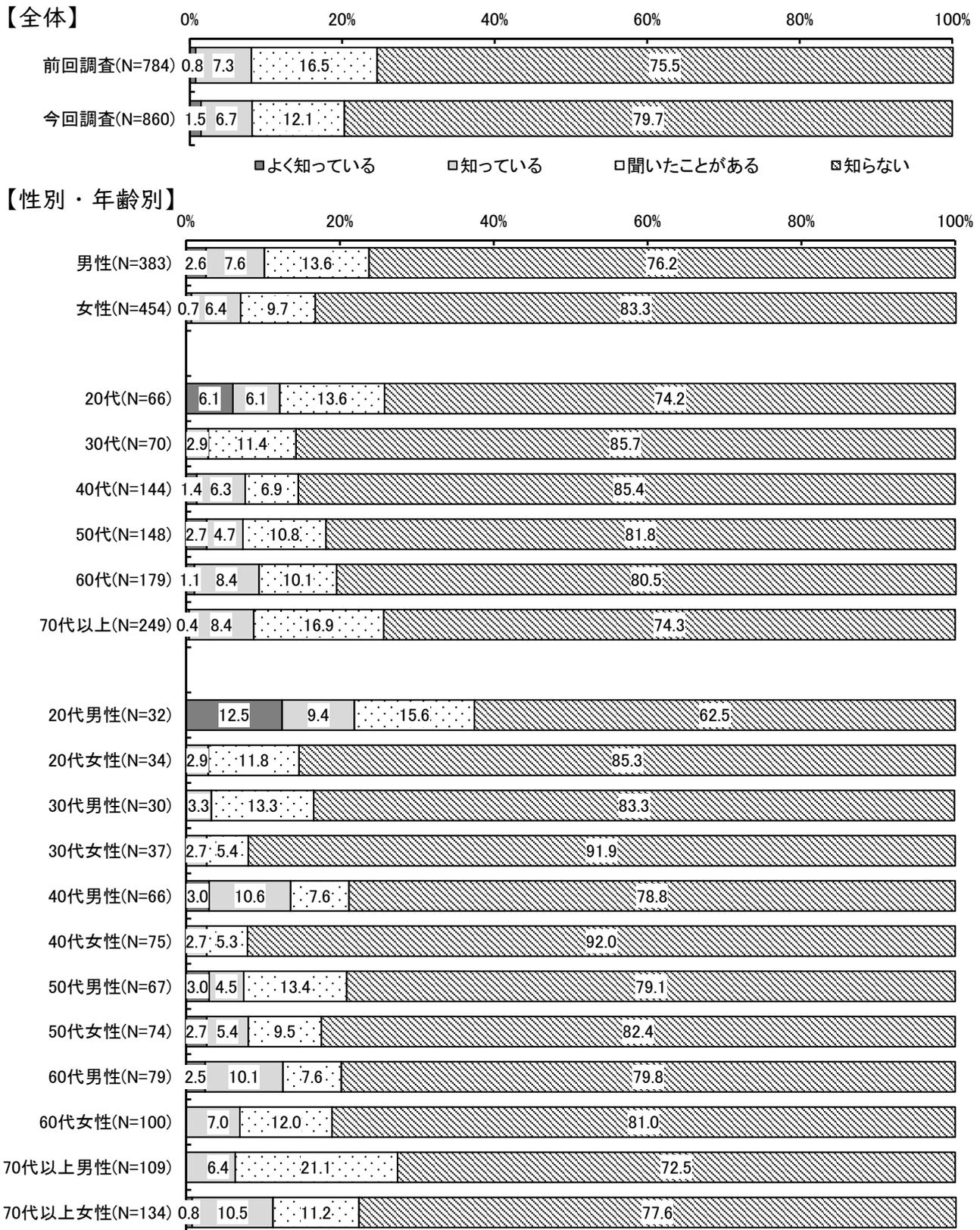
【全体】



8 総合型地域スポーツクラブについて

問46 あなたは総合型地域スポーツクラブを知っていますか。(〇は1つ)

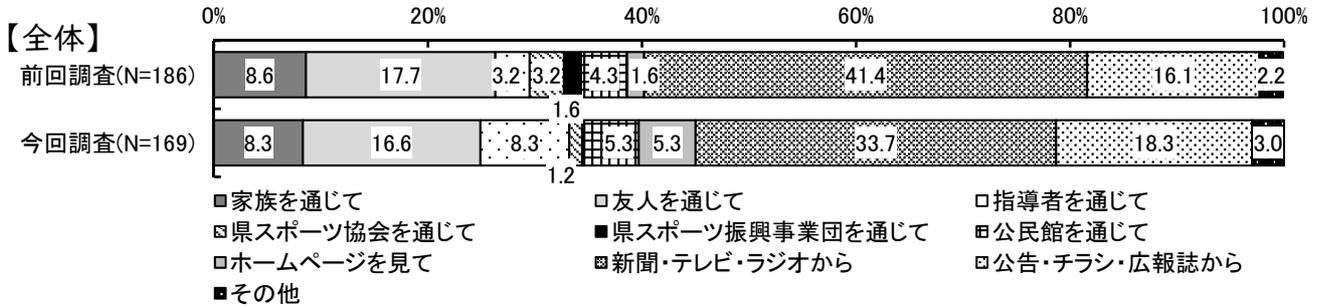
前回調査と比べて、「知らない」が、4.2ポイント増加。20代男性は「よく知っている」が1割を超えている。



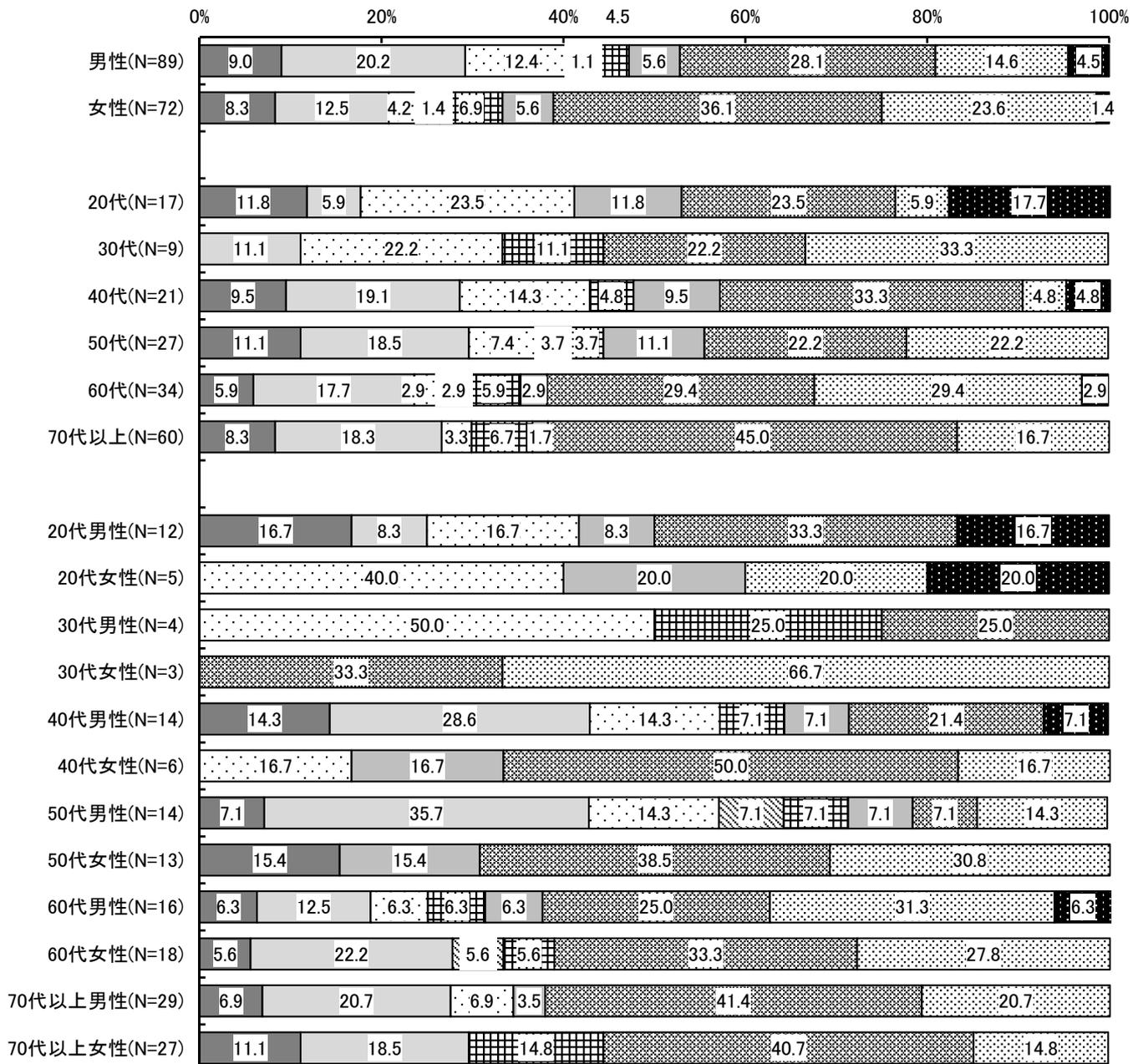
問47 <問46で「1：よく知っている」「2：知っている」「3：聞いたことがある」を選択した方のみお答えください。>

あなたは総合型地域スポーツクラブを何で知りましたか。(〇は1つ)

前回調査と比べて、「新聞・テレビ・ラジオから」が、7.7ポイント減少、「ホームページを見て」が、3.7ポイント増加。



【性別・年齢別】

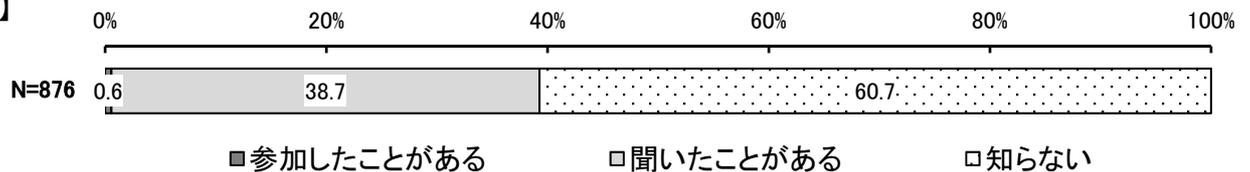


9 ねんりんピック愛顔（えがお）のえひめ2023について

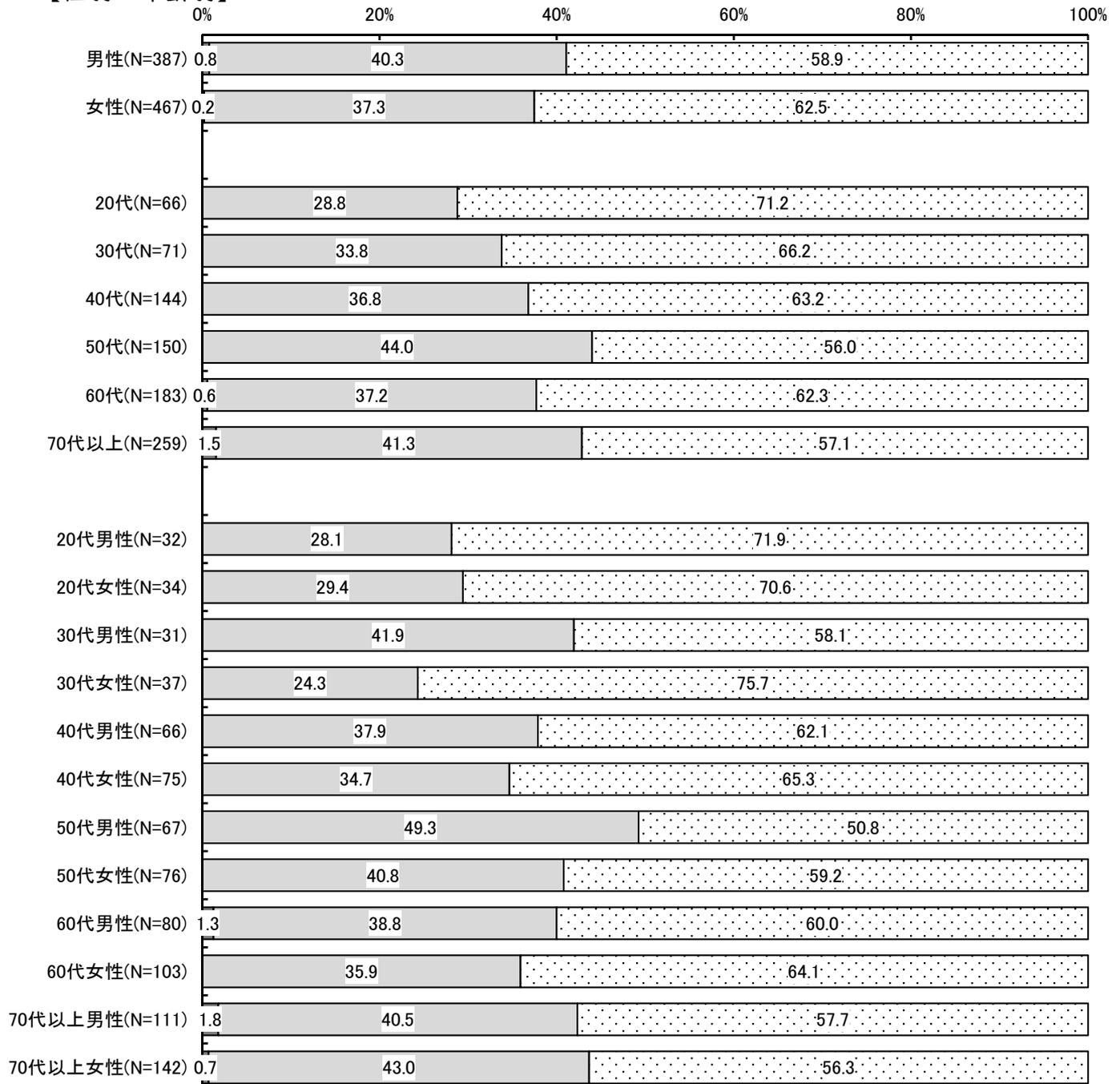
問48 あなたは、高齢者の福祉の祭典であるねんりんピック（全国健康福祉祭）について、知っていますか。（○は1つ）

「知らない」が約6割、「参加したことがある」は、1%以下。「知らない」は全年代で5割以上。

【全体】



【性別・年齢別】

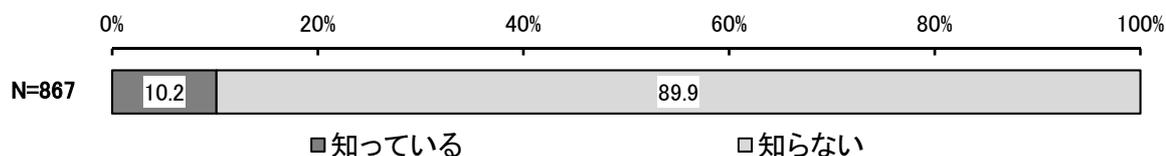


問49 あなたは、ねりんピックが令和5年に本県で開催されることを知っていますか。

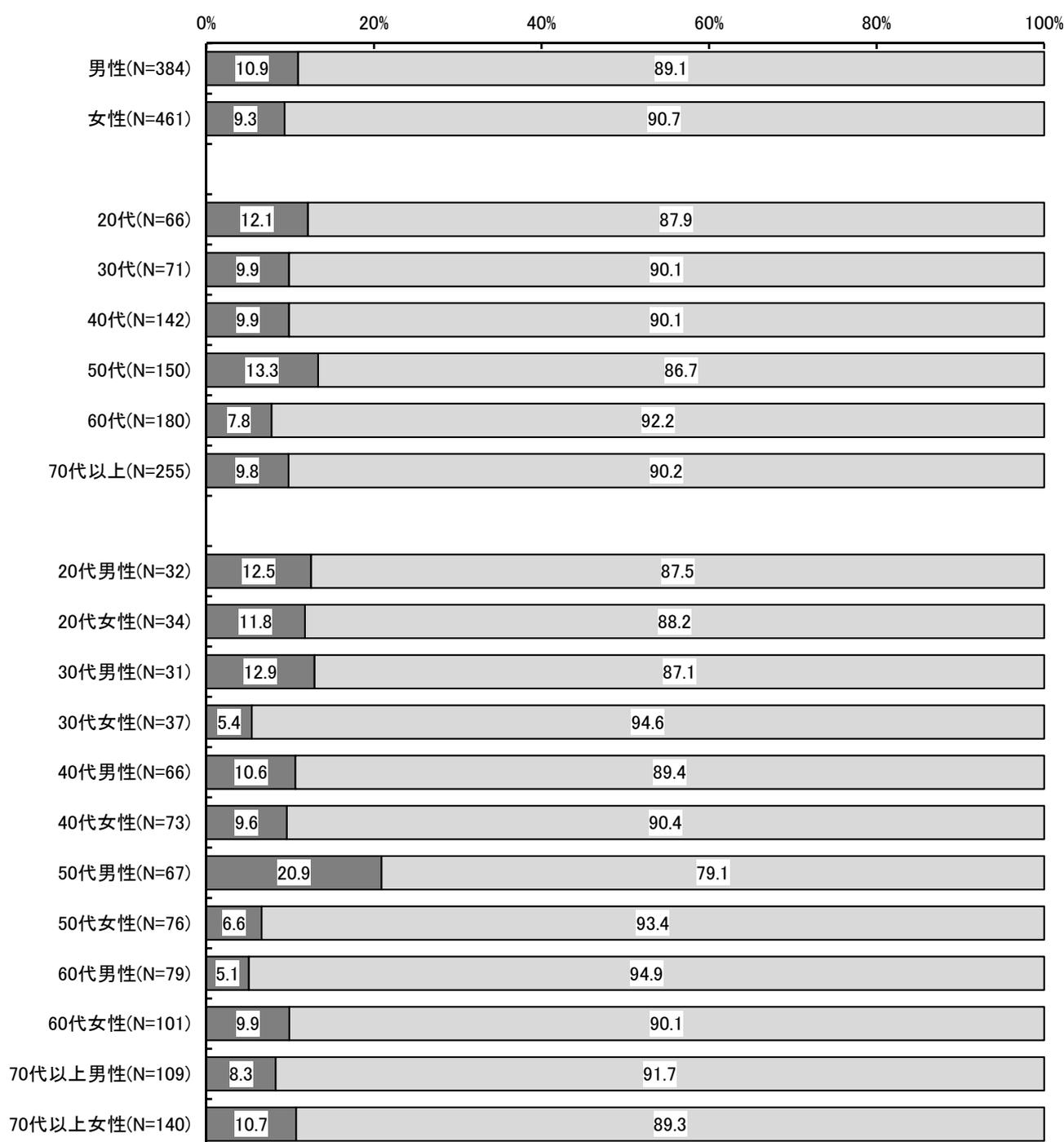
(○は1つ)

「知らない」が9割弱。「知っている」は50代男性が、約2割。

【全体】



【性別・年齢別】

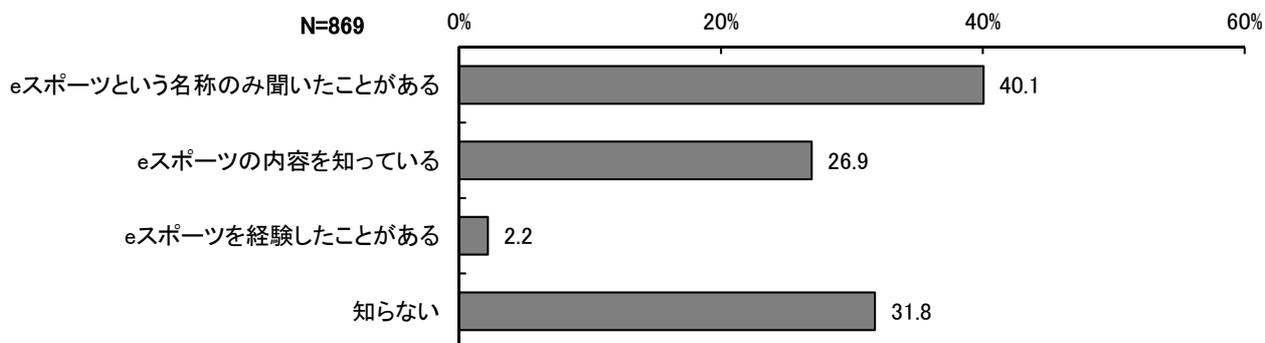


10 eスポーツについて

問50 あなたは、eスポーツを知っていますか。(〇はいくつでも)

「eスポーツという名称のみ聞いたことがある」が約4割、「知らない」が約3割。「eスポーツを経験したことがある」は、1割に満たない。

【全体】



問51 あなたは、eスポーツに取り組んでみたいと思いますか。(〇は1つ)

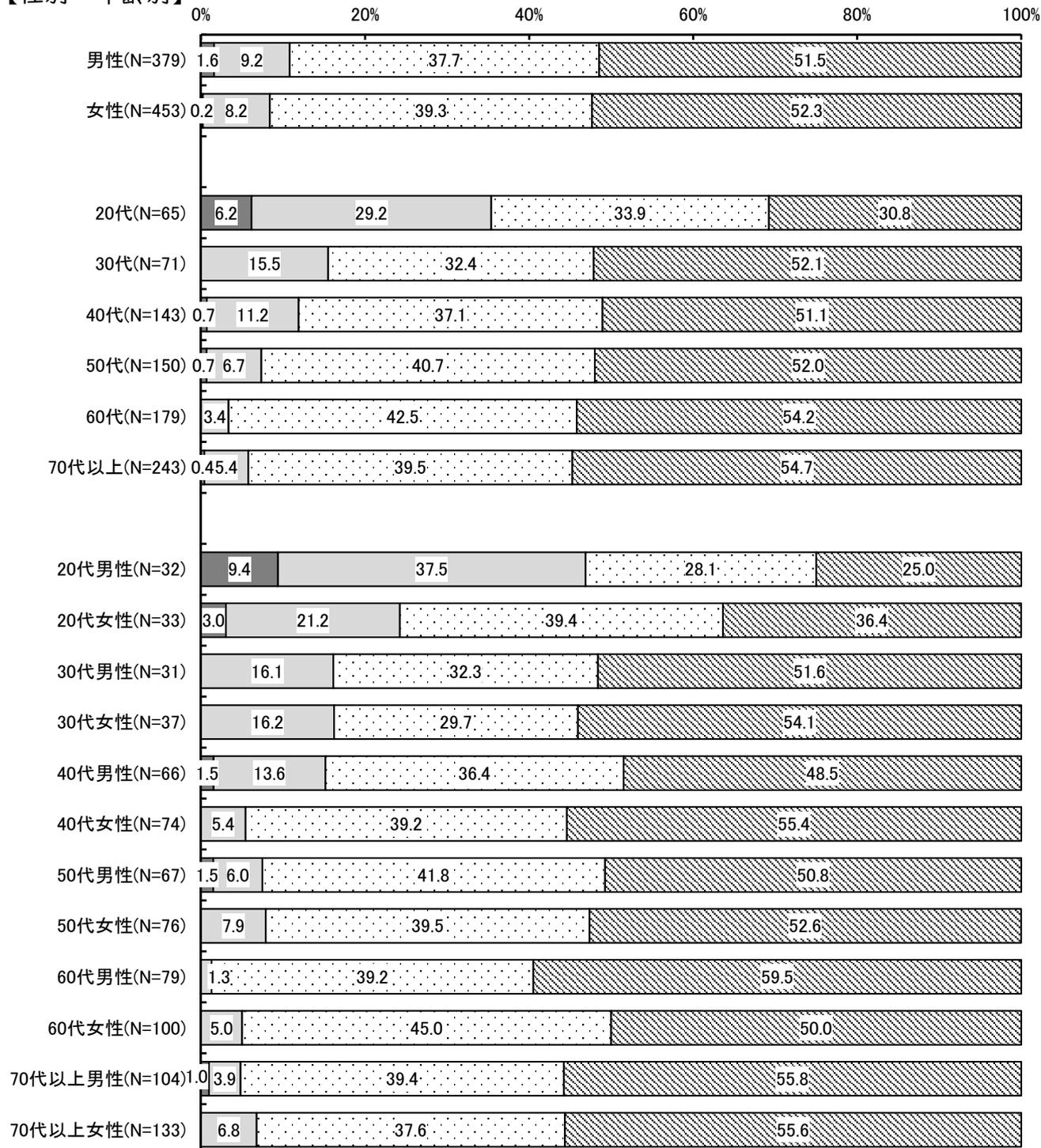
「興味はない」が約5割、「どちらでもない」が4割弱。

【全体】



■取り組んでいる □取り組んでみたい □どちらでもない ■興味はない

【性別・年齢別】

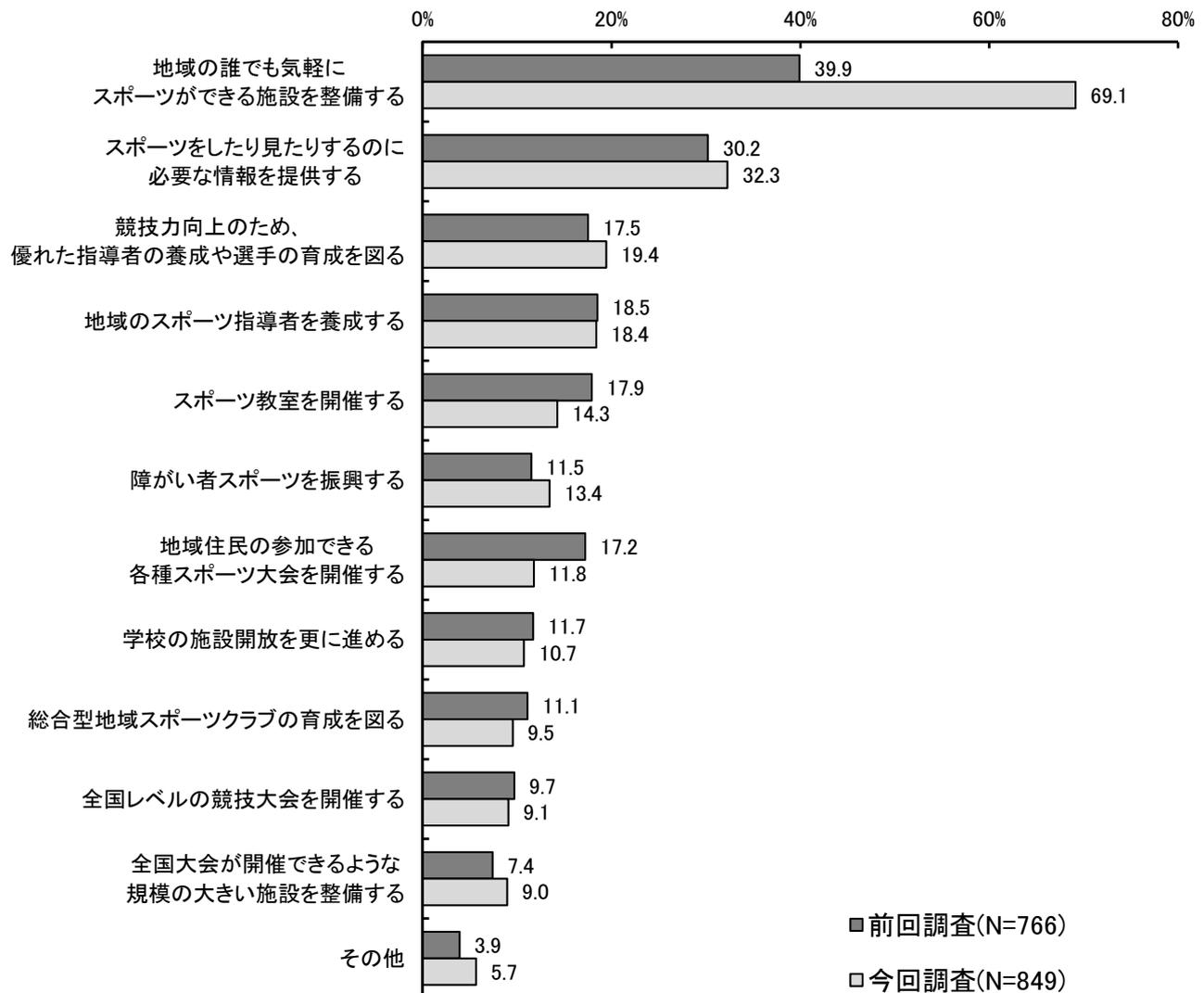


11 行政に期待することについて

問52 あなたが、スポーツ振興策として、県や市町に求めるものは何ですか。(〇は3つまで)

前回調査に比べて、傾向に差はないが、「地域の誰でも気軽にスポーツができる施設を整備する」が、29.2ポイント増加。

【全体】



Ⅲ 児童・生徒調査結果

Ⅰ 属性

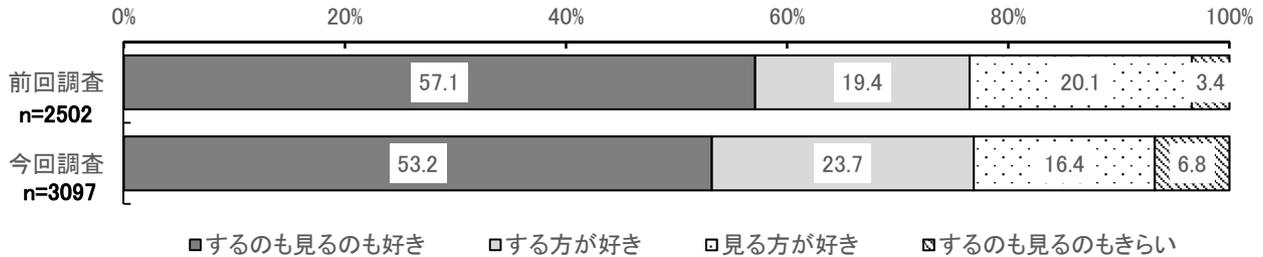
特性		対象者数 (人)	比率 (%)
性 別	男	1,514	48.7
	女	1,568	50.4
	無回答	28	0.9
学 校 学 年	小学4年生	367	11.8
	小学5年生	332	10.7
	小学6年生	350	11.3
	中学1年生	344	11.1
	中学2年生	327	10.5
	中学3年生	344	11.1
	高校1年生	354	11.4
	高校2年生	326	10.5
	高校3年生	347	11.2
	無回答	19	0.6

2 運動やスポーツについての興味・関心について

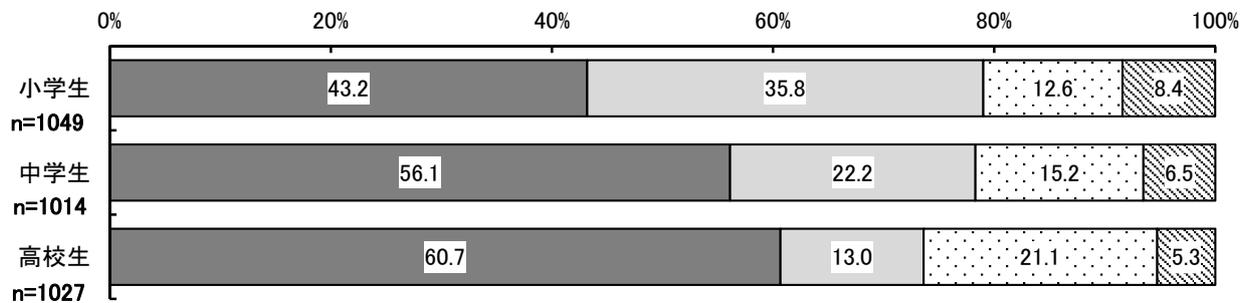
問3 運動やスポーツが好きですか。(○は1つ)

前回調査と比べ「するのを見るのも好き」が3.9ポイント減少。学年が上がるほど「するのを見るのも好き」が高くなる。男子の方が女子より、「するのを見るのも好き」が高くなる。

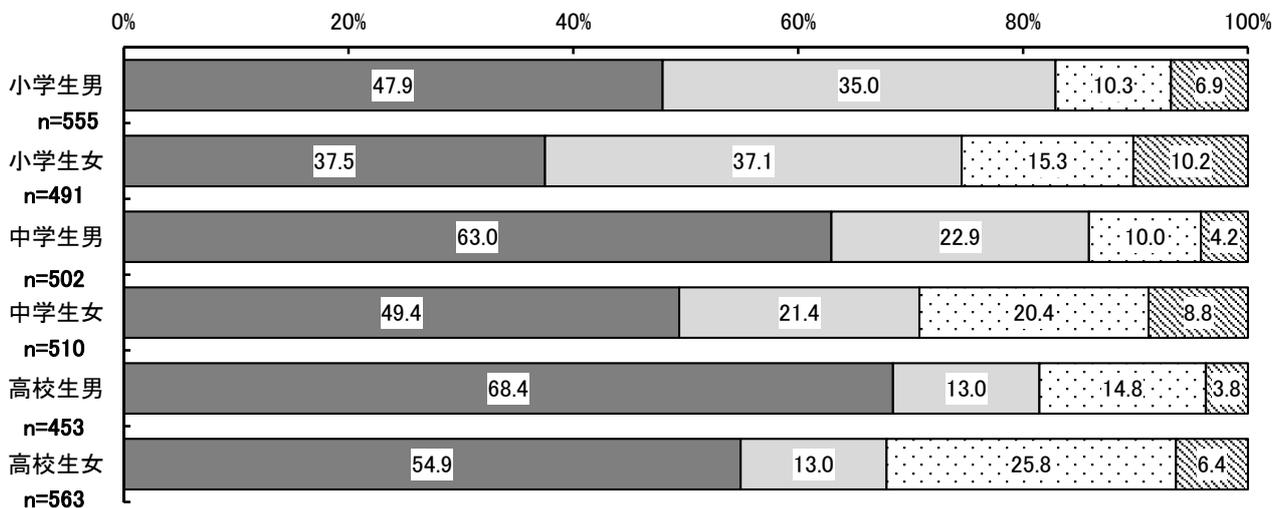
【全体】



【学校別】



【学校別・性別】



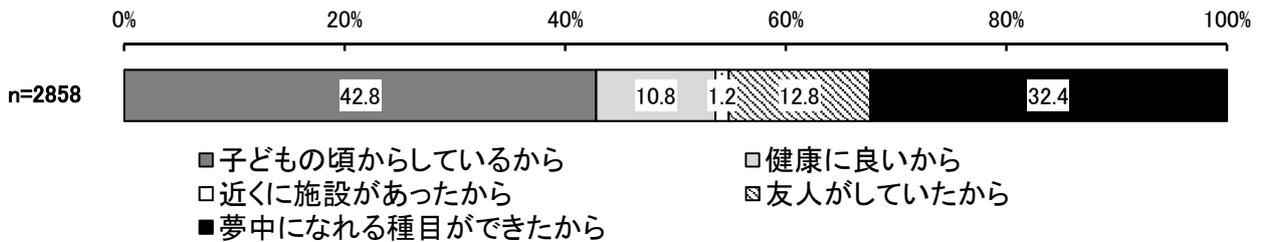
問3-1 <問3で「1:するのも見るのも好き」「2:する方が好き」「3:見る方が好き」を選択した方のみお答えください。>

運動やスポーツをしたり見たりすることが好きになったきっかけは何ですか。

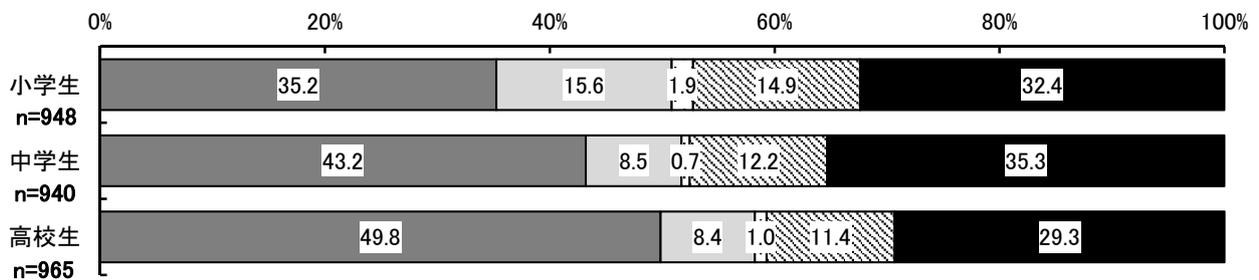
(○は1つ)

「子どもの頃からしているから」と「夢中になれる種目ができるから」の割合が高い。「近くに施設があったから」は数%で低い。

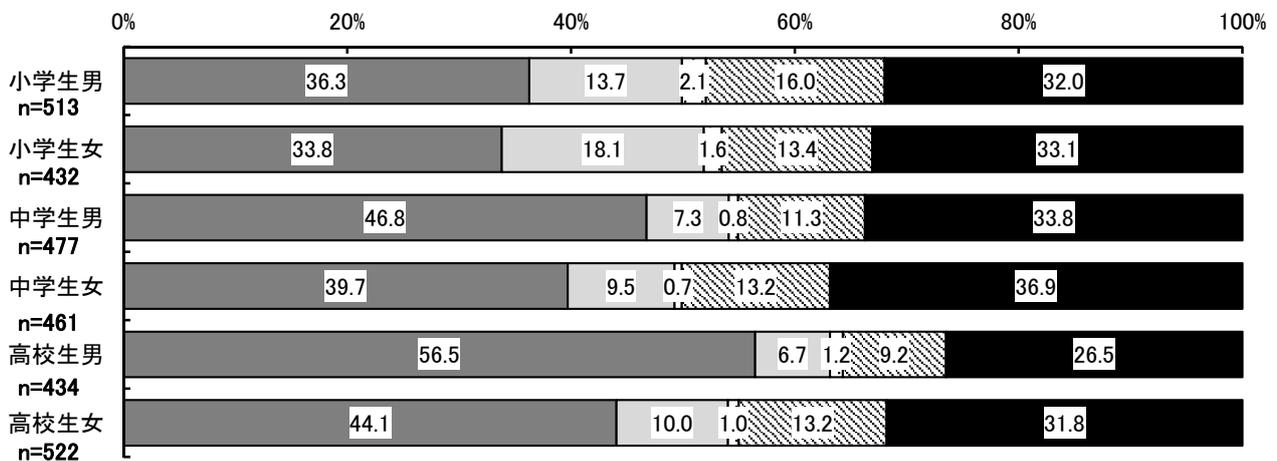
【全体】



【学校別】



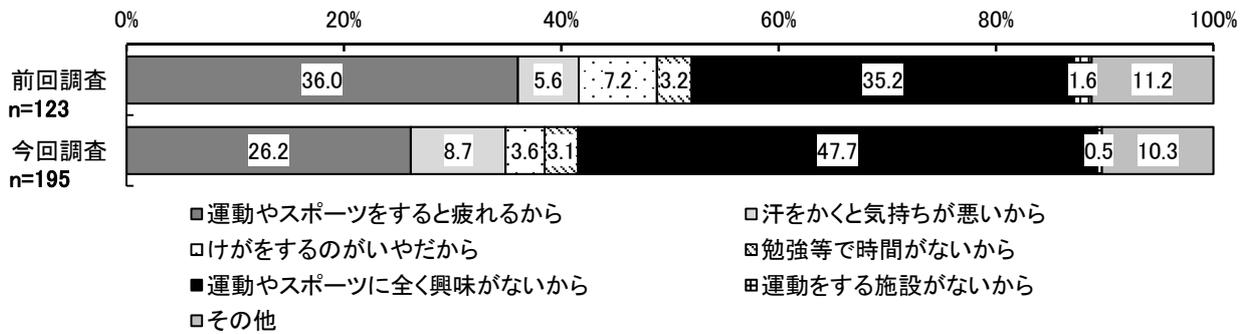
【学校別・性別】



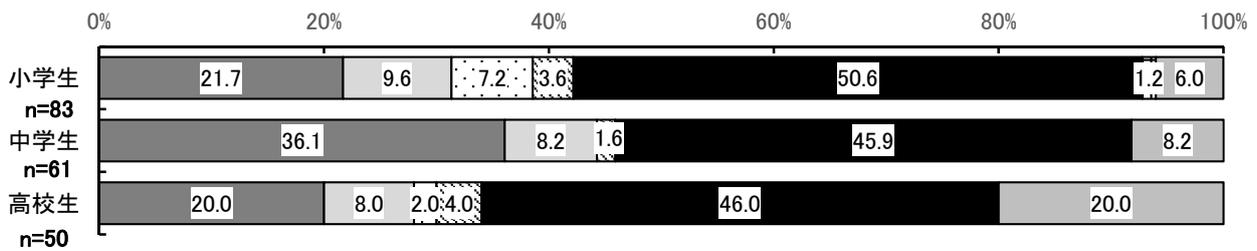
問4 <問3で「4：するのも見るのもきれい」を選択した人のみ答えてください。>
 運動やスポーツがきれいな理由は何ですか。（○は1つ）

前回調査と比べ「運動やスポーツをすると疲れるから」が9.8ポイント減少。「運動やスポーツに全く興味がないから」が12.5ポイント増加。「運動やスポーツに全く興味がないから」は、全ての学年、性別共に最多回答。

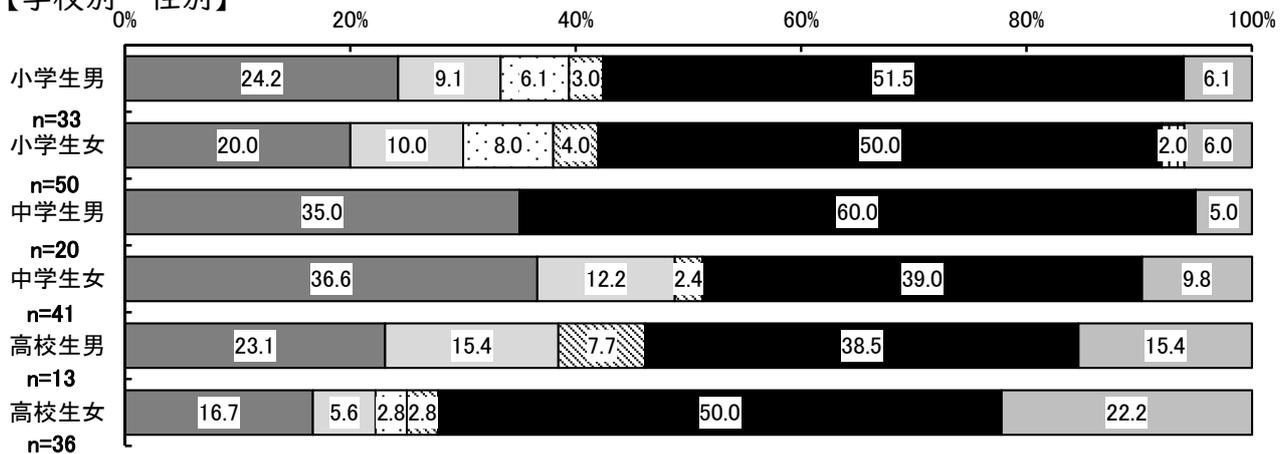
【全体】



【学校別】



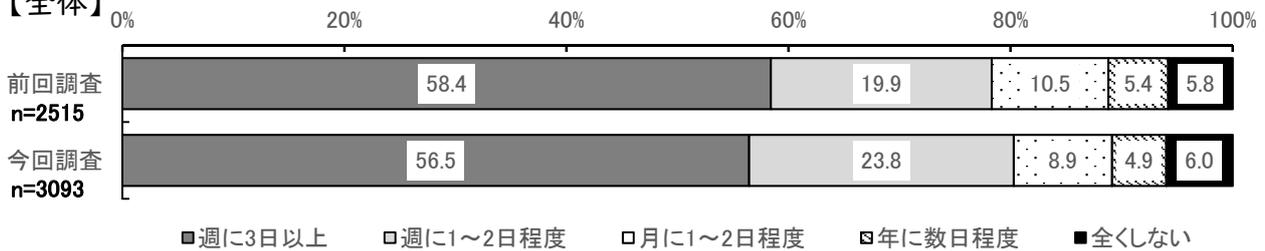
【学校別・性別】



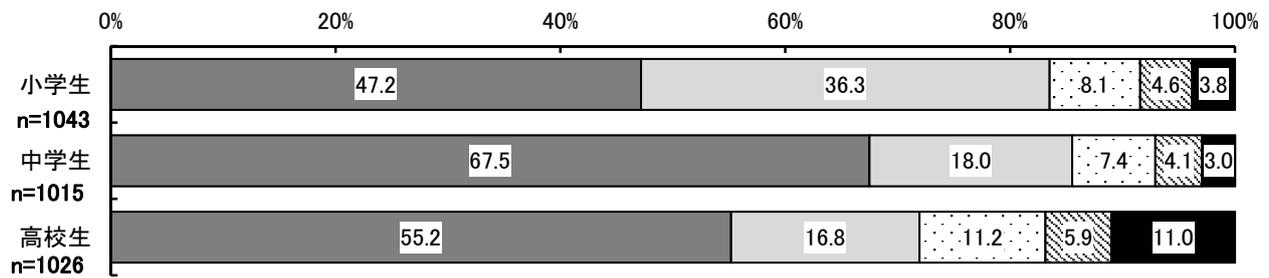
問5 この1年間に運動やスポーツ（体育の授業を除く）をどの程度しましたか。（○は1つ）

「週に3日以上」は中学生男子と高校生男子が7割を超えている。高校生女子のみが「全くしない」で1割を超えている。

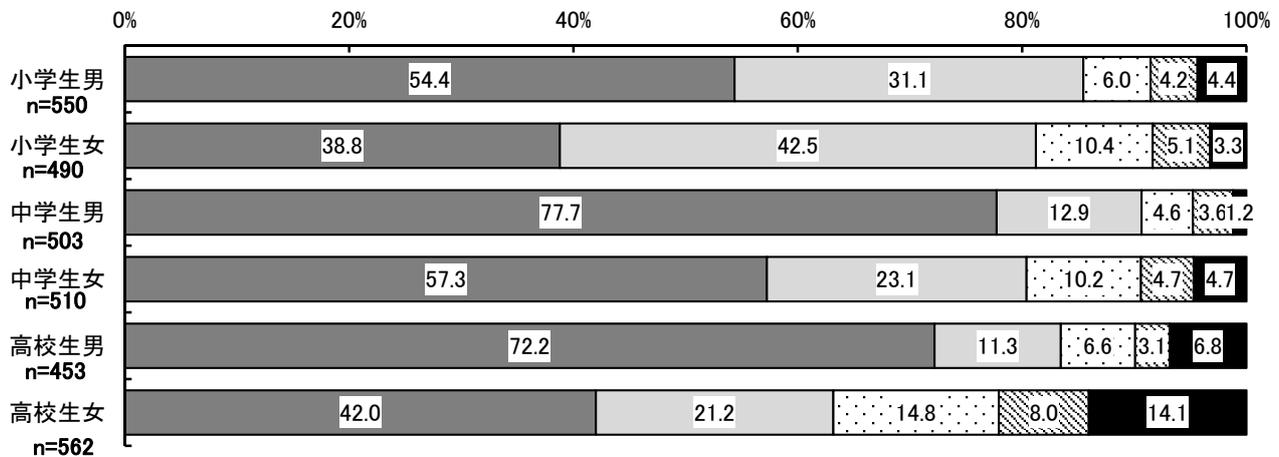
【全体】



【学校別】



【学校別・性別】

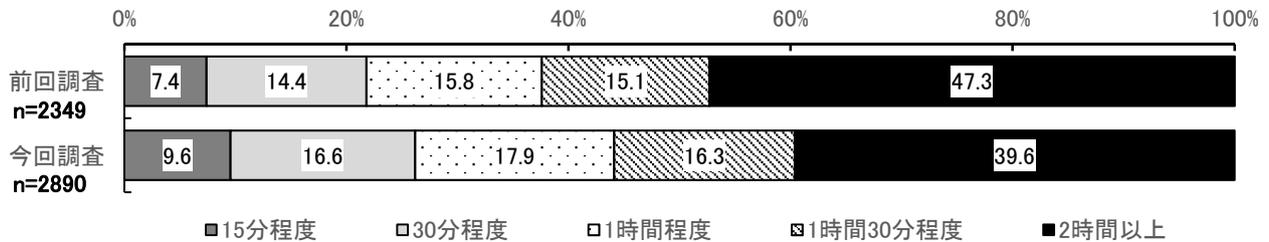


問6 <問5で「1：週に3日以上」「2：週に1～2日程度」「3：月に1～2日程度」「4：年に数日程度」を選択した人のみ教えてください。>

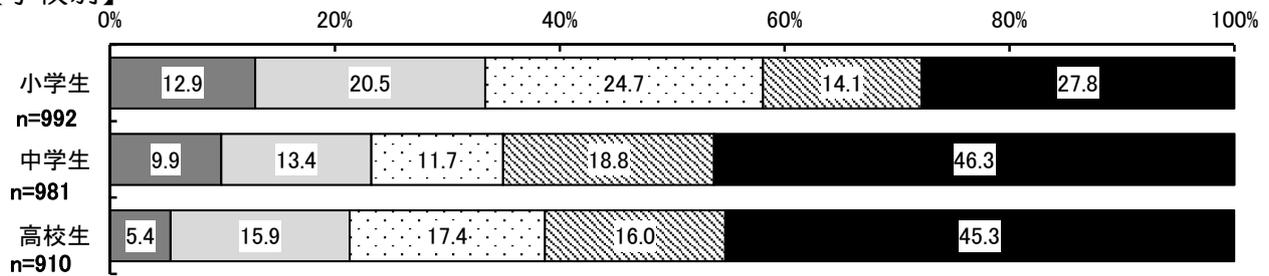
1回の運動時間はどの程度ですか。(○は1つ)

前回調査と比べ、「2時間以上」が7.7ポイント減少。「2時間以上」は中学生男子が5割を超え、高校生男子約6割となっている。

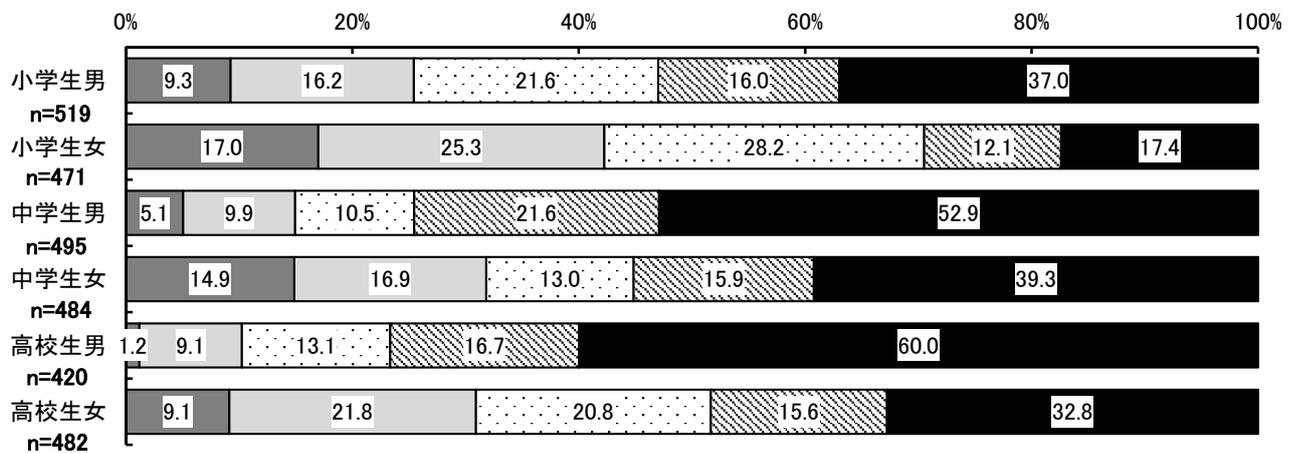
【全体】



【学校別】



【学校別・性別】

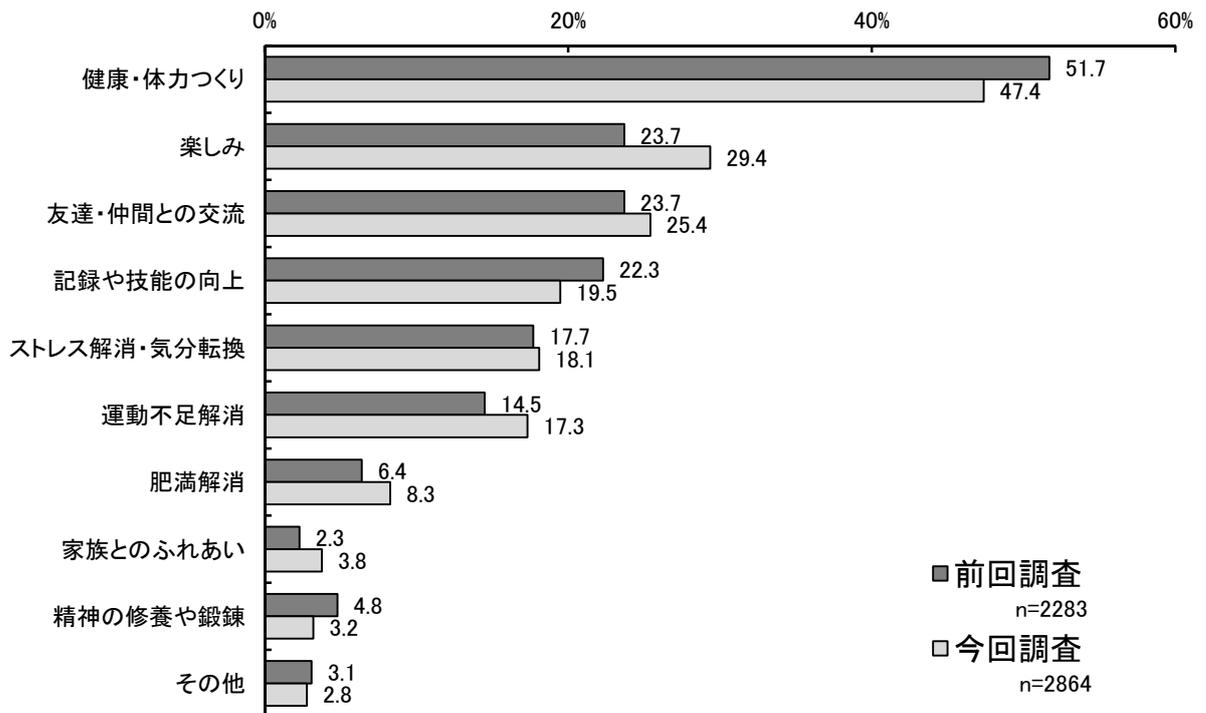


問7 <問5で「1：週に3日以上」「2：週に1～2日程度」「3：月に1～2日程度」「4：年に数日程度」を選択した人のみ教えてください。>

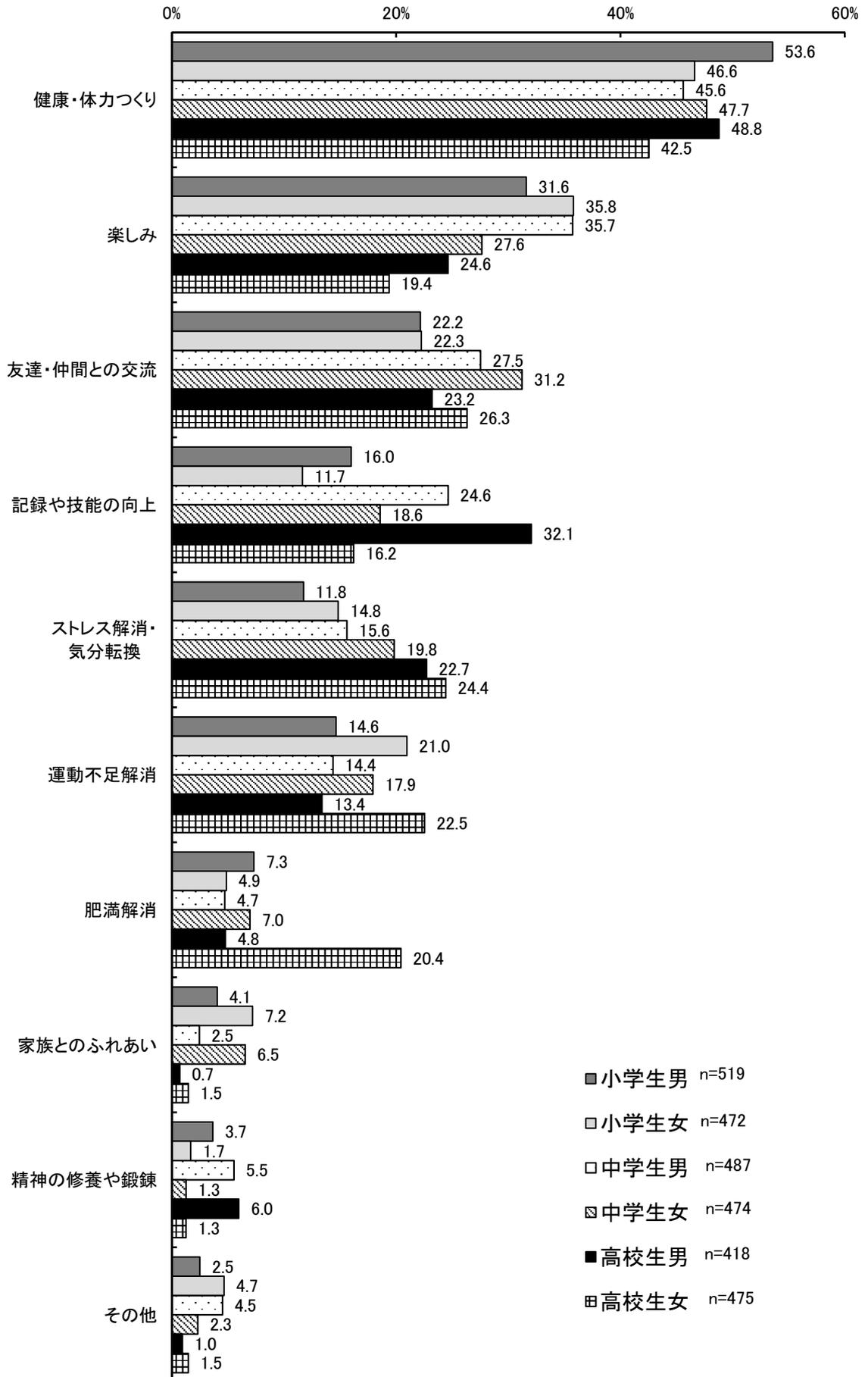
運動やスポーツを行う理由は何ですか。（〇は2つまで）

前回調査と比べ、「健康・体力づくり」が4.3ポイント減少し、「楽しみ」、「友達・仲間との交流」、「運動不足解消」、「肥満解消」、「家族とのふれあい」が1ポイント以上増加。「肥満解消」では高校生女子が2割を超えている。

【全体】



【学校別・性別】

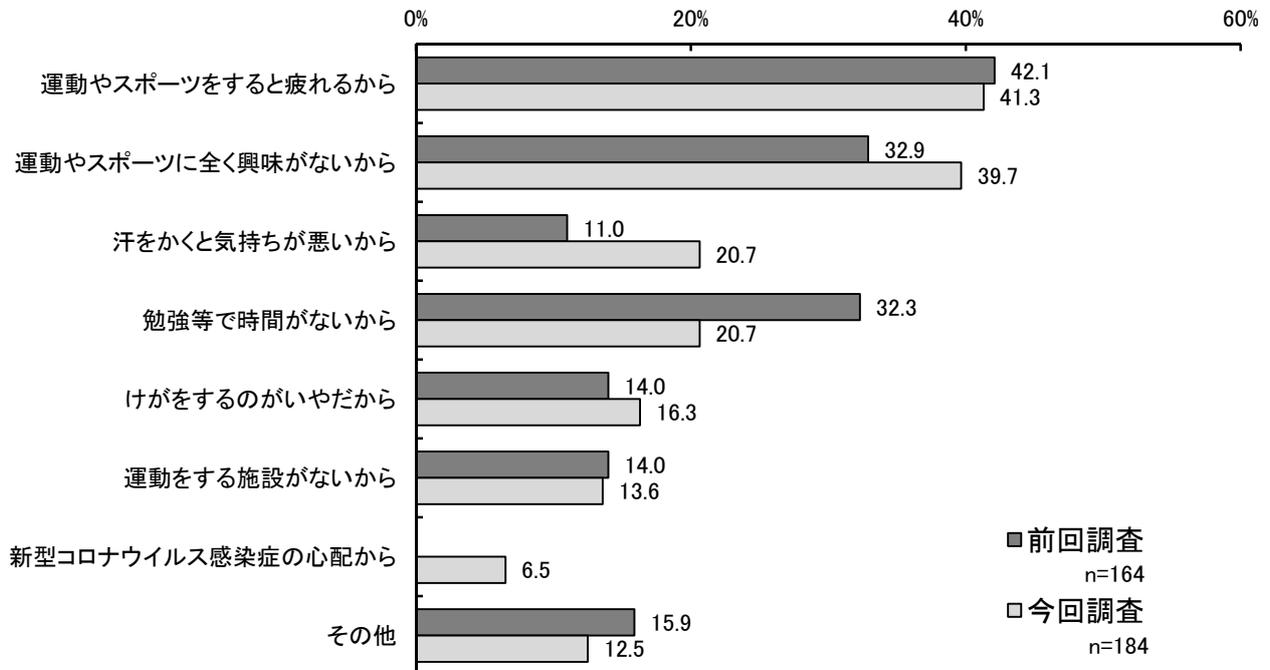


問8 <問5で「5：全くしない」を選択した人のみ答えてください。>

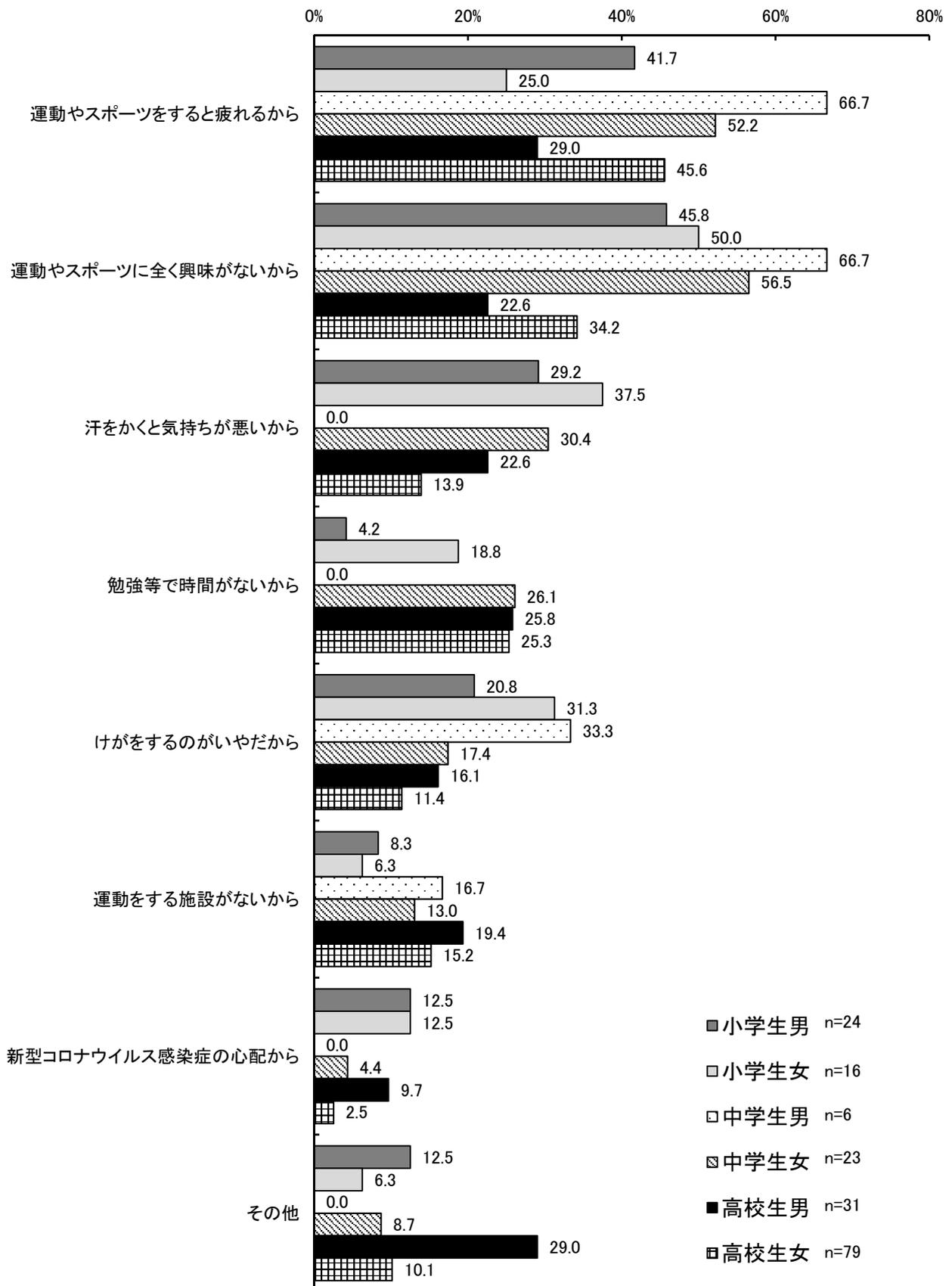
運動やスポーツを全くしない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

前回調査と比べ、「汗をかくと気持ちが悪いから」が9.7ポイント増加し、「勉強等で時間がないから」が11.6ポイント減少。中学生女子は、「運動やスポーツをすると疲れるから」と「運動やスポーツに全く興味がないから」が6割を超えている。

【全体】



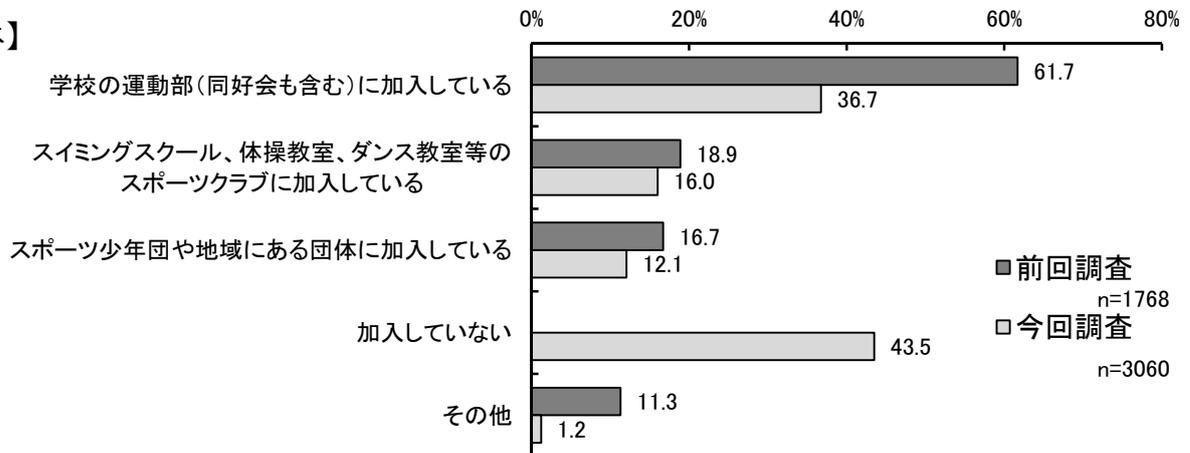
【学校別・性別】



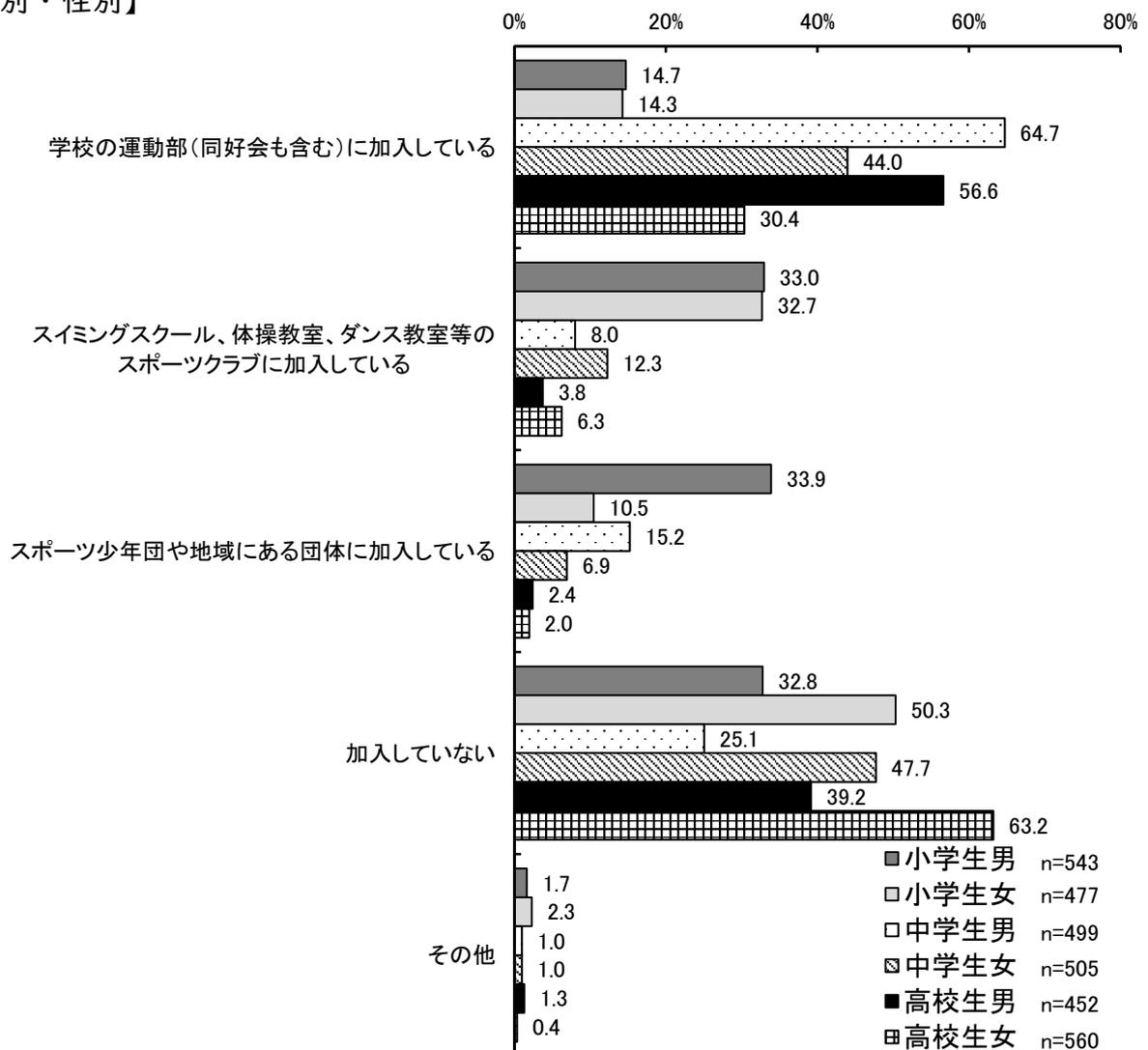
問9 現在、運動やスポーツのクラブや同好会に加入していますか。(〇はいくつでも)

前回調査と比べ、「学校の運動部(同好会を含む)に加入している」が25.0ポイント減少。学校の運動部は、中学生男子と高校生男子は5割を超えている。小学生は男女共に「スイミングスクール、体操教室、ダンス教室等のスポーツクラブに加入している」が3割を超えている。小学生男子の「スポーツ少年団や地域にある団体に加入している」が3割を超えている。

【全体】



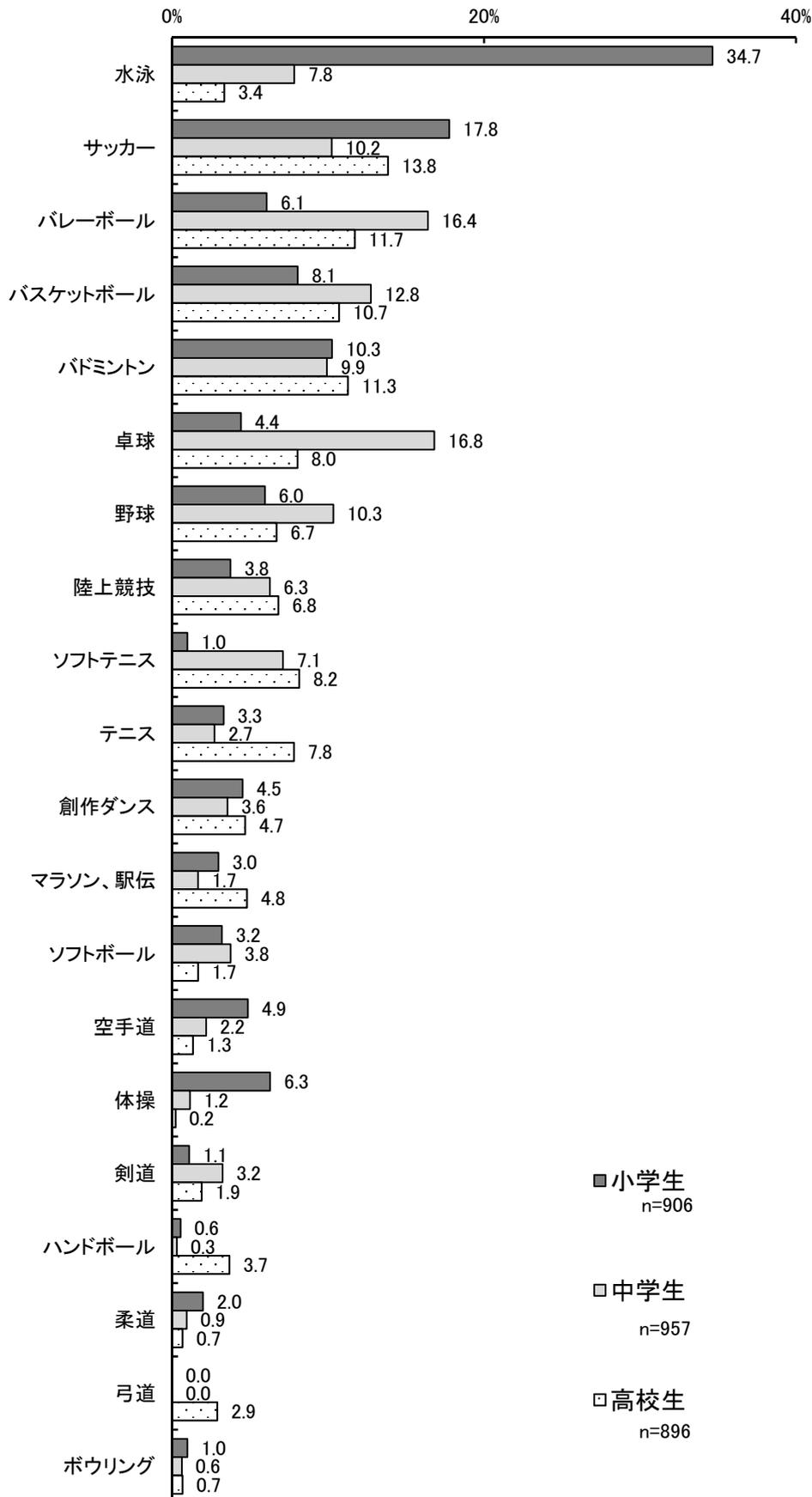
【学校別・性別】



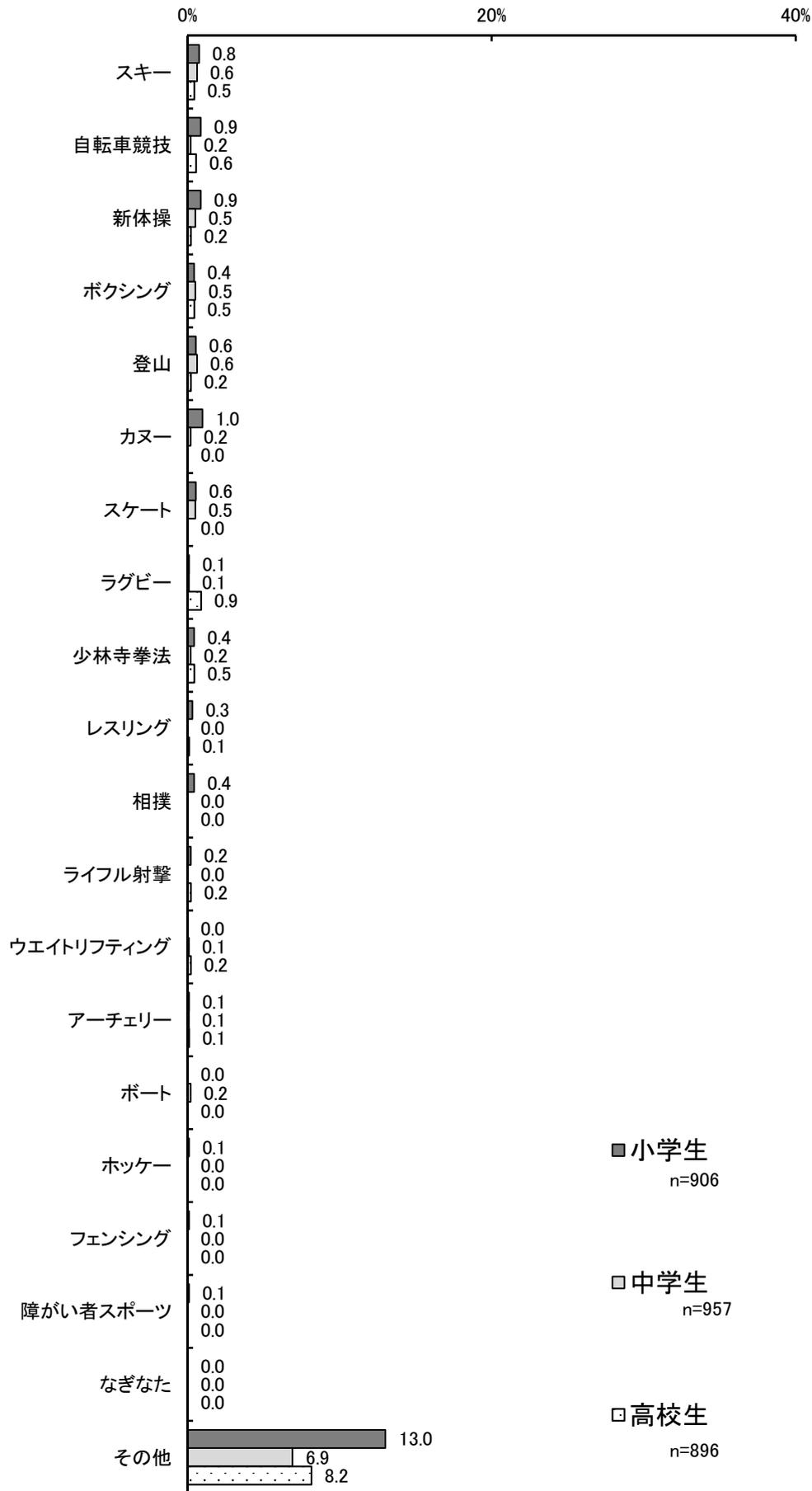
問10 あなたが、実際に行っているスポーツ（部活動も含む）は何ですか。（〇は2つまで）

小学生は、「水泳」が3割を超えて最多回答。中学生は、「バレーボール」「バスケットボール」「卓球」が多い。高校生は、「サッカー」「バレーボール」「バドミントン」が多い。

【学校別】



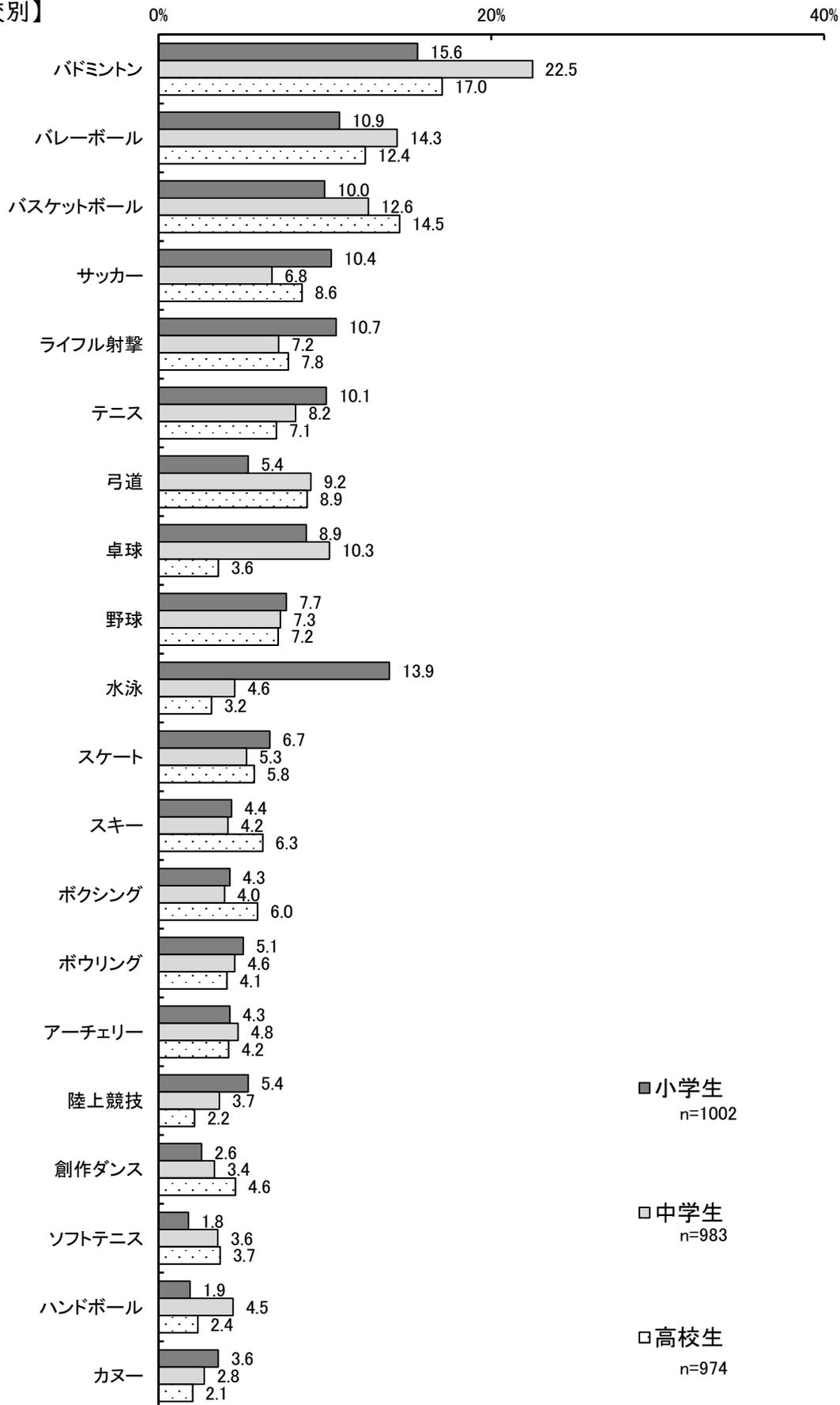
Ⅲ 児童・生徒調査



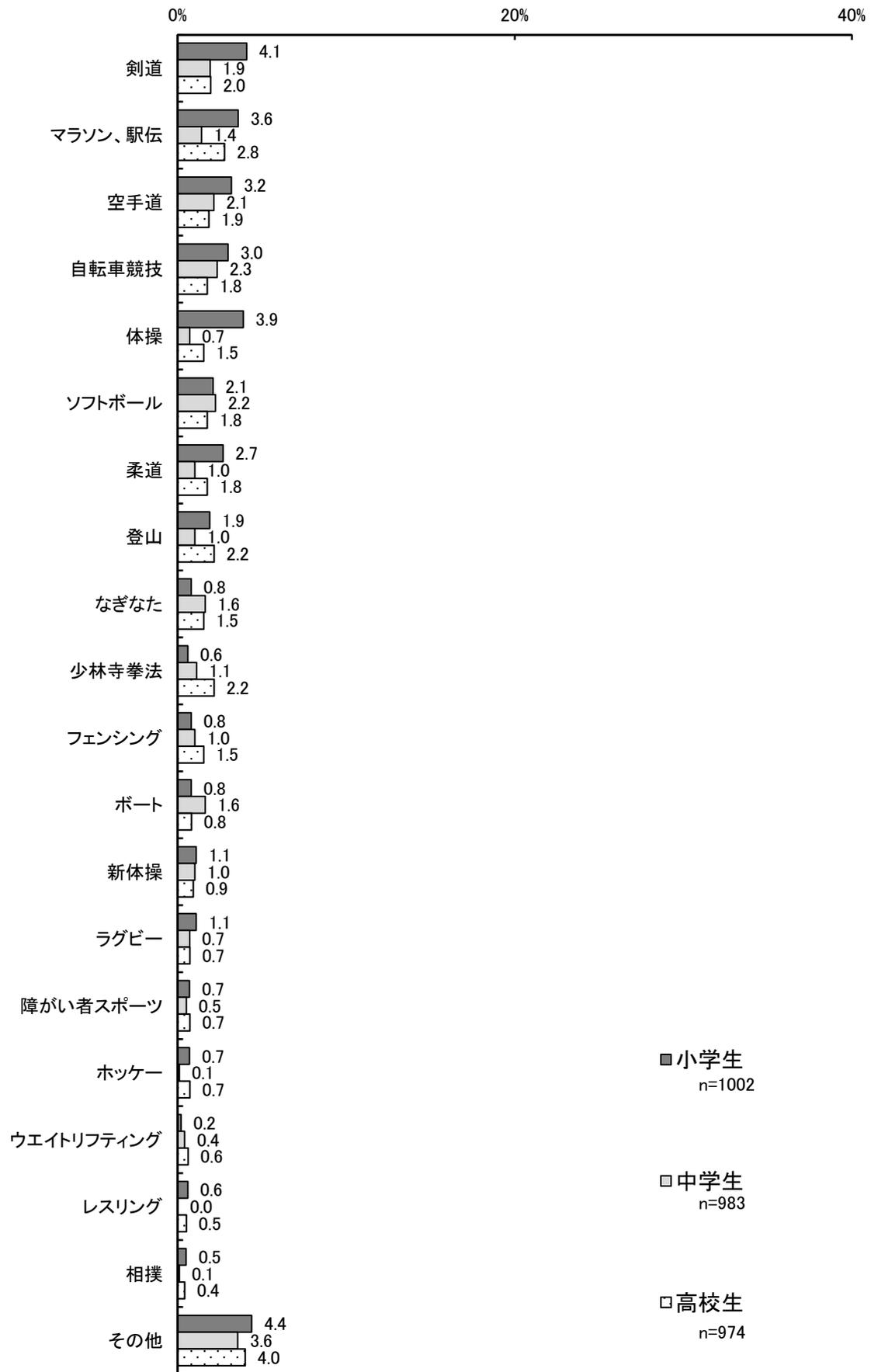
問11 あなたが、今後やりたいスポーツは何ですか。(〇は2つまで)

「バドミントン」が最多回答。小学生は、「水泳」が多い。

【学校別】



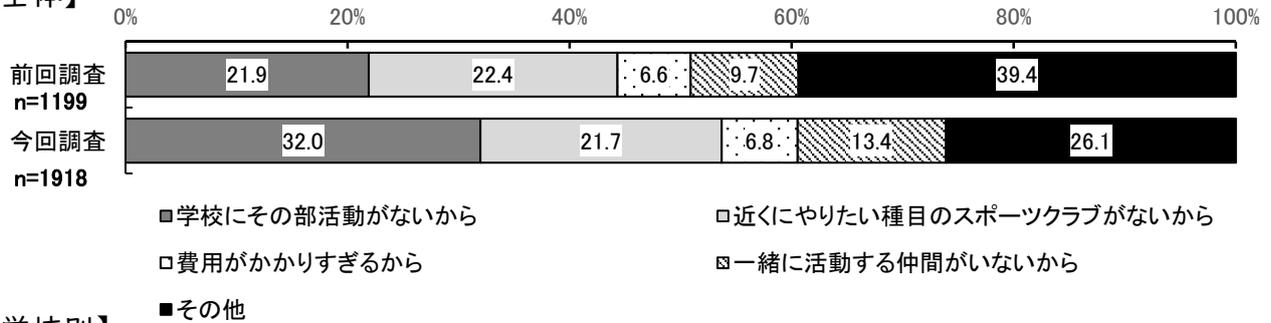
Ⅲ 児童・生徒調査



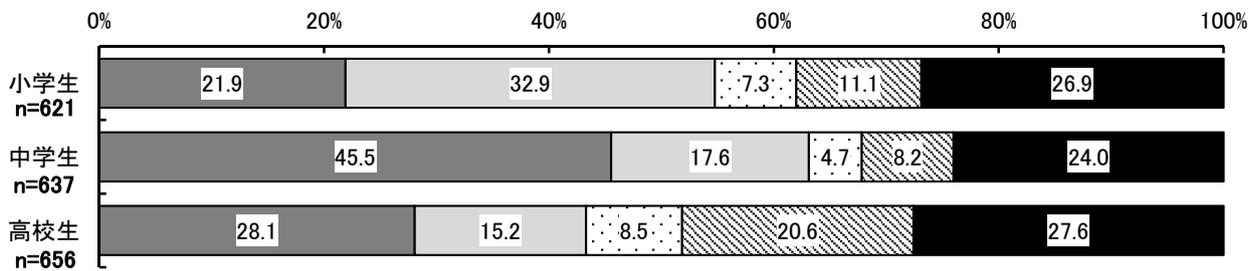
問12 問10と問11で選んだ種目が違う人のみ、違う理由を教えてください。(○は1つ)

前回調査と比べ、「学校にその部活動がないから」が10.1ポイント増加。小学生は、「近くにやりたい種目のスポーツクラブがないから」が最多回答。中学生は、「学校にその部活動がないから」が最多回答。

【全体】



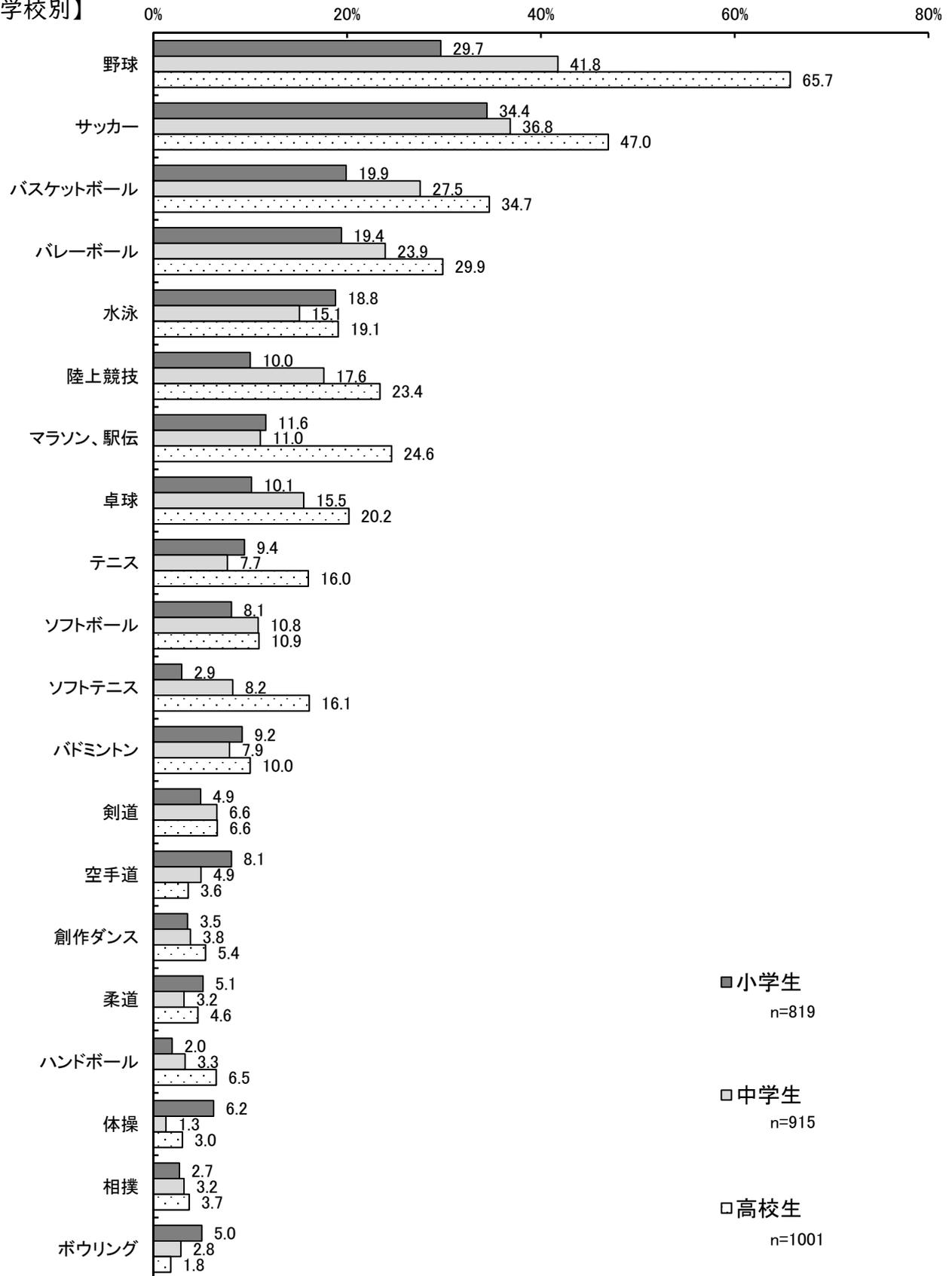
【学校別】

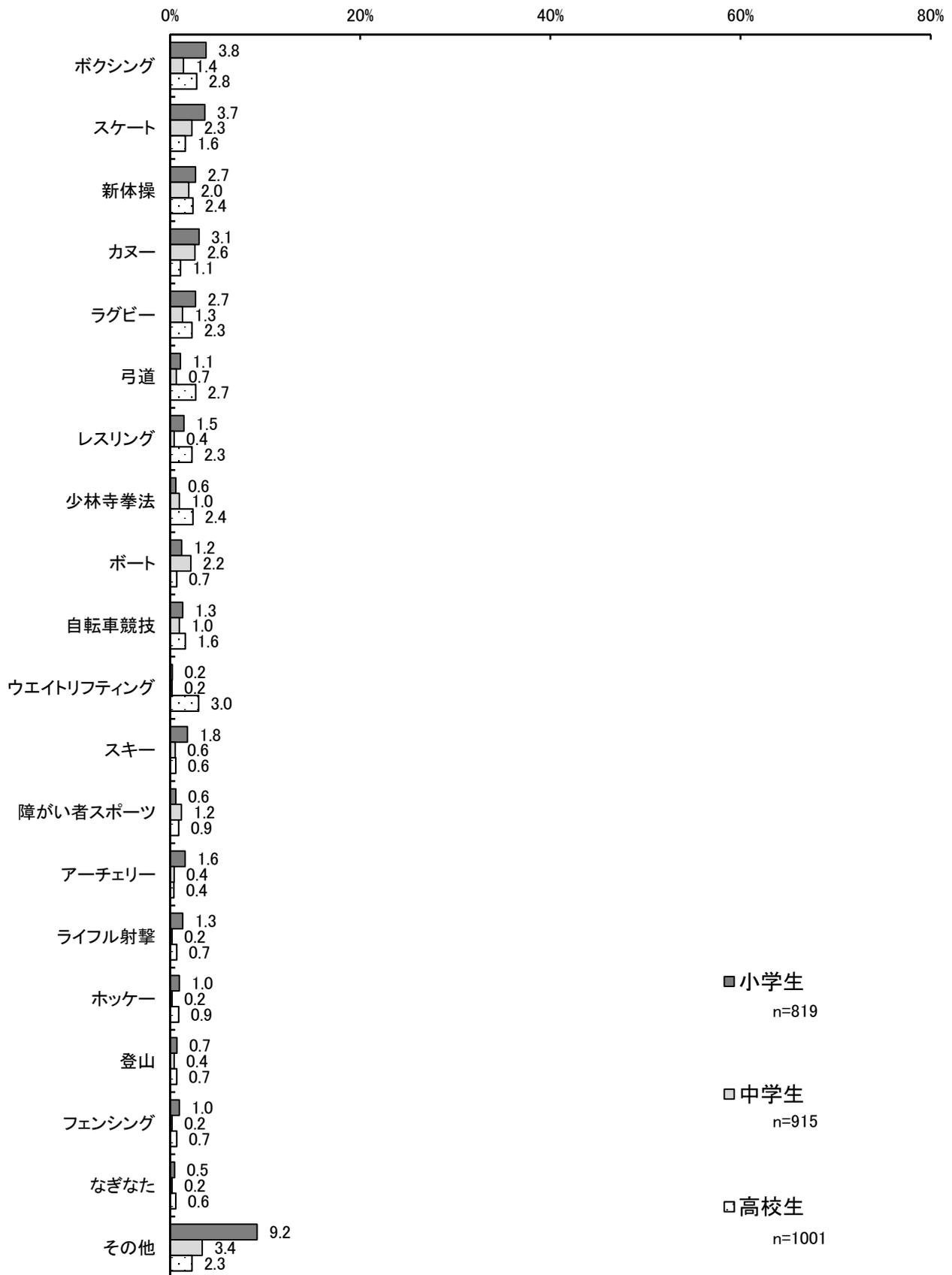


問13 あなたが、これまでに実際に球場や競技場、体育館等に行き、観戦をしたスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)

中学生及び高校生は「野球」「サッカー」「バスケットボール」「バレーボール」の順で多い。小学生は、「サッカー」が最多回答。

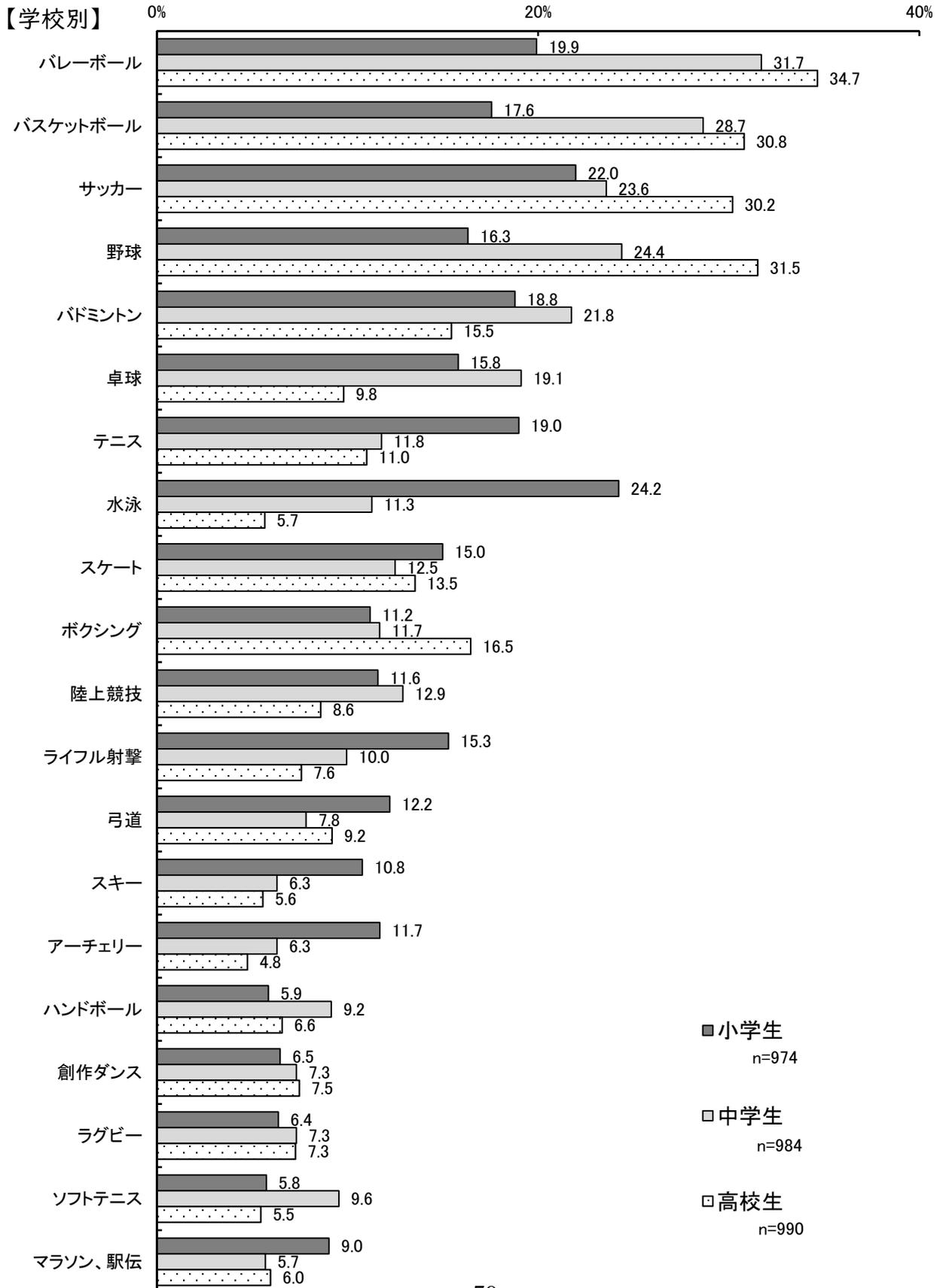
【学校別】

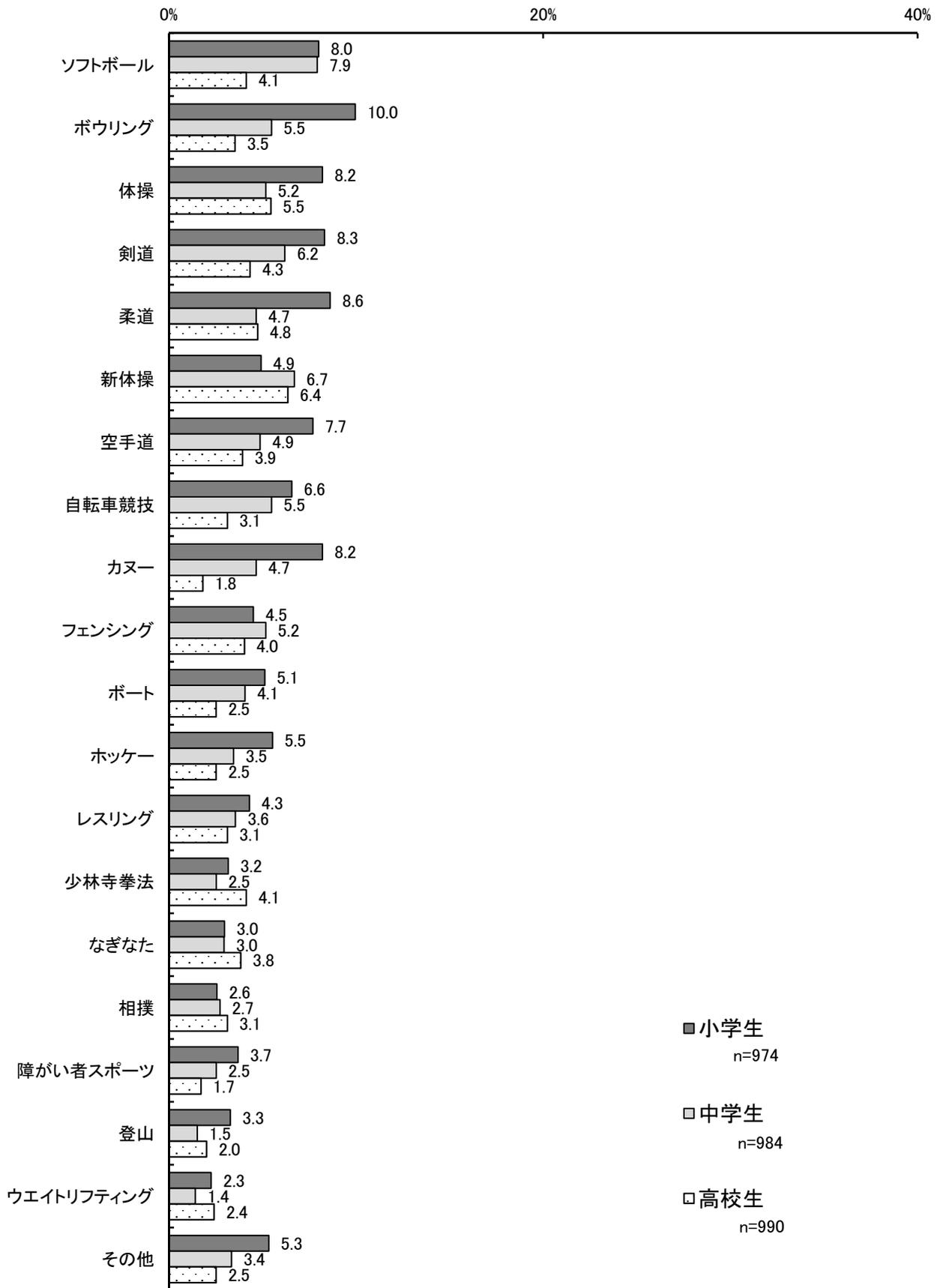




問14 あなたが、今後、球場や競技場、体育館等に行き、観戦をしてみたいスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)

小学生は、「水泳」「サッカー」「バレーボール」「テニス」「バドミントン」、中学生は、「バレーボール」「バスケットボール」「野球」「サッカー」、高校生は、「バレーボール」「野球」「バスケットボール」「サッカー」の順が多い。



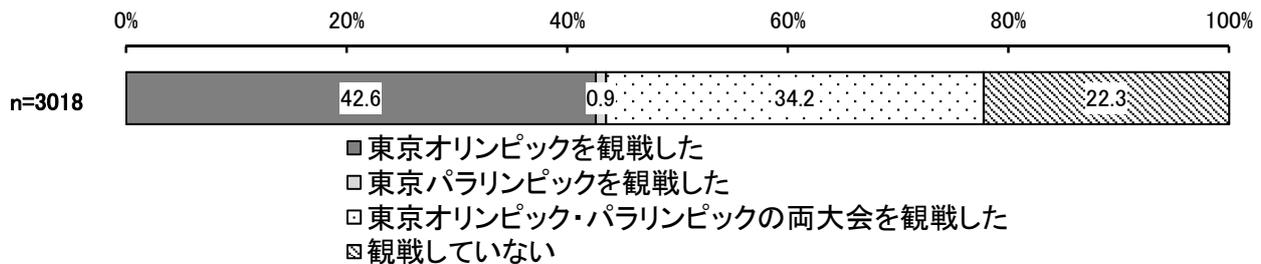


3 東京オリンピック・パラリンピックについて

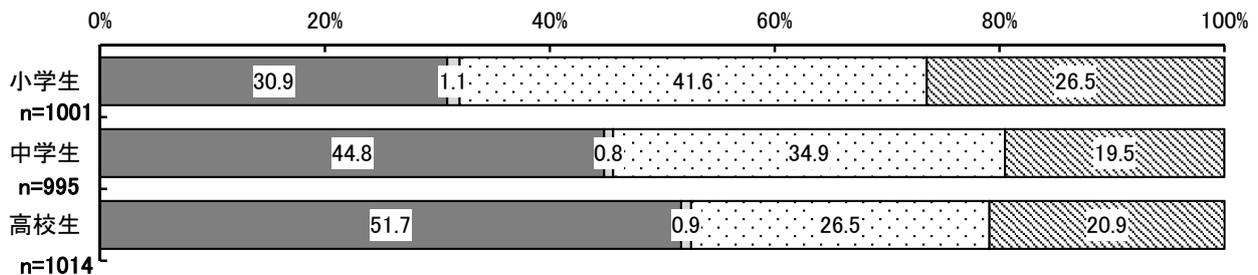
問15 あなたは「東京オリンピック・パラリンピックを観戦しましたか。(テレビやインターネットでの観戦を含む) (○は1つ)

「東京オリンピックを観戦した」が4割を超え、「東京オリンピック・パラリンピックの両大会を観戦した」は3割を超えている。学年が上がるほど「東京オリンピックを観戦した」が多くなる。

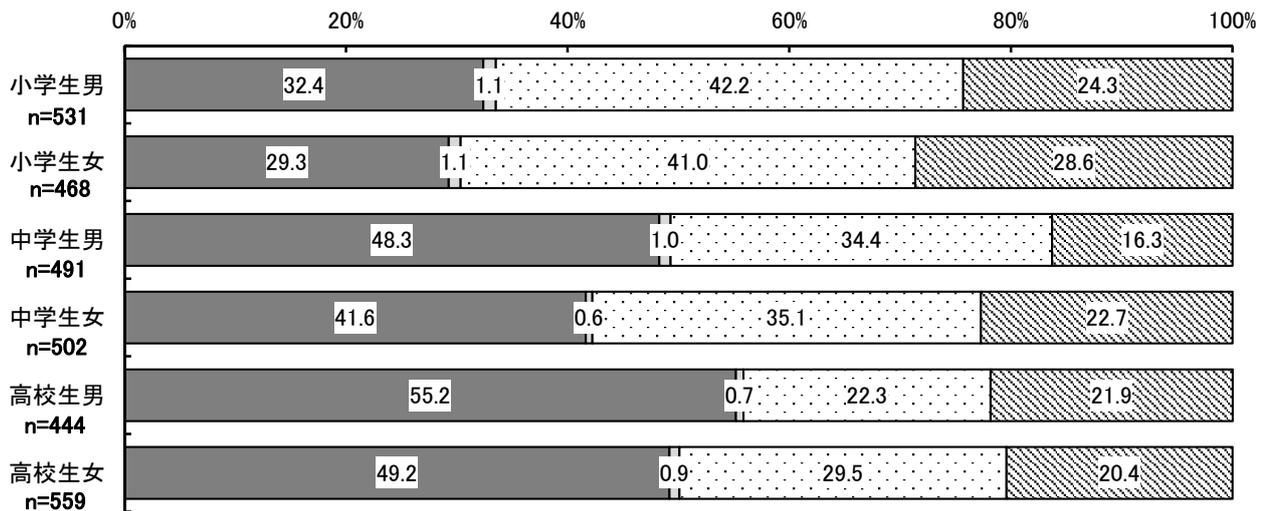
【全体】



【学校別】



【学校別・性別】

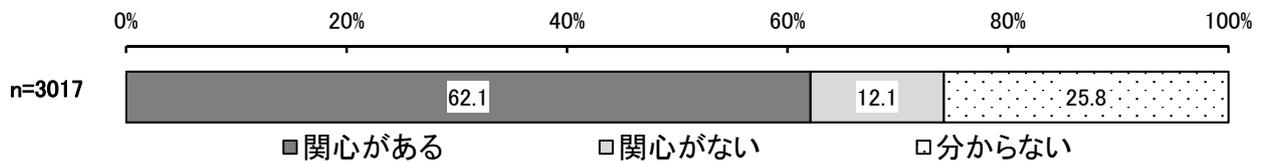


問16 オリンピック・パラリンピックで愛媛県の選手が活躍することに関心はありますか。

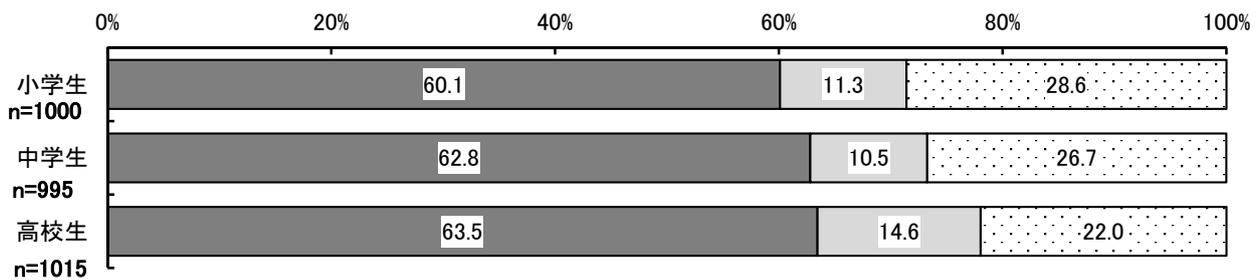
(○は1つ)

「関心がある」が6割を超えている。学年が上がるほど「関心がある」が多くなる。

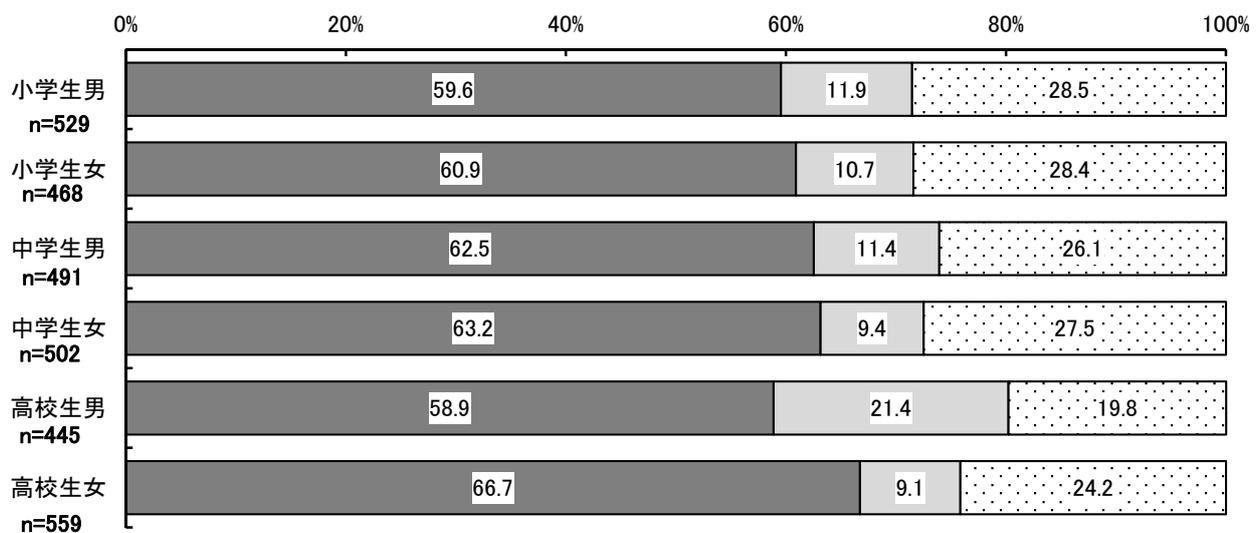
【全体】



【学校別】



【学校別・性別】



IV 幼兒保護者調查結果

I 屬性

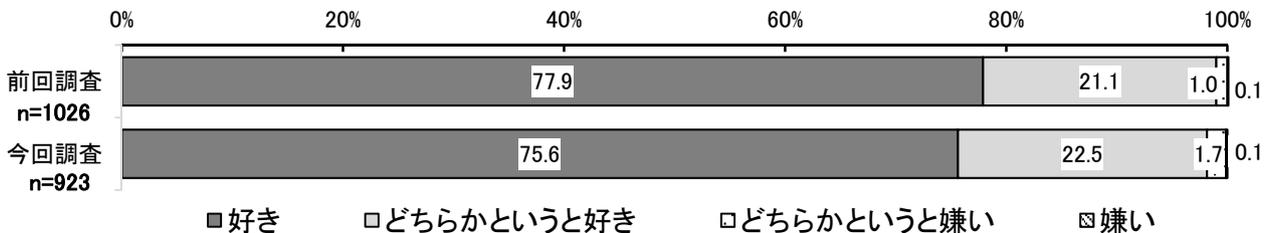
特性		対象者数 (人)	比率 (%)
保護者 性別	男	90	9.7
	女	829	89.6
	無回答	6	0.7
幼兒 学年	年少	276	29.8
	年中	295	31.9
	年長	349	37.7
	無回答	5	0.5

2 あなたのお子様について

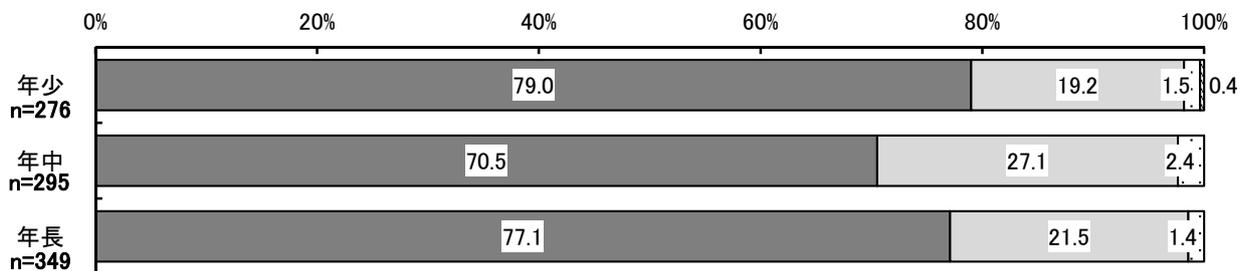
問3 お子さんは運動（スポーツ）や外遊びが好きですか。（○は1つ）

前回調査と比べ「好き」が2.3ポイント減少。全ての学年で、「好き」が約7割、「どちらかという
と好き」が約2割、「嫌い」は1%未満となっている。

【全体】



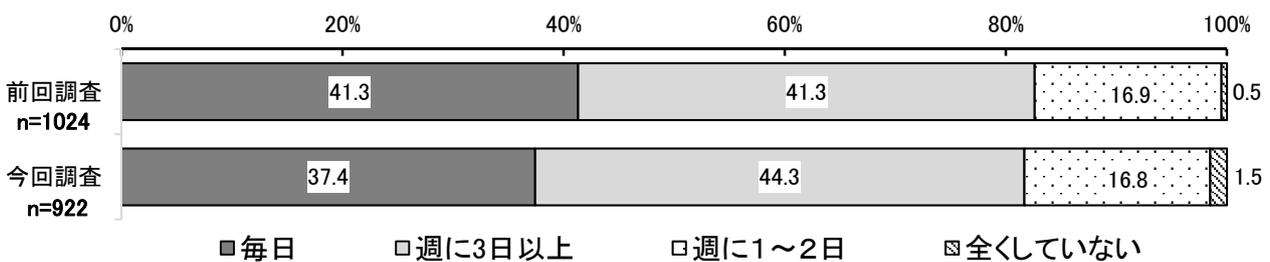
【学年】



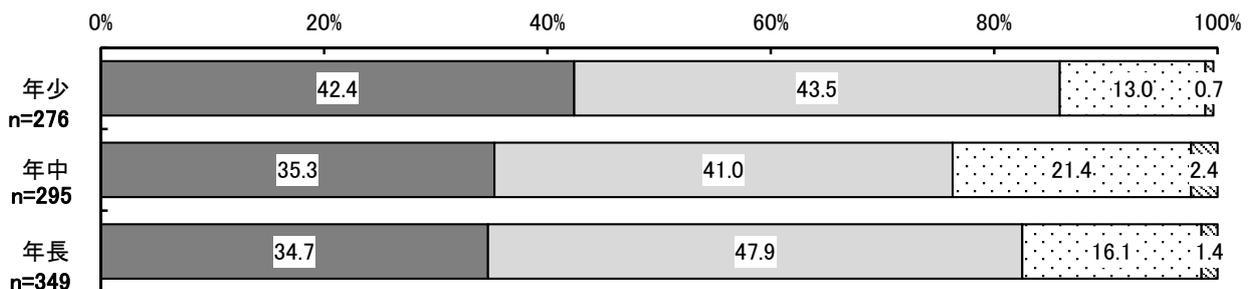
問4 お子さんは運動（スポーツ）や外遊びをしていますか。（○は1つ）

前回調査と比べ「毎日」が3.9ポイント減少。全ての学年で、「週に1～2日」以上が9割以上、「週に3日以上」が7割以上となっている。

【全体】



【学年】

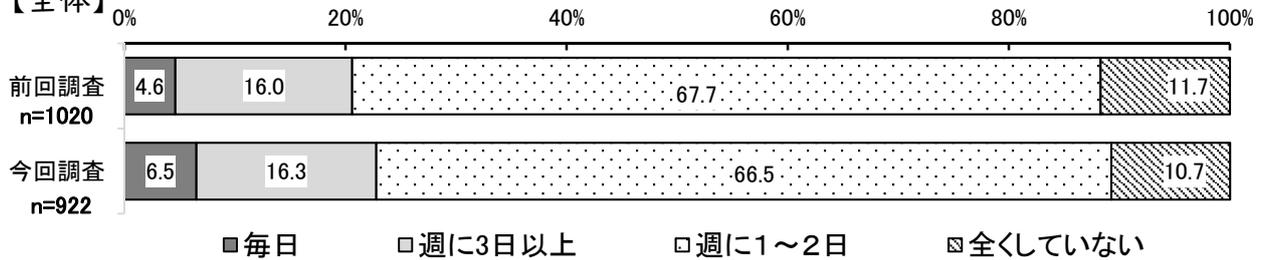


問5 あなたは、お子さんと一緒に、どのくらい運動（スポーツ）や外遊びをしていますか。

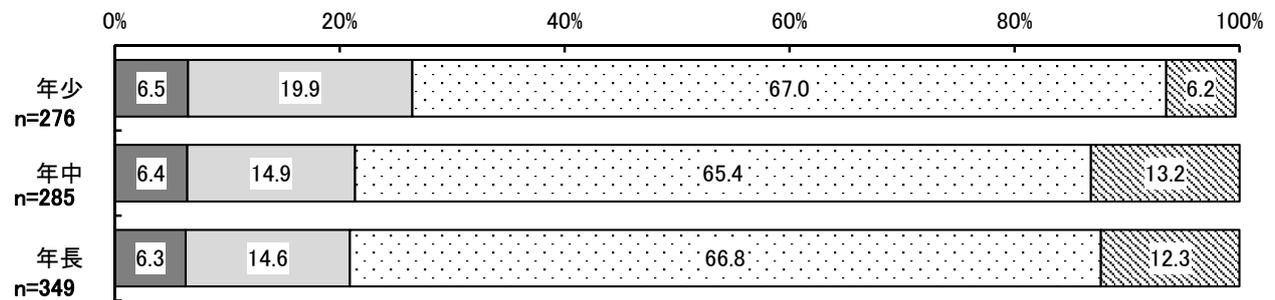
(○は1つ)

前回調査と比べ「毎日」が1.9ポイント増加。学年別では、「週に1～2日」以上は、年少が9割以上、年中と年長が8割以上となっている。

【全体】



【学年】

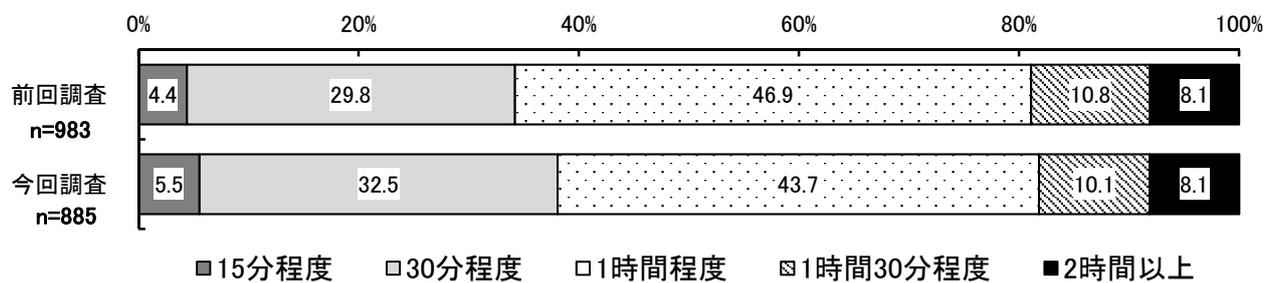


問6 <問4で「1：毎日」「2：週に3日以上」「3：週に1～2日」を選択した方にお伺いします。>

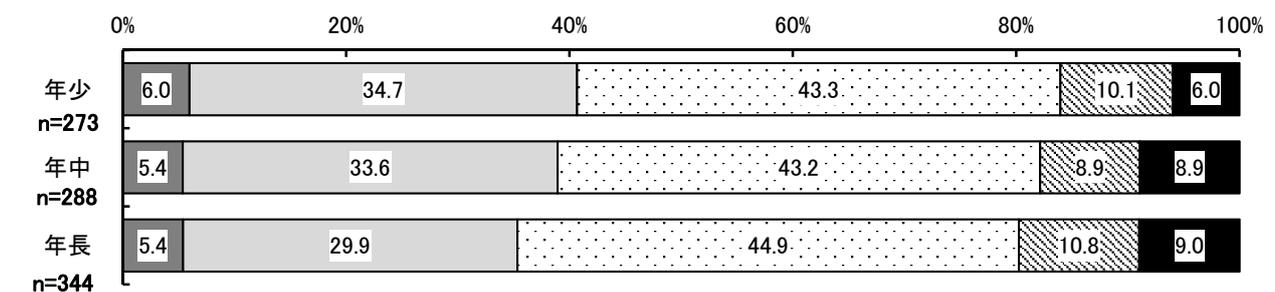
1回の運動（スポーツ）や外遊びの時間はどの程度ですか。(○は1つ)

前回調査と比べ「30分程度」以下が3.8ポイント増加。学年が上がるほど時間が長くなる傾向がみられる。

【全体】



【学年】



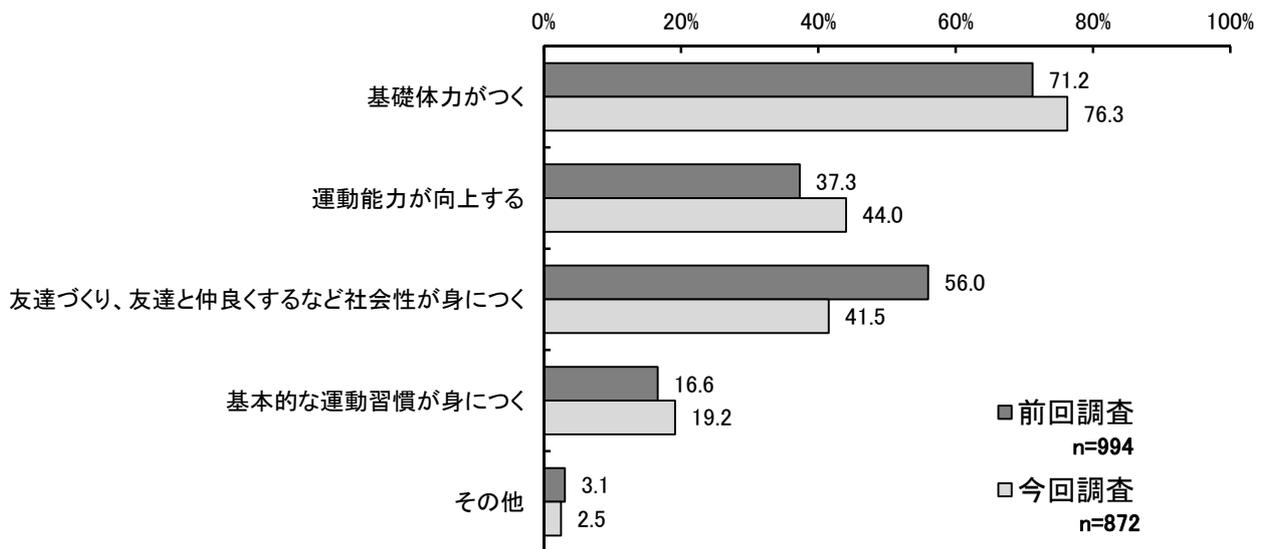
問7 <問4で「1：毎日」「2：週に3日以上」「3：週に1～2日」を選択した方にお伺いします。>

お子さんが運動（スポーツ）や外遊びで得られる効果は何だと思えますか。

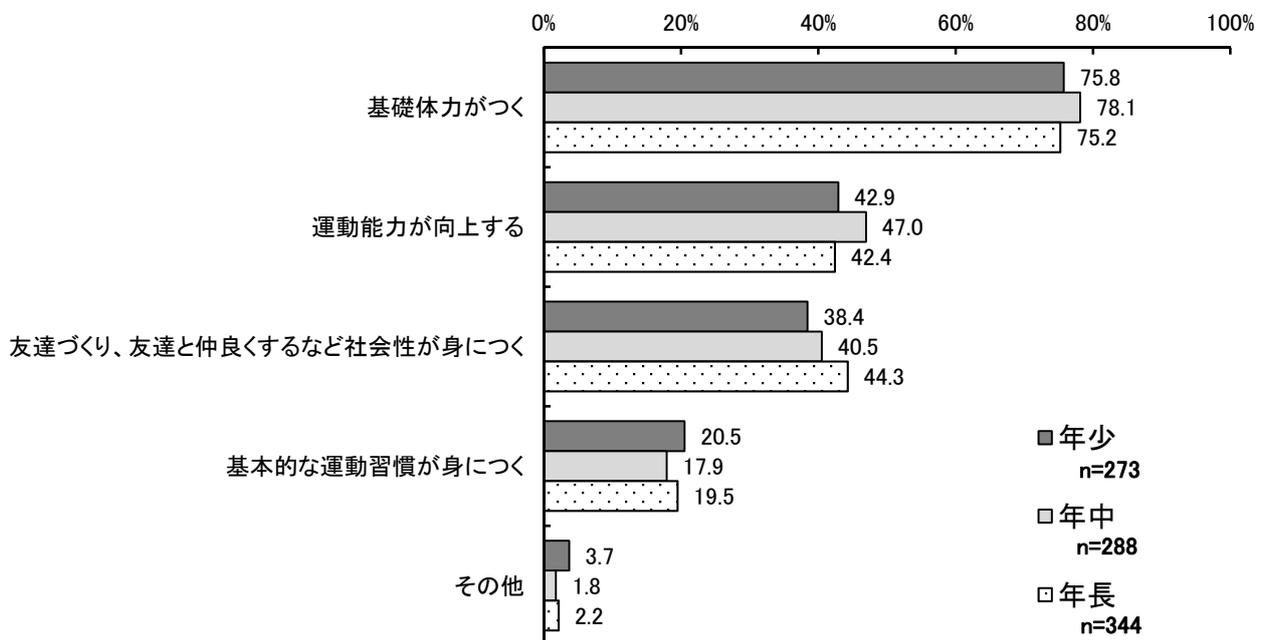
(○は2つまで)

前回調査と比べ「友達づくり、友達と仲良くするなど社会性が身につく」が14.5ポイント減少。
全ての学年で、「基礎体力がつく」が7割以上。

【全体】



【学年】

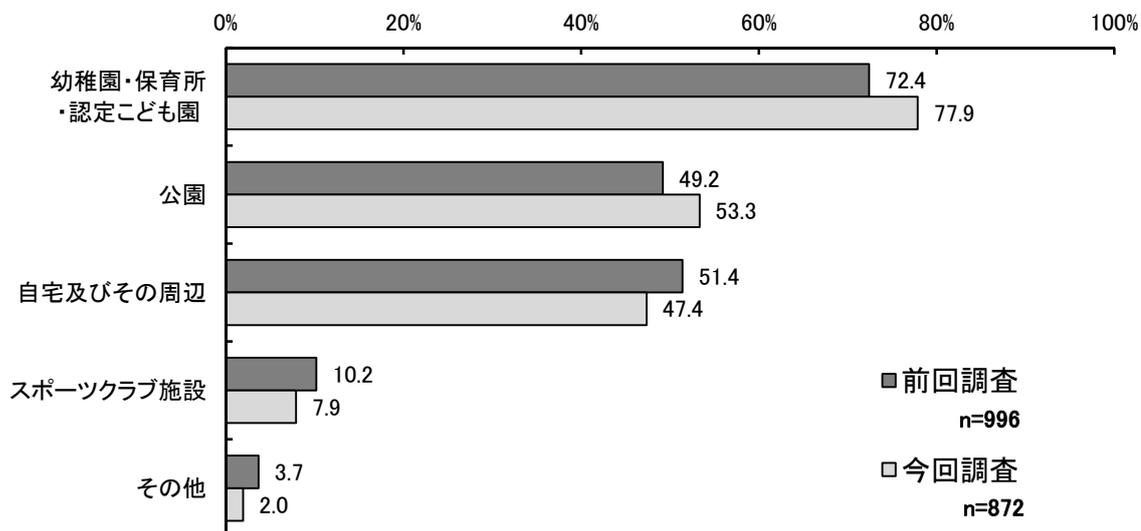


問8 <問4で「1：毎日」「2：週に3日以上」「3：週に1～2日」を選択した方にお伺いします。>

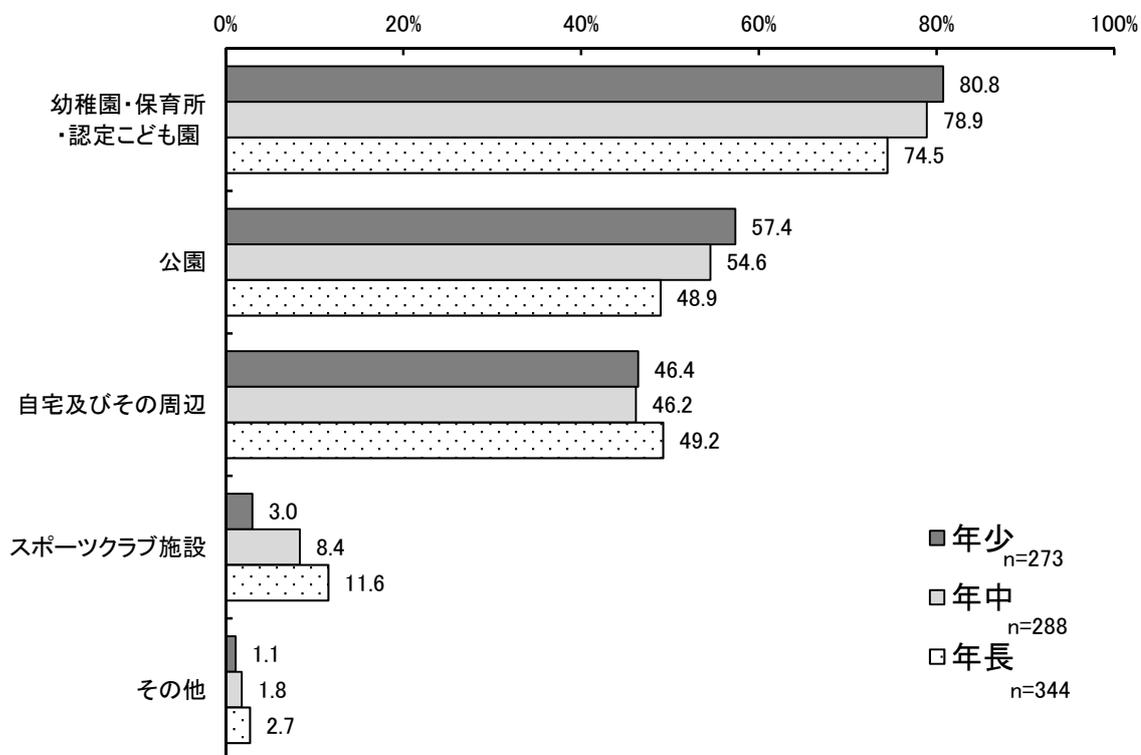
お子さんが運動（スポーツ）や外遊びをする場所はどこですか。（○は2つまで）

前回調査と比べ傾向に大きな差はない。全ての学年で、「幼稚園・保育所・認定こども園」が7割以上。

【全体】



【学年】

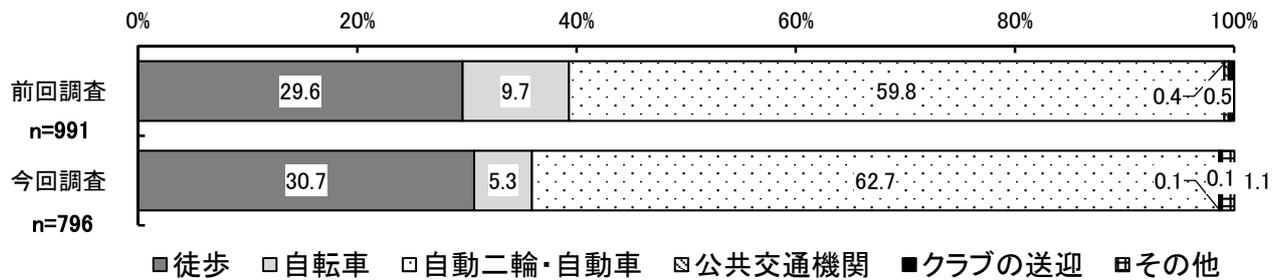


問9 <問4で「1：毎日」「2：週に3日以上」「3：週に1～2日」を選択した方にお伺いします。>

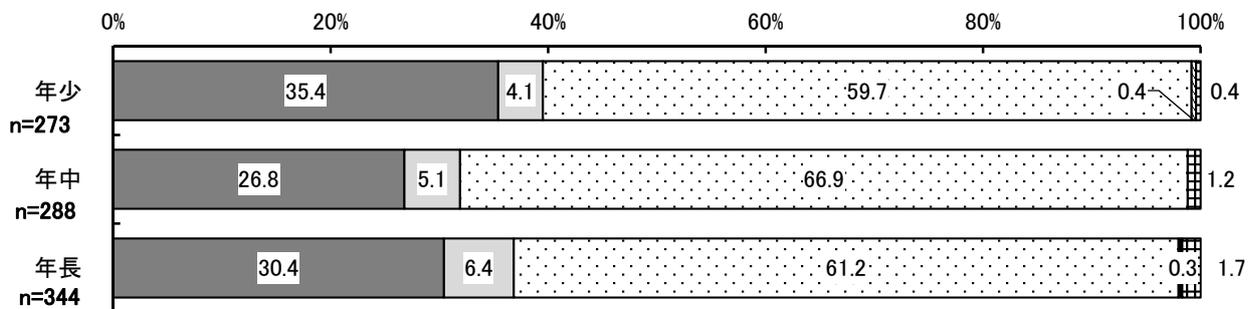
お子さんが運動（スポーツ）や外遊びをする場所までの移動手段は何ですか。（○は1つ）

前回調査と比べ、傾向に大きな差はない。全ての学年で、「自動二輪・自動車」が約6割、「徒歩」が約3割。

【全体】



【学年】



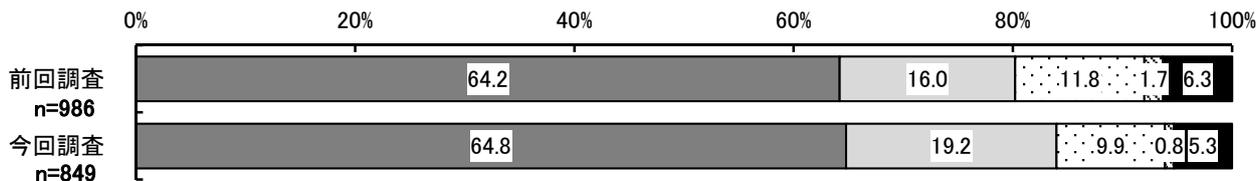
問10 <問4で「1：毎日」「2：週に3日以上」「3：週に1～2日」を選択した方にお伺いします。>

お子さんが運動（スポーツ）や外遊びをするために工夫していることは何ですか。

(○は1つ)

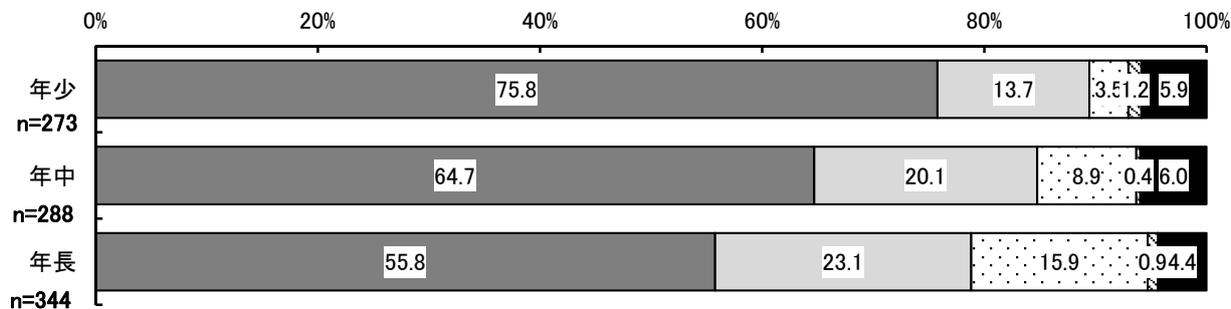
前回調査と比べ、傾向に大きな差はない。学年が上がるほど、「遊具が充実している公園など楽しんで身体を動かすことのできる公園に連れて行っている」が減少し、「テレビやゲームは時間を決めてするようにし、外で遊ぶ機会をつくっている」と「スポーツクラブや教室に加入し、運動や外遊びに興味を持つ機会をつくっている」が増加している。

【全体】



- 遊具が充実している公園など楽しんで身体を動かすことのできる公園に連れて行っている
- テレビやゲームは時間を決めてするようにし、外で遊ぶ機会をつくっている
- スポーツクラブや教室に加入し、運動や外遊びに興味を持つ機会をつくっている
- ▨ 実際に球場や競技場、体育館等と一緒に出かけスポーツイベントの観戦をしている
- その他

【学年】



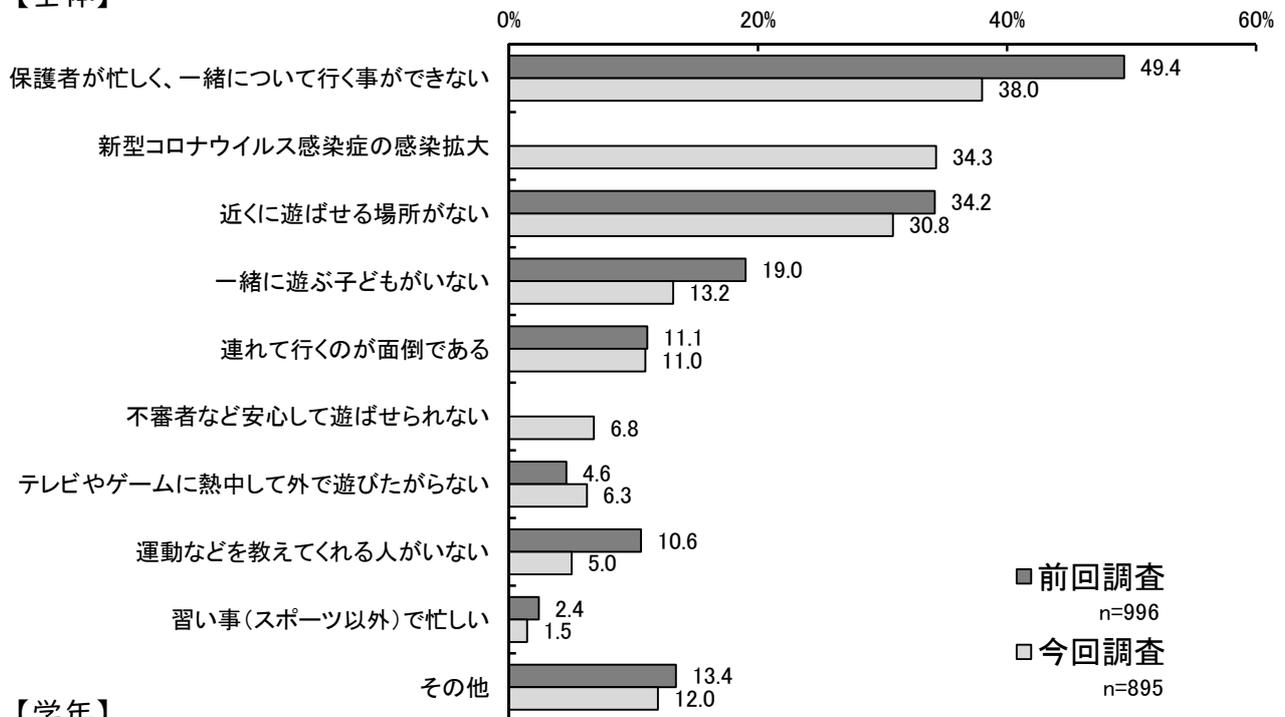
問11 お子さんが運動（スポーツ）や外遊びをするのに課題となっている点は何ですか。

(○は2つまで)

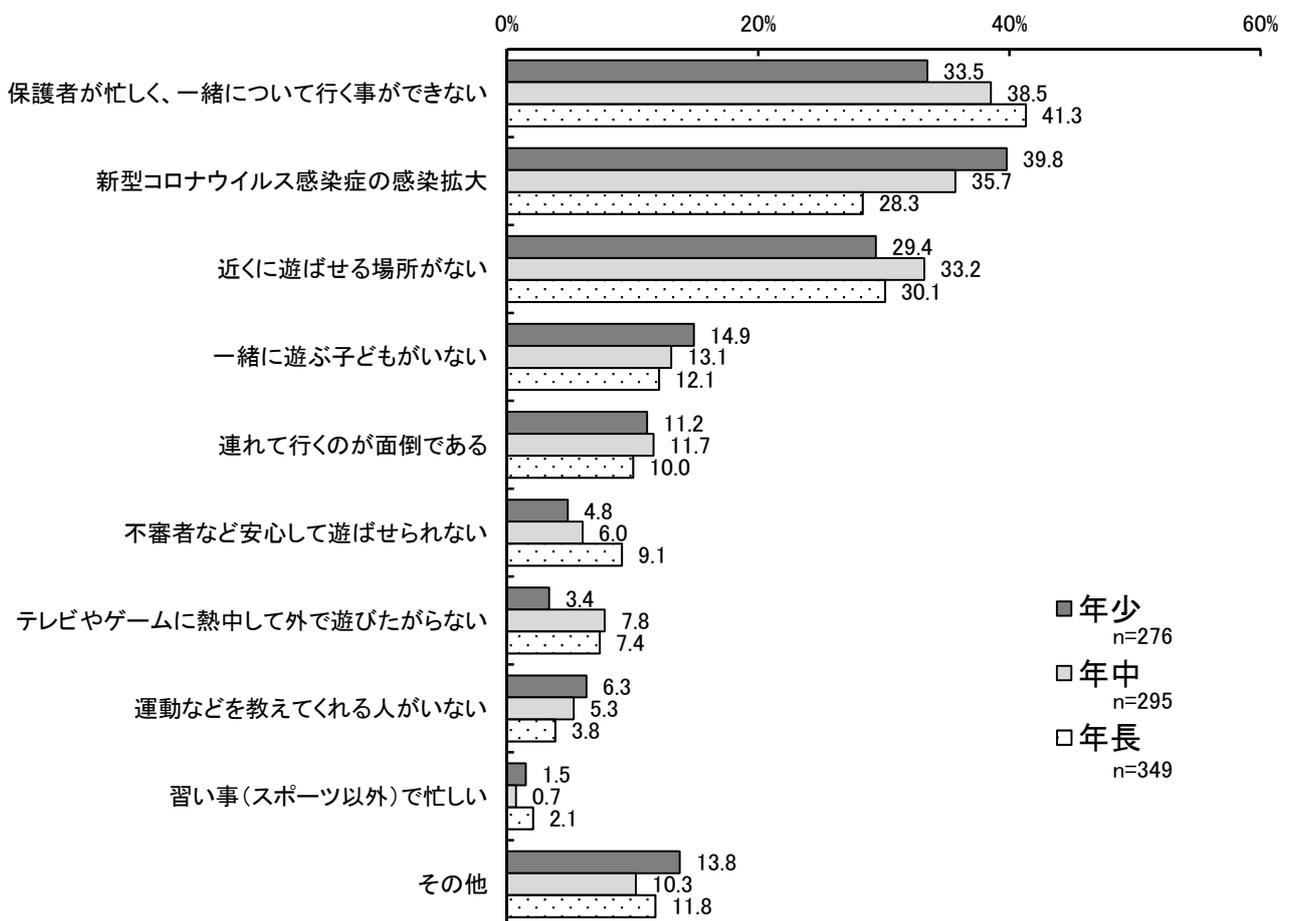
前回調査と比べ、「保護者が忙しく、一緒について行く事ができない」が11.4ポイント減少。学年が上がるほど、「保護者が忙しく、一緒について行く事ができない」が増加し、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」が減少している。

※前回調査では、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」と「不審者など安心して遊ばせられない」はない。

【全体】



【学年】

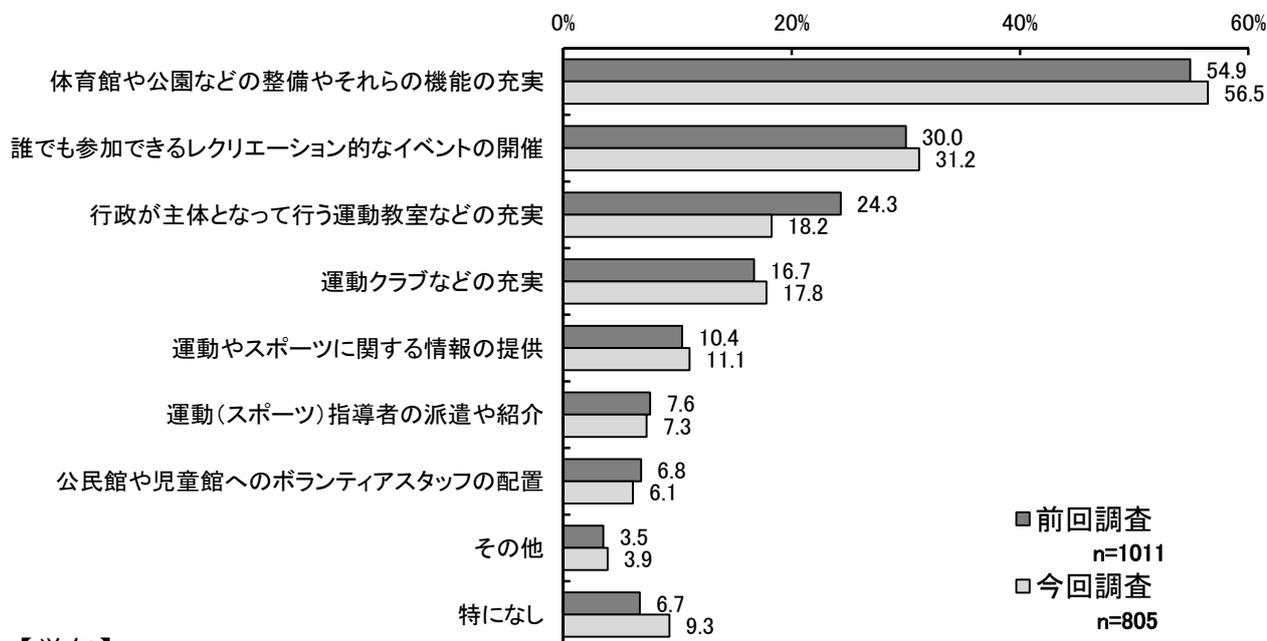


問12 子どもの運動・スポーツ向上のために行政にして欲しいことは何ですか。

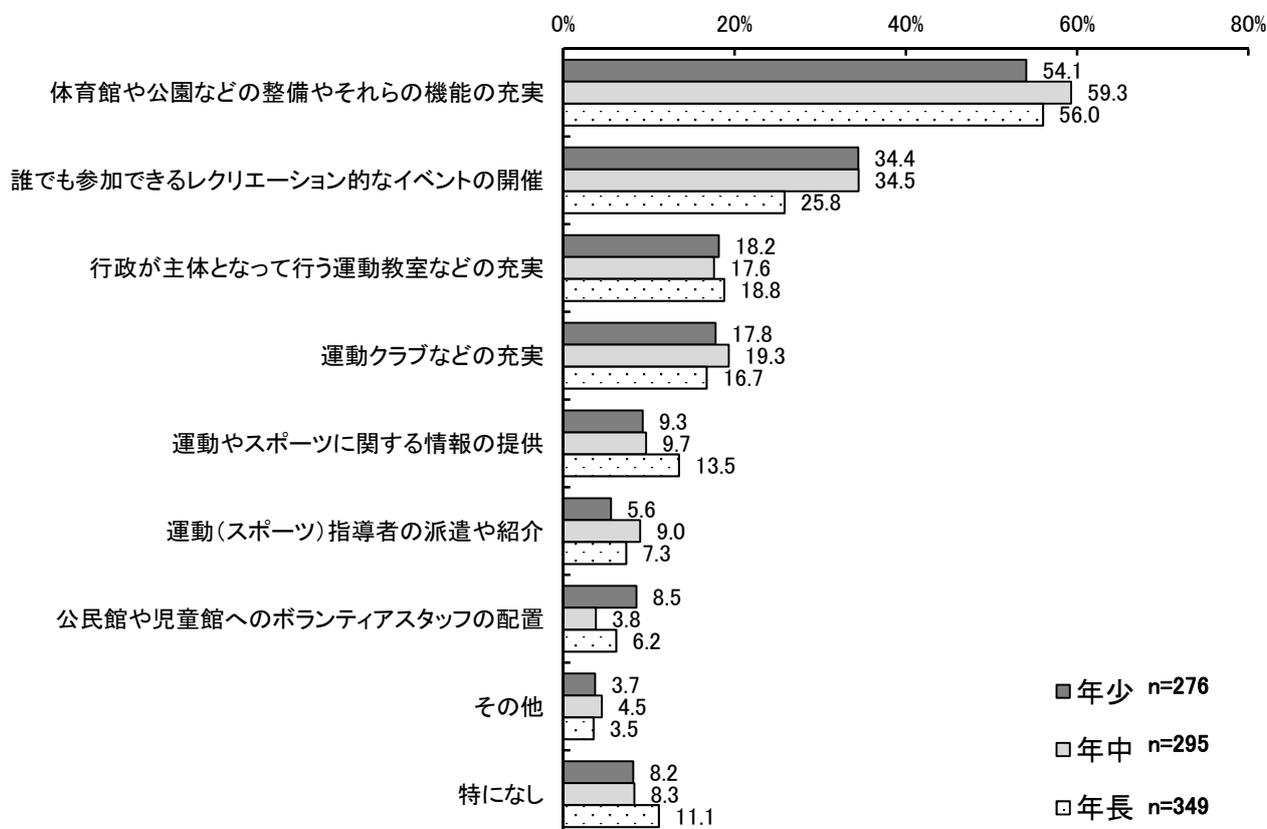
(○は2つまで)

前回調査と比べ、傾向に差がない。全学年で、「体育館や公園などの整備やそれらの機能の充実」が約5割となっている。

【全体】



【学年】

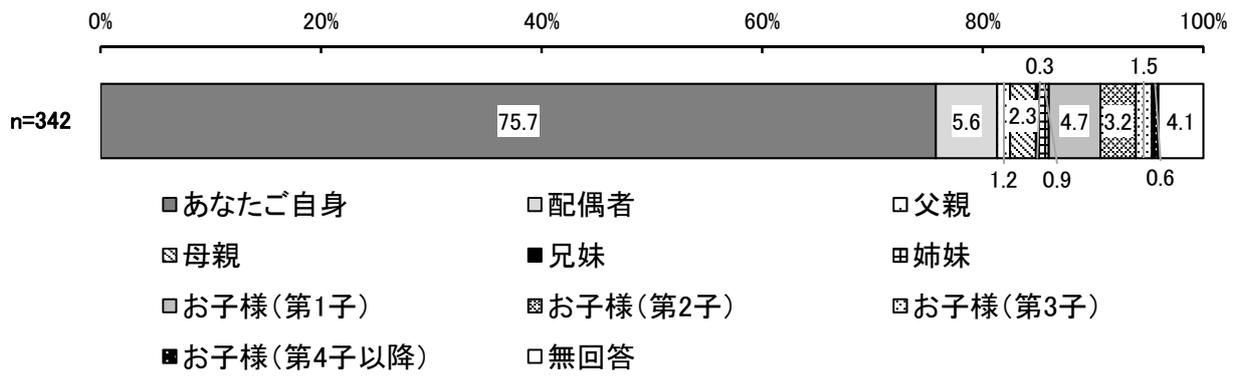


V 障がい者調査結果

I 属性

特性		対象者数 (人)	比率 (%)
性別	男	179	52.3
	女	159	46.5
	無回答	4	1.2
年齢	18～29歳	31	9.1
	30～39歳	38	11.1
	40～49歳	60	17.5
	50～59歳	67	19.6
	60～69歳	72	21.1
	70歳以上	71	20.8
	無回答	3	0.9
住まい	宇摩圏域	23	6.7
	新居浜・西条圏域	50	14.6
	今治圏域	41	12.0
	松山圏域	123	36.0
	八幡浜・大洲圏域	50	14.6
	宇和島圏域	44	12.9
	無回答	11	3.2
障がい種類	肢体不自由(日常生活で車いすを必要とする)	51	14.9
	肢体不自由(日常生活で車いすを必要としない)	95	27.8
	聴覚障がい	16	4.7
	視覚障がい	22	6.4
	音声・言語・そしゃく機能障がい	14	4.1
	内部障がい	62	18.1
	知的障がい	69	20.2
	発達障がい	17	5.0
	その他	52	15.2
	無回答	5	1.5

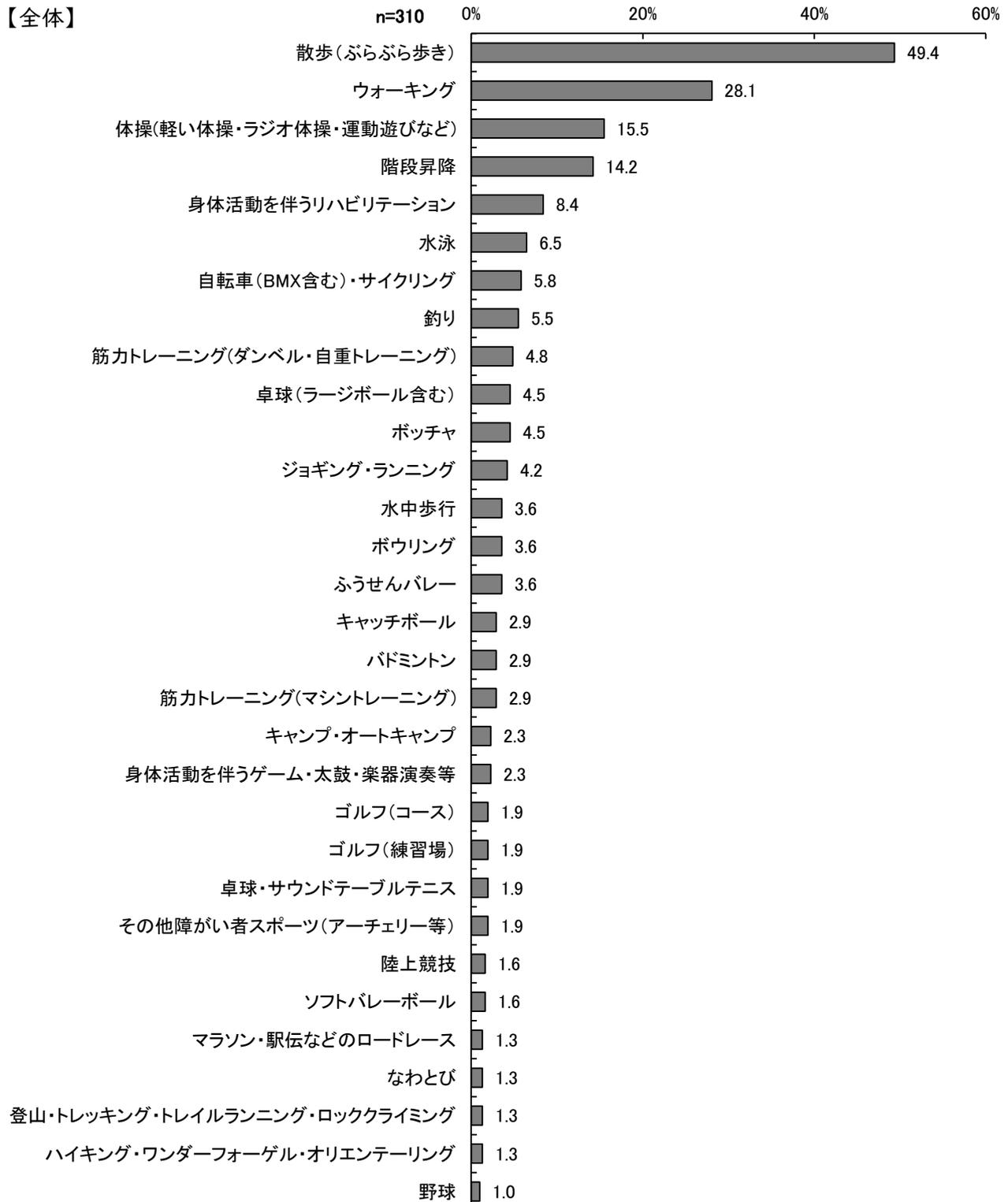
問3 障がいのある方は、あなたから見てどなたですか。(○は1つ)



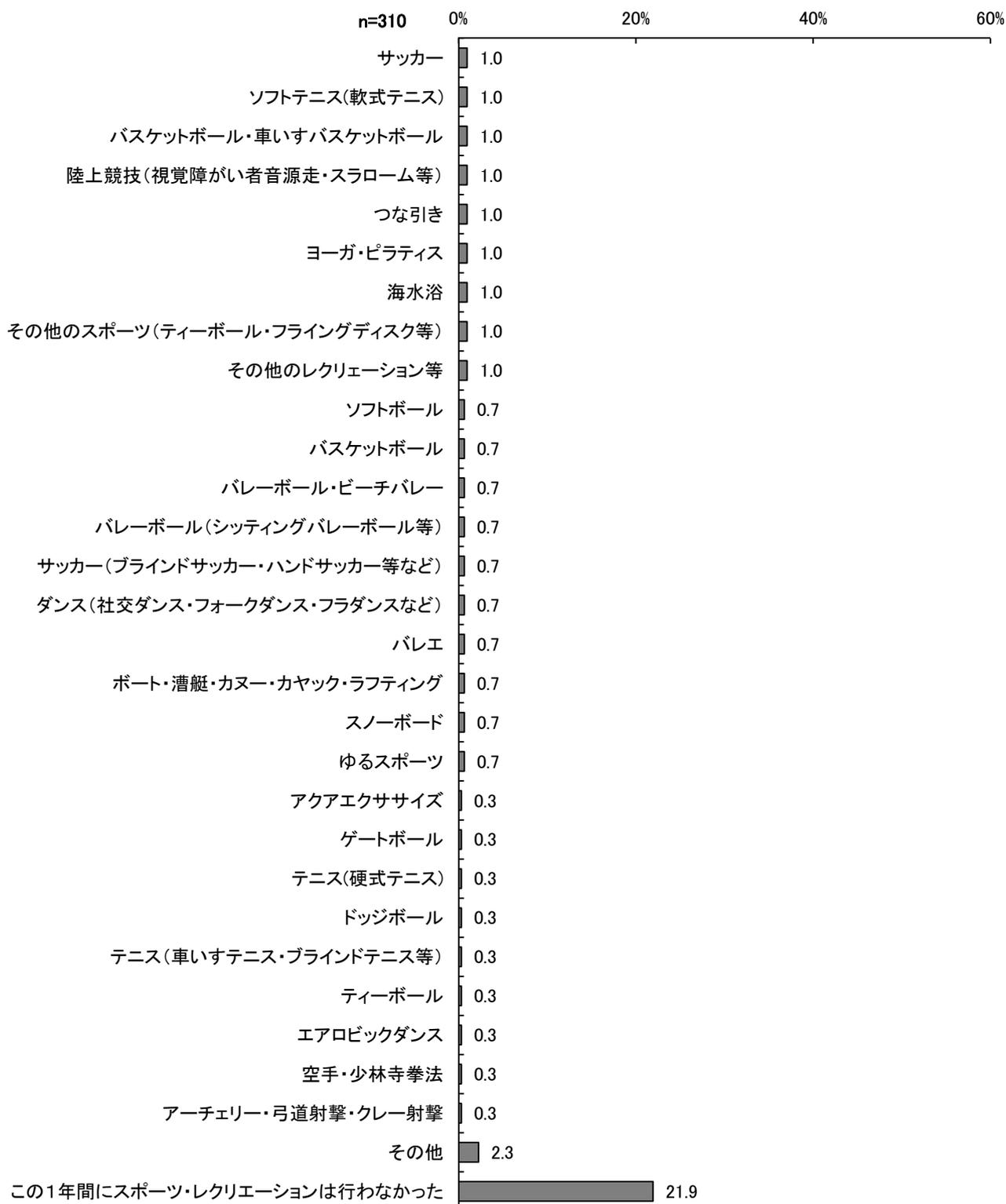
2 調査結果

- 問8 この1年間にどのようなスポーツ・レクリエーションを行いましたか。(〇はいくつでも)
 ※学校の部活動や休み時間の活動は含めますが、学校の授業や学校行事のキャンプやマラソン大会などは含みません。
 ※e スポーツは含めません。

「散歩(ぶらぶら歩き)」が5割近くで最多回答。「ウォーキング」が約3割と高い。「この1年間にスポーツ・レクリエーションは行わなかった」が2割を超えている。

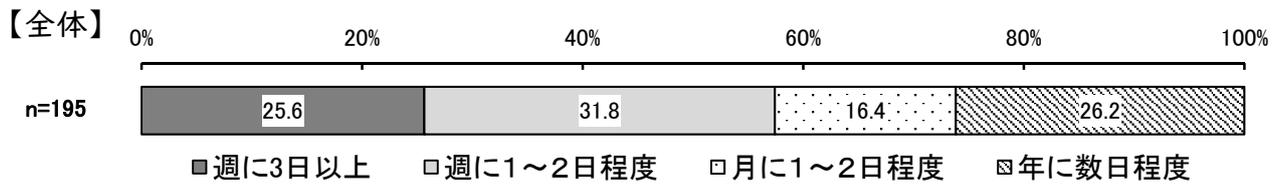


V 障がい者調査

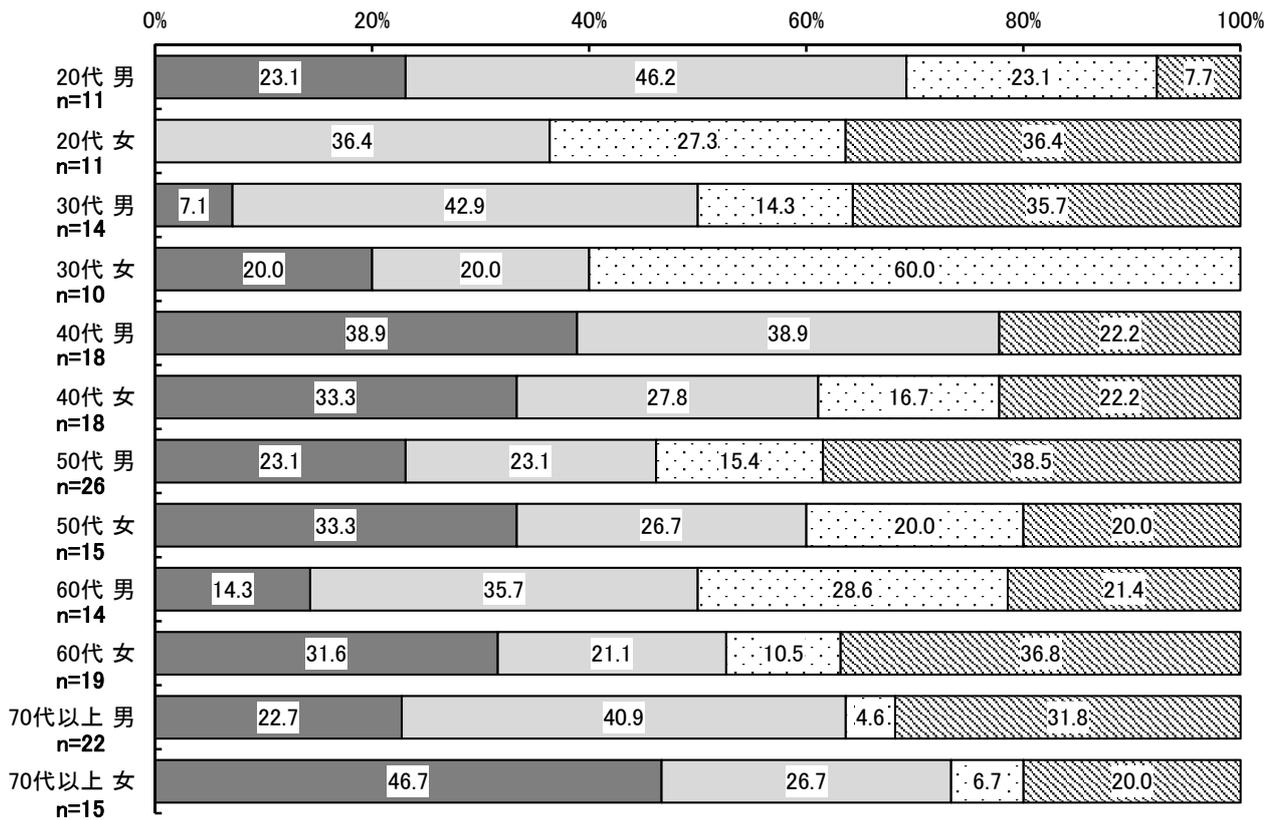


問9 この1年間にスポーツ・レクリエーションをどの程度行いましたか。(〇は1つ)

全体では、「週に1～2日程度」が最多回答。「週3日以上」も「年に数日程度」も2割を超えている。「週3回以上」は、男性では40代、女性では70歳以上の割合が最も高い。



【性別・年齢別】

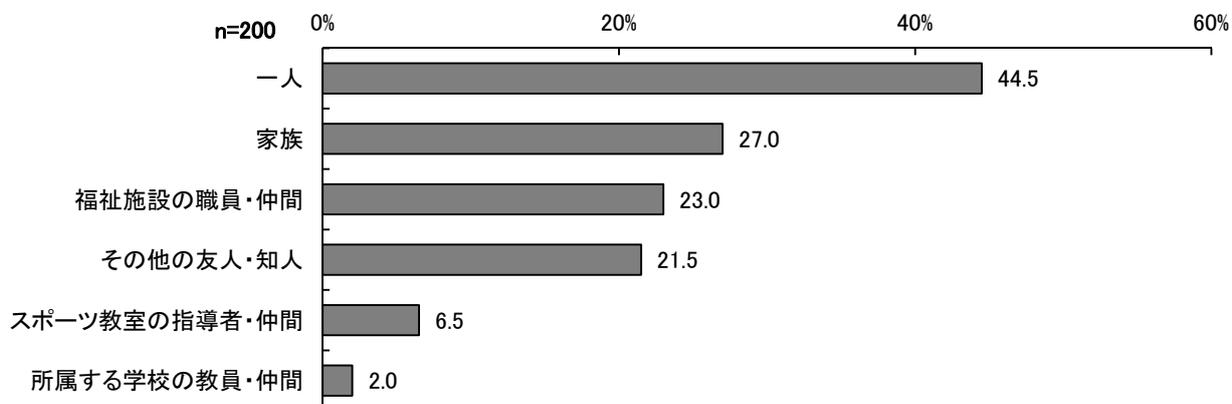


問9-1 スポーツ・レクリエーションは誰と一緒にいらっしゃいますか。

(○はいくつでも)

「一人」が4割を超えて最多回答。「家族」「福祉施設の職員・仲間」「その他の友人・知人」が2割を超えている。

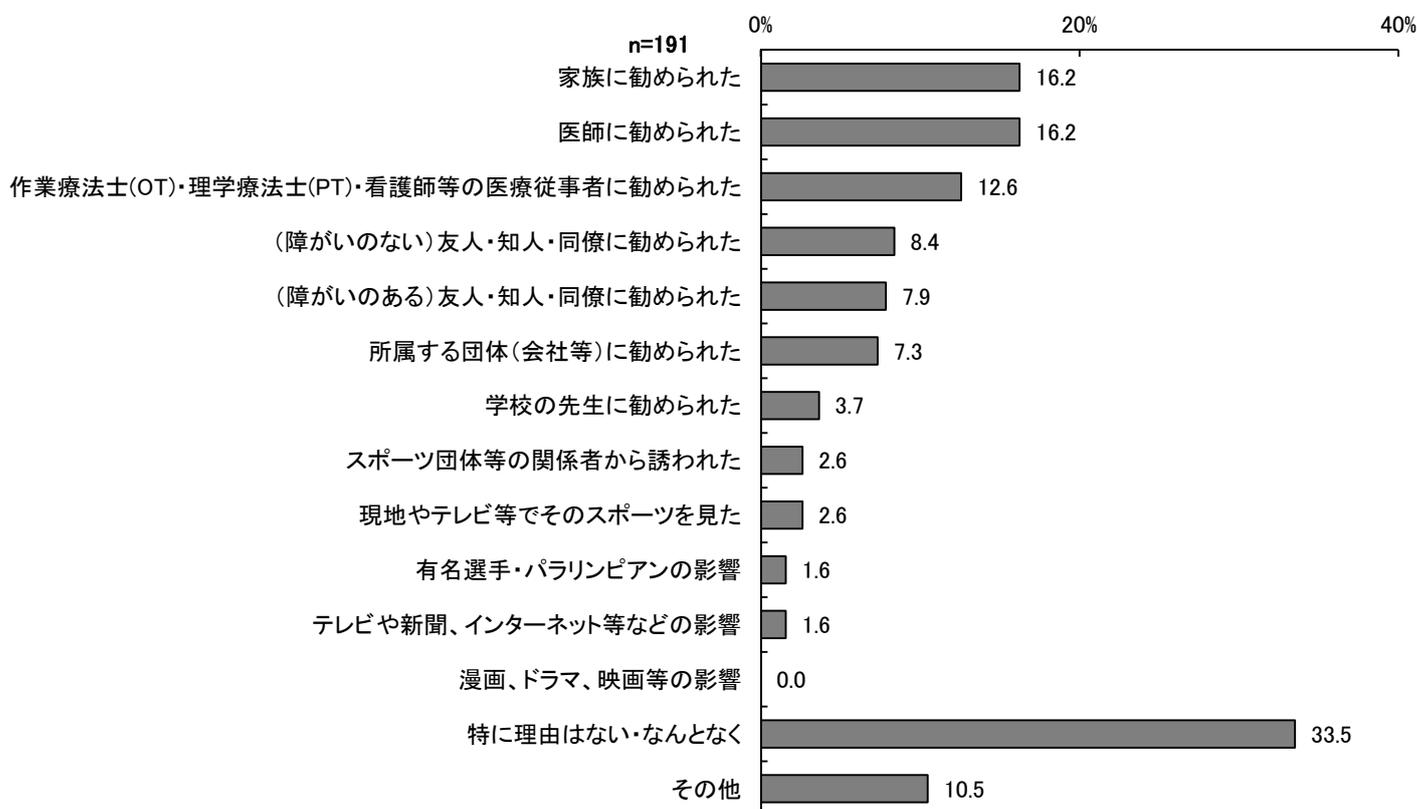
【全体】



問10 障がい発生後にスポーツ・レクリエーションを始めたきっかけはどのようなものですか。

(○はいくつでも)

「特に理由はない・なんとなく」が3割を超えて最多回答。「家族に勧められた」「医師に勧められた」「作業療法士(OT)・理学療法士(PT)・看護師等の医療従事者に勧められた」が1割を超えて高い。

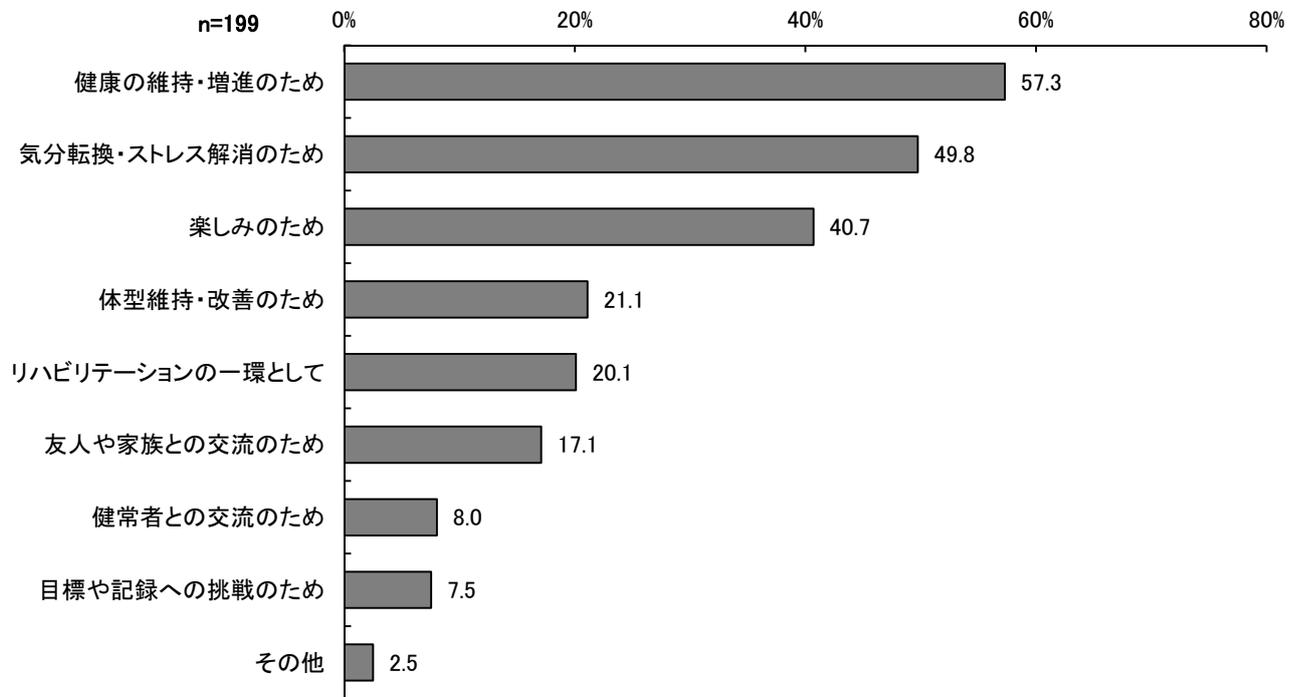


問11 スポーツ・レクリエーションを実施する目的はどのようなものですか。

(〇はいくつでも)

「健康の維持・増進のため」が5割を超えて最多回答。「気分転換・ストレス解消のため」が約5割、「楽しみのため」が4割を超えて高い。

【全体】

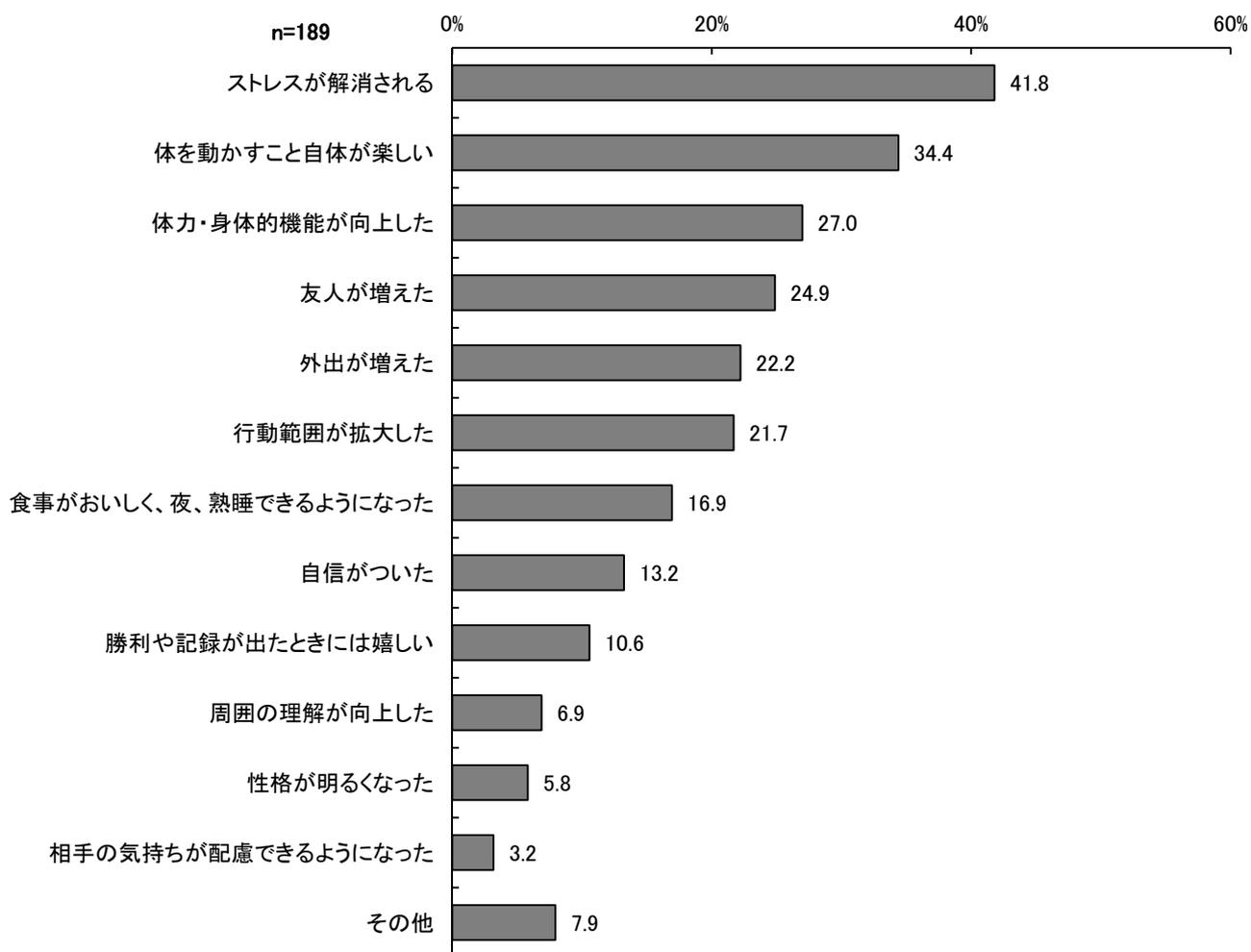


問12 スポーツ・レクリエーションをやってよかったことはどのようなものですか。

(〇はいくつでも)

「ストレスが解消される」が4割を超えて最多回答。「体を動かすこと自体が楽しい」も3割を超えて高い。

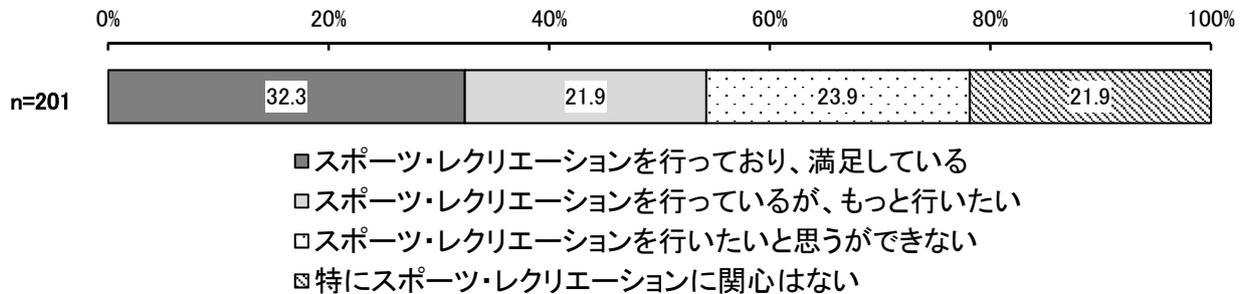
【全体】



問13 現在のスポーツ・レクリエーションへの取組について、最も近いものを選んでください。(○は1つ)

「スポーツ・レクリエーションを行っており、満足している」が3割を超えて最多回答。「スポーツ・レクリエーションを行いたいと思うが、できない」が約2割で高い。

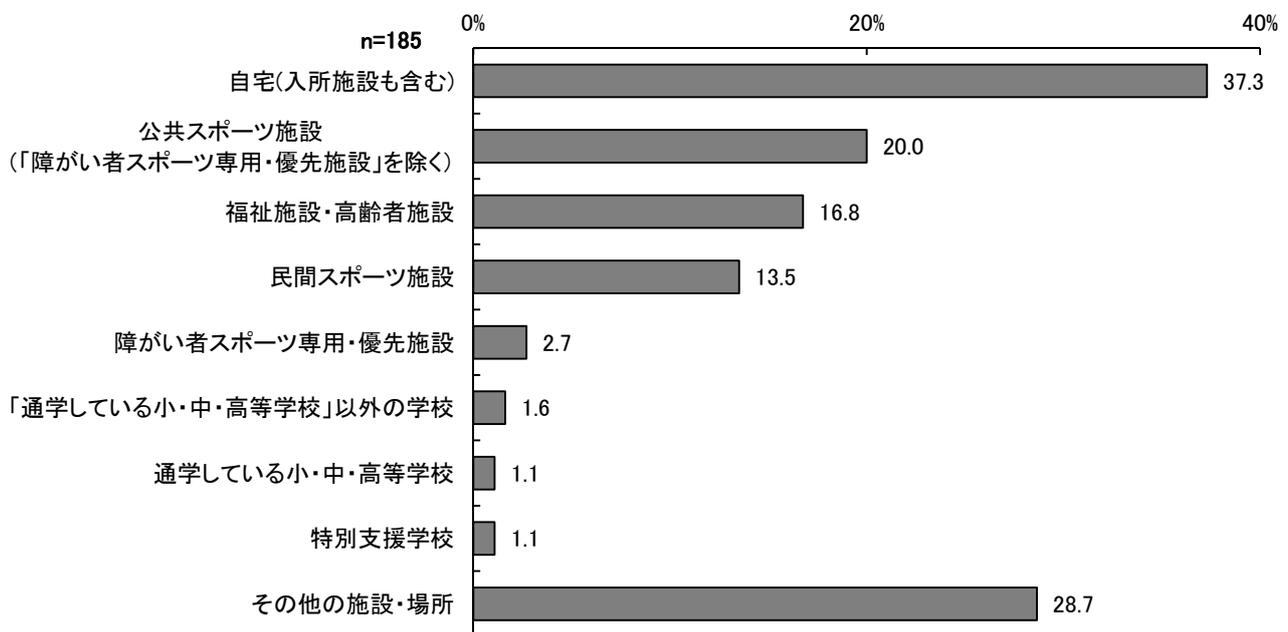
【全体】



問14 スポーツ・レクリエーションをどこで行っていますか。(○はいくつでも)

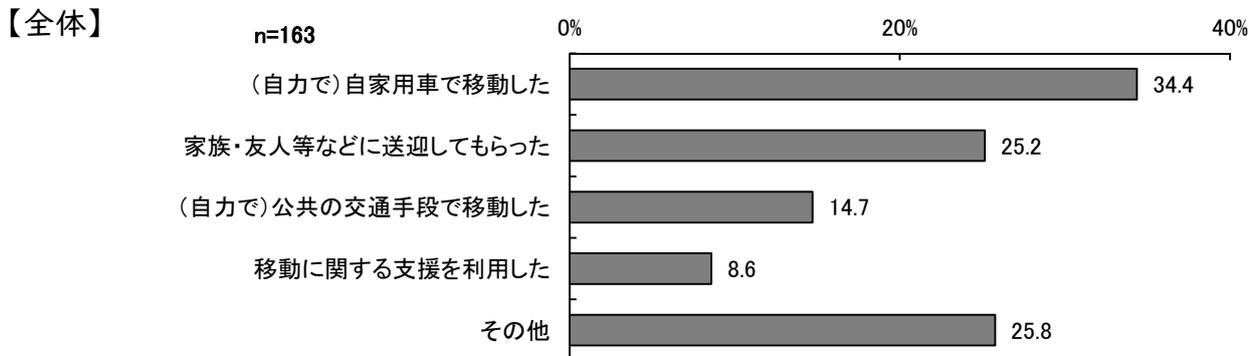
「自宅(入所施設も含む)」が3割を超えて最多回答。「障がい者スポーツ専用・優先施設」「通学している小・中・高等学校」以外の学校「通学している小・中・高等学校」「特別支援学校」は数%で低い。

【全体】



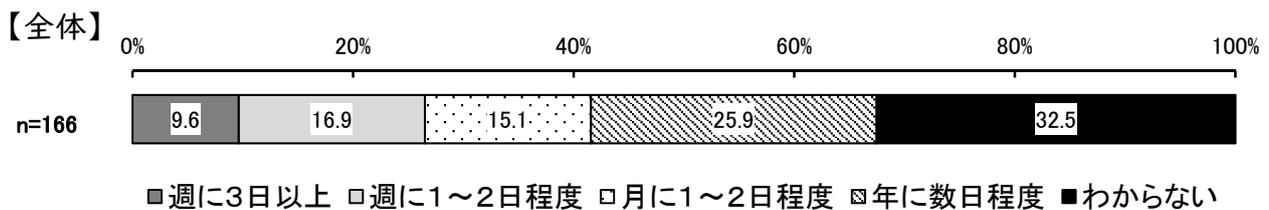
問15 スポーツ施設（スポーツ・レクリエーション実施場所）まで、どのように移動しますか。
 (○はいくつでも)

「(自力で)自家用車で移動した」が3割を超えて最多回答。「家族・友人等などに送迎してもらった」「その他」が2割を超えて高い。

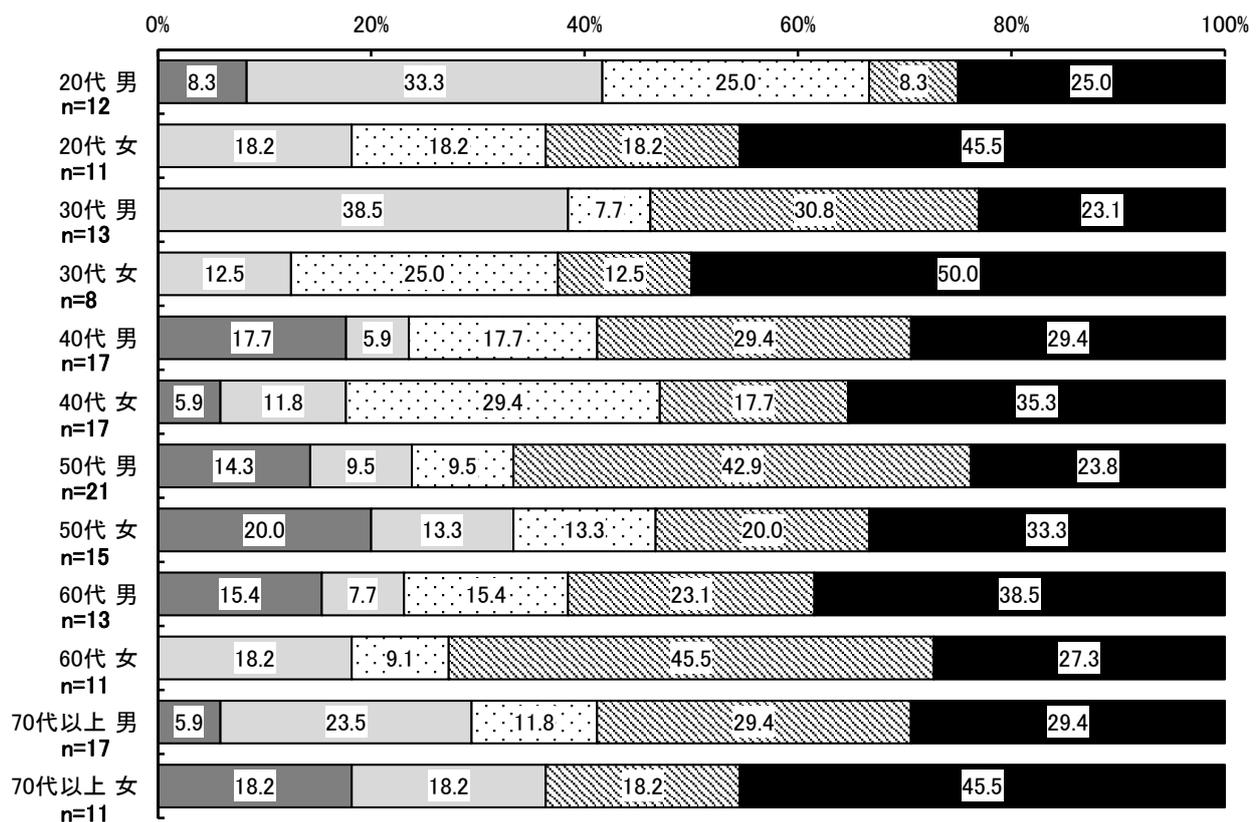


問16 この1年間にスポーツ施設でスポーツ・レクリエーションをどの程度行いましたか。
 (○は1つ)

「わからない」が最多回答。「週に3日以上」が1割に満たない。
 「週に3日以上」では、20代女性、30代男性と女性、60代女性がない。



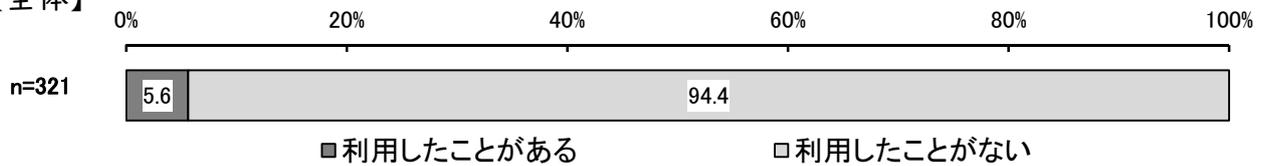
【性別・年齢別】



問17 障がい者スポーツ用の用具（スポーツ用車いす、スポーツ用義足等、個人用の用具）を利用したことがありますか。（○は1つ）

「利用したことがない」が9割を超えている。

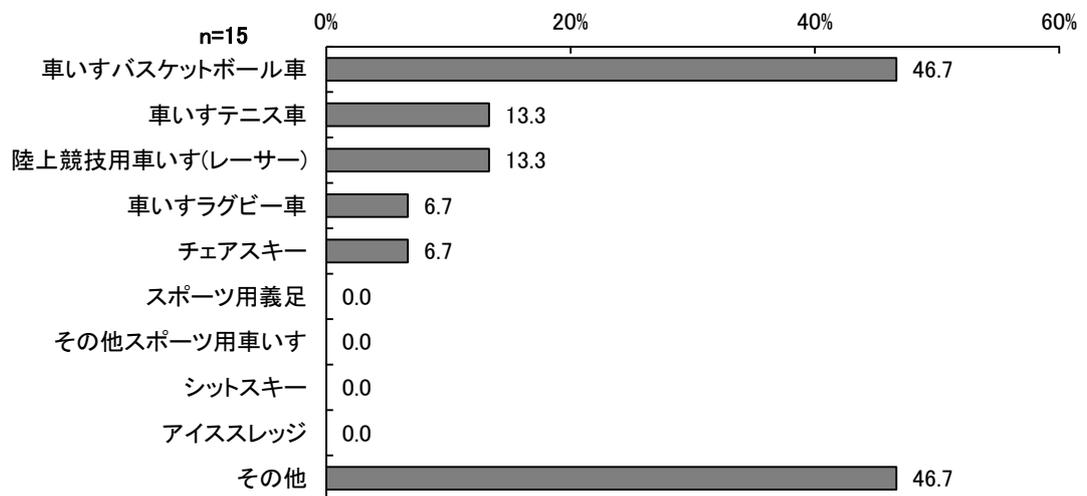
【全体】



問18 <問17で「1：利用したことがある」を選択した方のみお答えください。> 利用したことがある場合は用具の種類を選択してください。（○はいくつでも）

「車いすバスケットボール車」「その他」が5割と高い。「車いすテニス車」「陸上競技用車いす（レーサー）」が1割を超えているが、他は1割にも満たない。

【全体】



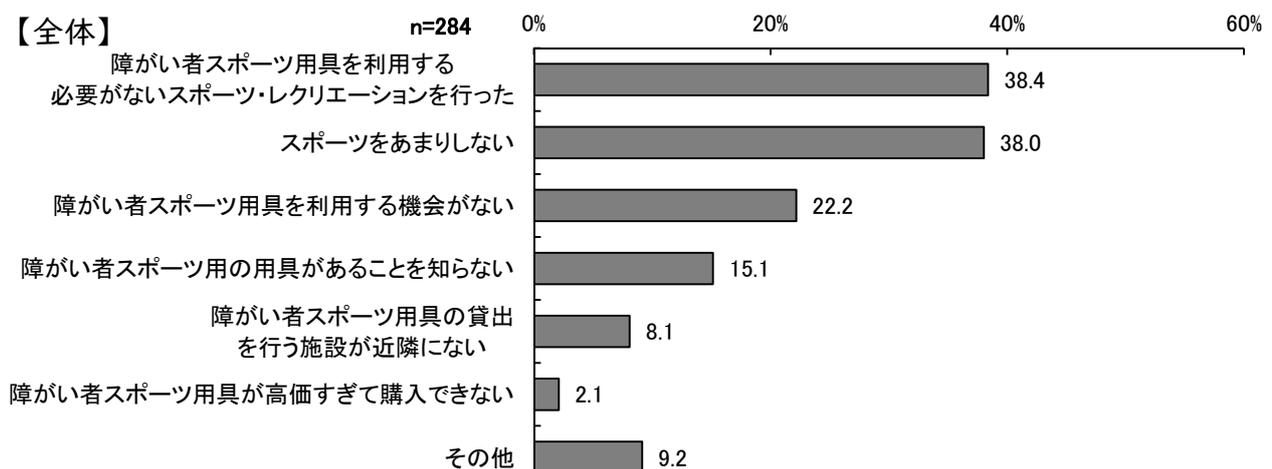
問19 <問17で「2：利用したことがない」を選択した方のみお答えください。>

障がい者スポーツ用具を利用したことがない理由についてお答えください。

（○はいくつでも）

「障がい者スポーツ用具を利用する必要がないスポーツ・レクリエーションを行った」が最多回答。「スポーツをあまりしない」が約4割、「障がい者スポーツ用具を利用する機会がない」が2割を超えている。

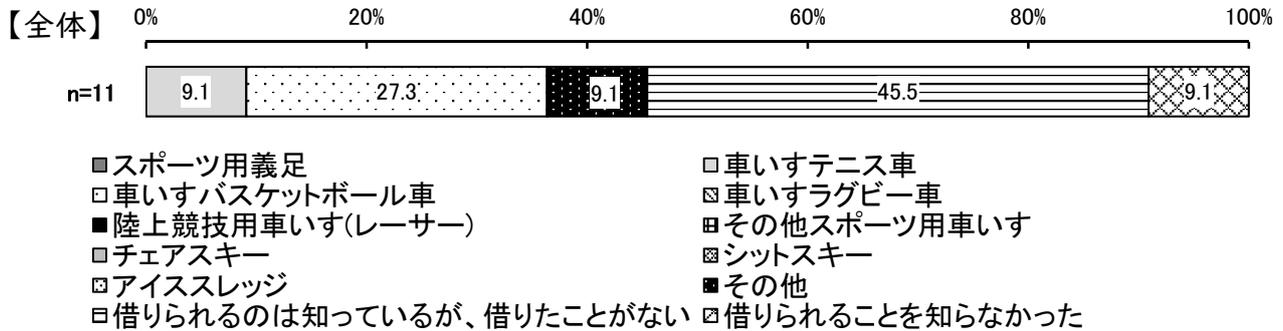
【全体】



問20 <問17で「1：利用したことがある」を選択した方のみお答えください。>

自治体や施設等から、障がい者スポーツ用具を借りたことがありますか。(○は1つ)

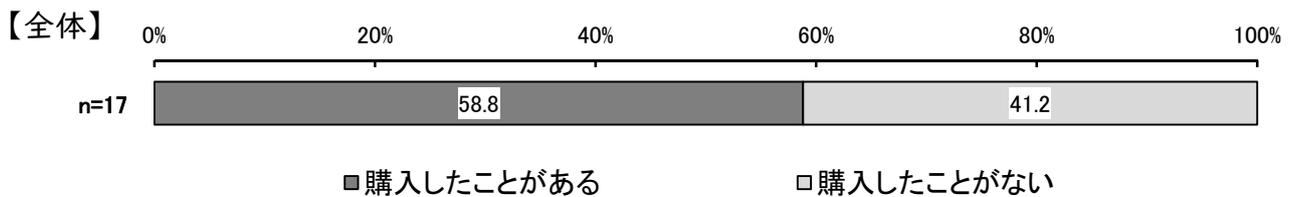
「車いすバスケットボール車」が2割を超えて高い。「借りられることは知っているが、借りたことがない」が4割を超え、「借りられることを知らなかった」も約1割いる。



問21 <問17で「1：利用したことがある」を選択した方のみお答えください。>

障がい者スポーツ用具を購入したことがありますか。(○は1つ)

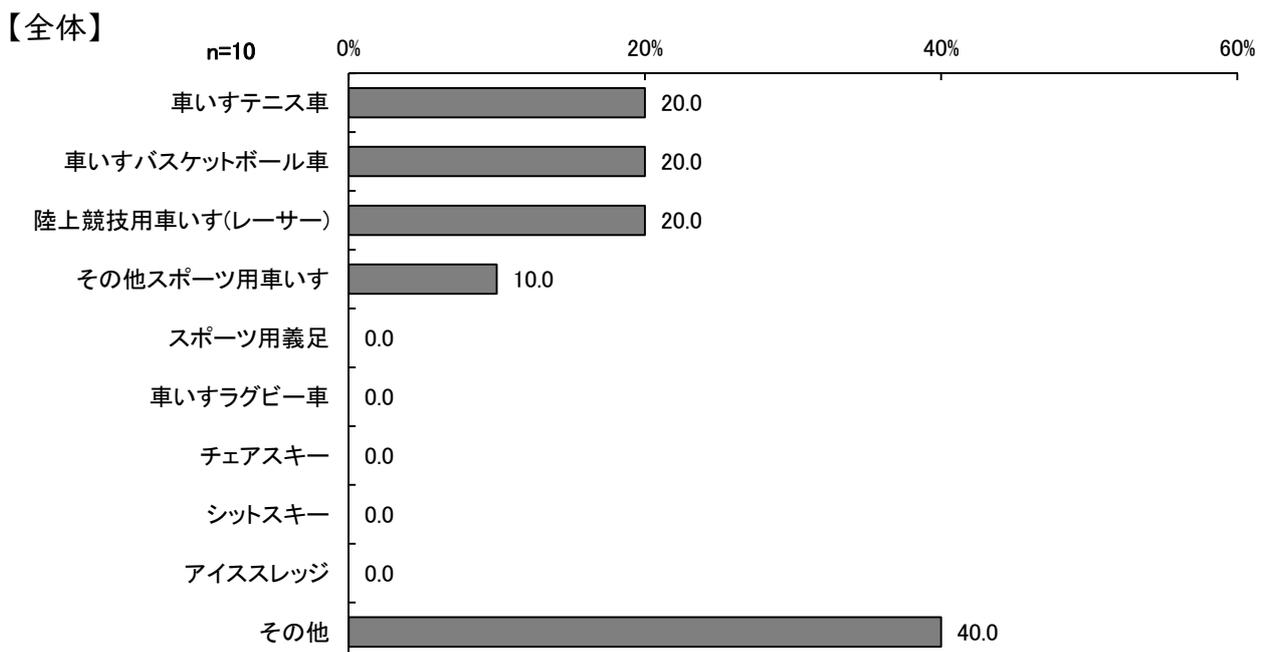
「購入したことがある」が約6割を占める。



問22 <問21で「1：購入したことがある」を選択した方のみお答えください。>

購入したことがある場合は用具の種類を選択してください。(○はいくつでも)

「車いすテニス車」「車いすバスケットボール車」「陸上競技用車いす(レーサー)」が2割と高い。



問23 スポーツ・レクリエーションの実施において障壁となっているものは何ですか。

(○はいくつでも)

※スポーツ・レクリエーションを実施している場合はその課題、実施していない場合はその理由としてあてはまるものをお答えください。

「体力がない」が2割を超えて最多回答。「どんなスポーツ・レクリエーションをできるのか情報を得られない」「スポーツ・レクリエーションがどこでできるのか情報を得られない」が1割を超えて高い。「障壁はなく、十分に活動できている」は1割を超えている。

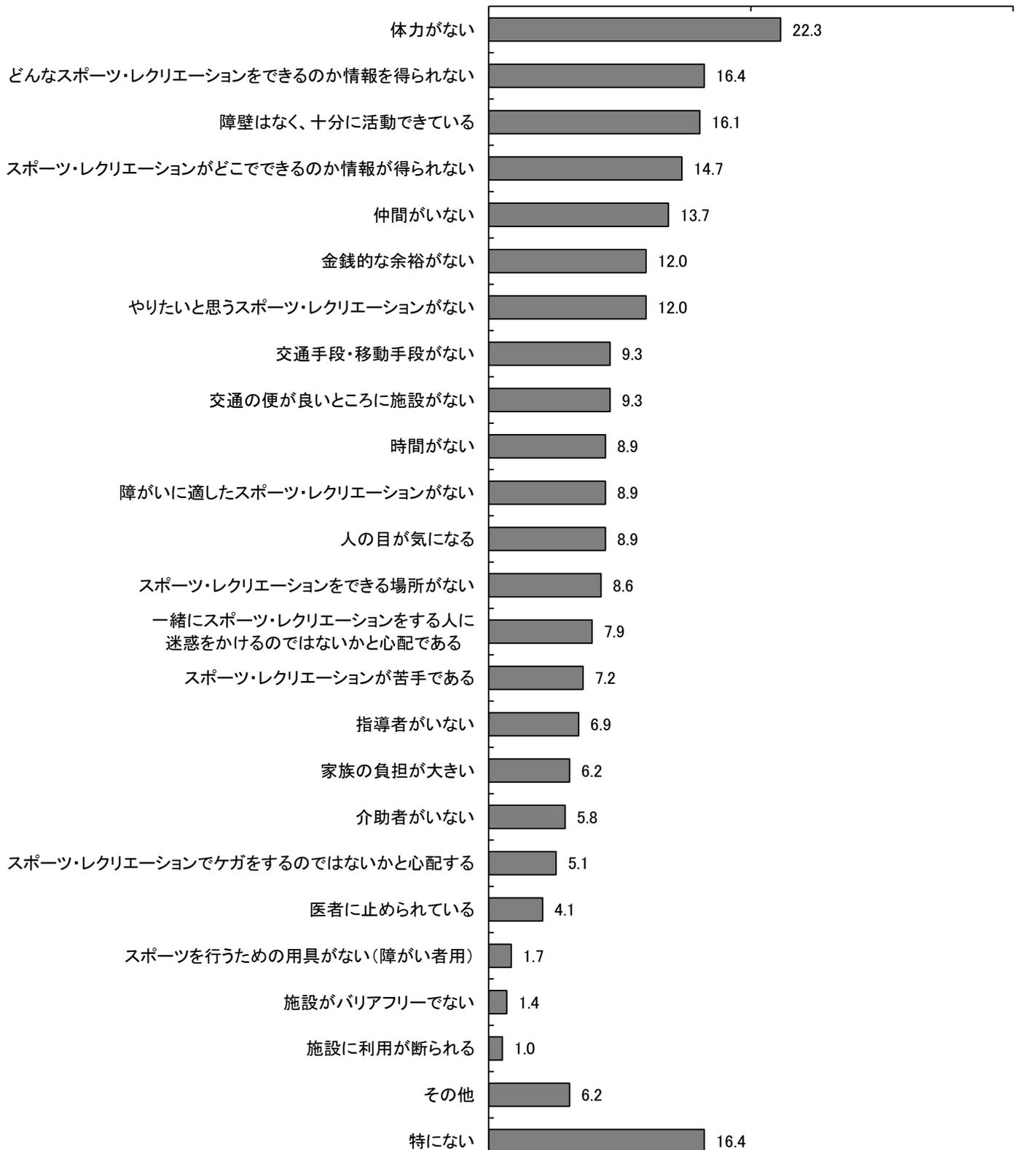
【全体】

n=292

0%

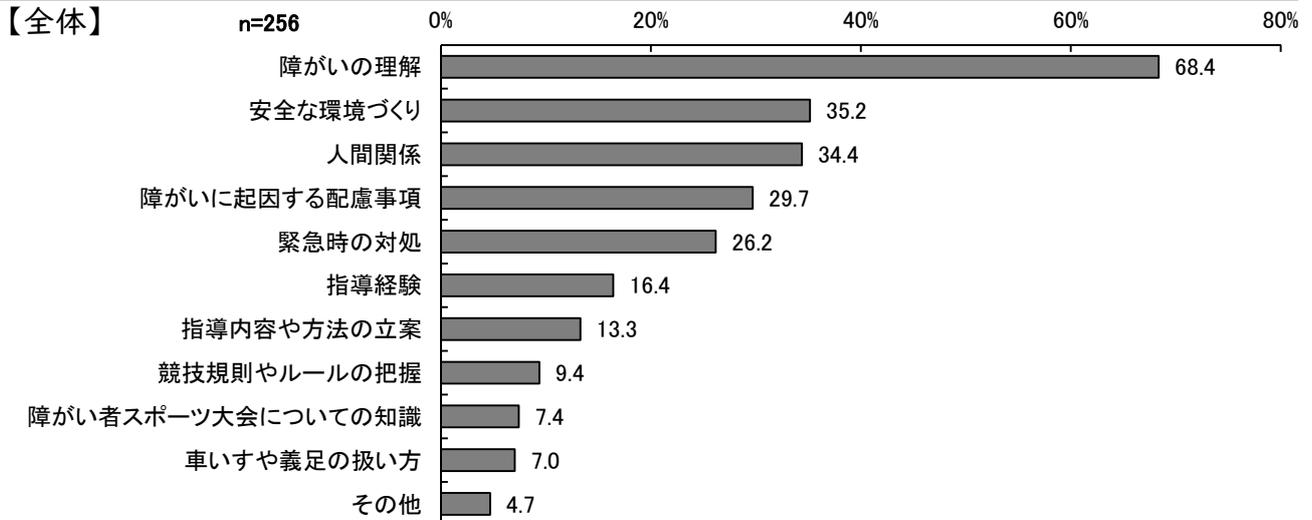
20%

40%



問23-1 スポーツ・レクリエーション活動を行う上でスポーツ指導者や障がい者スポーツ指導員に求めることは何ですか。(〇はいくつでも)

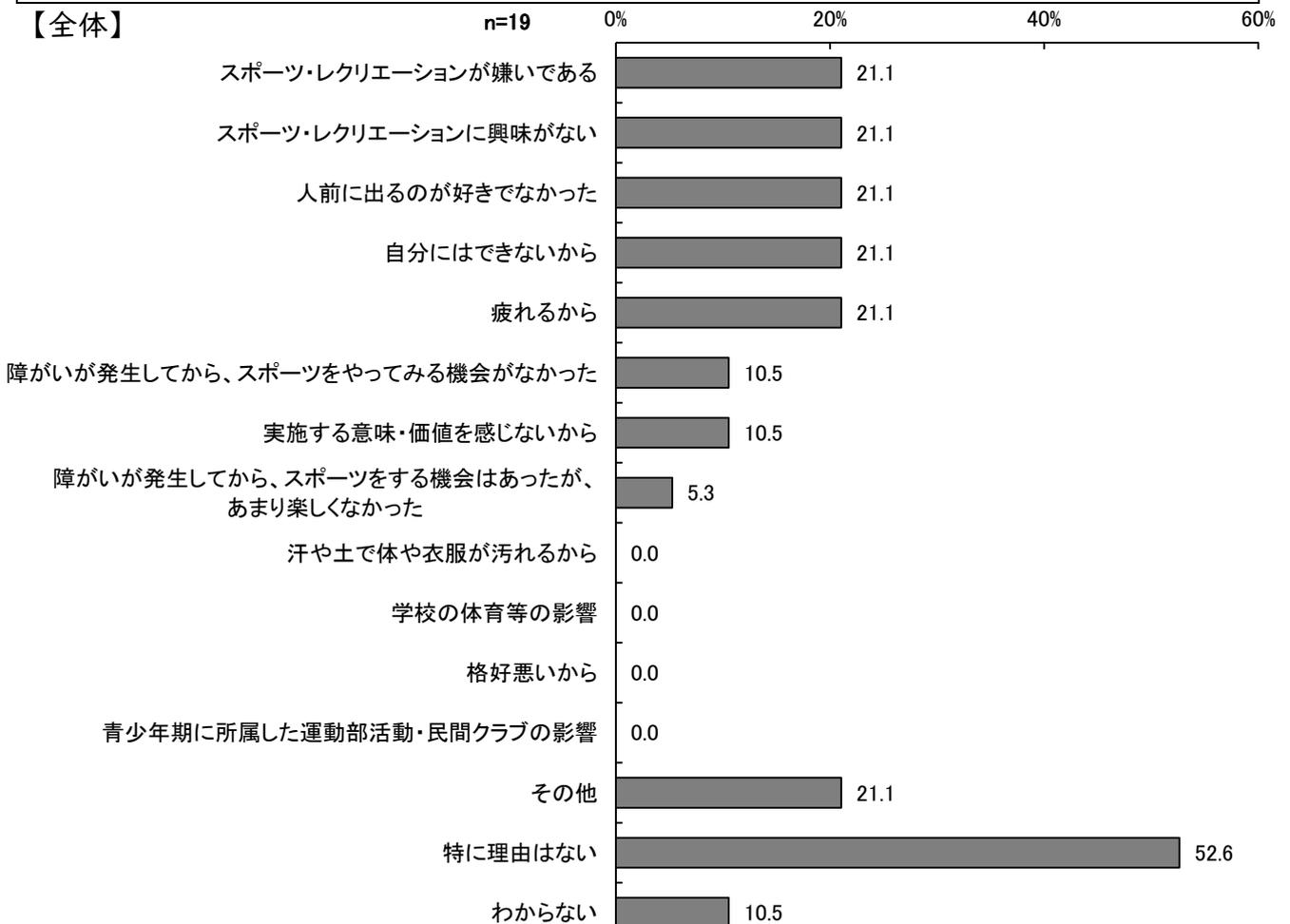
「障がいの理解」が約7割と最多回答。「安全な環境づくり」「人間関係」が3割を超えて高い。



問24 <問8で「90：この1年間にスポーツ・レクリエーションは行わなかった」と選択し、問23で「25：特にない」を選択した方のみお答えください。>
スポーツ・レクリエーションを実施しない理由についてお答えください。

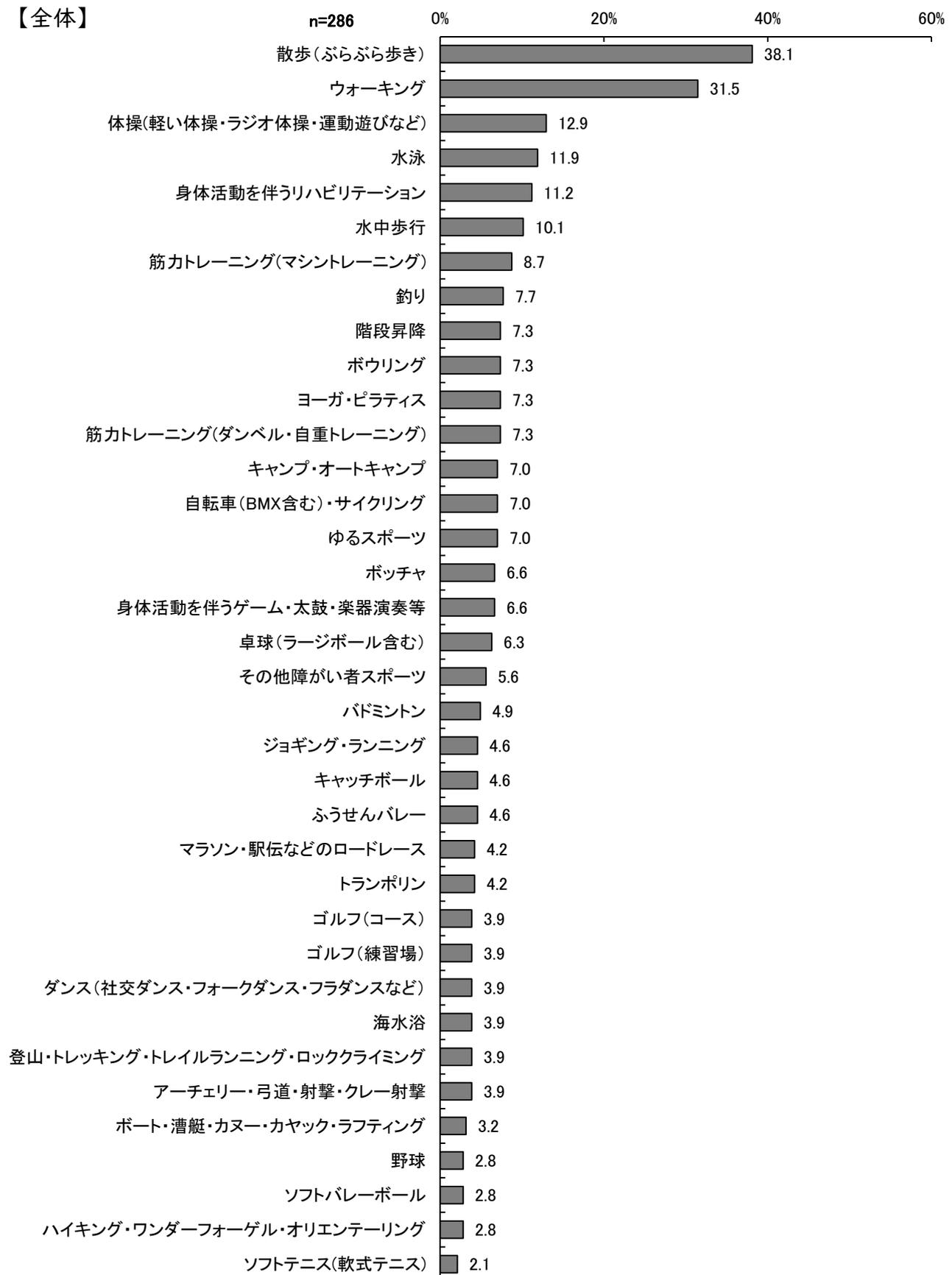
(〇はいくつでも)

「特に理由はない」が最多回答。「スポーツ・レクリエーションが嫌いである」「スポーツ・レクリエーションに興味がない」「人前に出るのが好きでなかった」「自分にはできないから」「疲れるから」が2割を超え高い。

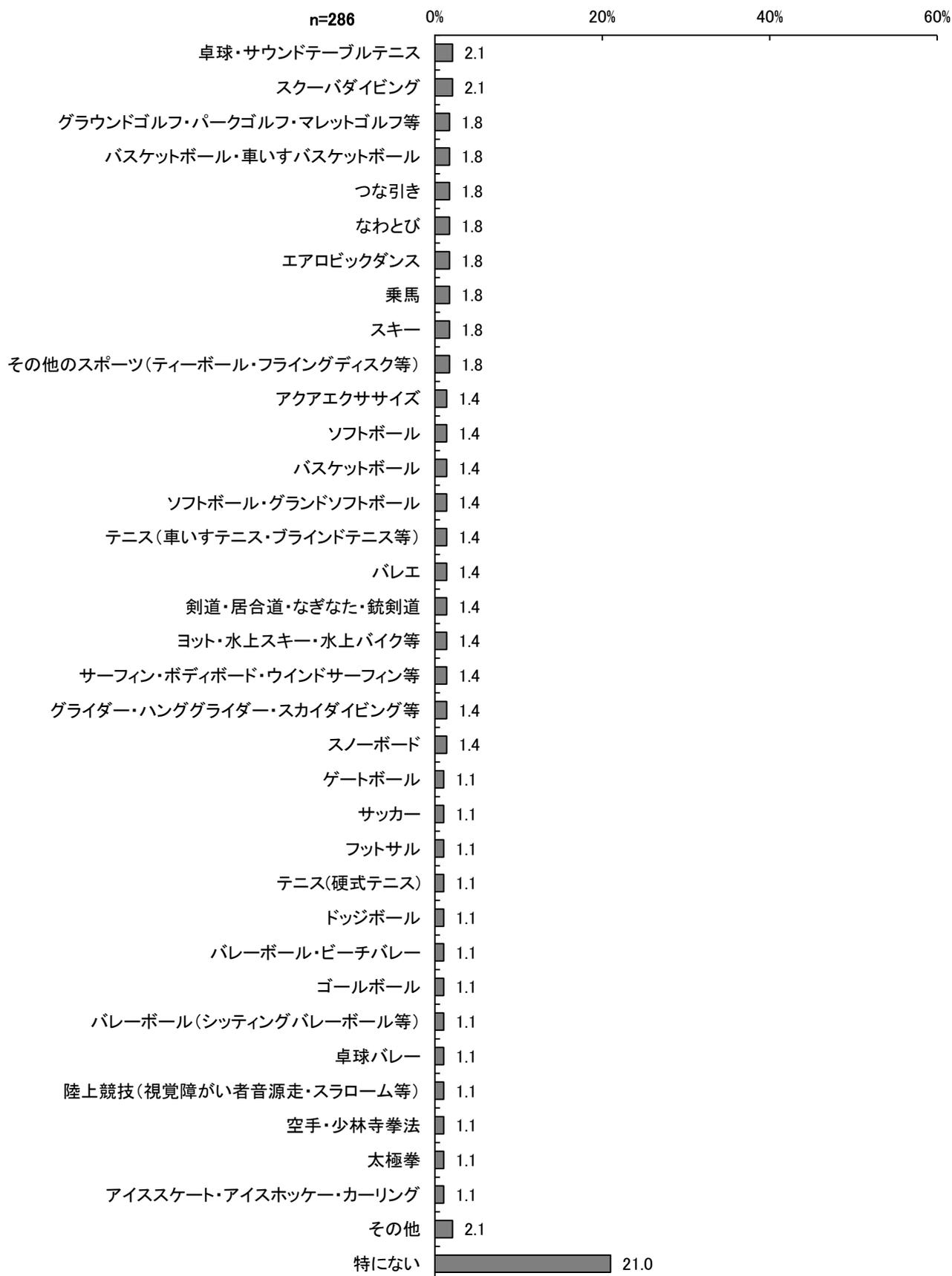


問25 現在行っているスポーツ・レクリエーションも含めて、今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーションがありますか。(〇はいくつでも)

「散歩(ぶらぶら歩き)」「ウォーキング」が3割を超えて高い。



V 障がい者調査

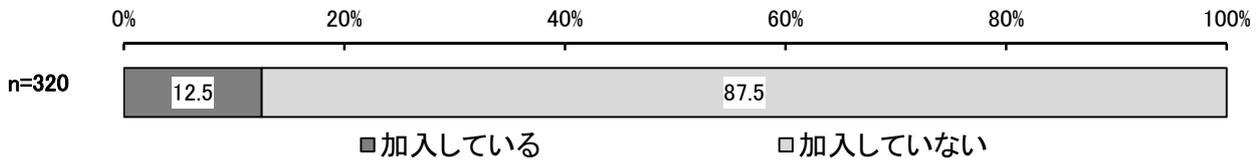


問26 現在、スポーツクラブや同好会・サークルに加入していますか。(○は1つ)

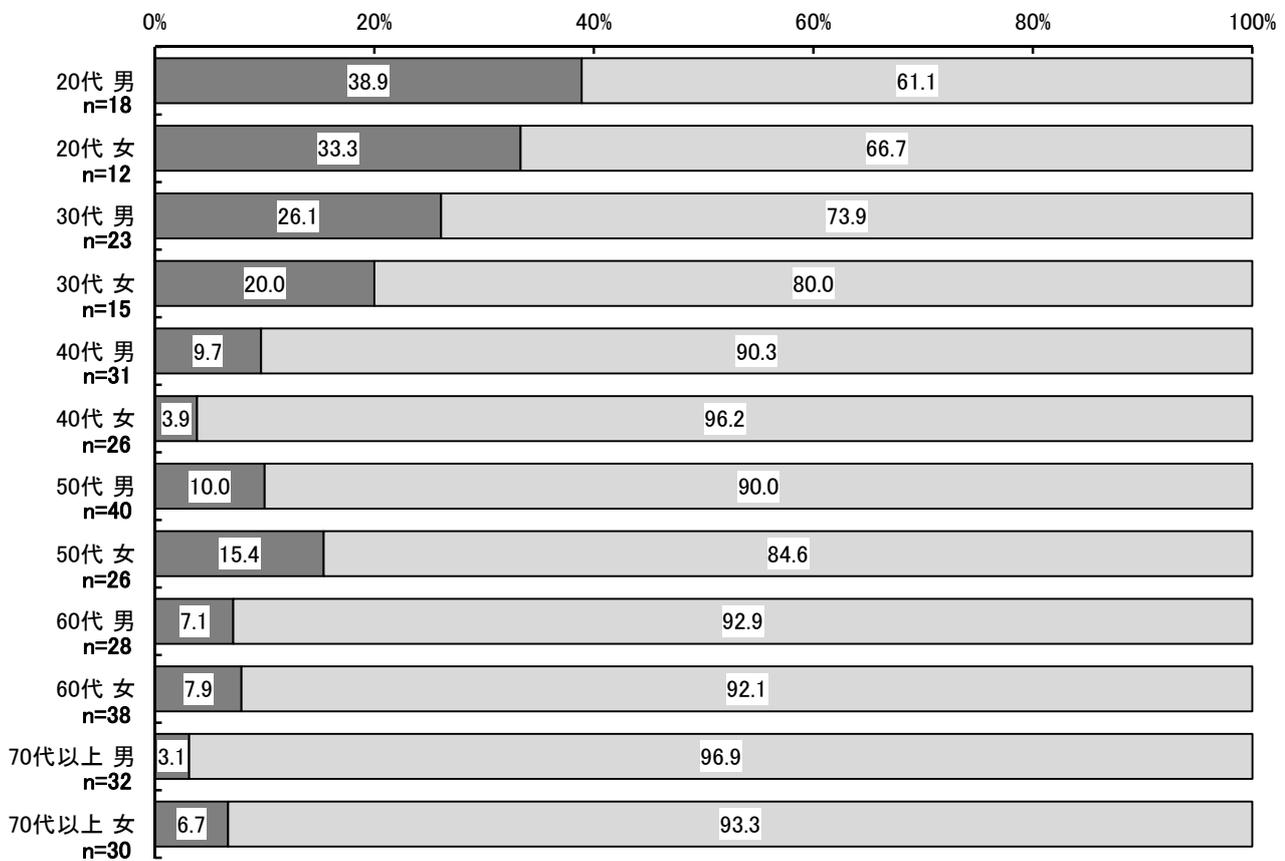
「加入していない」が約9割を占めている。

「加入している」では、20代男性と女性が3割を超えて高く、男女とも年代が高くなるほど減少傾向にある。

【全体】



【性別・年齢別】



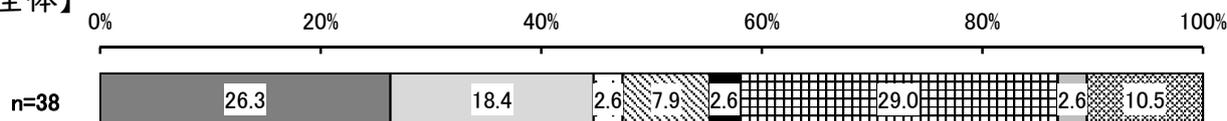
問27 <問26で「1：加入している」を選択した方のみお答えください。>

加入している、そのスポーツクラブや同好会・サークルは主にどのような人たちの集まりですか。（○は1つ）

※複数に所属している場合は、最も多く参加しているものについてお答えください。

「地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル」「友人・知人が中心のクラブ・同好会・サークル」が3割と高い。

【全体】



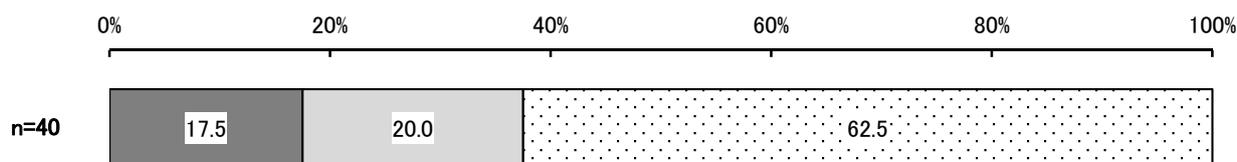
- 地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル
- 民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ
- 学校のOB・OGなどが中心となっていたクラブ・同好会・サークル
- ▣ 学校の運動部・クラブ・サークル(在校生のみ)
- 職場の仲間を中心としたクラブ・同好会・サークル
- ▣ 友人・知人が中心のクラブ・同好会・サークル
- 障がい者優先施設でのクラブ・サークル活動
- ▣ その他

問28 <問26で「1：加入している」を選択した方のみお答えください。>

加入している、そのスポーツクラブや同好会・サークルの、障がい者の参加状況についてお答えください。（○は1つ）

「主に障がいのない人が参加している」が6割を超えて最多回答。「障がいのある人のみが参加している」が2割に満たない。

【全体】



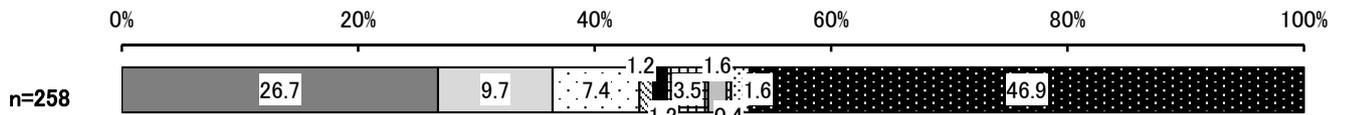
- 障がいのある人のみが参加している
- 主に障がいのある人が参加しているが、一部に障がいのない人の参加もある
- 主に障がいのない人が参加している

問29 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・レクリエーション活動への影響・変化についてお答えください。(○は1つ)

「特に変化がない」が最多回答。「感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った」が2割を超えて高い。

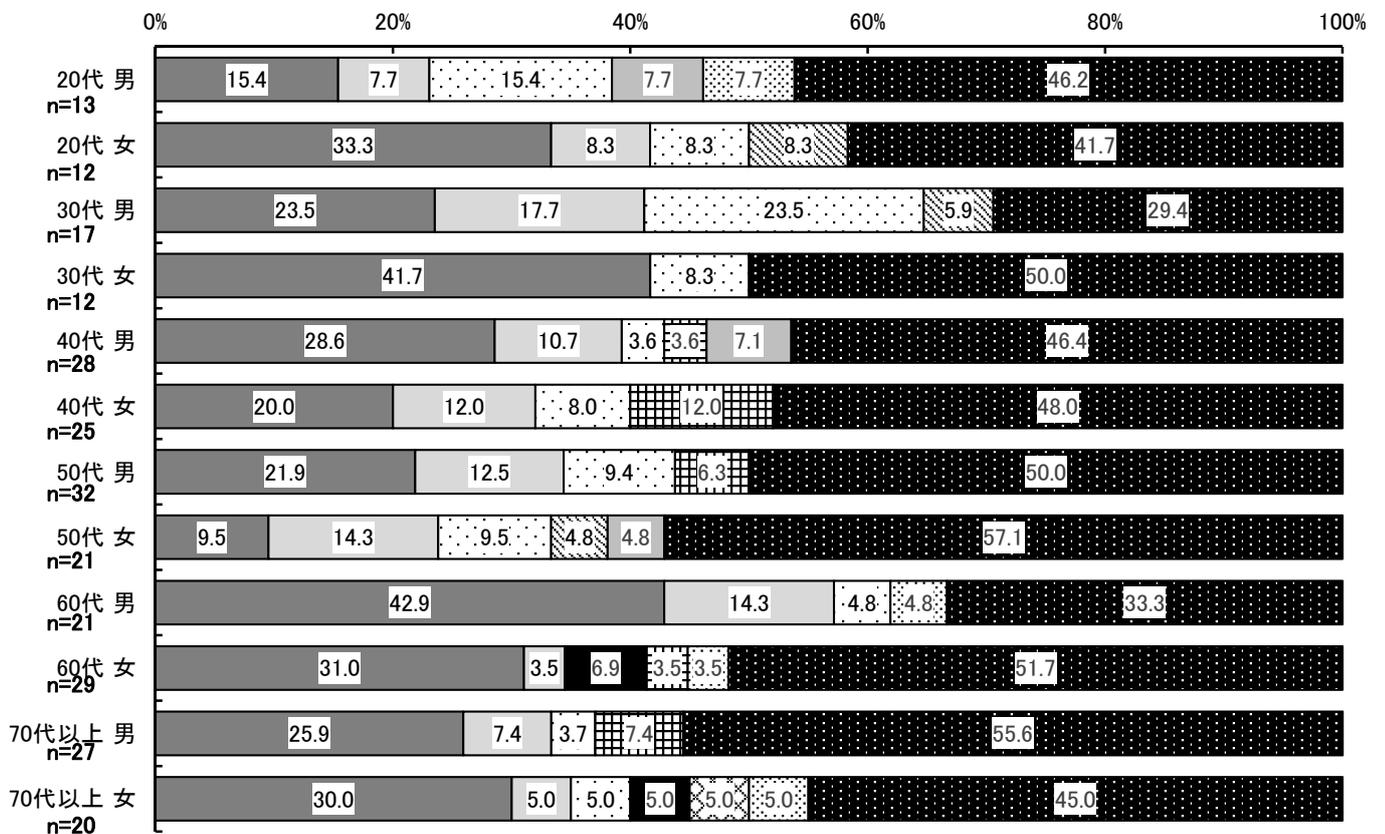
「感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った」では、30代女性、60代男性が4割を超えて高い。

【全体】



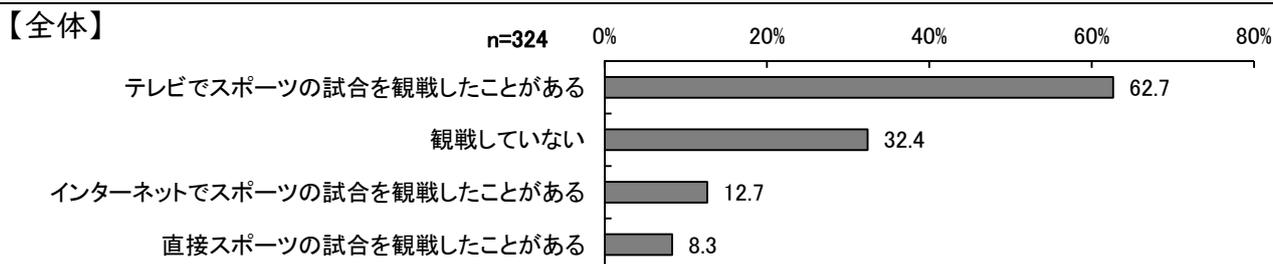
- 感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った
- 感染の懸念から、一緒にスポーツ・運動をしていた仲間との集まりを控え、スポーツ・運動の機会が減った
- スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った
- ▣ スポーツ・運動教室等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った
- 自宅以外の場所(職場等など)での活動状況が変わることで、スポーツ・運動の機会が減った
- 自宅でスポーツ・運動する機会が増えた
- 道路や遊歩道でスポーツ・運動する機会が増えた
- ▣ 広場や公園でスポーツ・運動する機会が増えた
- その他
- 特に変化がない

【性別・年齢別】



問30 この1年間にスポーツを観戦したことがありますか（○はいくつでも）

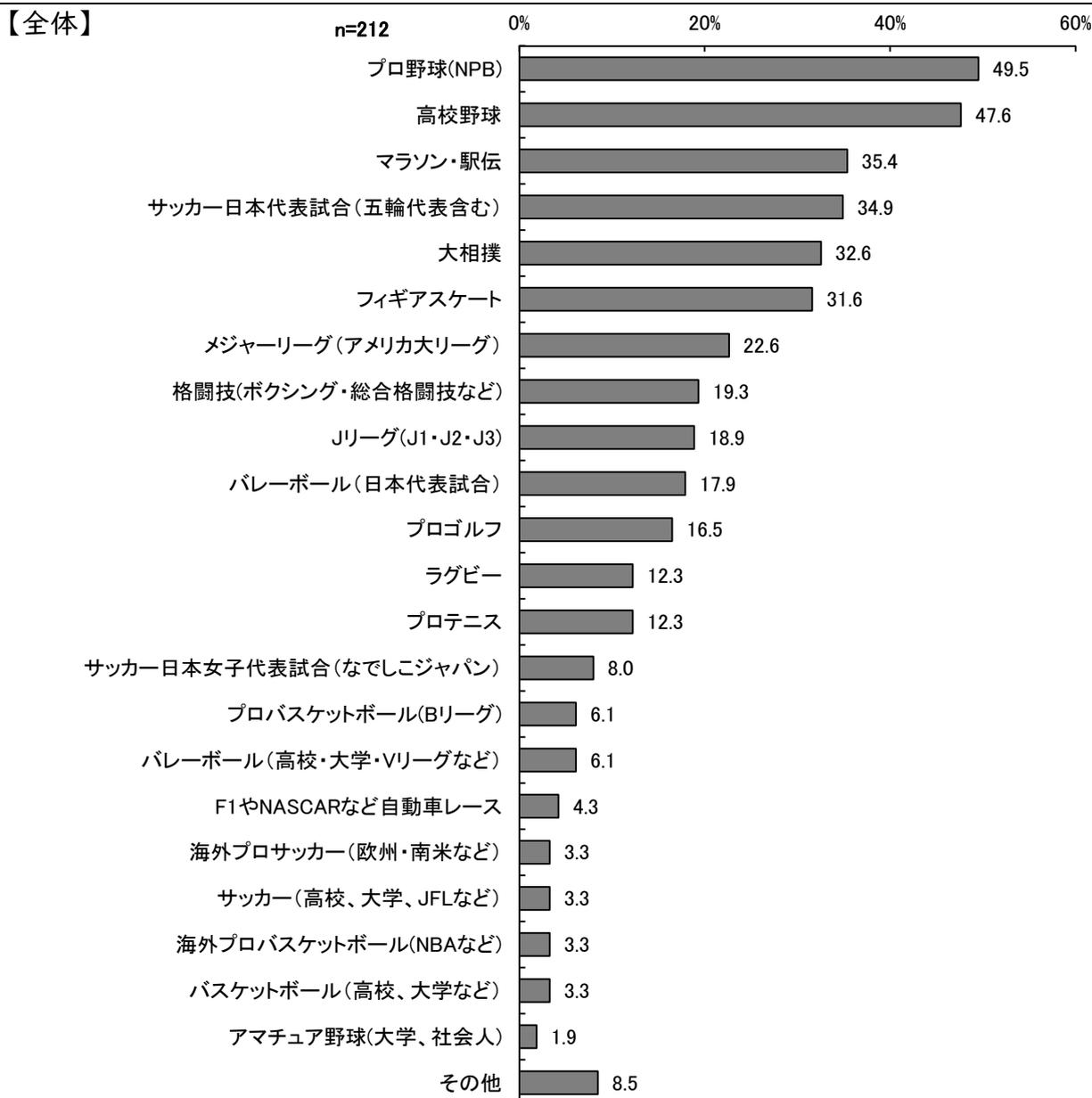
「テレビでスポーツの試合を観戦したことがある」が6割を超えて最多回答。「観戦していない」が3割を超えて高い。



問31 <問30で「1：直接スポーツの試合を観戦したことがある」「2：テレビでスポーツの試合を観戦したことがある」「3：インターネットでスポーツの試合を観戦したことがある」と選択した方のみお答えください。>

この1年間に観戦した種目をお答えください。（○はいくつでも）

「プロ野球（NPB）」「高校野球」が4割を超えて高い。



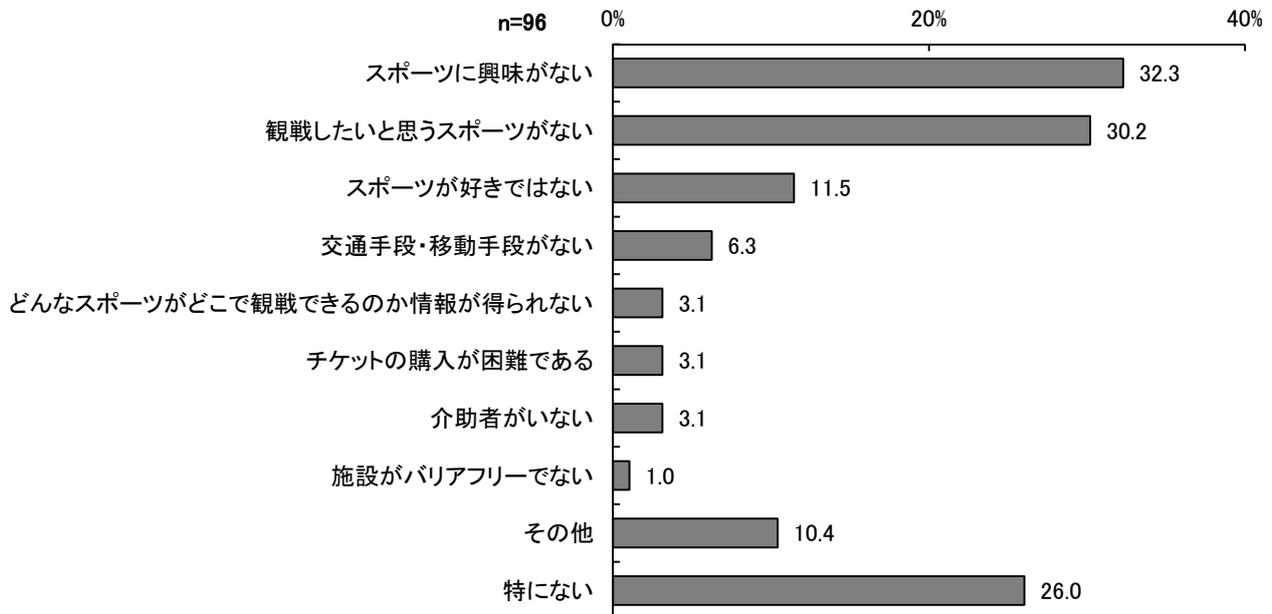
問32 <問30で「4：観戦していない」と選択した方のみお答えください。>

この1年間で観戦しなかった理由としてあてはまるものをお答えください。

(〇はいくつでも)

「スポーツに興味がない」が3割を超えて最多回答。「観戦したいと思うスポーツがない」も3割を超えて高い。

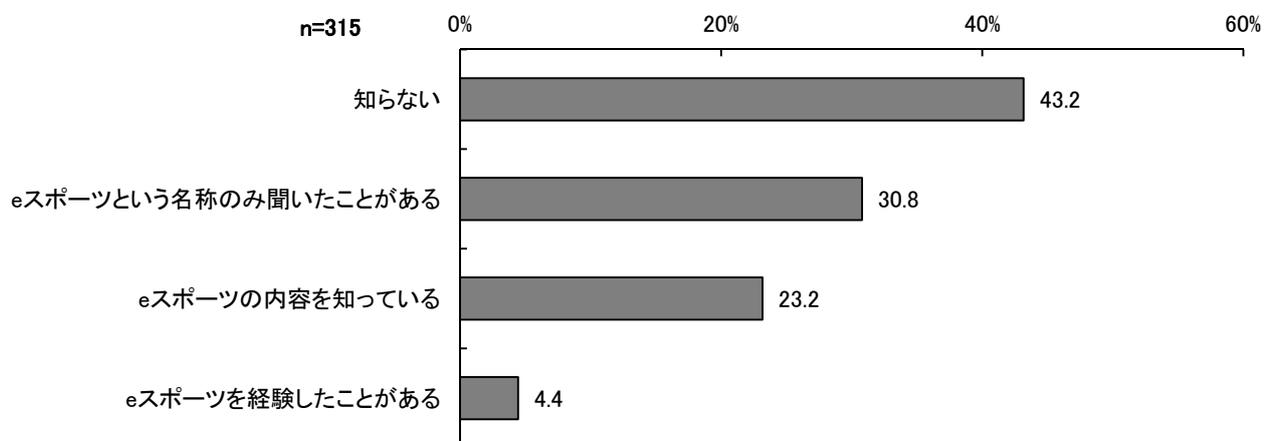
【全体】



問33 eスポーツを知っていますか。(〇はいくつでも)

「知らない」が4割を超えて最多回答。「eスポーツを経験したことがある」が1割に満たない。

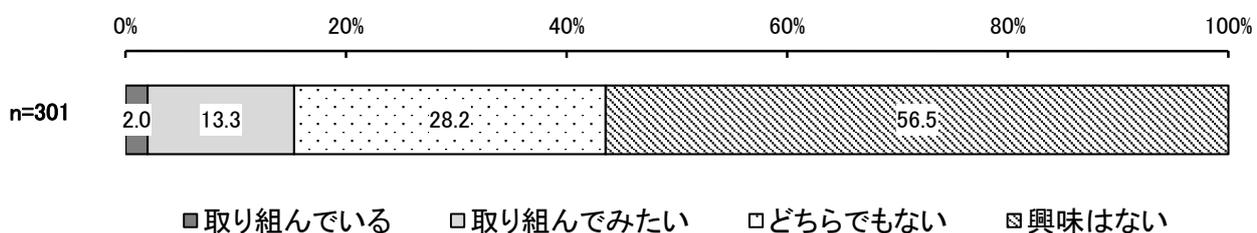
【全体】



問34 あなたは、eスポーツに取り組んでみたいと思いますか。(〇は1つ)

「興味がない」が5割を超えて最多回答。「取り組んでいる」が2%、「取組んでみたい」が1割と低い。

【全体】



問35 小学校・中学校・高等学校の体育の授業の参加状況についてお答えください。

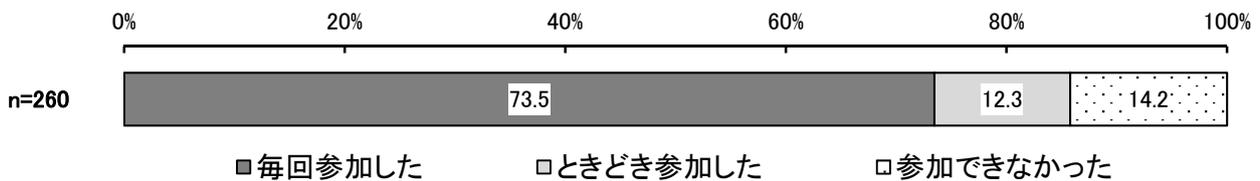
体育の授業に参加していますか（していましたか。）

※見学は参加に含めません。（○は1つ）

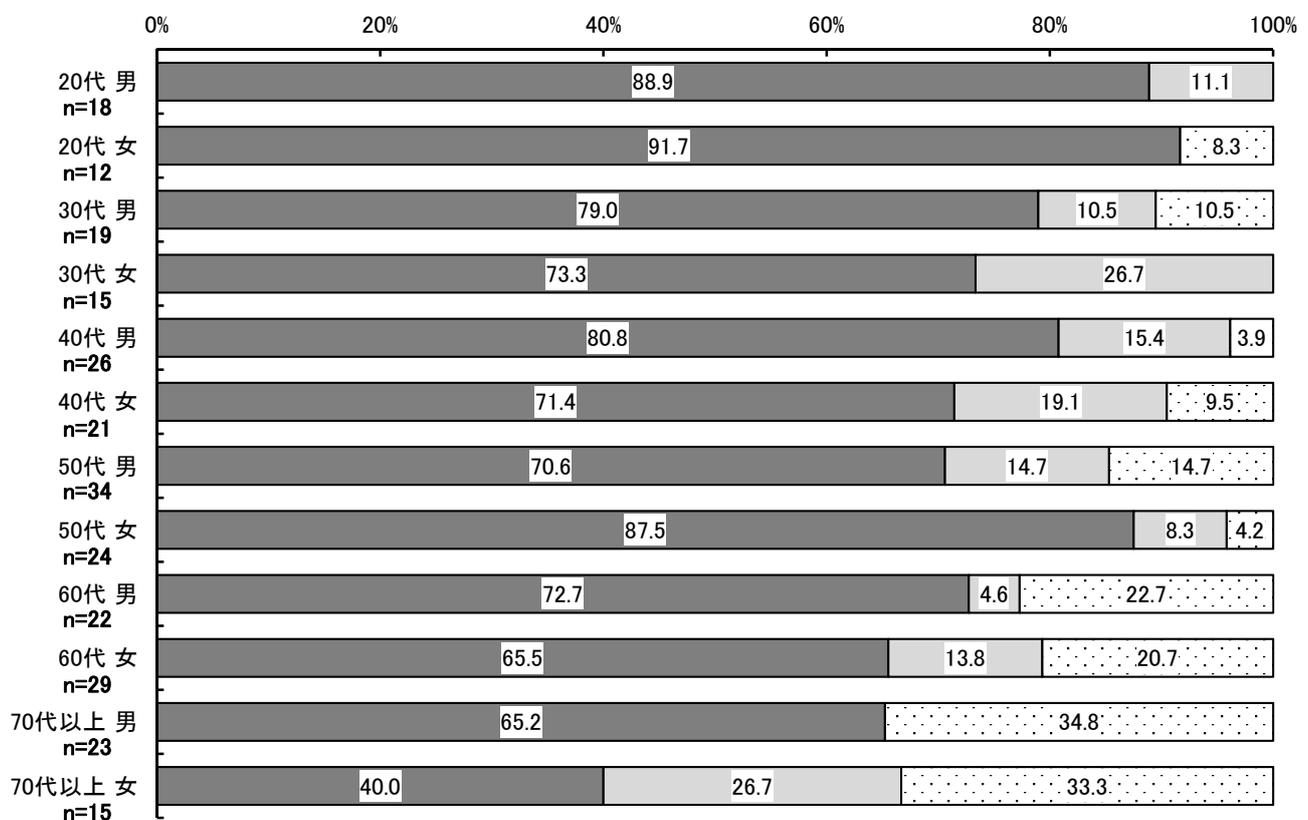
「毎回参加した」が7割を超えて最多回答。「参加できなかった」が1割を超えている。

「毎回参加した」では、20代男性と女性、50代女性が9割を占めている。それ以外は、年代が高くなるほど減少傾向である。

【全体】



【性別・年齢別】



問36 学校の体育の授業を楽しんでいますか（楽しんでいましたか）。（○は1つ）

「とてもそう思う」「そう思う」がそれぞれ2割を超えて高い。「そう思わない」が1割以上いる。

【全体】

